人権・同和問題に関する
市民意識調査報告書

令和８年３月

小城市
OGI-CITY

あいさつ

小城市では、「すべての人の人権が尊重され、共に支え合い、共に生きることができる『共生社会』の実現」を目指し、様々な人権問題の解消に向けて各種の事業を進めてきました。

しかしながら、同和問題をはじめ、女性、子ども、高齢者等に対する人権問題は依然として解決には至っておりません。

近年では、情報化の進展に伴うインターネットによる人権侵害や犯罪被害者、性的少数者、外国人等の新たな人権問題も散見されています。

このような人権問題が後を絶たない中、市民一人ひとりが人権・同和問題を自分の問題として捉え、正しい知識を身につけること、他人の人権をも相互に尊重していくことが求められています。

また、国は、平成 28 年に個別の人権問題解決のための「障害者差別解消法」、「ヘイトスピーチ解消法」、「部落差別解消推進法」を施行しました。さらに、令和 7 年には、インターネット上の違法・有害情報対策のための「情報流通プラットフォーム対処法」も施行しています。

このような状況の中で、市民の意識を把握し、今後の人権・同和問題に関する施策をより一層推進していくため、小城市「人権・同和問題に関する市民意識調査」を実施いたしました。

本意識調査の結果を踏まえ、「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」や「小城市人権教育・啓発基本方針」に基づき、これまで取組んできました本市の人権・同和問題に関する教育・啓発活動の効果と問題点を明らかにし、より効果的な人権教育・啓発に取組んでまいります。

最後に、本意識調査の実施にあたり、御協力いただきました市民の方々はもとより、御尽力をいただきました小城市人権擁護審議会の皆様に厚くお礼申し上げます。

令和８年３月

小城市長　南里　隆

－　目　次　－

Ⅰ　調査の概要
　１　調査の目的 ・・・

11　部落差別（同和問題）について
問 24　部落差別（同和問題）を知っているか ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
問 25　部落差別（同和問題）をはじめて知ったきっかけ ・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
問 26　部落差別（同和問題）に対する考え方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
問 27　部落差別（同和問題）に関して、どのような問題が起きているのか ・・・・・・ 66
問 28　職場・近所の人が同和地区（被差別部落）出身者だったら ・・・・・・・・・・ 68
問 29　同和地区（被差別部落）出身者との結婚について ・・・・・・・・・・・・・・・ 70
12　部落差別（同和地区）の解決に向けて
問 30　部落差別（同和問題）は解決すると思うか ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72
問 31　部落差別（同和問題）の解決のために今後どうしたらよいか ・・・・・・・・・ 74
13　啓発活動について
問 32　人権・同和問題の啓発活動で知っているもの ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77
問 33　人権・同和問題の理解を深めるためには ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 79
問 34　啓発活動について、今後、どうすればよいか ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 82
問 35　研修会・講演会等に参加したことがあるか ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 84
問 36　どのような研修会・講演会等に参加したか ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 86
問 37　今後、研修会・講演会等に参加したいか ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 88
問 38　「差別解消のための法律」の中で知っているもの ・・・・・・・・・・・・・・・ 90
問 39　本人通知制度を知っているか ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 92
問 40　家庭で人権問題について話すことはあるか ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 94
問 41　地域や職場で人権問題について話すことはあるか ・・・・・・・・・・・・・・・ 96
14　自由意見
問 42　人権・同和問題についてのご意見など ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 98

Ⅲ　調査結果の分析
１　調査票回収率 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 101
２　調査結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 101
（1）人権問題への関心
（2）人権侵害と対応
（3）個別の人権問題
（4）部落差別（同和問題）について
（5）啓発活動について

Ⅳ　参考資料
・小城市人権擁護審議会委員名簿 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 104
・使用した調査票 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 105

Ⅰ　調査の概要

1　調査の目的

調査の目的は、次のとおりです。

①市民の人権・同和問題に関する意識状況を明らかにすること。

②市の人権・同和問題に関する教育・啓発活動の問題点と効果を明らかにすること。

③これからの教育・啓発事業を効果的に推進していくための基礎資料とすること。

2　調査の方法

（1）調査項目

No	調査項目	質問数
1	回答者の属性	4
2	人権についての考え方	8
3	女性の人権について	2
4	子どもの人権について　（＋こども基本法の施行を周知）	1
5	高齢者の人権について　（＋認知症予防法の施行を周知）	1
6	障がい者の人権について	1
7	HIV 感染者・ハンセン病患者・難病患者等の人権について	1
8	外国人の人権について	2
9	性的指向・性自認に関する人権について	1
10	インターネット・SNS 等を悪用した人権侵害について	2
11	部落差別（同和問題）について	6
12	部落差別（同和問題）の解決に向けて	2
13	啓発活動について	10
14	自由意見	1
計		42

（2）調査対象・対象者数・抽出方法

・小城市民で満 18 歳以上の男女 2,000 人

・18～29 歳、30～39 歳、40～49 歳、50～59 歳、60～69 歳、70 歳以上の 6 階層

・住民基本台帳による無作為抽出

（3）調査期間・回答方法

・令和 7 年 10 月 3 日から 10 月 31 日まで

・令和 7 年 10 月 3 日に調査票を調査対象者へ郵送しました。

・郵送による回答だけではなく、二次元コードによる Web 回答も可能としました。

3　回収結果

年度	対象者数	回収数			有効回収票	回答率
			郵送	Web		
R7	2,000 人	759	410	349	759	37.95%
R2	2,000 人	616	616	－	616	30.80%

４　調査結果の表示方法

・各設問の回答者は 759 人です。

・回答比率（%）は、小数点第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位までを表示しているため、表示された回答比率の合計が 100%ちょうどにならない場合があります。

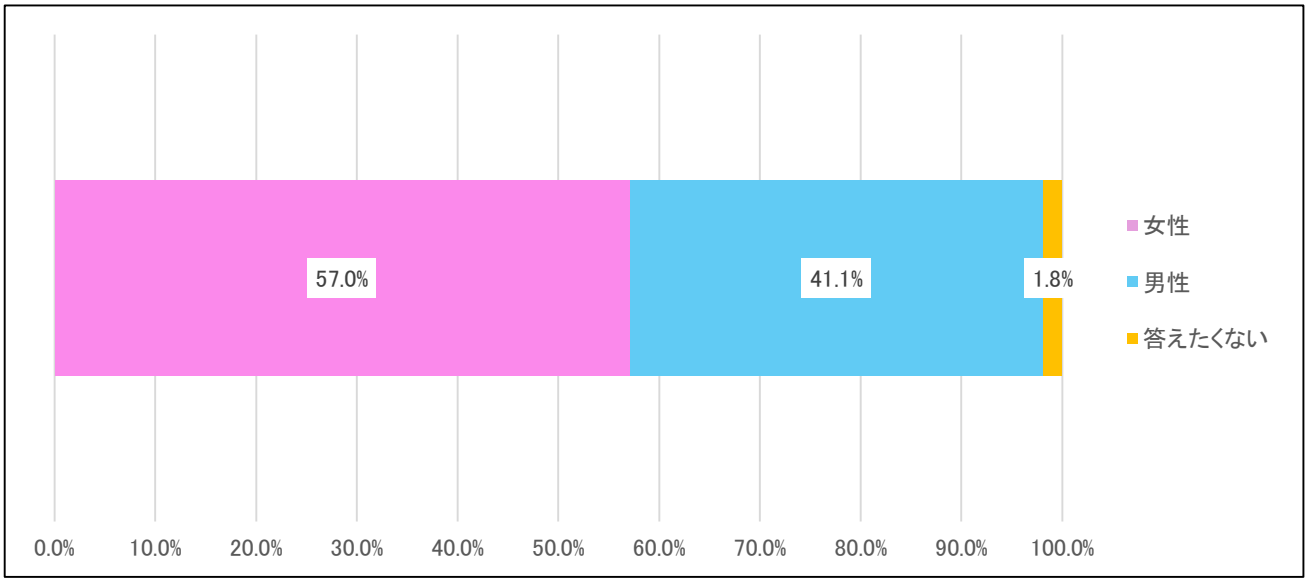
・複数を選択する方法の設問は、回答比率の合計 100%を超えることがあります。

Ⅱ　調査の結果

1　回答者属性

問１　あなたの性別についてお答えください。

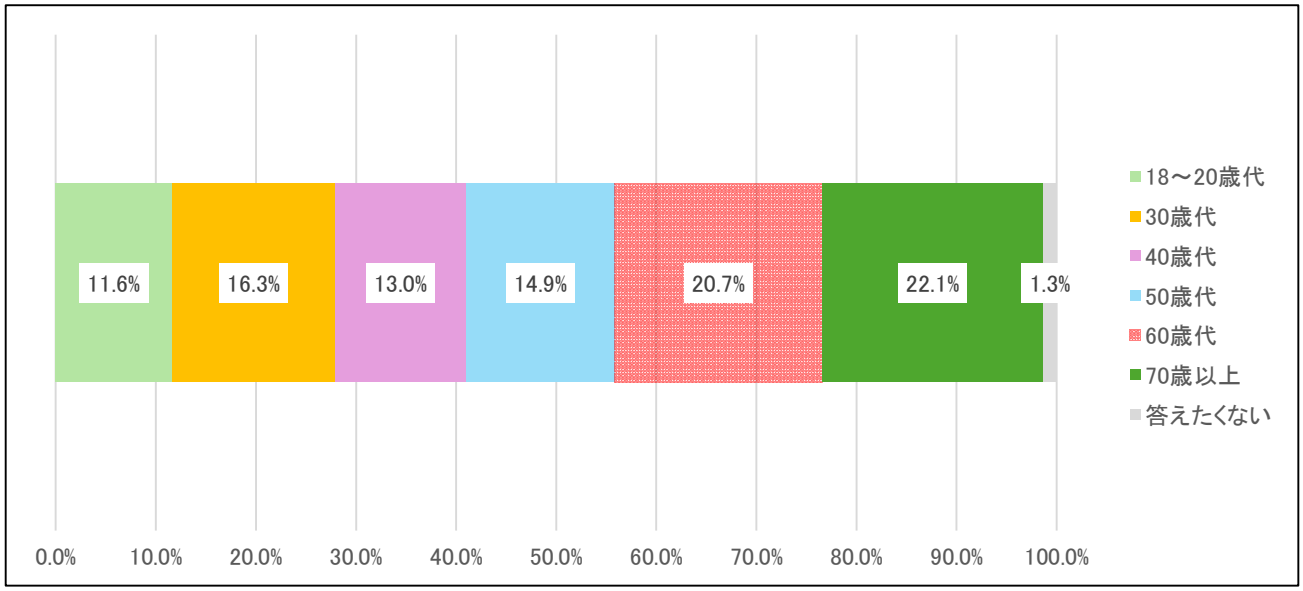
「女性」の割合が 57.0%、「男性」の割合が 41.1%となっています。



区分	人数	割合
女性	433	57.0%
男性	312	41.1%
答えたくない	14	1.8%
計	759	100.0%

問２　あなたの年齢についてお答えください。

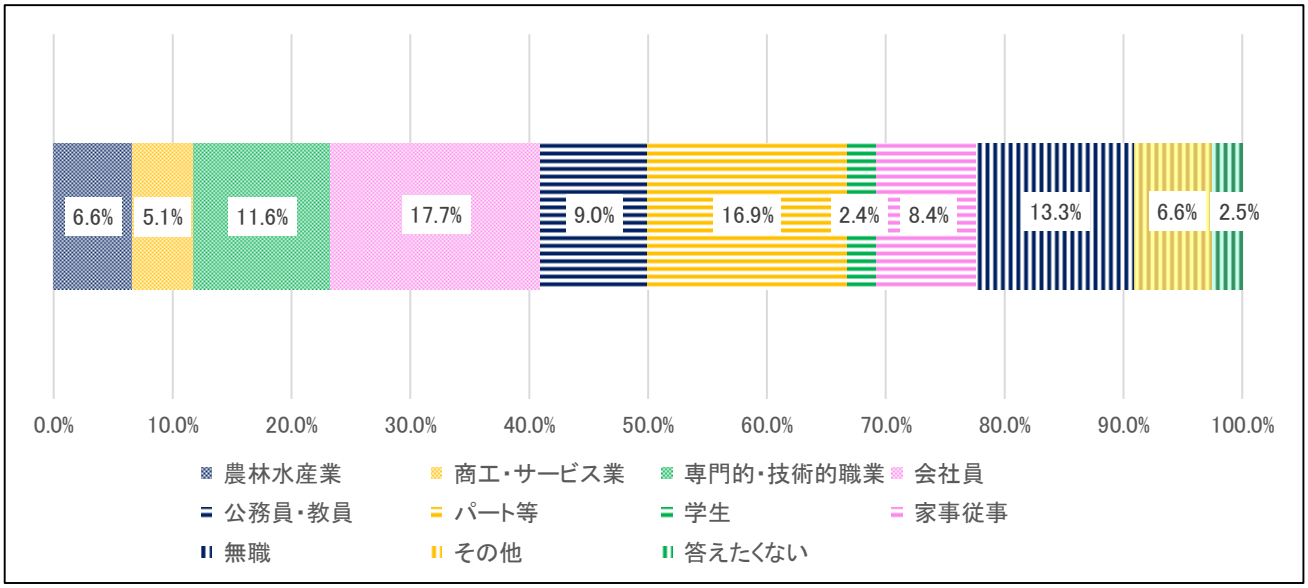
「70 歳以上」の割合が 22.1%と最も高く、次いで「60 歳代」の割合が 20.7%、「30 歳代」の割合が 16.3%となっています。



区分	人数				割合			
		女性	男性	その他		女性	男性	その他
18～20歳代	88	50	37	1	11.6%	11.5%	11.9%	7.1%
30歳代	124	83	41		16.3%	19.2%	13.1%	0.0%
40歳代	99	58	41		13.0%	13.4%	13.1%	0.0%
50歳代	113	70	43		14.9%	16.2%	13.8%	0.0%
60歳代	157	84	71	2	20.7%	19.4%	22.8%	14.3%
70歳以上	168	87	79	2	22.1%	20.1%	25.3%	14.3%
答えたくない	10	1		9	1.3%	0.2%	0.0%	64.3%
計	759	433	312	14	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問３　あなたの職業についてお答えください。

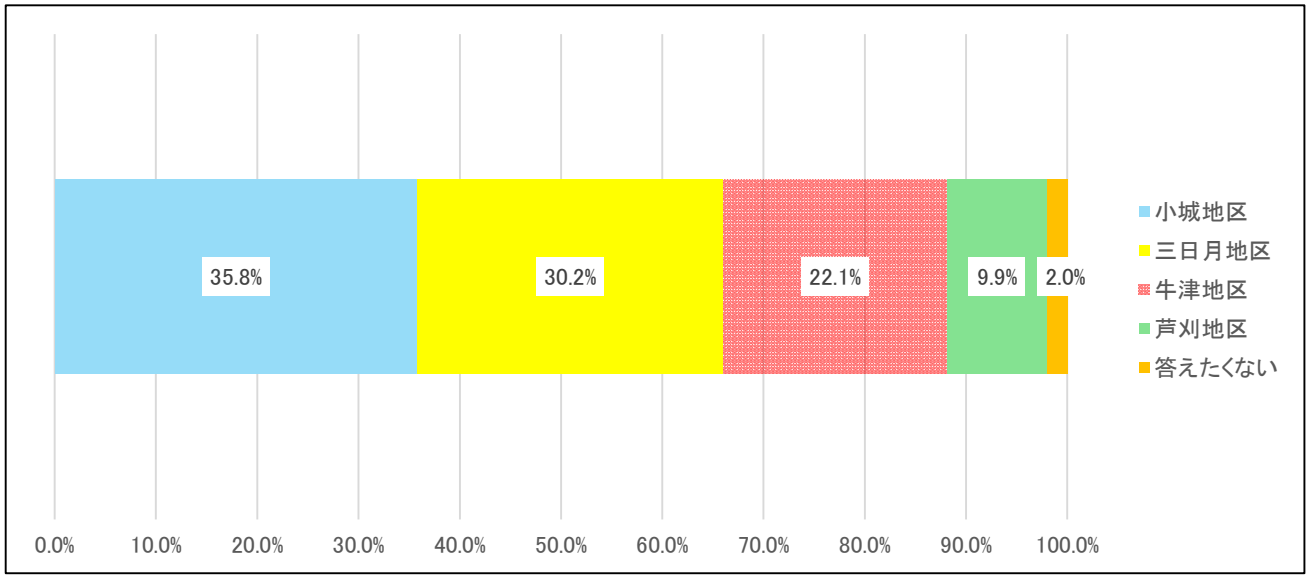
「会社員」の割合が 17.7%と最も高く、次いで「パート等」の割合が 16.9%、「無職」の割合が 13.3%となっています。



区分	人数				割合			
		女性	男性	その他		女性	男性	その他
農林水産業	50	15	34	1	6.6%	3.5%	10.9%	7.1%
商工・サービス業	39	18	21		5.1%	4.2%	6.7%	0.0%
専門的・技術的職業	88	65	22	1	11.6%	15.0%	7.1%	7.1%
会社員	134	43	90	1	17.7%	9.9%	28.8%	7.1%
公務員・教員	68	33	35		9.0%	7.6%	11.2%	0.0%
パート等	128	108	18	2	16.9%	24.9%	5.8%	14.3%
学生	18	10	7	1	2.4%	2.3%	2.2%	7.1%
家事従事	64	63	1		8.4%	14.5%	0.3%	0.0%
無職	101	43	56	2	13.3%	9.9%	17.9%	14.3%
その他	50	26	24		6.6%	6.0%	7.7%	0.0%
答えたくない	19	9	4	6	2.5%	2.1%	1.3%	42.9%
計	759	433	312	14	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問４　あなたのお住いについてお答えください。

「小城地区」が 35.8%、「三日月地区」が 30.2%、「牛津地区」が 22.1%、「芦刈地区」が 9.9%となっています。



区分	人数				割合			
		女性	男性	その他		女性	男性	その他
小城地区	272	138	129	5	35.8%	31.9%	41.3%	35.7%
三日月地区	229	131	97	1	30.2%	30.3%	31.1%	7.1%
牛津地区	168	107	60	1	22.1%	24.7%	19.2%	7.1%
芦刈地区	75	48	26	1	9.9%	11.1%	8.3%	7.1%
答えたくない	15	9		6	2.0%	2.1%	0.0%	42.9%
計	759	433	312	14	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

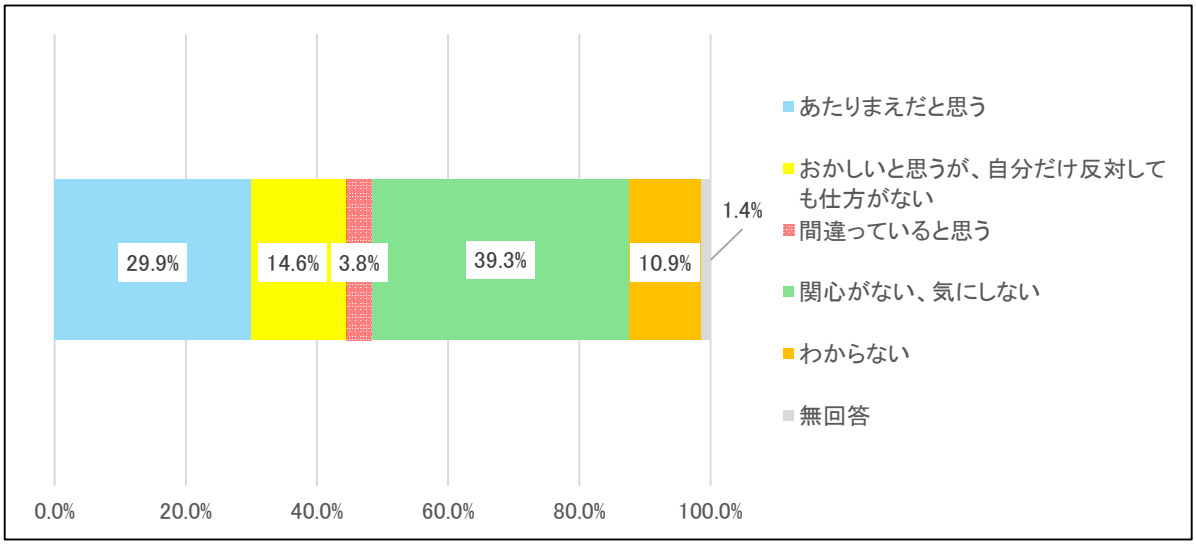
２　人権についての考え方について

問５　我が国にはいろいろな風習がありますが、その一つとして結婚式は「大安」の日が一番よい、「友引」の日に葬式を避けるという風習を、あなたはどう思いますか。（回答は１つだけ）

○今回調査の結果

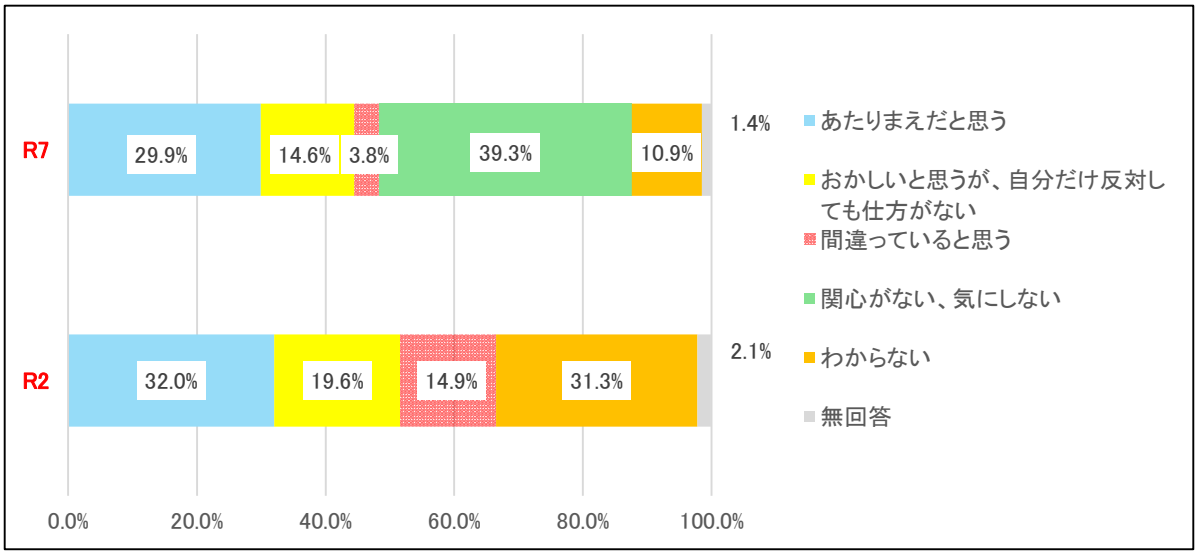
「関心がない、気にしない」（39.3%）と回答した人の割合が最も高くなっている一方で、「あたりまえだと思う」（29.9%）と全体の３割程度が「六曜」を気にしていることが分かります。

年齢別でみると、「あたりまえだと思う」と回答した人の割合が 50 歳代（38.9%）と 60 歳代（33.8%）で高くなっている一方で、18 歳～29 歳と 30 歳代では、「関心がない、気にしない」と回答した人の割合が５割を超えています。



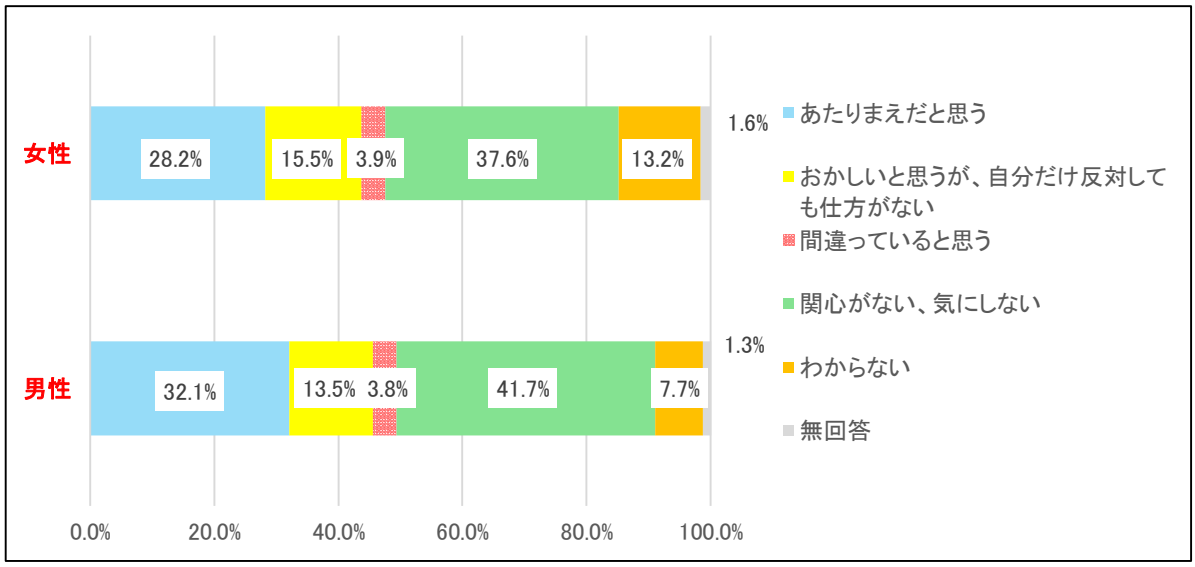
○前回調査との比較

前回調査と比較すると、「間違っていると思う」と回答した人の割合が 11.1%減少しています。また、今回調査から追加した選択肢「関心がない、気にしない」と回答した人の割合は 39.3%となっています。



○性別での比較

性別では、大きな差異はみられません。



○性別、年齢別、職業別、地区別の結果一覧

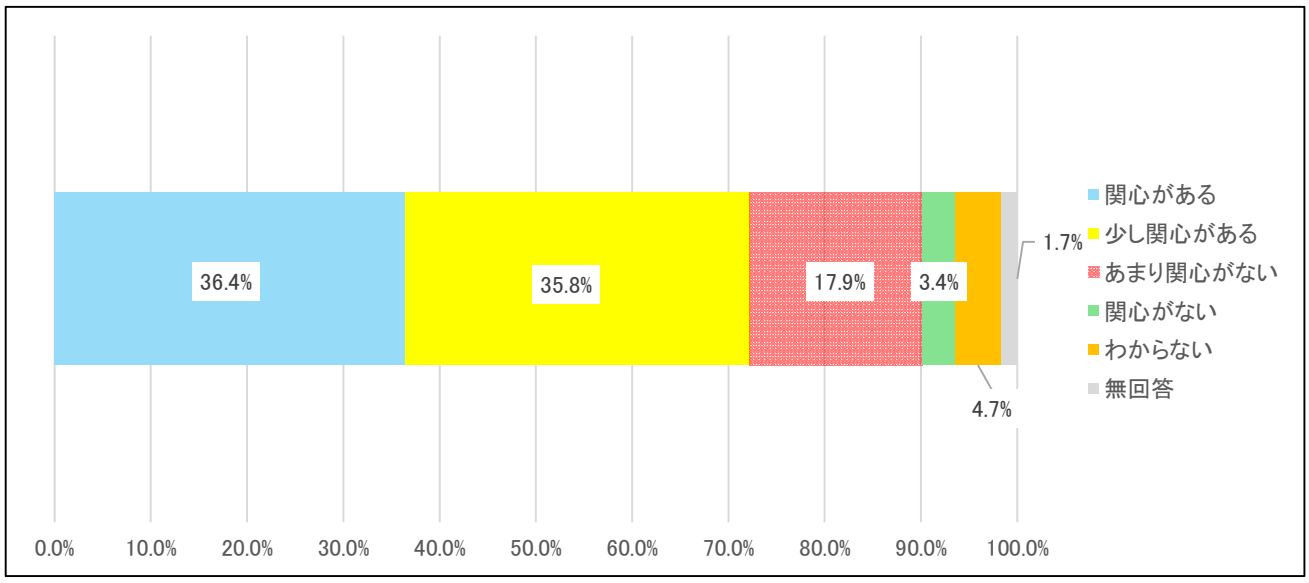
	単位	全体	性別			年齢別							職業別											地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
①あたりまえだと思う	人	227	100	122	5	21	26	32	44	53	48	3	30	10	18	43	15	37	4	22	27	15	6	80	71	45	26	5
	%	29.9	32.1	28.2	35.7	23.9	21.0	32.3	38.9	33.8	28.6	30.0	60.0	25.6	20.5	32.1	22.1	28.9	22.2	34.4	26.7	30.0	31.6	29.4	31.0	26.8	34.7	33.3
②おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方ないと思う	人	111	42	67	2	4	14	9	14	28	40	2	7	7	13	18	9	16	0	18	17	6	0	37	27	31	16	0
	%	14.6	13.5	15.5	14.3	4.5	11.3	9.1	12.4	17.8	23.8	20.0	14.0	17.9	14.8	13.4	13.2	12.5	0.0	28.1	16.8	12.0	0.0	13.6	11.8	18.5	21.3	0.0
③間違っていると思う	人	29	12	17	0	2	1	5	3	13	5	0	2	1	4	5	3	6	0	2	4	2	0	11	8	6	4	0
	%	3.8	3.8	3.9	0.0	2.3	0.8	5.1	2.7	8.3	3.0	0.0	4.0	2.6	4.5	3.7	4.4	4.7	0.0	3.1	4.0	4.0	0.0	4.0	3.5	3.6	5.3	0.0
④関心がない、気にしない	人	298	130	163	5	46	68	45	36	48	51	4	4	14	42	57	33	52	11	15	40	21	9	107	97	65	23	6
	%	39.3	41.7	37.6	35.7	52.3	54.8	45.5	31.9	30.6	30.4	40.0	8.0	35.9	47.7	42.5	48.5	40.6	61.1	23.4	39.6	42.0	47.4	39.3	42.4	38.7	30.7	40.0
⑤わからない	人	83	24	57	2	15	13	8	16	11	19	1	7	7	10	10	8	15	3	5	8	6	4	33	22	19	5	4
	%	10.9	7.7	13.2	14.3	17.0	10.5	8.1	14.2	7.0	11.3	10.0	14.0	17.9	11.4	7.5	11.8	11.7	16.7	7.8	7.9	12.0	21.1	12.1	9.6	11.3	6.7	26.7
無回答	人	11	4	7	0	0	2	0	0	4	5	0	0	0	1	1	0	2	0	2	5	0	0	4	4	2	1	0
	%	1.4	1.3	1.6	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	2.5	3.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.7	0.0	1.6	0.0	3.1	5.0	0.0	0.0	1.5	1.7	1.2	1.3	0.0

問６　人権とは、人が生まれながら持っている権利です。あなたは人権や差別問題に関心を持っていますか。（回答は１つだけ）

○今回調査の結果

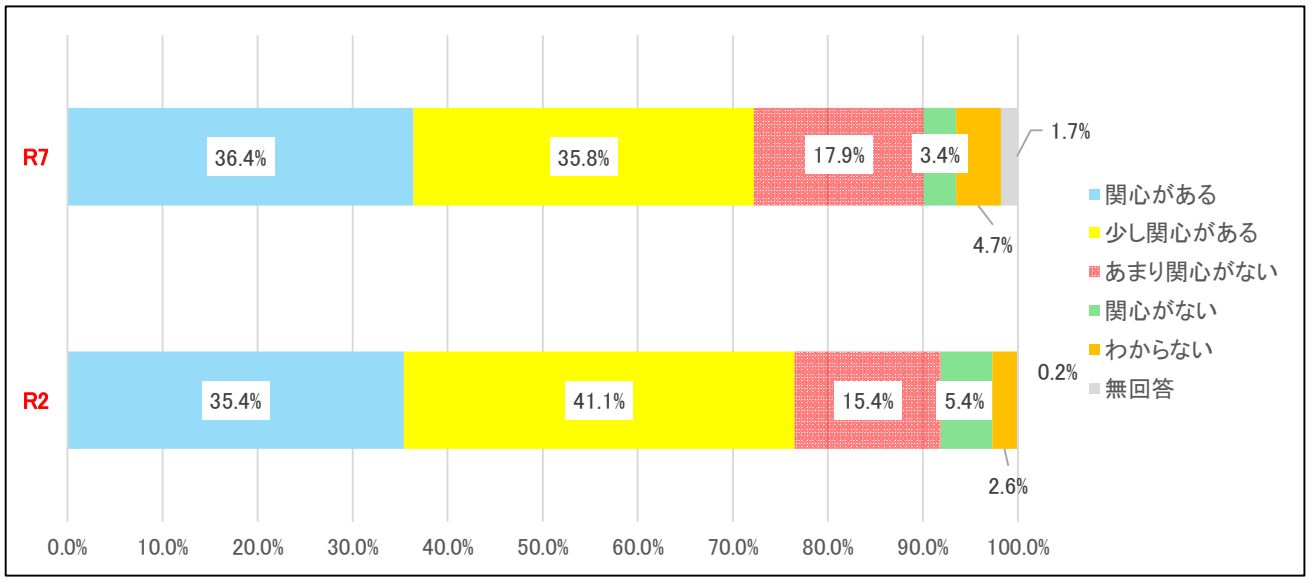
「関心がある」（36.4%）、「少し関心がある」（35.8%）と回答した人の割合をみると、全体の 7 割が関心を持っていることが分かります。

年齢別でみると、「関心がある」と回答した人の割合が 40 歳代（43.4%）と 50 歳代（42.9%）で高くなっています。その一方で、60 歳代（32.3%）と 70 歳以上(31.0%)では低い割合となっています。



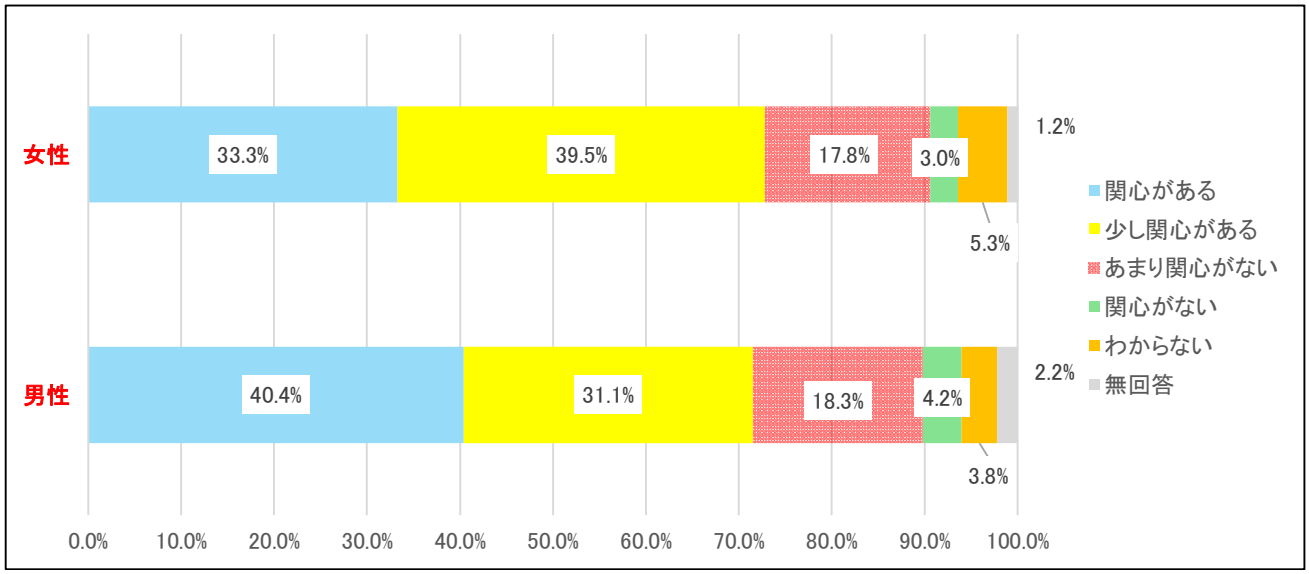
○前回調査との比較

前回調査と比較すると、「関心がある」、「少し関心がある」と回答した人の割合は 4.3%減少しています。



○性別での比較

「関心がある」と回答した人の割合は、女性より男性の方が高くなっています。また、「少しだけ関心がある」と回答した人の割合は、男性より女性の方が高くなっています。



○性別、年齢別、職業別、地区別の結果一覧

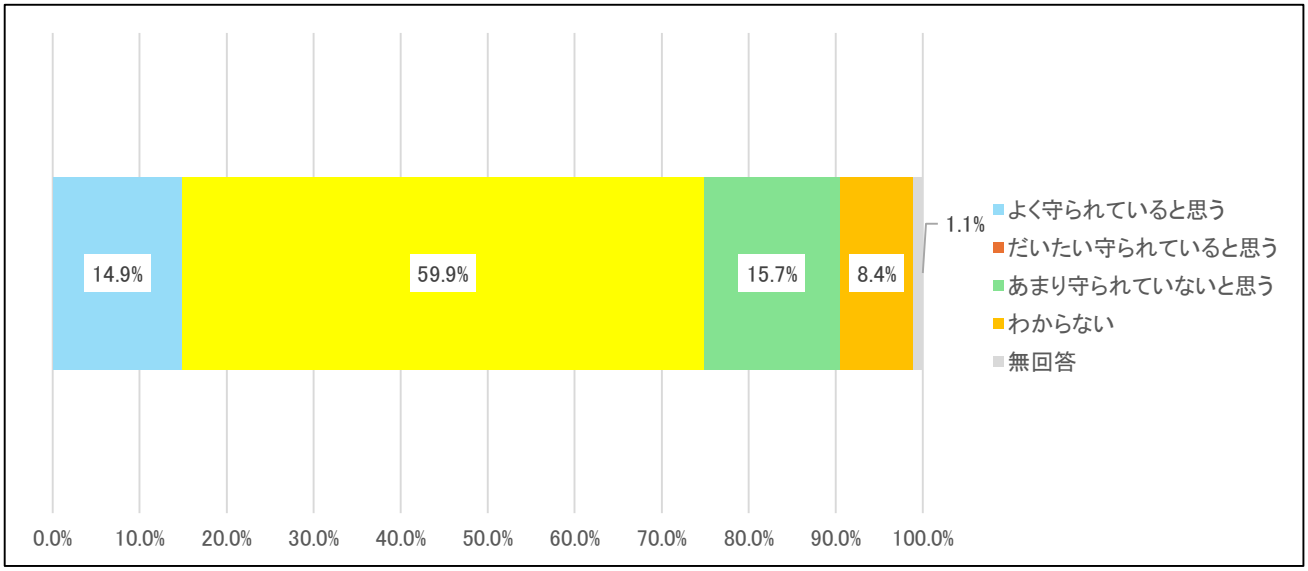
	単位	全体	性別			年齢別							職業別										地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数	人	759	312	433	13	88	125	99	112	155	168	10	50	39	89	134	68	129	18	63	100	49	19	270	229	170	73	15
①関心がある	人	276	126	144	6	36	43	43	48	50	52	4	18	16	37	37	35	43	8	16	40	16	10	110	79	59	20	8
	%	36.4	40.4	33.3	46.2	40.9	34.4	43.4	42.9	32.3	31.0	40.0	36.0	41.0	41.6	27.6	51.5	33.3	44.4	25.4	40.0	32.7	52.6	40.7	34.5	34.7	27.4	53.3
②少し関心がある	人	272	97	171	4	25	55	31	48	53	57	3	16	12	37	64	20	50	7	29	21	14	2	88	87	60	35	2
	%	35.8	31.1	39.5	30.8	28.4	44.0	31.3	42.9	34.2	33.9	30.0	32.0	30.8	41.6	47.8	29.4	38.8	38.9	46.0	21.0	28.6	10.5	32.6	38.0	35.3	47.9	13.3
③あまり関心がない	人	136	57	77	2	15	15	16	12	38	38	2	11	7	7	21	9	26	3	11	24	14	3	48	42	34	10	2
	%	17.9	18.3	17.8	15.4	17.0	12.0	16.2	10.7	24.5	22.6	20.0	22.0	17.9	7.9	15.7	13.2	20.2	16.7	17.5	24.0	28.6	15.8	17.8	18.3	20.0	13.7	13.3
④関心がない	人	26	13	13	0	3	2	3	2	6	10	0	2	3	2	6	1	5	0	2	5	0	0	12	6	6	2	0
	%	3.4	4.2	3.0	0.0	3.4	1.6	3.0	1.8	3.9	6.0	0.0	4.0	7.7	2.2	4.5	1.5	3.9	0.0	3.2	5.0	0.0	0.0	4.4	2.6	3.5	2.7	0.0
⑤わからない	人	36	12	23	1	9	8	6	2	4	6	1	3	0	5	5	3	3	0	3	5	5	4	8	11	9	5	3
	%	4.7	3.8	5.3	7.7	10.2	6.4	6.1	1.8	2.6	3.6	10.0	6.0	0.0	5.6	3.7	4.4	2.3	0.0	4.8	5.0	10.2	21.1	3.0	4.8	5.3	6.8	20.0
無回答	人	13	7	5	0	0	2	0	0	4	5	0	0	0	1	1	0	2	0	2	5	0	0	4	4	2	1	0
	%	1.7	2.2	1.2	0.0	0.0	5.8	0.0	0.0	12.4	16.2	0.0	0.0	0.0	2.4	3.6	0.0	6.0	0.0	7.9	12.5	0.0	0.0	9.8	11.6	5.8	3.7	0.0

問７　あなたは現在、人権が守られていると思いますか。（回答は１つだけ）

○今回調査の結果

「よく守られていると思う」（14.9%）、「だいたい守られていると思う」（59.9%）と回答した人の割合を合わせると 74.8%となっており、7 割以上の人の人権が守られていると考えます。

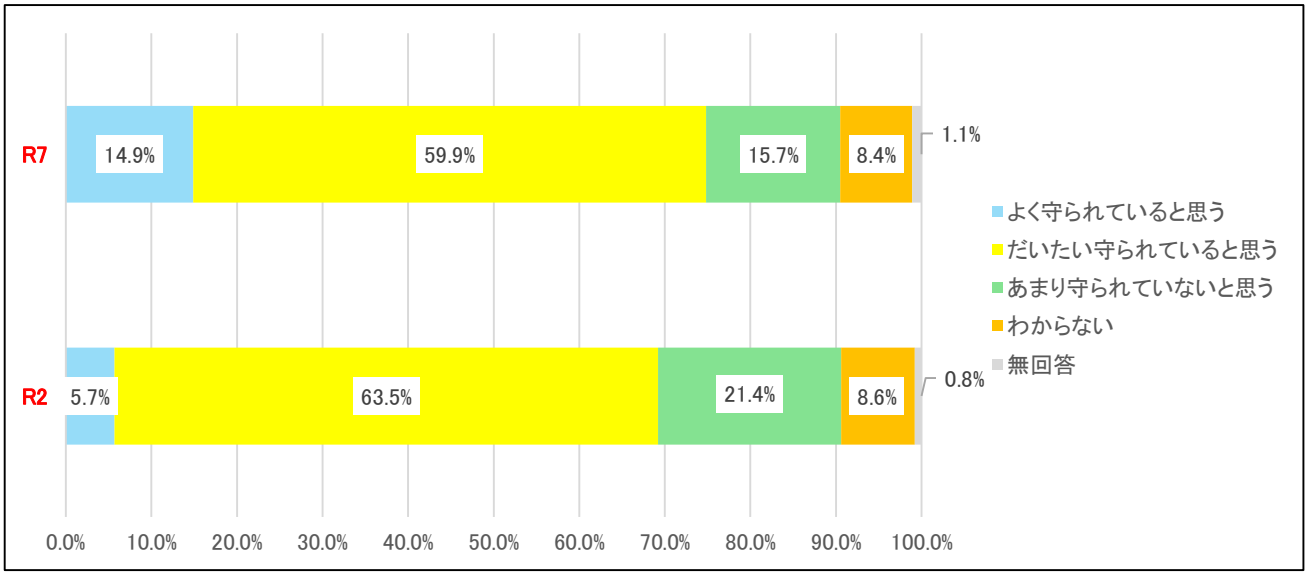
その一方で、「あまり守られていないと思う」と回答した人を年齢別でみると、40 歳代(20.2%)と 60 歳代(19.1%)が高い割合となっています。



○前回調査との比較

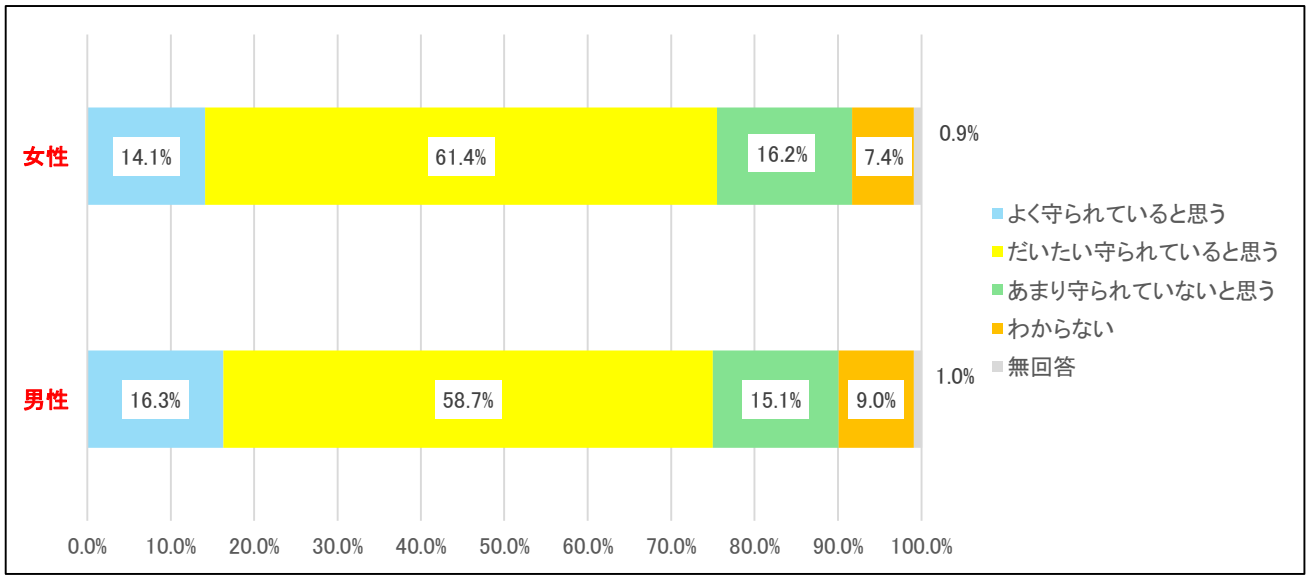
前回調査と比較すると、「よく守られていると思う」と回答した人の割合が 9.2%増加しています。

また、「あまり守られていないと思う」と回答した人の割合は 5.7%減少しています。



○性別での比較

性別では、大きな差異はみられません。



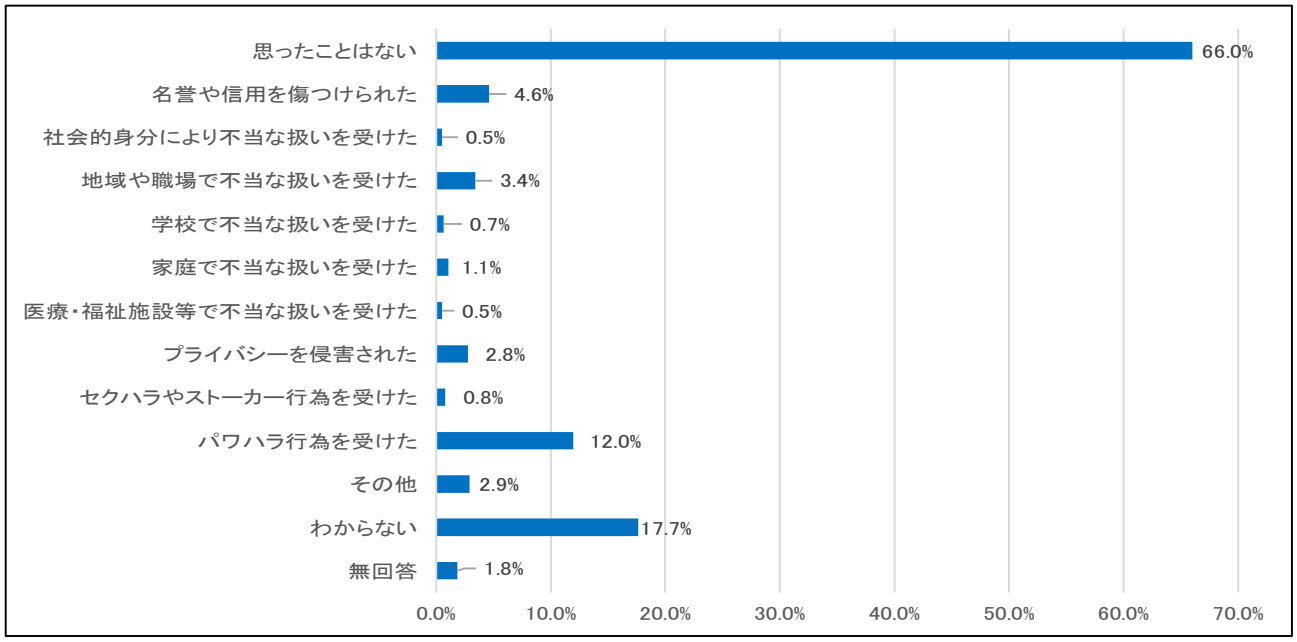
○性別、年齢別、職業別、地区別の結果一覧

	単位	全体	性別			年齢別							職業別											地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
①よく守られていると思う	人	113	51	61	1	33	15	23	15	13	12	2	7	4	15	22	17	14	9	6	10	5	4	40	32	31	7	3
	%	14.9	16.3	14.1	7.1	37.5	12.1	23.2	13.3	8.3	7.1	20.0	14.0	10.3	17.0	16.4	25.0	10.9	50.0	9.4	9.9	10.0	21.1	14.7	14.0	18.5	9.3	20.0
②だいたい守られていると思う	人	455	183	266	6	37	83	44	78	95	114	4	33	25	54	88	42	77	6	42	56	26	6	160	149	91	50	5
	%	59.9	58.7	61.4	42.9	42.0	66.9	44.4	69.0	60.5	67.9	40.0	66.0	64.1	61.4	65.7	61.8	60.2	33.3	65.6	55.4	52.0	31.6	58.8	65.1	54.2	66.7	33.3
③あまり守られていないと思う	人	119	47	70	2	8	17	20	18	30	24	2	5	7	13	18	8	22	1	9	19	12	5	44	34	29	9	3
	%	15.7	15.1	16.2	14.3	9.1	13.7	20.2	15.9	19.1	14.3	20.0	10.0	17.9	14.8	13.4	11.8	17.2	5.6	14.1	18.8	24.0	26.3	16.2	14.8	17.3	12.0	20.0
④わからない	人	64	28	32	4	10	9	12	2	16	13	2	4	3	6	5	1	13	2	6	15	5	4	24	13	15	8	4
	%	8.4	9.0	7.4	28.6	11.4	7.3	12.1	1.8	10.2	7.7	20.0	8.0	7.7	6.8	3.7	1.5	10.2	11.1	9.4	14.9	10.0	21.1	8.8	5.7	8.9	10.7	26.7
⑤無回答	人	8	3	4	1	0	0	0	0	3	5	0	1	0	0	1	0	2	0	1	1	2	0	4	1	2	1	0
	%	1.1	1.0	0.9	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	3.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.7	0.0	1.6	0.0	1.6	1.0	4.0	0.0	1.5	0.4	1.2	1.3	0.0

問８　あなたは、この１年間に自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。
（回答はいくつでも可）

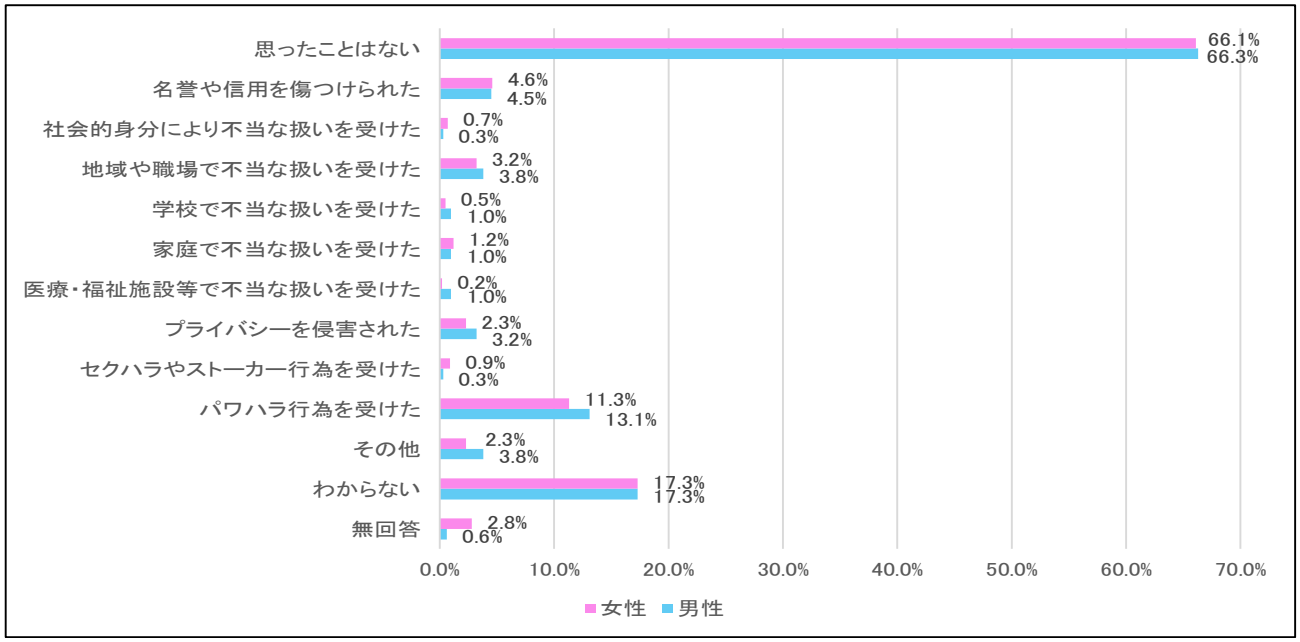
○今回調査の結果

この１年間の自分の人権侵害をみるために新たに追加した質問です。「思ったことはない」（66%）と回答した人の割合が高くなっています。人権を侵害されたと思ったことがある選択肢の中で、最も回答した人の割合が高かったのが「パワハラ行為を受けた」（12%）で、年齢別でみると、50 歳代（14.2%）と 30 歳代（13.7%）で高い割合となっています。



○性別での比較

性別では、大きな差異はみられません。



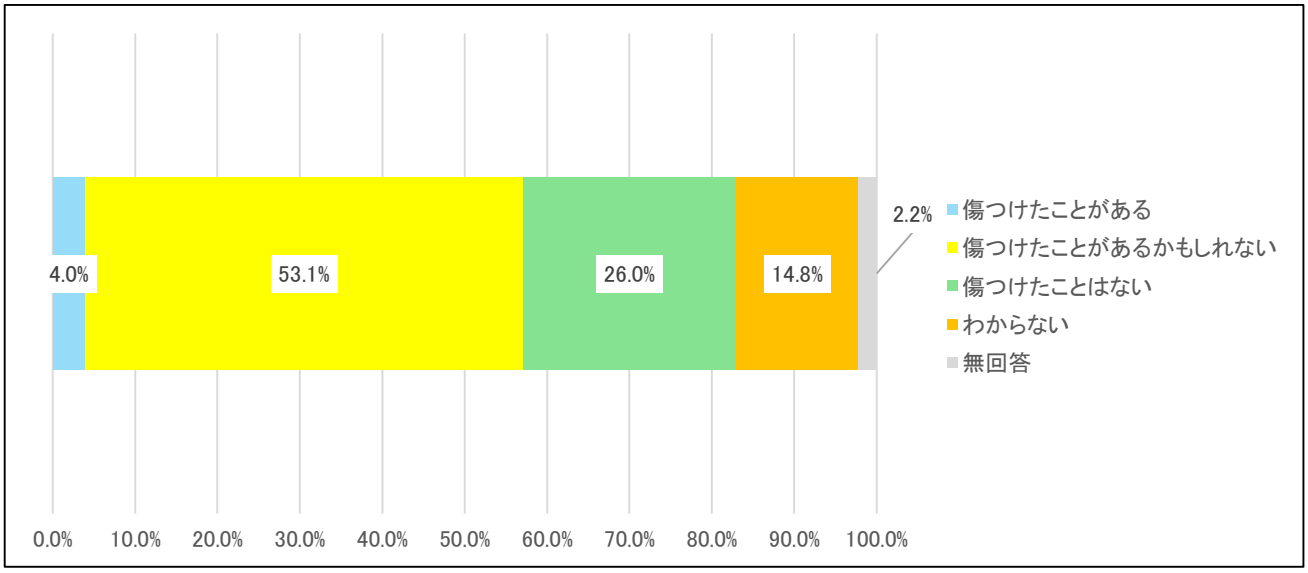
○性別、年齢別、職業別、地区別の結果一覧

	単位	全体	性別			年齢別							職業別											地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
①人権が侵害されたと思ったことはない	人	501	207	286	8	58	76	57	72	104	128	6	33	21	56	93	46	74	16	50	75	27	10	184	152	105	51	9
	%	66.0	66.3	66.1	57.1	65.9	61.3	57.6	63.7	66.2	76.2	60.0	66.0	53.8	63.6	69.4	67.6	57.8	88.9	78.1	74.3	54.0	52.6	67.6	66.4	62.5	68.0	60.0
②あらぬうわさや悪口、落書き、インターネット(SNS等)などで名誉が傷つけられたり、侮辱されたりした	人	35	14	20	1	5	8	7	4	9	2	0	0	2	8	4	4	7	1	3	3	1	2	10	12	9	3	1
	%	4.6	4.5	4.6	7.1	5.7	6.5	7.1	3.5	5.7	1.2	0.0	0.0	5.1	9.1	3.0	5.9	5.5	5.6	4.7	3.0	2.0	10.5	1.0	5.2	5.4	4.0	6.7
③人権・国籍・信条・性別・社会的身分等を理由に差別された	人	4	1	3	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	2	0	0	1	0	0	1	1	1	1	0
	%	0.5	22.3	0.7	0.0	1.1	0.8	0.0	0.9	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.4	0.4	0.6	1.3	0.0
④地域や職場などにおいて仲間はずれやいじめなど不当な扱いを受けた	人	26	12	14	0	4	2	4	5	8	3	0	4	3	5	4	1	5	0	1	3	0	0	9	8	5	3	1
	%	3.4	3.8	3.2	0.0	4.5	1.6	4.0	4.4	5.1	1.8	0.0	8.0	7.7	5.7	3.0	1.5	3.9	0.0	1.6	3.0	0.0	0.0	3.3	3.5	3.0	4.0	6.7
⑤学校において体罰やいじめなど不当な扱いを受けた	人	5	3	2	0	1	1	1	0	0	1	1	0	0	3	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	3	0	0
	%	0.7	1.0	0.5	0.0	1.1	0.8	1.0	0.0	0.0	0.6	10.0	0.0	0.0	3.4	0.7	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	1.8	0.0	0.0
⑥家庭などで虐待やDVなど不当な扱いを受けた	人	8	3	5	0	3	2	1	1	1	0	0	0	1	2	0	0	4	0	0	0	1	0	1	1	5	1	0
	%	1.1	1.0	1.2	0.0	3.4	1.6	1.0	0.9	0.6	0.0	0.0	0.0	2.6	2.3	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.4	0.4	3.0	1.3	0.0
⑦医療機関、福祉施設などで不当な扱いを受けた	人	4	3	1	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	0	1	2	1	0	0
	%	0.5	1.0	0.2	0.0	2.3	0.0	1.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.4	0.9	0.6	0.0	0.0
⑧プライバシーを侵害された	人	21	10	10	1	0	5	3	7	3	2	1	0	2	5	4	3	4	0	1	1	0	1	5	8	7	0	1
	%	2.8	3.2	2.3	7.1	0.0	4.0	3.0	6.2	1.9	1.2	10.0	0.0	5.1	5.7	3.0	4.4	3.1	0.0	1.6	1.0	0.0	5.3	1.8	3.5	4.2	0.0	6.7
⑨セクシャルハラスメントやストーカー行為を受けた	人	6	1	4	1	2	2	0	1	0	0	1	0	0	1	1	2	0	1	0	0	0	1	2	1	1	0	2
	%	0.8	0.3	0.9	7.1	2.3	1.6	0.0	0.9	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	1.1	0.7	2.9	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	5.3	0.7	0.4	0.6	0.0	13.3
⑩パワーハラスメント行為を受けた	人	91	41	49	1	7	17	13	16	17	19	2	5	6	12	19	7	19	2	5	9	6	1	25	26	26	12	2
	%	12.0	13.1	11.3	7.1	8.0	13.7	13.1	14.2	10.8	11.3	20.0	10.0	15.4	13.6	14.2	10.3	14.8	11.1	7.8	8.9	12.0	5.3	9.2	11.4	15.5	16.0	13.3
⑪その他	人	22	12	10	0	0	4	6	3	4	5	0	2	4	0	4	2	5	0	2	3	0	0	11	9	2	0	0
	%	2.9	3.8	2.3	0.0	0.0	3.2	6.1	2.7	2.5	3.0	0.0	4.0	10.3	0.0	3.0	2.9	3.9	0.0	3.1	3.0	0.0	0.0	4.0	3.9	1.2	0.0	0.0
⑫わからない	人	134	54	75	5	15	23	18	19	31	26	2	11	9	10	21	9	26	0	7	18	18	5	47	45	28	11	3
	%	17.7	17.3	17.3	35.7	17.0	18.5	18.2	16.8	19.7	15.5	20.0	22.0	23.1	11.4	15.7	13.2	20.3	0.0	10.9	17.8	36.0	26.3	17.3	19.7	16.7	14.7	20.0
無回答	人	14	2	12	0	0	1	0	1	5	7	0	2	0	0	2	1	2	0	3	3	1	0	5	2	4	3	0
	%	1.8	0.6	2.8	0.0	0.0	0.8	0.0	0.9	3.2	4.2	0.0	4.0	0.0	0.0	1.5	1.5	1.6	0.0	4.7	3.0	2.0	0.0	1.8	0.9	2.4	4.0	0.0

問９　あなたは他人の人権を傷つけたことがあると思いますか。（回答は１つだけ）

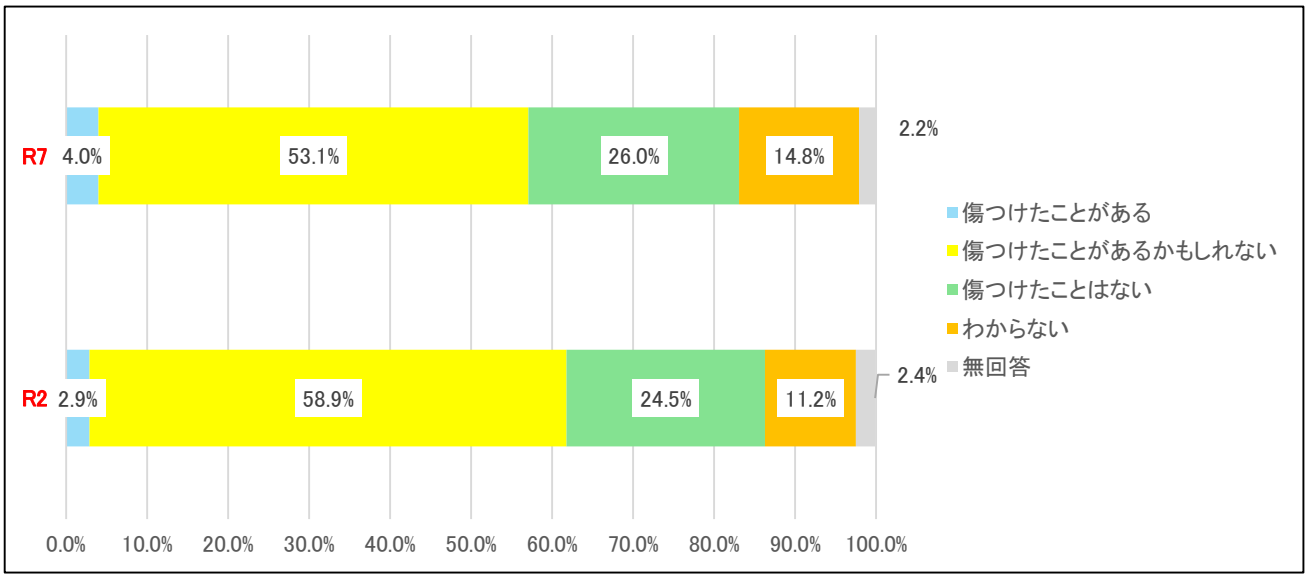
○今回調査の結果

「傷つけたことがあるかもしれない」（53.1%）と回答した人の割合が最も高くなっています。このことは、「故意に他人を傷つけようとしたつもりはない」としながらも、相手の捉え方によっては、「もしかしたら」と自分を省みる姿勢が伺えます。



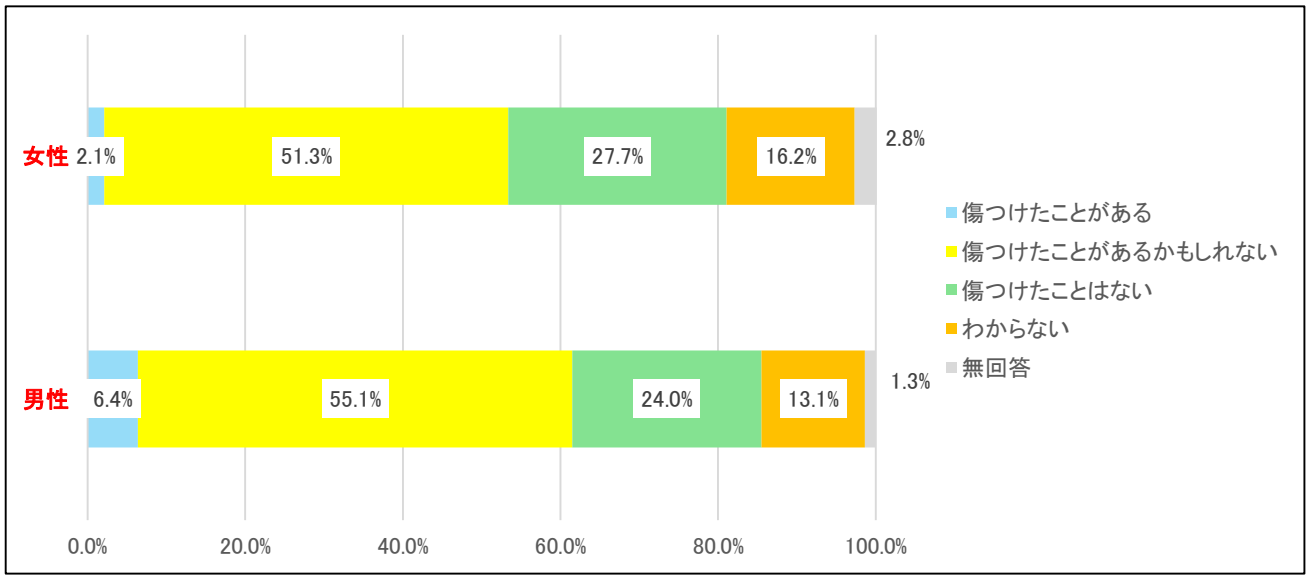
○前回調査との比較

前回調査と比較すると、「傷つけたことがある」と回答した人の割合は 1.1%増加しています。一方で、「傷つけたことはない」と回答した人の割合も 1.5%増加しています。



○性別での比較

「傷つけたことがある」、「傷つけたことがあるかもしれない」と回答した人の割合は、女性より男性の方が高くなっています。



○性別、年齢別、職業別、地区別の結果一覧

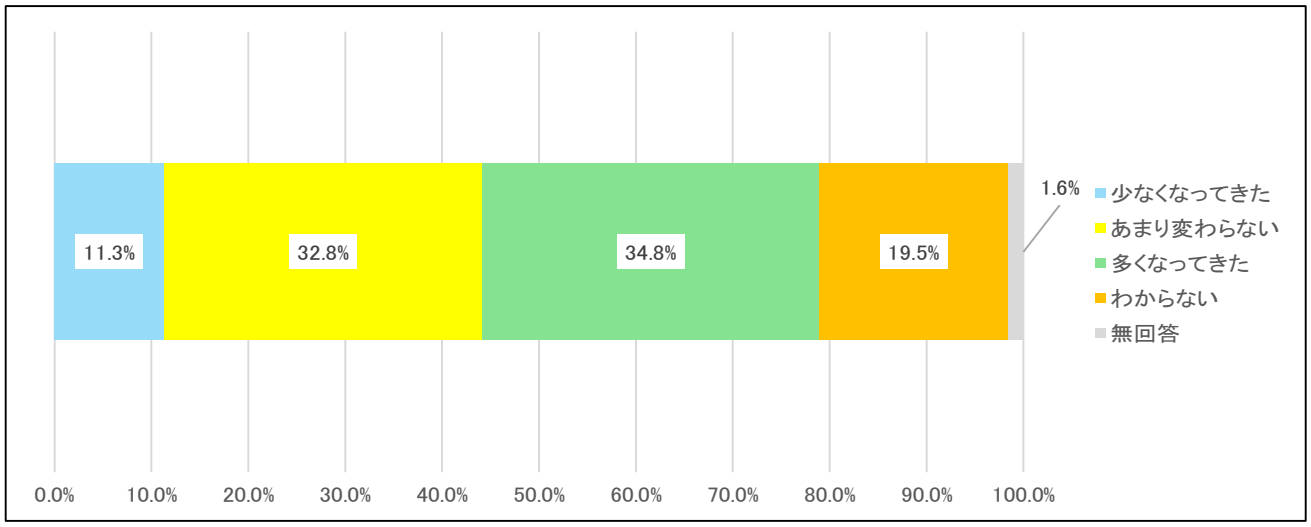
	単位	全体	性別			年齢別							職業別										地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
①他人の人権を傷つけたことがある	人	30	20	9	1	8	4	3	7	6	1	1	4	4	2	4	5	3	0	0	3	3	2	11	10	4	3	2
	%	4.0	6.4	2.1	7.1	9.1	3.2	3.0	6.2	3.8	0.6	10.0	8.0	10.3	2.3	3.0	7.4	2.3	0.0	0.0	3.0	6.0	10.5	4.0	4.4	2.4	4.0	13.3
②自分では気づかないが、他人の人権を傷つけたことがあるかもしれない	人	403	172	222	9	36	73	60	63	83	82	6	26	16	54	81	44	71	9	27	43	25	7	142	115	95	45	6
	%	53.1	55.1	51.3	64.3	40.9	58.9	60.6	55.8	52.9	48.8	60.0	52.0	41.0	61.4	60.4	64.7	55.5	50.0	42.2	42.6	50.0	36.8	52.2	50.2	56.5	60.0	40.0
③他人の人権を傷つけたことはない	人	197	75	120	2	26	30	19	29	37	54	2	11	13	20	28	8	31	7	27	34	15	3	71	71	39	13	3
	%	26.0	24.0	27.7	14.3	29.5	24.2	19.2	25.7	23.6	32.1	20.0	22.0	33.3	22.7	20.9	11.8	24.2	38.9	42.2	33.7	30.0	15.8	26.1	31.0	23.2	17.3	20.0
④わからない	人	112	41	70	1	18	15	17	14	27	20	1	8	5	12	21	10	19	2	8	16	4	7	40	30	28	11	3
	%	14.8	13.1	16.2	7.1	20.5	12.1	17.2	12.4	17.2	11.9	10.0	16.0	12.8	13.6	15.7	14.7	14.8	11.1	12.5	15.8	8.0	36.8	14.7	13.1	16.7	14.7	20.0
無回答	人	17	4	12	1	0	2	0	0	4	11	0	1	1	0	0	1	4	0	2	5	3	0	8	3	2	3	1
	%	2.2	1.3	2.8	7.1	0.0	1.6	0.0	0.0	2.5	6.5	0.0	2.0	2.6	0.0	0.0	1.5	3.1	0.0	3.1	5.0	6.0	0.0	2.9	1.3	1.2	4.0	6.7

問 10　新聞、テレビ、インターネットなどで「人権が侵害された」と報道されることがありますが、あなたはここ数年の間に日本で人権が侵害されるようなことについて、どのように変わったと思いますか。（回答は１つだけ）　※今回調査から追加しています。

○今回調査の結果

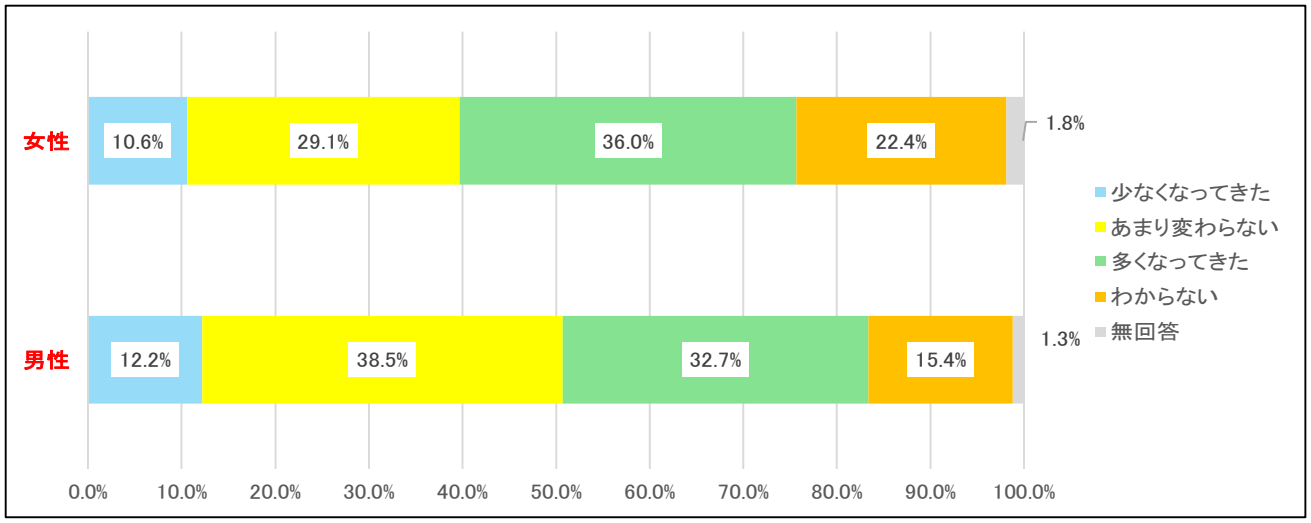
近年の人権侵害の変化をみるために新たに追加した質問です。「多くなってきた」（34.8%）と回答した人の割合が最も高くなっている一方で、「あまり変わらない」（32.8%）と回答した人の割合も同じくらいになっています。

年齢別でみると、「多くなってきた」と回答した人の割合は、60 歳代（41.4%）と 50 歳代（38.1%）で高くなっています。また、「あまり変わらない」と回答した人の割合は、40 歳代（41.4%）と 18～29 歳（39.8%）で高くなっています。



○性別での比較

女性の方は、「あまり変わらない」より「多くなってきた」と回答した人の割合が高くなっています。一方で男性の方は「多くなってきた」より「あまり変わらない」と回答した人の割合が高くなっています。



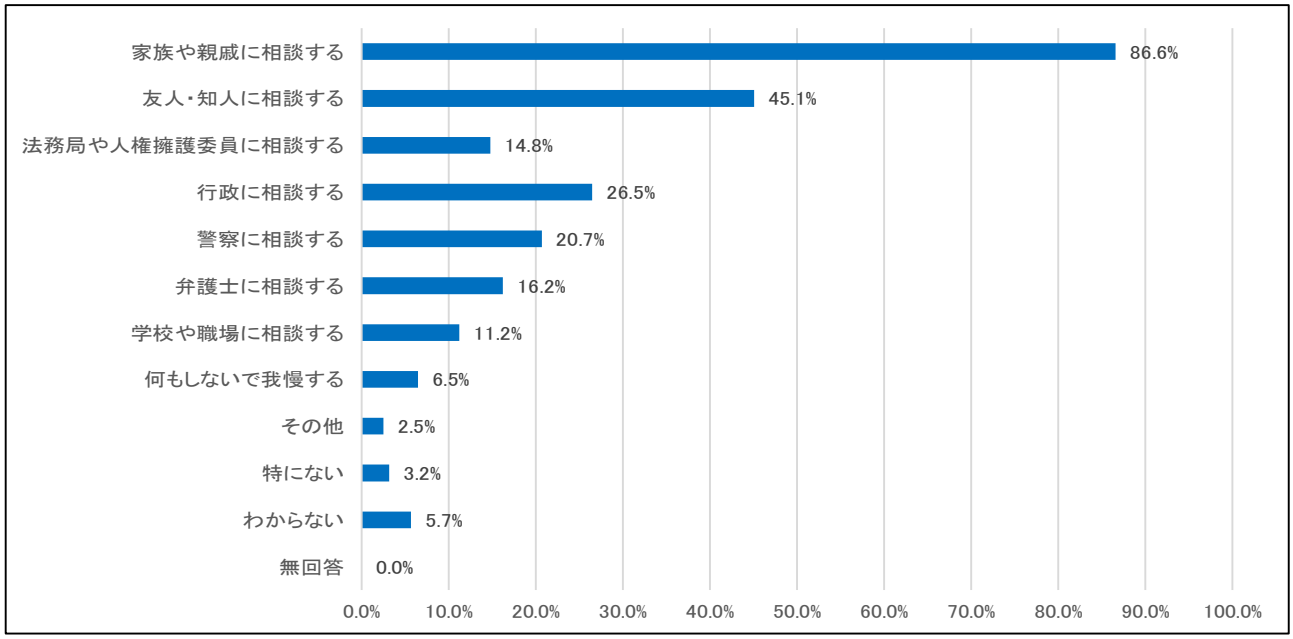
○性別、年齢別、職業別、地区別の結果一覧

	単位	全体	性別			年齢別							職業別										地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
①少なくなってきた	人	86	38	46	2	8	14	10	16	18	17	3	9	1	7	15	12	15	4	8	9	3	3	28	29	19	7	3
	%	11.3	12.2	10.6	14.3	9.1	11.3	10.1	14.2	11.5	10.1	30.0	18.0	2.6	8.0	11.2	17.6	11.7	22.2	12.5	8.9	6.0	15.8	10.3	12.7	11.3	9.3	20.0
②あまり変わらない	人	249	120	126	3	35	37	41	37	51	46	2	20	11	35	51	25	41	5	14	27	15	5	90	80	51	25	3
	%	32.8	38.5	29.1	21.4	39.8	29.8	41.4	32.7	32.5	27.4	20.0	40.0	28.2	39.8	38.1	36.8	32.0	27.8	21.9	26.7	30.0	26.3	33.1	34.9	30.4	33.3	20.0
③多くなってきた	人	264	102	156	6	23	44	31	43	65	56	2	7	21	29	40	22	48	5	29	38	20	5	95	73	64	28	4
	%	34.8	32.7	36.0	42.9	26.1	35.5	31.3	38.1	41.4	33.3	20.0	14.0	53.8	33.0	29.9	32.4	37.5	27.8	45.3	37.6	40.0	26.3	34.9	31.9	38.1	37.3	26.7
④わからない	人	148	48	97	3	21	27	17	16	19	45	3	13	6	16	27	8	23	4	13	24	8	6	52	46	31	14	5
	%	19.5	15.4	22.4	21.4	23.9	21.8	17.2	14.2	12.1	26.8	30.0	26.0	15.4	18.2	20.1	11.8	18.0	22.2	20.3	23.8	16.0	31.6	19.1	20.1	18.5	18.7	33.3
無回答	人	12	4	8	0	1	2	0	1	4	4	0	1	0	1	1	1	1	0	0	3	4	0	7	1	3	1	0
	%	1.6	1.3	1.8	0.0	1.1	1.6	0.0	0.9	2.5	2.4	0.0	2.0	0.0	1.1	0.7	1.5	0.8	0.0	0.0	3.0	8.0	0.0	2.6	0.4	1.8	1.3	0.0

問 11　もし、あなたが人権侵害を受け、自分ひとりでは解決できないと判断した場合、どのように対処しますか。（回答は３つまで）

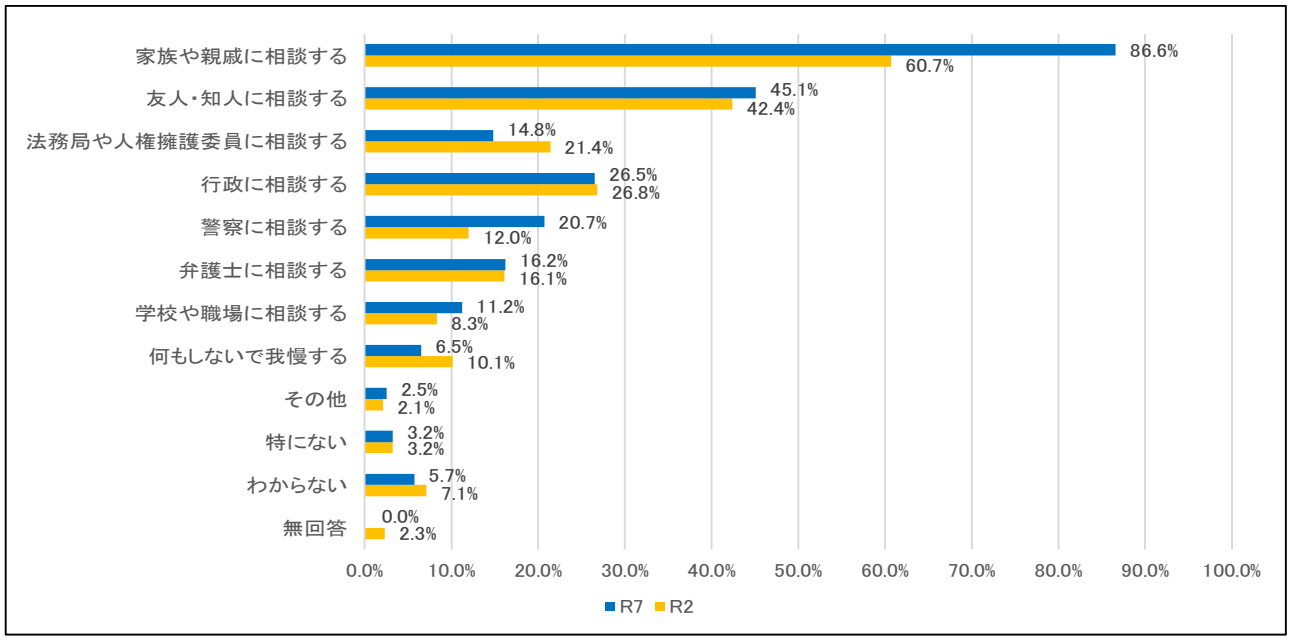
○今回調査の結果

「家族や親戚に相談する」（86.6%）、「友人・知人に相談する」（45.1%）と回答した人の割合が高くなっています。これは、多くの人が身近に相談できる環境があることが読み取れます。



○前回調査との比較

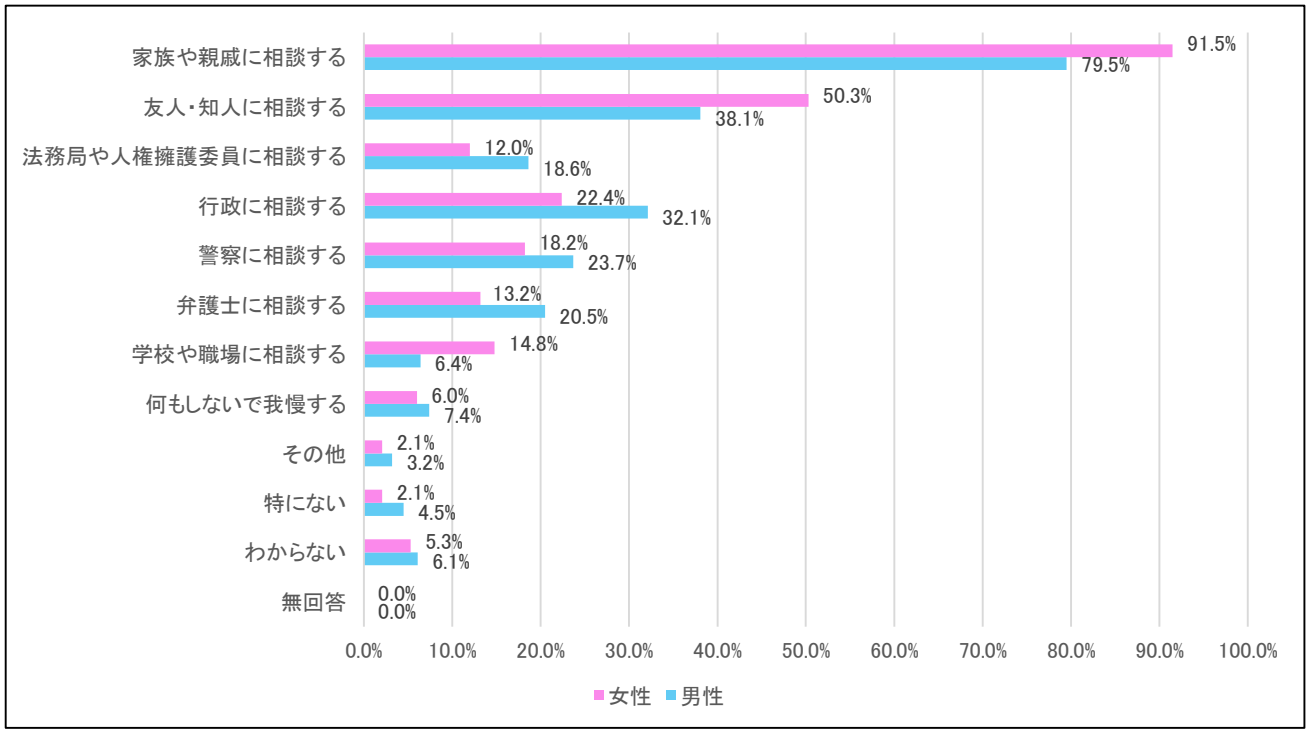
前回調査と比較すると、「家族や親戚に相談する」、「友人・知人に相談する」と回答した人の割合が増加していますが、「法務局や人権擁護委員に相談する」、「行政に相談する」といった専門機関への相談と回答した人の割合は減少しています。また、「何もしないで我慢する」と回答した人の割合も減少しています。



○性別での比較

「家族や親戚に相談する」と回答した人の割合は、男性より女性の方が高くなっています。

また、「行政に相談する」「警察に相談する」「弁護士に相談する」と回答した人の割合は、女性より男性の方が高くなっています。



○性別、年齢別、職業別、地区別の結果の一覧

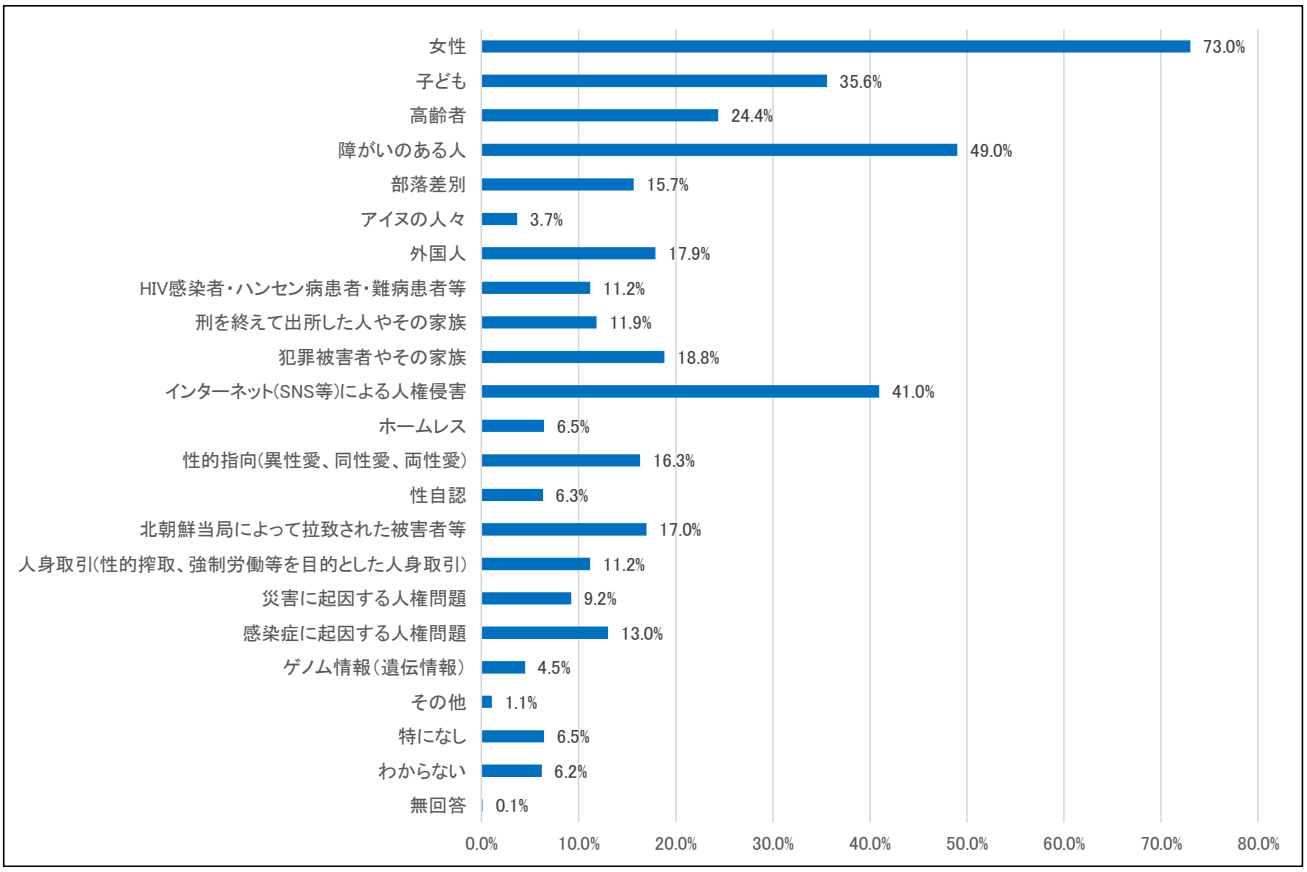
	単位	全体	性別			年齢別							職業別										地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
①家族や親戚に相談する	人	657	248	396	13	65	104	85	93	143	158	9	45	32	75	108	52	112	16	63	96	43	15	235	197	139	73	13
	%	86.6	79.5	91.5	92.9	73.9	83.9	85.9	82.3	91.1	94.0	90.0	90.0	82.1	85.2	80.6	76.5	87.5	88.9	98.4	95.0	86.0	78.9	86.4	86.0	82.7	97.3	86.7
②友人・知人に相談する	人	342	119	218	5	45	67	42	55	70	60	3	20	19	48	56	27	65	13	33	36	19	6	134	104	68	33	3
	%	45.1	38.1	50.3	35.7	51.1	54.0	42.4	48.7	44.6	35.7	30.0	40.0	48.7	54.5	41.8	39.7	50.8	72.2	51.6	35.6	38.0	31.6	49.3	45.4	40.5	44.0	20.0
③法務局や人権擁護委員に相談する	人	112	58	52	2	8	10	15	9	25	43	2	7	1	11	19	7	18	2	10	26	9	2	43	28	28	10	3
	%	14.8	18.6	12.0	14.3	9.1	8.1	15.2	8.0	15.9	25.6	20.0	14.0	2.6	12.5	14.2	10.3	14.1	11.1	15.6	25.7	18.0	10.5	15.8	12.2	16.7	13.3	20.0
④行政に相談する	人	201	100	97	4	11	21	14	28	57	68	2	20	18	15	30	20	25	1	20	41	9	2	74	56	49	19	3
	%	26.5	32.1	22.4	28.6	12.5	16.9	14.1	24.8	36.3	40.5	20.0	40.0	46.2	17.0	22.4	29.4	19.5	5.6	31.3	40.6	18.0	10.5	27.2	24.5	29.2	25.3	20.0
⑤警察に相談する	人	157	74	79	4	12	21	23	23	33	43	2	12	12	11	31	17	26	0	9	28	9	2	52	54	33	17	1
	%	20.7	23.7	18.2	28.6	13.6	16.9	23.2	20.4	21.0	25.6	20.0	24.0	30.8	12.5	23.1	25.0	20.3	0.0	14.1	27.7	18.0	10.5	19.1	23.6	19.6	22.7	6.7
⑥弁護士に相談する	人	123	64	57	2	10	17	16	27	27	24	2	9	11	11	23	14	14	4	12	14	9	2	41	40	29	10	3
	%	16.2	20.5	13.2	14.3	11.4	13.7	16.2	23.9	17.2	14.3	20.0	18.0	28.2	12.5	17.2	20.6	10.9	22.2	18.8	13.9	18.0	10.5	15.1	17.5	17.3	13.3	20.0
⑦学校や職場に相談する	人	85	20	64	1	19	24	21	8	9	4	0	0	3	23	16	16	15	4	2	0	6	0	26	32	17	8	2
	%	11.2	6.4	14.8	7.1	21.6	19.4	21.2	7.1	5.7	2.4	0.0	0.0	7.7	26.1	11.9	23.5	11.7	22.2	3.1	0.0	12.0	0.0	9.6	14.0	10.1	10.7	13.3
⑧何もしないで我慢する	人	49	23	26	0	8	9	11	6	9	6	0	2	5	10	8	5	6	0	1	4	6	2	22	10	15	1	1
	%	6.5	7.4	6.0	0.0	9.1	7.3	11.1	5.3	5.7	3.6	0.0	4.0	12.8	11.4	6.0	7.4	4.7	0.0	1.6	4.0	12.0	10.5	8.1	4.4	8.9	1.3	6.7
⑨その他	人	19	10	9	0	5	1	3	3	2	5	0	0	0	2	5	2	1	0	1	3	4	1	7	4	5	3	0
	%	2.5	3.2	2.1	0.0	5.7	0.8	3.0	2.7	1.3	3.0	0.0	0.0	0.0	2.3	3.7	2.9	0.8	0.0	1.6	3.0	8.0	5.3	2.6	1.7	3.0	4.0	0.0
⑩特にない	人	24	14	9	1	4	2	2	1	5	10	0	1	2	2	4	2	2	0	1	6	3	1	13	5	5	1	0
	%	3.2	4.5	2.1	7.1	4.5	1.6	2.0	0.9	3.2	6.0	0.0	2.0	5.1	2.3	3.0	2.9	1.6	0.0	1.6	5.9	6.0	5.3	4.8	2.2	3.0	1.3	0.0
⑪わからない	人	43	19	23	1	5	8	6	5	9	9	1	3	3	3	11	1	7	1	1	8	2	3	18	8	10	4	3
	%	5.7	6.1	5.3	7.1	5.7	6.5	6.1	4.4	5.7	5.4	10.0	6.0	7.7	3.4	8.2	1.5	5.5	5.6	1.6	7.9	4.0	15.8	6.6	3.5	6.0	5.3	20.0
無回答	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 12　日本社会には、人権に関わるいろいろな問題がありますが、あなたが関心のあるもので重要と思われるものを選んでください。（回答はいくつでも可）

○今回調査の結果

「女性」（73.0%）、「障がいのある人」（49.0%）、次いで「インターネット（SNS 等）による人権侵害」（41.0%）の順となっています。すべての年代において、「女性」と回答した人の割合が最も高くなっています。

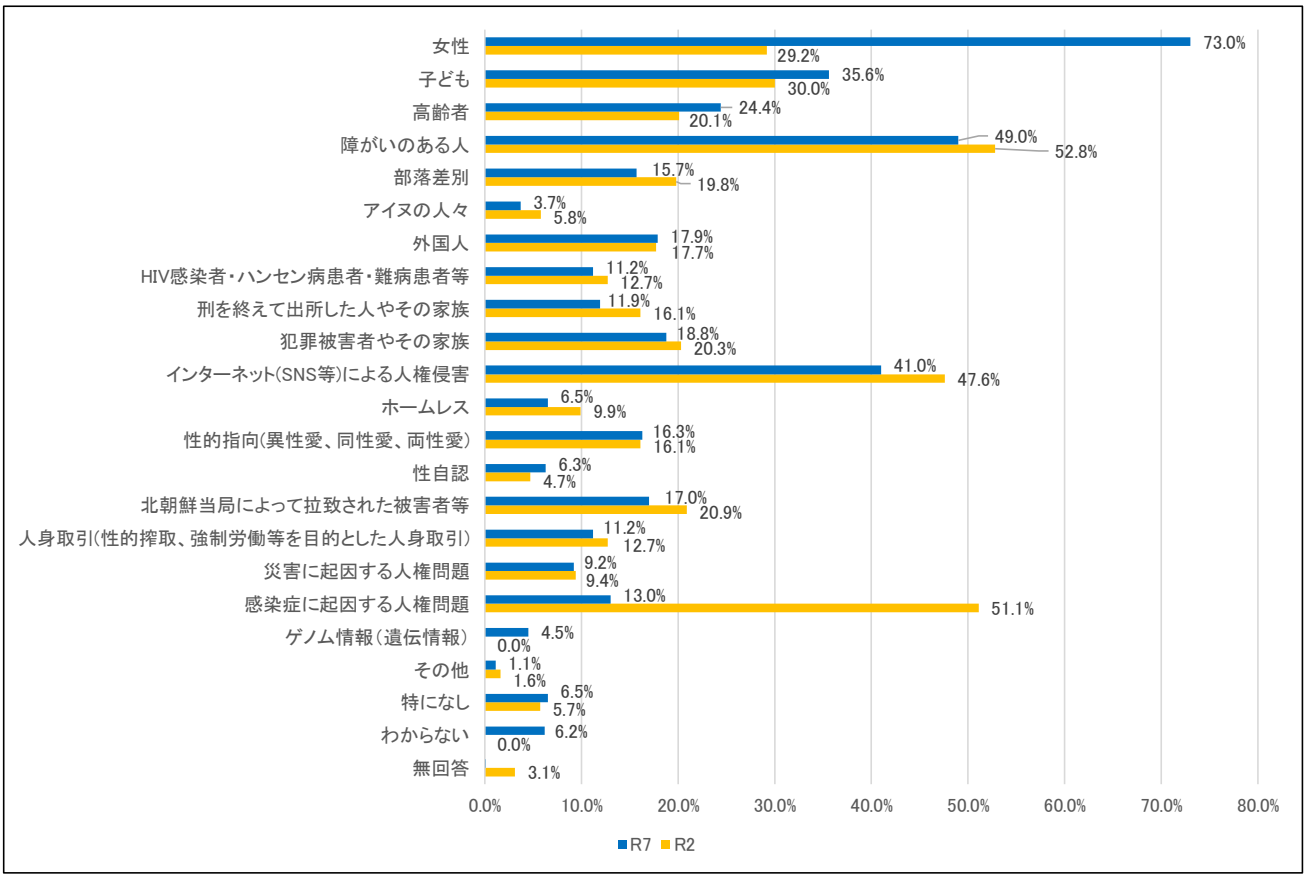
この結果により女性を不利益な扱いから守る男女共同参画社会への関心が高まっていることが分かります。



○前回調査との比較

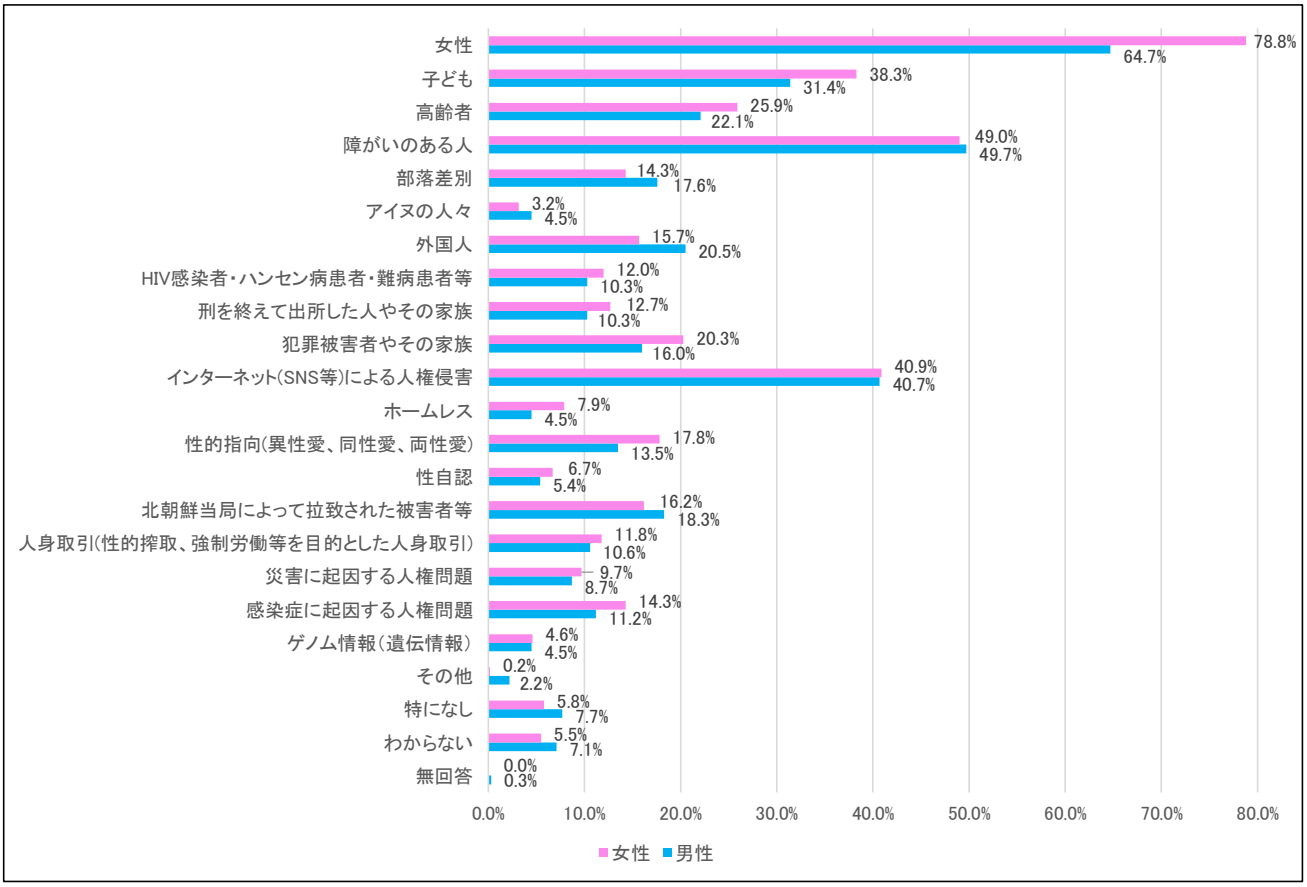
前回調査では、「障がいのある人」と回答した人の割合が最も高くなっていましたが、今回調査では、「女性」と回答した人の割合が最も高くなっています。

その一方で、「感染症に起因する人権問題」が大幅に減少しています。これは、前回調査時(R2 年)が新型コロナウイルス禍であったことが反映されていたものと考えられます。



○性別での比較

女性、男性ともに関心がある人権問題では、「女性」と回答した人の割合が最も高くなっています。次いで、「障がいのある人」、「インターネット（ＳＮＳ等）による人権侵害」と同じ結果となっています。



○性別、年齢別、職業別、地区別の結果の一覧

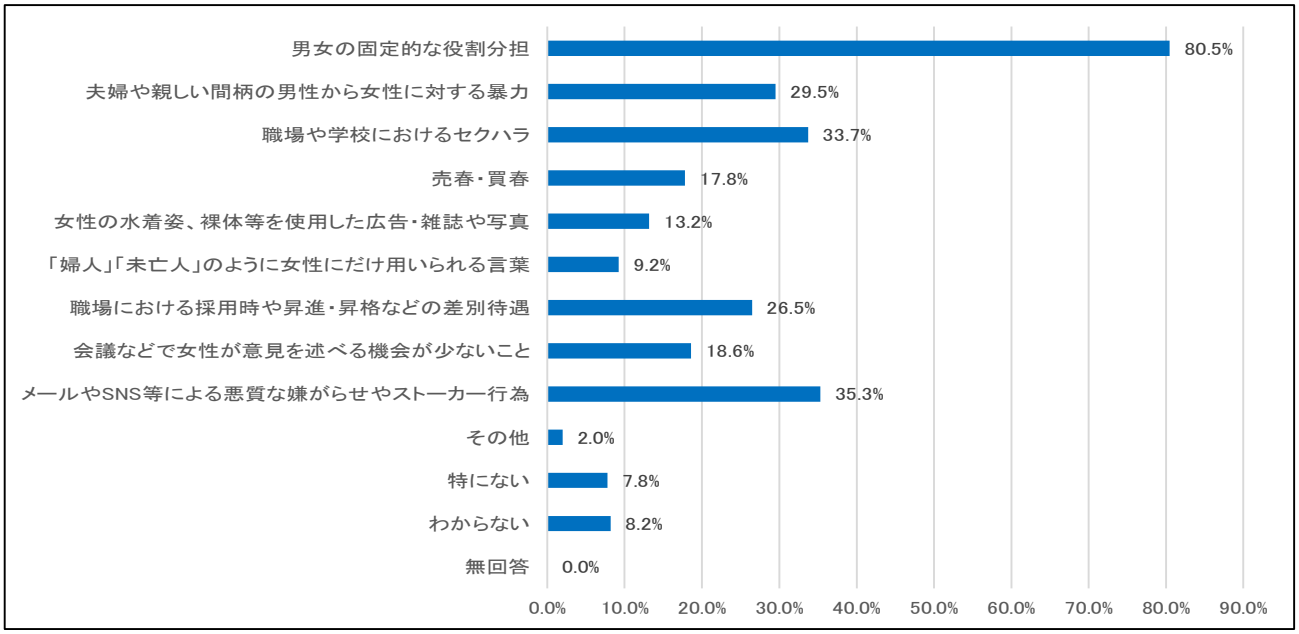
	単位	全体	性別			年齢別							職業別											地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
	回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
①	女性	人	554	202	341	11	50	74	59	78	132	154	7	41	32	61	89	34	94	9	57	92	34	11	201	153	119	69	12
		%	73.0	64.7	78.8	78.6	56.8	59.7	59.6	69.0	84.1	91.7	70.0	82.0	82.1	69.3	66.4	50.0	73.4	50.0	89.1	91.1	68.0	57.9	73.9	66.8	70.8	92.0	80.0
②	子ども	人	270	98	166	6	25	59	38	50	44	50	4	14	15	46	42	27	54	3	19	28	18	4	91	86	62	25	6
		%	35.6	31.4	38.3	42.9	28.4	47.6	38.4	44.2	28.0	29.8	40.0	28.0	38.5	52.3	31.3	39.7	42.2	16.7	29.7	27.7	36.0	21.1	33.5	37.6	36.9	33.3	40.0
③	高齢者	人	185	69	112	4	17	21	17	37	39	52	2	8	12	32	26	13	33	0	18	29	13	1	61	59	44	19	2
		%	24.4	22.1	25.9	28.6	19.3	16.9	17.2	32.7	24.8	31.0	20.0	16.0	30.8	36.4	19.4	19.1	25.8	0.0	28.1	28.7	26.0	5.3	22.4	25.8	26.2	25.3	13.3
④	障がいのある人	人	372	155	212	5	37	61	54	63	77	75	5	24	23	50	59	37	63	10	28	49	23	6	140	112	81	35	4
		%	49.0	49.7	49.0	35.7	42.0	49.2	54.5	55.8	49.0	44.6	50.0	48.0	59.0	56.8	44.0	54.4	49.2	55.6	43.8	48.5	46.0	31.6	51.5	48.9	48.2	46.7	26.7
⑤	部落差別（同和問題）	人	119	55	62	2	8	20	18	20	26	26	1	7	8	15	20	17	17	1	9	13	10	2	44	34	28	10	3
		%	15.7	17.6	14.3	14.3	9.1	16.1	18.2	17.7	16.6	15.5	10.0	14.0	20.5	17.0	14.9	25.0	13.3	5.6	14.1	12.9	20.0	10.5	16.2	14.8	16.7	13.3	20.0
⑥	アイヌの人々	人	28	14	14	0	2	4	5	7	4	6	0	1	4	2	6	4	3	0	1	3	4	0	10	11	5	1	1
		%	3.7	4.5	3.2	0.0	2.3	3.2	5.1	6.2	2.5	3.6	0.0	2.0	10.3	2.3	4.5	5.9	2.3	0.0	1.6	3.0	8.0	0.0	3.7	4.8	3.0	1.3	6.7
⑦	外国人	人	136	64	68	4	13	27	22	23	32	18	1	6	11	21	27	14	22	3	6	12	8	6	49	48	22	13	4
		%	17.9	20.5	15.7	28.6	14.8	21.8	22.2	20.4	20.4	10.7	10.0	12.0	28.2	23.9	20.1	20.6	17.2	16.7	9.4	11.9	16.0	31.6	18.0	21.0	13.1	17.3	26.7
⑧	HIV感染者・ハンセン病疾患者・難病患者等	人	85	32	52	1	7	12	16	23	11	15	1	3	10	12	13	8	13	0	6	12	6	2	34	24	20	5	2
		%	11.2	10.3	12.0	7.1	8.0	9.7	16.2	20.4	7.0	8.9	10.0	6.0	25.6	13.6	9.7	11.8	10.2	0.0	9.4	11.9	12.0	10.5	12.5	10.5	11.9	6.7	13.3
⑨	刑を終えて出所した人やその家族等	人	90	32	55	3	10	12	14	13	21	18	2	3	10	5	15	8	26	1	7	9	4	2	31	26	21	9	3
		%	11.9	10.3	12.7	21.4	11.4	9.7	14.1	11.5	13.4	10.7	20.0	6.0	25.6	5.7	11.2	11.8	20.3	5.6	10.9	8.9	8.0	10.5	11.4	11.4	12.5	12.0	20.0
⑩	犯罪被害者やその家族等	人	143	50	88	5	11	24	23	23	26	33	3	11	7	16	20	11	32	1	15	18	8	4	47	43	34	15	4
		%	18.8	16.0	20.3	35.7	12.5	19.4	23.2	20.4	16.6	19.6	30.0	22.0	17.9	18.2	14.9	16.2	25.0	5.6	23.4	17.8	16.0	21.1	17.3	18.8	20.2	20.0	26.7
⑪	インターネット(SNS等)による人権侵害	人	311	127	177	7	27	63	42	51	63	60	5	17	17	31	56	36	52	8	28	36	21	9	107	108	56	34	6
		%	41.0	40.7	40.9	50.0	30.7	50.8	42.4	45.1	40.1	35.7	50.0	34.0	43.6	35.2	41.8	52.9	40.6	44.4	43.8	35.6	42.0	47.4	39.3	47.2	33.3	45.3	40.0
⑫	ホームレス	人	49	14	34	1	4	6	8	9	12	10	0	5	2	6	4	8	10	0	5	6	1	2	13	17	13	5	1
		%	6.5	4.5	7.9	7.1	4.5	4.8	8.1	8.0	7.6	6.0	0.0	10.0	5.1	6.8	3.0	11.8	7.8	0.0	7.8	5.9	2.0	10.5	4.8	7.4	7.7	6.7	6.7
⑬	性的指向(異性愛、同性愛、両性愛)	人	124	42	77	5	23	32	21	20	10	15	3	4	7	16	17	17	25	5	10	10	7	6	41	46	22	10	5
		%	16.3	13.5	17.8	35.7	26.1	25.8	6.0	17.7	6.4	8.9	30.0	8.0	17.9	18.2	12.7	25.0	19.5	27.8	15.6	9.9	14.0	31.6	15.1	20.1	13.1	13.3	33.3
⑭	性自認	人	48	17	29	2	12	21	6	5	1	2	1	1	4	5	7	9	9	6	1	1	3	2	20	17	8	1	2
		%	6.3	5.4	6.7	14.3	13.6	16.9	6.1	4.4	0.6	1.2	10.0	2.0	10.3	5.7	5.2	13.2	7.0	33.3	1.6	1.0	6.0	10.5	7.4	7.4	4.8	1.3	13.3
⑮	北朝鮮当局によって拉致された被害者等	人	129	57	70	2	5	12	10	19	32	51	0	11	7	7	23	15	18	0	13	23	11	1	48	37	25	17	2
		%	17.0	18.3	16.2	14.3	5.7	9.7	10.1	16.8	20.4	30.4	0.0	22.0	17.9	8.0	17.2	22.1	14.1	0.0	20.3	22.8	22.0	5.3	17.6	16.2	14.9	22.7	13.3
⑯	人身取引(性的搾取、強制労働等を目的とした人身取引)	人	85	33	51	1	8	18	9	17	13	19	1	6	8	4	15	9	16	2	8	8	8	1	33	22	14	12	4
		%	11.2	10.6	11.8	7.1	9.1	14.5	9.1	15.0	8.3	11.3	10.0	12.0	20.5	4.5	11.2	13.2	12.5	11.1	12.5	7.9	16.0	5.3	12.1	9.6	8.3	16.0	26.7
⑰	災害に起因する人権問題	人	70	27	42	1	7	15	11	13	12	11	1	8	5	7	14	9	10	0	9	1	6	1	30	19	11	9	1
		%	9.2	8.7	9.7	7.1	8.0	12.1	11.1	11.5	7.6	6.5	10.0	16.0	12.8	8.0	10.4	13.2	7.8	0.0	14.1	1.0	12.0	5.3	11.0	8.3	6.5	12.0	6.7
⑱	感染症に起因する人権問題	人	99	35	62	2	11	15	18	16	22	15	2	6	8	13	16	8	15	2	13	8	7	3	41	30	18	8	2
		%	13.0	11.2	14.3	14.3	12.5	12.1	18.2	14.2	14.0	8.9	20.0	12.0	20.5	14.8	11.9	11.8	11.7	11.1	20.3	7.9	14.0	15.8	15.1	13.1	10.7	10.7	13.3
⑲	ゲノム情報(遺伝情報)	人	34	14	20	0	1	8	4	11	3	7	0	3	7	2	2	7	6	0	3	2	2	0	10	10	9	5	0
		%	4.5	4.5	4.6	0.0	1.1	6.5	4.0	9.7	1.9	4.2	0.0	6.0	17.9	2.3	1.5	10.3	4.7	0.0	4.7	2.0	4.0	0.0	3.7	4.4	5.4	6.7	0.0
⑳	その他	人	8	7	1	0	0	2	1	1	1	3	0	1	3	0	2	1	0	0	0	1	0	0	2	3	2	1	0
		%	1.1	2.2	0.2	0.0	0.0	1.6	1.0	0.9	0.6	1.8	0.0	2.0	7.7	0.0	1.5	1.5	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.7	1.3	1.2	1.3	0.0
㉑	特にない	人	49	24	25	0	10	8	4	4	8	15	0	2	4	1	9	4	6	2	4	11	6	0	21	12	13	3	0
		%	6.5	7.7	5.8	0.0	11.4	6.5	4.0	3.5	5.1	8.9	0.0	4.0	10.3	1.1	6.7	5.9	4.7	11.1	6.3	10.9	12.0	0.0	7.7	5.2	7.7	4.0	0.0
㉒	わからない	人	47	22	24	1	8	7	6	6	11	8	1	6	3	7	9	2	5	0	2	7	3	3	18	15	8	4	2
		%	6.2	7.1	5.5	7.1	9.1	5.6	6.1	5.3	7.0	4.8	10.0	12.0	7.7	8.0	6.7	2.9	3.9	0.0	3.1	6.9	6.0	15.8	6.6	6.6	4.8	5.3	13.3
	無回答	人	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
		%	0.1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0

3　女性の人権について

問 13　女性に関することがらで、あなたが特に問題があると思われるのはどのようなことですか。（回答はいくつでも可）

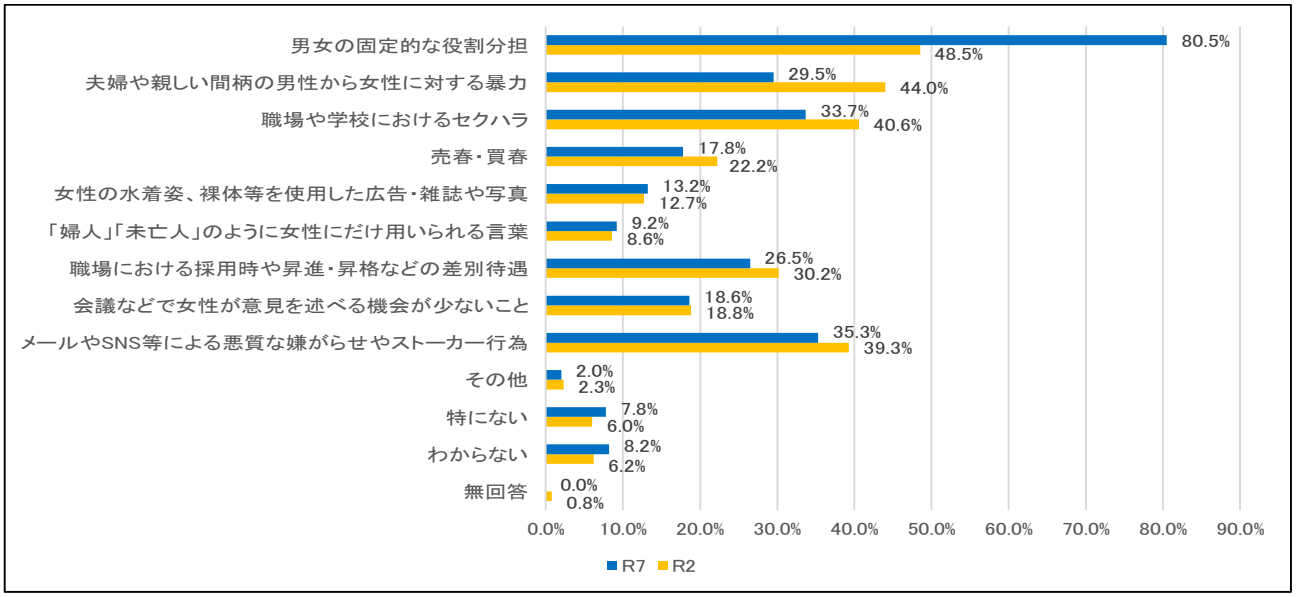
○今回調査の結果

「男女の固定的な役割分担意識」（80.5%）と回答した人の割合が 8 割を超えています。次いで、「メールや SNS 等による悪質な嫌がらせやストーカー行為」（35.3%）、「職場や学校におけるセクハラ」（33.7%）の順となっています。



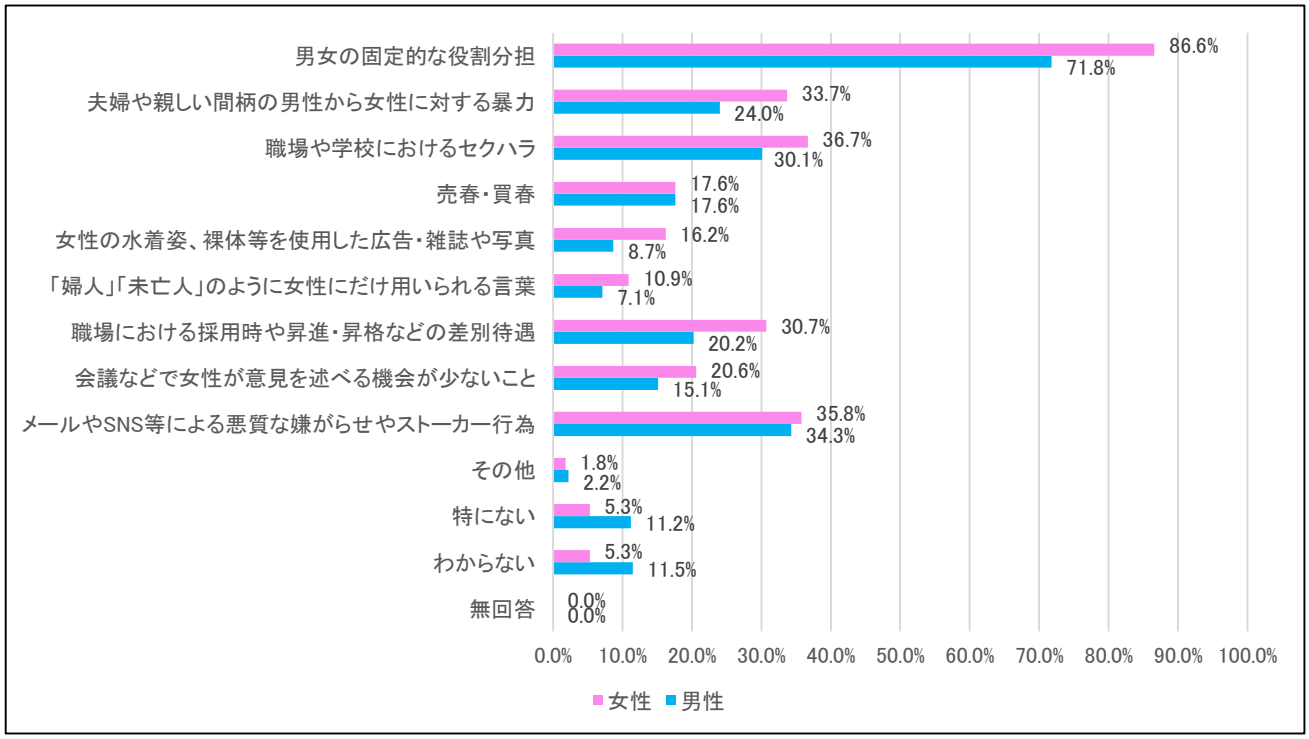
○前回調査との比較

前回調査と比較すると、「男女の固定的な役割分担」と回答した人の割合が 32%増加しており、多くの人が問題に感じていると考えられます。



○性別での比較

「男女の固定的な役割分担」と回答した人の割合は、男性より女性の方が 14.8%高くなっています。また、その他の回答項目の割合についても男性を女性が上回っています。



○性別、年齢別、職業別、地区別の結果

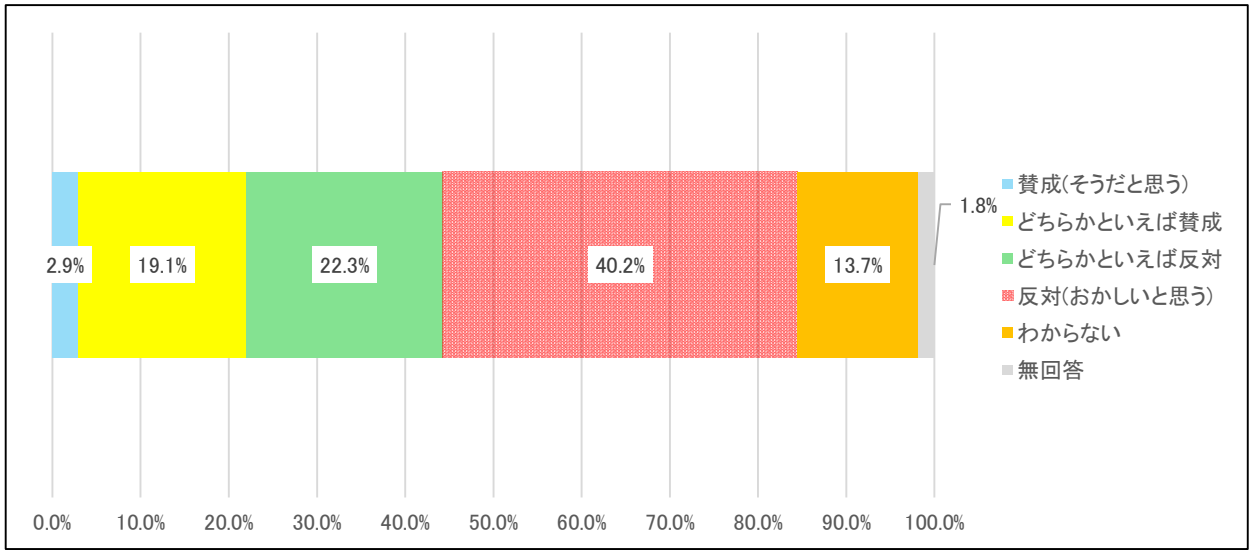
	単位	全体	性別			年齢別							職業別											地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	パート・臨時	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
①男女の固定的な役割分担意識(家事・育児など)	人	611	224	375	12	58	86	72	88	140	159	8	42	32	67	95	48	107	14	60	94	38	14	222	171	136	69	13
	%	80.5	71.8	86.6	85.7	65.9	69.4	72.7	77.9	89.2	94.6	80.0	84.0	82.1	76.1	70.9	70.6	83.6	77.8	93.8	93.1	76.0	73.7	81.6	74.7	81.0	92.0	86.7
②夫婦や親しい間柄の男性から女性に対する暴力(ドメスティック・バイオレンス)	人	224	75	146	3	18	41	27	44	47	45	2	10	9	31	35	24	45	5	21	24	14	6	85	62	49	22	6
	%	29.5	24.0	33.7	21.4	20.5	33.1	27.3	38.9	29.9	26.8	20.0	20.0	23.1	35.2	26.1	35.3	35.2	27.8	32.8	23.8	28.0	31.6	31.3	27.1	29.2	29.3	40.0
③職場や学校におけるセクシャル・ハラスメント	人	256	94	159	3	28	52	29	39	47	59	2	15	12	33	41	20	50	7	27	27	17	7	96	79	49	24	8
	%	33.7	30.1	36.7	21.4	31.8	41.9	29.3	34.5	29.9	35.1	20.0	30.0	30.8	37.5	30.6	29.4	39.1	38.9	42.2	26.7	34.0	36.8	35.3	34.5	29.2	32.0	53.3
④売春・買春(「援助交際」を含む)	人	135	55	76	4	15	29	16	19	19	34	3	3	4	22	25	15	22	1	14	14	12	3	53	31	28	17	6
	%	17.8	17.6	17.6	28.6	17.0	23.4	16.2	16.8	12.1	20.2	30.0	6.0	10.3	25.0	18.7	22.1	17.2	5.6	21.9	13.9	24.0	15.8	19.5	13.5	16.7	22.7	40.0
⑤内容に関係なく女性の水着姿、裸体等を使用した広告・雑誌や写真	人	100	27	70	3	7	13	14	14	25	24	3	6	3	9	11	10	19	3	13	16	7	3	39	25	20	12	4
	%	13.2	8.7	16.2	21.4	8.0	10.5	14.1	12.4	15.9	14.3	30.0	12.0	7.7	10.2	8.2	14.7	14.8	16.7	20.3	15.8	14.0	15.8	14.3	10.9	11.9	16.0	26.7
⑥「婦人」「未亡人」のように女性だけに用いられる言葉	人	70	22	47	1	2	11	14	10	15	17	1	0	3	9	18	8	15	0	7	7	3	0	23	19	20	6	2
	%	9.2	7.1	10.9	7.1	2.3	8.9	14.1	8.8	9.6	10.1	10.0	0.0	7.7	10.2	13.4	11.8	11.7	0.0	10.9	6.9	6.0	0.0	8.5	8.3	11.9	8.0	13.3
⑦職場における採用時や昇進・昇格などの差別待遇	人	201	63	133	5	26	37	28	32	32	43	3	7	11	23	37	15	44	5	18	26	9	6	73	62	40	18	8
	%	26.5	20.2	30.7	35.7	29.5	29.8	28.3	28.3	20.4	25.6	30.0	14.0	28.2	26.1	27.6	22.1	34.4	27.8	28.1	25.7	18.0	31.6	26.8	27.1	23.8	24.0	53.3
⑧政策や方針を決定する会議などで女性が意見を述べる機会が少ないこと	人	141	47	89	5	12	19	15	22	30	40	3	3	7	14	22	10	30	2	20	22	8	3	52	43	23	17	6
	%	18.6	15.1	20.6	35.7	13.6	15.3	15.2	19.5	19.1	23.8	30.0	6.0	17.9	15.9	16.4	14.7	23.4	11.1	31.3	21.8	16.0	15.8	19.1	18.8	13.7	22.7	40.0
⑨メールやインターネット(SNS等)による悪質な嫌がらせやストーカー行為	人	268	107	155	6	18	37	29	42	69	68	5	15	20	26	42	19	48	5	33	34	18	8	113	80	43	25	7
	%	35.3	34.3	35.8	42.9	20.5	29.8	29.3	37.2	43.9	40.5	50.0	30.0	51.3	29.5	31.3	27.9	37.5	27.8	51.6	33.7	36.0	42.1	41.5	34.9	25.6	33.3	46.7
⑩その他	人	15	7	8	0	0	1	3	1	4	6	0	3	2	0	2	2	1	0	1	4	0	0	5	4	4	2	0
	%	2.0	2.2	1.8	0.0	0.0	0.8	3.0	0.9	2.5	3.6	0.0	6.0	5.1	0.0	1.5	2.9	0.8	0.0	1.6	4.0	0.0	0.0	1.8	1.7	2.4	2.7	0.0
⑪特にない	人	15	35	23	1	9	5	11	9	7	17	1	6	4	5	14	4	6	1	4	8	5	2	27	17	10	4	1
	%	2.0	11.2	5.3	7.1	10.2	4.0	11.1	8.0	4.5	10.1	10.0	12.0	10.3	5.7	10.4	5.9	4.7	5.6	6.3	7.9	10.0	10.5	9.9	7.4	6.0	5.3	6.7
⑫わからない	人	62	36	23	3	10	10	6	8	11	16	1	8	5	6	13	4	4	1	2	15	2	2	21	23	10	7	1
	%	8.2	11.5	5.3	21.4	11.4	8.1	6.1	7.1	7.0	9.5	10.0	16.0	12.8	6.8	9.7	5.9	3.1	5.6	3.1	14.9	4.0	10.5	7.7	10.0	6.0	9.3	6.7
無回答	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 14　あなたは、家庭生活において「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」だと思いますか。自分の考えに一番近いものを選んでください。（回答は１つだけ）※今回調査から追加しています。

○今回調査の結果

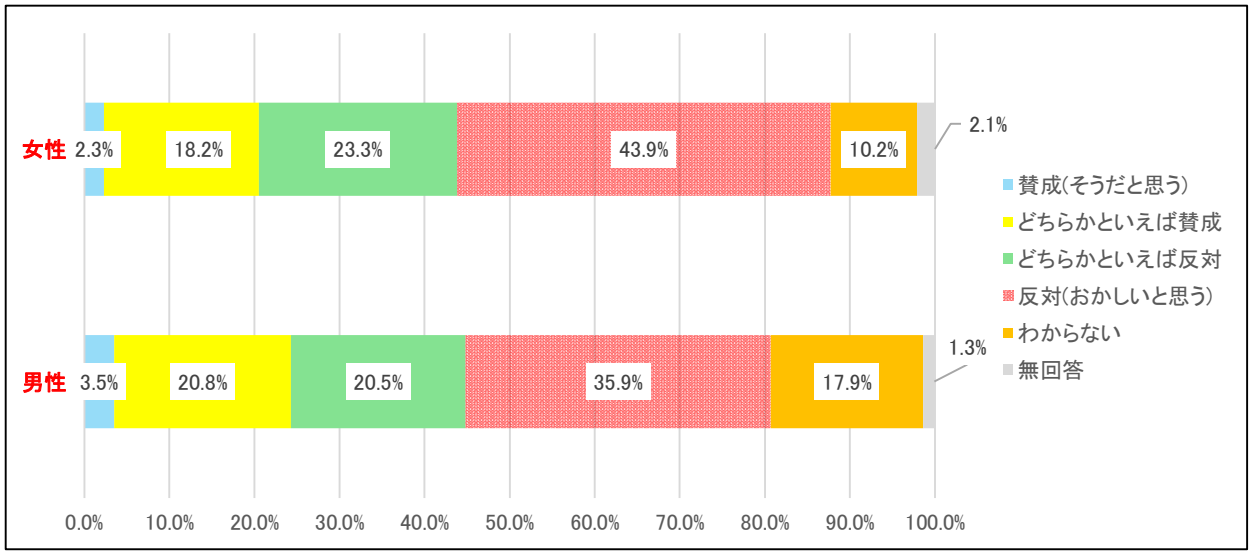
内閣府の「男女共同参画社会に関する世論調査」と同じ質問により、個人の考え方、意識を問うため新たに追加した質問です。「反対(おかしいと思う)」(40.2%)と回答した人の割合が 4 割と最も高くなっています。その一方で「賛成(そうだと思う)」(2.9%)、「どちらかといえば賛成」(19.1%)は 2 割程度となっています。

年齢別でみると、70 歳以上では、「どちらかといえば賛成」(33.3%)と回答した人の割合が、「反対(おかしいと思う)」(30.4%)と回答した人の割合より高くなっています。



○性別での比較

「反対(おかしいと思う)」、「どちらかといえば反対」と回答した人の割合は、女性が男性を 10.8%上回っています。その一方で、「賛成(そうだと思う)」、「どちらかといえば賛成」と回答した人の割合は、男性が女性を 3.8%上回っています。



○性別、年齢別、職業別、地区別の結果

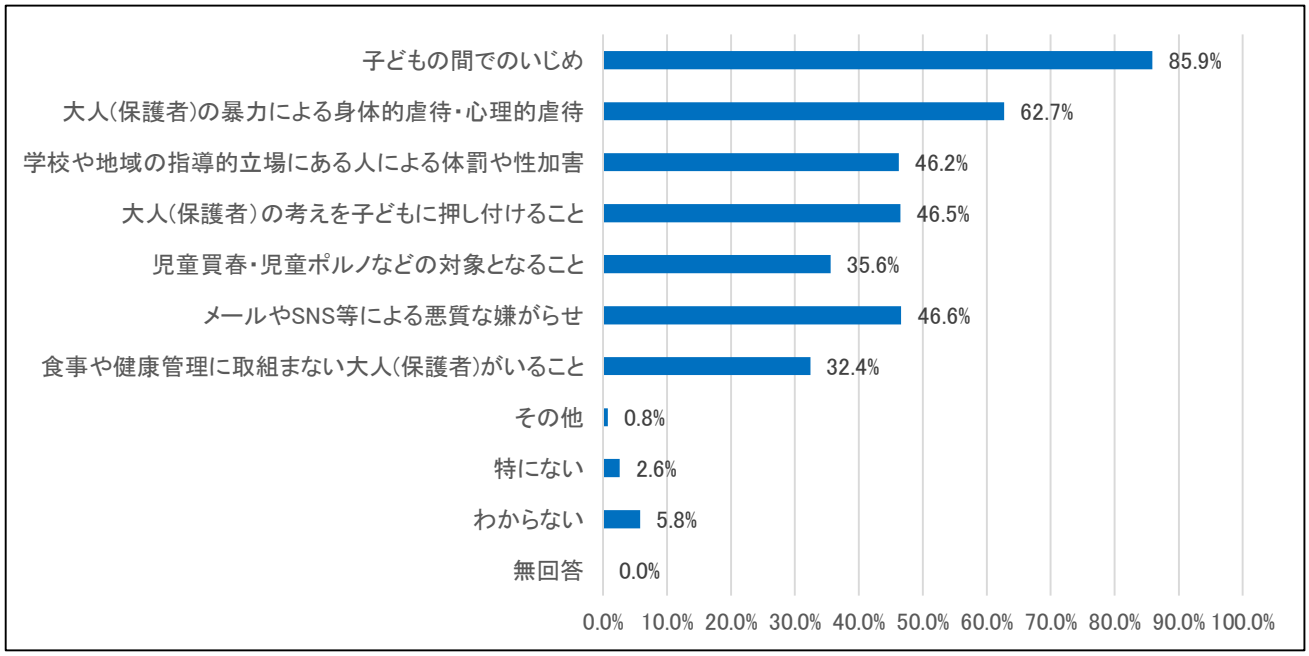
	単位	全体	性別			年齢別							職業別											地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
①賛成（そうだと思う）	人	22	11	10	1	2	3	4	3	4	5	1	5	1	2	3	0	1	0	3	4	2	1	4	6	7	4	1
	%	2.9	3.5	2.3	7.1	2.3	2.4	4.0	2.7	2.5	3.0	10.0	10.0	2.6	2.3	2.2	0.0	0.8	0.0	4.7	4.0	4.0	5.3	1.5	2.6	4.2	5.3	6.7
②どちらかといえば賛成	人	145	65	79	1	8	18	15	14	33	56	1	10	8	10	22	11	29	1	17	26	9	2	47	41	35	21	1
	%	19.1	20.8	18.2	7.1	9.1	14.5	15.2	12.4	21.0	33.3	10.0	20.0	20.5	11.4	16.4	16.2	22.7	5.6	26.6	25.7	18.0	10.5	17.3	17.9	20.8	28.0	6.7
③どちらかといえば反対	人	169	64	101	4	17	26	22	27	40	34	3	7	10	18	30	12	39	4	10	25	12	2	62	54	38	12	3
	%	22.3	20.5	23.3	28.6	19.3	21.0	22.2	23.9	25.5	20.2	30.0	14.0	25.6	20.5	22.4	17.6	30.5	22.2	15.6	24.8	24.0	10.5	22.8	23.6	22.6	16.0	20.0
④反対（おかしいと思う）	人	305	112	190	3	45	59	43	50	54	51	3	17	15	53	62	33	46	8	25	25	14	7	105	101	67	28	4
	%	40.2	35.9	43.9	21.4	51.1	47.6	43.4	44.2	34.4	30.4	30.0	34.0	38.5	60.2	46.3	48.5	35.9	44.4	39.1	24.8	28.0	36.8	38.6	44.1	39.9	37.3	26.7
⑤わからない	人	104	56	44	4	13	17	15	18	23	16	2	10	4	4	17	12	12	3	6	17	12	7	48	22	20	9	5
	%	13.7	17.9	10.2	28.6	14.8	13.7	15.2	15.9	14.6	9.5	20.0	20.0	10.3	4.5	12.7	17.6	9.4	16.7	9.4	16.8	24.0	36.8	17.6	9.6	11.9	12.0	33.3
無回答	人	14	4	9	1	3	1	0	1	3	6	0	1	1	1	0	0	1	2	3	4	1	0	6	5	1	1	1
	%	1.8	1.3	2.1	7.1	3.4	0.8	0.0	0.9	1.9	3.6	0.0	2.0	2.6	1.1	0.0	0.0	0.8	11.1	4.7	4.0	2.0	0.0	2.2	2.2	0.6	1.3	6.7

４　子どもの人権について

問 15　子どもに関することがらで、あなたが特に問題があると思われるのはどのようなことですか。（回答はいくつでも可）

○今回調査の結果

「子どもの間でのいじめ」（85.9%）と回答した人の割合が最も高く 8 割を超えています。また、「大人（保護者）の暴力による身体的虐待・心理的虐待」（62.7%）と回答した人の割合も 6 割を超えています。他の選択肢のほとんどが 3 割を超えており、多くの人が子どもの人権に対して問題があると考えていることが分かります。

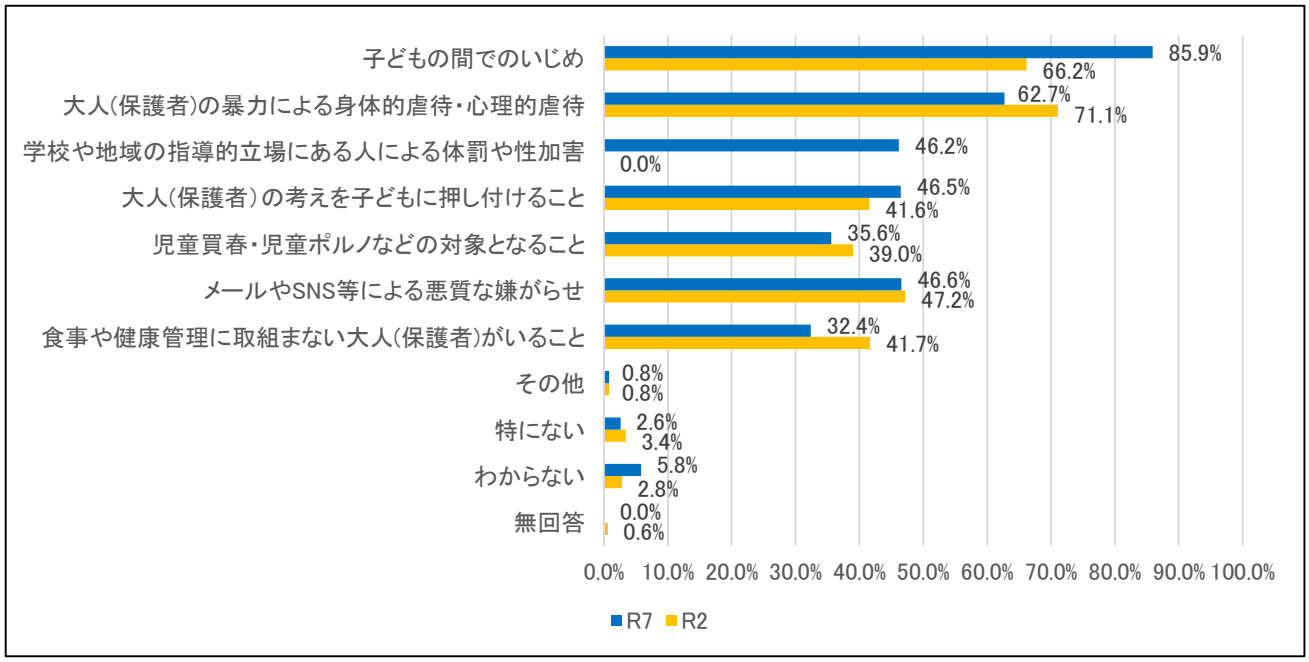


※今回調査から、選択肢「学校や地域の指導的立場にある人による体罰や性加害」を追加しています。

○前回調査との比較

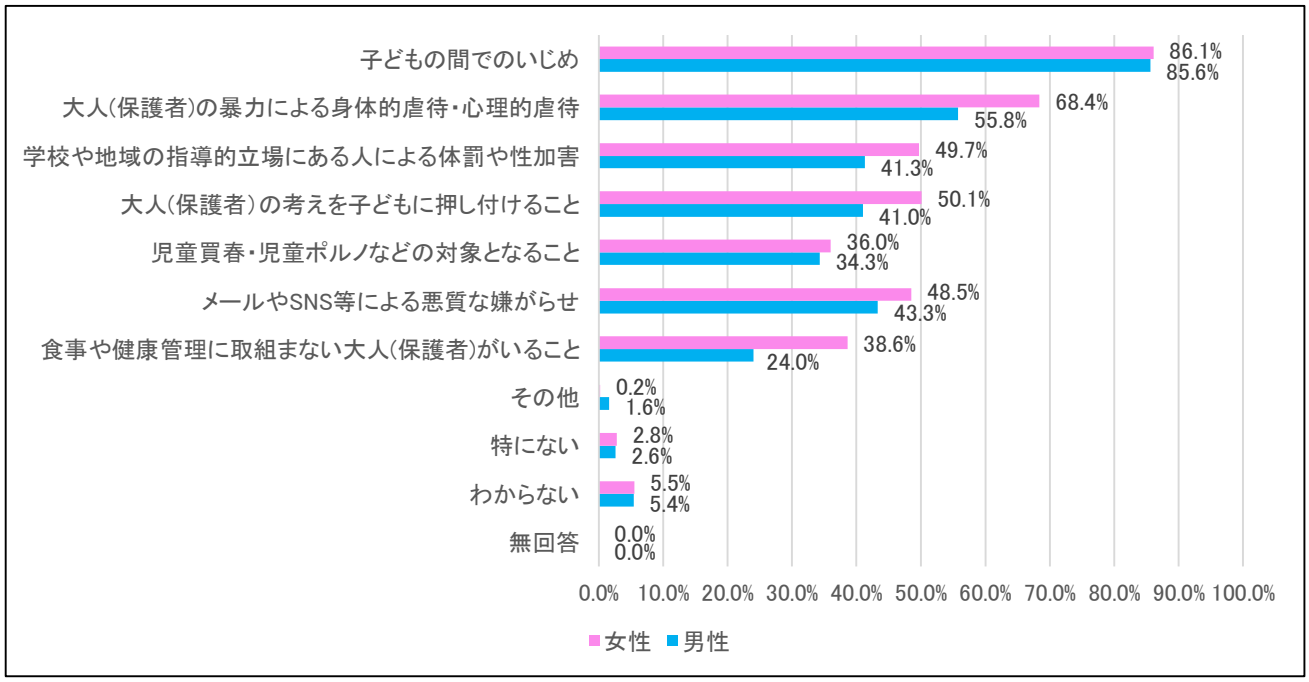
前回調査では、「大人(保護者)の暴力による身体的虐待・心理的虐待」と回答した人の割合が最も高くなっていましたが、今回調査では、「子どもの間でのいじめ」と回答した人の割合が最も高く19.7%増加しています。

また、今回調査から選択肢に追加した「学校や地域の指導的立場にある人による体罰や性加害」(46.2%)も半数に近い割合となっています。



○性別での比較

「大人(保護者)の暴力による身体的虐待・心理的虐待」と回答した人の割合は、女性が男性を12.6%上回っています。同じく「食事や健康管理に取組まない大人(保護者)がいること」と回答した人の割合も女性が男性を14.6%上回っています。



○性別、年齢別、職業別、地区別の結果

	単位	全体	性別			年齢別							職業別											地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
①子どもの間でいじめが行われていること	人	652	267	373	12	61	96	81	93	150	163	8	46	36	72	113	45	110	13	61	99	42	15	238	190	140	70	14
	%	85.9	85.6	86.1	85.7	69.3	77.4	81.8	82.3	95.5	97.0	80.0	92.0	92.3	81.8	84.3	66.2	85.9	72.2	95.3	98.0	84.0	78.9	87.5	83.0	83.3	93.3	93.3
②大人(保護者)が暴力による身体的虐待・心理的虐待を行うこと	人	476	174	296	6	52	80	66	83	99	91	5	22	25	60	82	49	85	8	43	54	35	13	174	142	104	48	8
	%	62.7	55.8	68.4	42.9	59.1	64.5	66.7	73.5	63.1	54.2	50.0	44.0	64.1	68.2	61.2	72.1	66.4	44.4	67.2	53.5	70.0	68.4	64.0	62.0	61.9	64.0	53.3
③学校や地域における指導的立場にある人による体罰や性加害	人	351	129	215	7	37	62	50	62	63	72	5	10	15	49	64	27	68	9	35	37	27	10	134	103	77	29	8
	%	46.2	41.3	49.7	50.0	42.0	50.0	50.5	54.9	40.1	42.9	50.0	20.0	38.5	55.7	47.8	39.7	53.1	50.0	54.7	36.6	54.0	52.6	49.3	45.0	45.8	38.7	53.3
④子どもの意見を受けとめないで大人(保護者)の考えを押しつけること	人	353	128	217	8	51	68	49	63	55	61	6	16	23	57	56	31	70	10	28	26	26	10	123	109	80	33	8
	%	46.5	41.0	50.1	57.1	58.0	54.8	49.5	55.8	35.0	36.3	60.0	32.0	59.0	64.8	41.8	45.6	54.7	55.6	43.8	25.7	52.0	52.6	45.2	47.6	47.6	44.0	53.3
⑤児童買春・児童ポルノなどの対象となること	人	270	107	156	7	20	50	41	50	51	53	5	15	14	38	52	29	45	6	22	25	17	7	101	75	58	28	8
	%	35.6	34.3	36.0	50.0	22.7	40.3	41.4	44.2	32.5	31.5	50.0	30.0	35.9	43.2	38.8	42.6	35.2	33.3	34.4	24.8	34.0	36.8	37.1	32.8	34.5	37.3	53.3
⑥メールやインターネット(SNS等)による悪質な嫌がらせ	人	354	135	210	9	28	67	56	62	72	62	7	18	22	45	67	34	64	3	30	38	22	11	130	116	68	33	7
	%	46.6	43.3	48.5	64.3	31.8	54.0	56.6	54.9	45.9	36.9	70.0	36.0	56.4	51.1	50.0	50.0	50.0	16.7	46.9	37.6	44.0	57.9	47.8	50.7	40.5	44.0	46.7
⑦食事や健康管理などに取り組まない大人(保護者)がいること	人	246	75	167	4	23	44	35	44	50	46	4	14	12	33	45	25	44	5	27	19	18	4	79	80	57	24	6
	%	32.4	24.0	38.6	28.6	26.1	35.5	35.4	38.9	31.8	27.4	40.0	28.0	30.8	37.5	33.6	36.8	34.4	27.8	42.2	18.8	36.0	21.1	29.0	34.9	33.9	32.0	40.0
⑧その他	人	6	5	1	0	1	1	0	0	2	2	0	0	2	0	2	0	0	1	0	1	0	0	2	3	1	0	0
	%	0.8	1.6	0.2	0.0	1.1	0.8	0.0	0.0	1.3	1.2	0.0	0.0	5.1	0.0	1.5	0.0	0.0	5.6	0.0	1.0	0.0	0.0	0.7	1.3	0.6	0.0	0.0
⑨特にない	人	20	8	12	0	0	1	1	3	5	10	0	2	2	0	4	1	3	0	2	5	1	0	9	5	2	3	1
	%	2.6	2.6	2.8	0.0	0.0	0.8	1.0	2.7	3.2	6.0	0.0	4.0	5.1	0.0	3.0	1.5	2.3	0.0	3.1	5.0	2.0	0.0	3.3	2.2	1.2	4.0	6.7
⑩わからない	人	44	17	24	3	6	4	4	5	8	15	2	3	2	3	7	2	6	0	3	13	2	3	16	14	10	1	3
	%	5.8	5.4	5.5	21.4	6.8	3.2	4.0	4.4	5.1	8.9	20.0	6.0	5.1	3.4	5.2	2.9	4.7	0.0	4.7	12.9	4.0	15.8	5.9	6.1	6.0	1.3	20.0
無回答	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

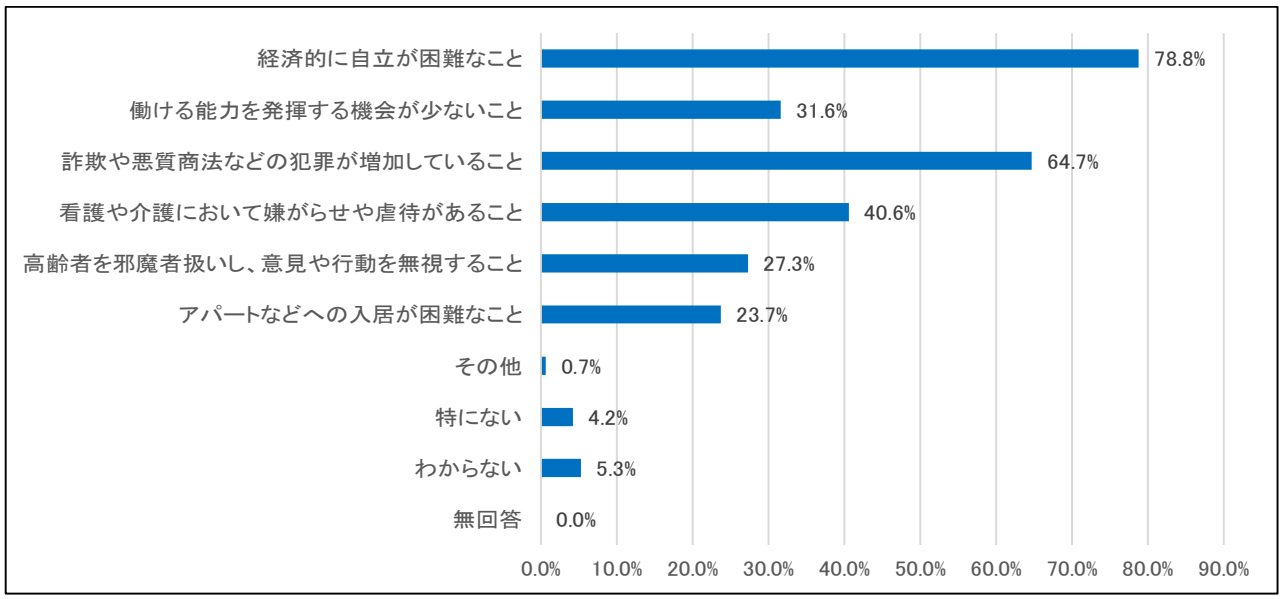
５　高齢者の人権について

問 16　高齢者に関することがらで、あなたが特に問題があると思われるのはどのようなことですか。（回答はいくつでも可）

○今回調査の結果

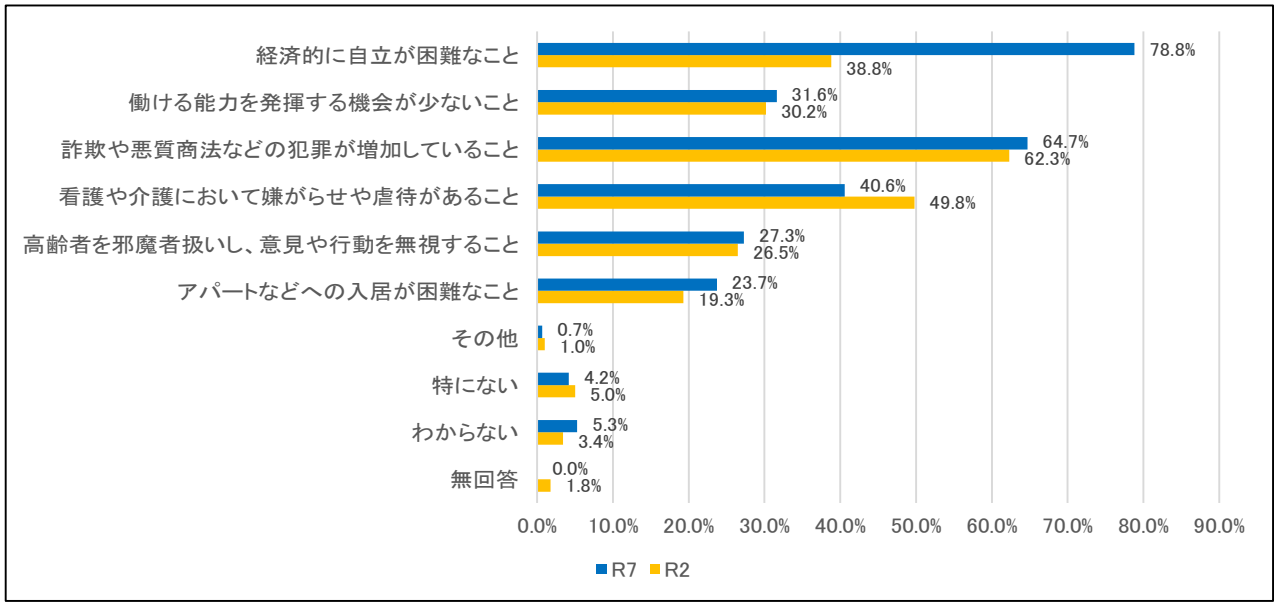
「経済的に自立が困難なこと」（78.8%）と回答した人の割合が最も高く 8 割近くになっています。

また、「詐欺や悪質商法などの犯罪が増加していること」（64.7%）、「看護や介護において嫌がらせや虐待があること」（40.6%）と回答した人も多く、高齢者が安心して生活できる環境でないと感じる人が多いことが分かります。



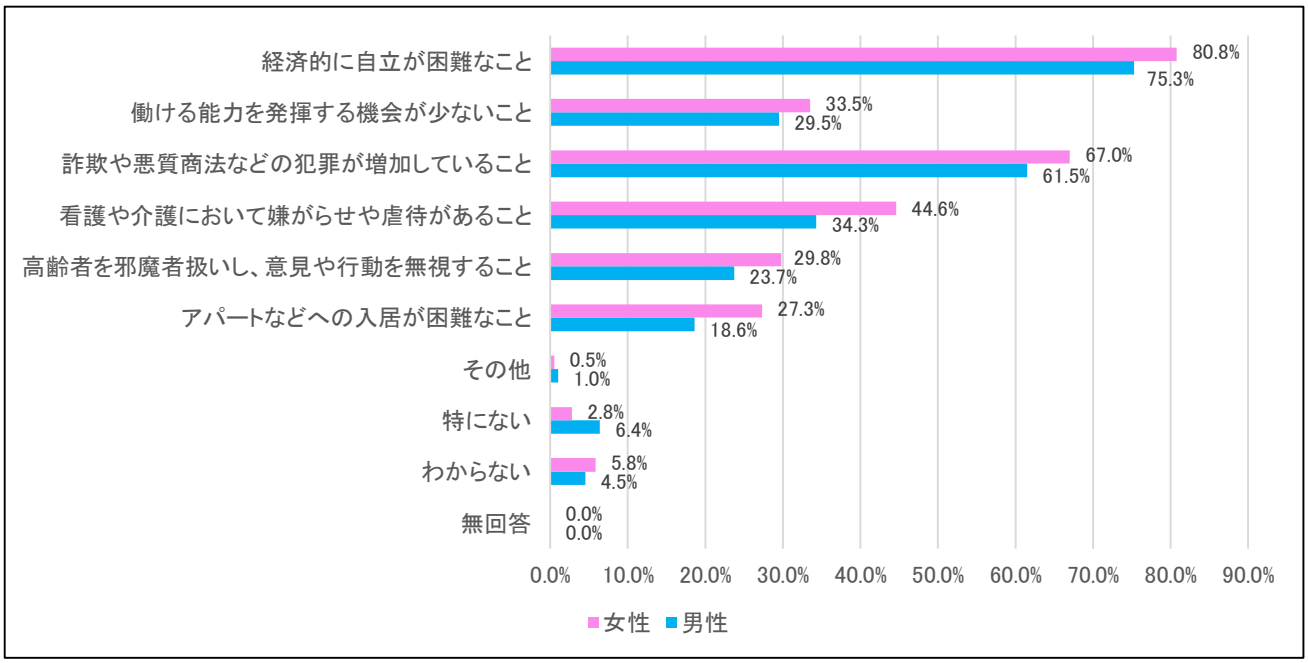
○前回調査との比較

前回調査と比較すると、「経済的に自立が困難なこと」と回答した人の割合が 40%増加しています。



〇性別での比較

全体的に女性の回答割合が高くなっており、男性より女性の方が不安を感じる人が多いことが読み取れます。



○性別、年齢別、職業別、地区別の結果

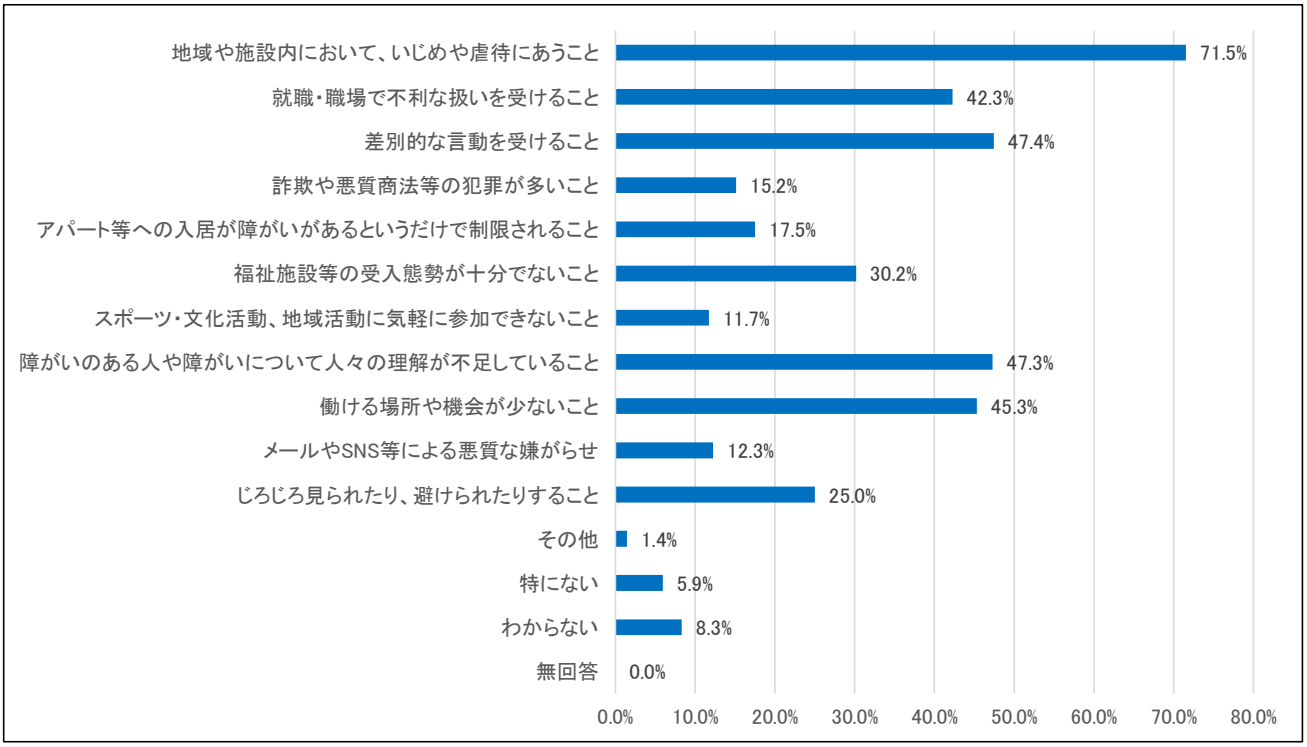
	単位	全体	性別			年齢別							職業別										地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
①経済的に自立が困難なこと	人	598	235	350	13	44	71	76	94	147	157	9	42	31	69	108	38	100	8	57	94	37	14	213	169	132	69	15
	%	78.8	75.3	80.8	92.9	50.0	57.3	76.8	83.2	93.6	93.5	90.0	84.0	79.5	78.4	80.6	55.9	78.1	44.4	89.1	93.1	74.0	73.7	78.3	73.8	78.6	92.0	100.0
②働ける能力を発揮する機会が少ないこと	人	240	92	145	3	21	36	36	51	51	44	1	11	16	31	51	19	53	2	20	22	13	2	87	69	54	24	6
	%	31.6	29.5	33.5	21.4	23.9	29.0	36.4	45.1	32.5	26.2	10.0	22.0	41.0	35.2	38.1	27.9	41.4	11.1	31.3	21.8	26.0	10.5	32.0	30.1	32.1	32.0	40.0
③詐欺や悪質商法などの犯罪が増加していること	人	491	192	290	9	45	84	64	79	101	111	7	33	23	60	85	46	76	8	50	67	32	11	173	146	109	53	10
	%	64.7	61.5	67.0	64.3	51.1	67.7	64.6	69.9	64.3	66.1	70.0	66.0	59.0	68.2	63.4	67.6	59.4	44.4	78.1	66.3	64.0	57.9	63.6	63.8	64.9	70.7	66.7
④看護や介護において嫌がらせや虐待があること	人	308	107	193	8	28	59	43	58	57	57	6	14	19	38	59	22	54	6	31	32	23	10	112	95	66	28	7
	%	40.6	34.3	44.6	57.1	31.8	47.6	43.4	51.3	36.3	33.9	60.0	28.0	48.7	43.2	44.0	32.4	42.2	33.3	48.4	31.7	46.0	52.6	41.2	41.5	39.3	37.3	46.7
⑤高齢者を邪魔者扱いし、意見や行動を無視すること	人	207	74	129	4	20	37	26	40	37	43	4	13	16	29	38	15	27	4	25	19	15	6	71	75	36	20	5
	%	27.3	23.7	29.8	28.6	22.7	29.8	26.3	35.4	23.6	25.6	40.0	26.0	41.0	33.0	28.4	22.1	21.1	22.2	39.1	18.8	30.0	31.6	26.1	32.8	21.4	26.7	33.3
⑥アパートなどへの入居が困難なこと	人	180	58	118	4	16	30	23	36	37	34	4	7	13	25	41	12	39	4	13	13	8	5	66	57	28	21	8
	%	23.7	18.6	27.3	28.6	18.2	24.2	23.2	31.9	23.6	20.2	40.0	14.0	33.3	28.4	30.6	17.6	30.5	22.2	20.3	12.9	16.0	26.3	24.3	24.9	16.7	28.0	53.3
⑦その他	人	5	3	2	0	0	1	0	1	2	1	0	0	1	0	0	2	1	0	1	0	0	0	3	2	0	0	0
	%	0.7	1.0	0.5	0.0	0.0	0.8	0.0	0.9	1.3	0.6	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	2.9	0.8	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	1.1	0.9	0.0	0.0	0.0
⑧特にない	人	32	20	12	0	7	7	3	2	4	9	0	3	2	3	2	6	4	0	1	6	3	2	17	4	8	3	0
	%	4.2	6.4	2.8	0.0	8.0	5.6	3.0	1.8	2.5	5.4	0.0	6.0	5.1	3.4	1.5	8.8	3.1	0.0	1.6	5.9	6.0	10.5	6.3	1.7	4.8	4.0	0.0
⑨わからない	人	40	14	25	1	9	9	3	4	4	10	1	3	3	3	8	3	5	3	1	6	3	2	14	16	6	2	2
	%	5.3	4.5	5.8	7.1	10.2	7.3	3.0	3.5	2.5	6.0	10.0	6.0	7.7	3.4	6.0	4.4	3.9	16.7	1.6	5.9	6.0	10.5	5.1	7.0	3.6	2.7	13.3
無回答	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

6　障がい者の人権について

問 17　障がい者に関することがらで、あなたが特に問題があると思われるのはどのようなことですか。（回答はいくつでも可）

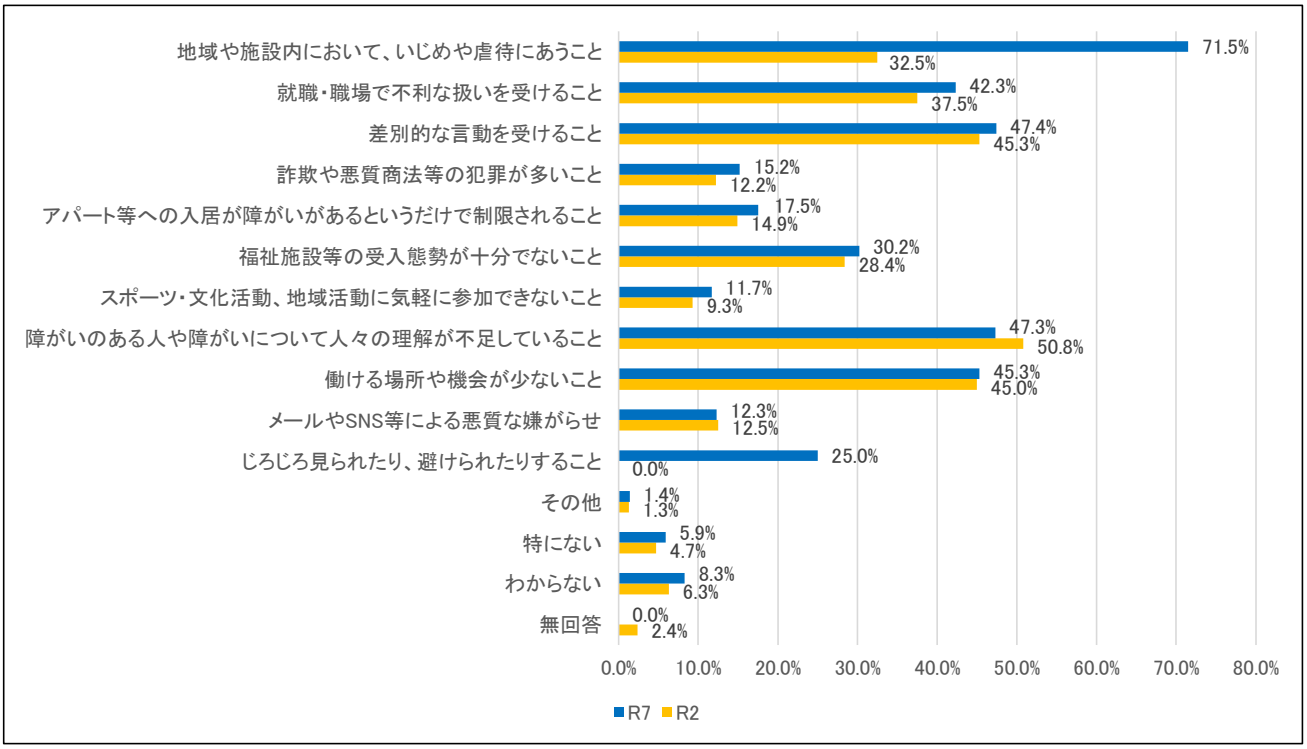
○今回調査の結果

「地域や施設内において、いじめや虐待にあうこと」（71.5%）と回答した人の割合が最も高く 7 割を超えています。また、「差別的な言動を受けること」（47.4%）、「障がいのある人や障がいについて人々の理解が不足していること」（47.3%）、「働ける場所や機会が少ないこと」（45.3%）と回答した人の割合も 4 割を超えており、障がい者の人権に問題を感じている人が多いことが分かります。



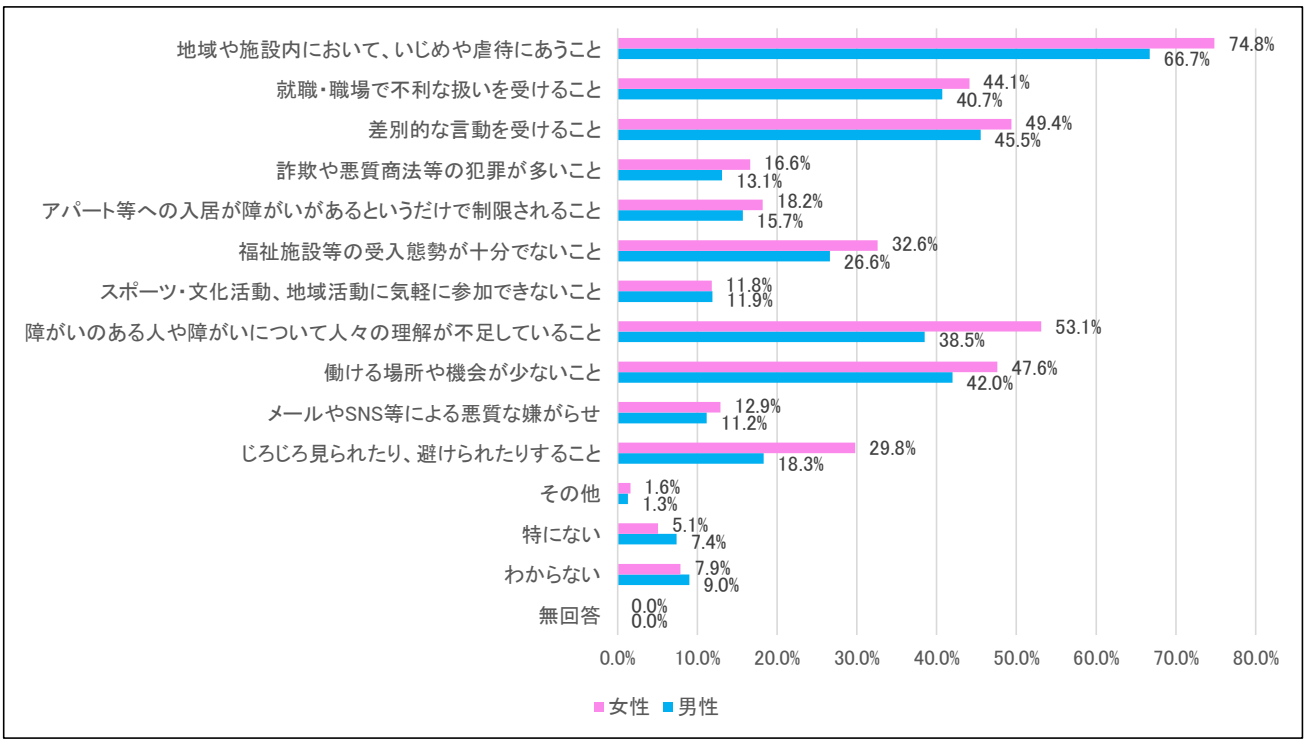
○前回調査との比較

前回調査と比較すると、「地域や施設内において、いじめや虐待にあうこと」と回答した人の割合が 39%増加しています。



○性別での比較

全体的に女性の回答割合が高くなっており、男性より女性の方が問題と感じる人が多いことが読み取れます。



○性別、年齢別、職業別、地区別の結果

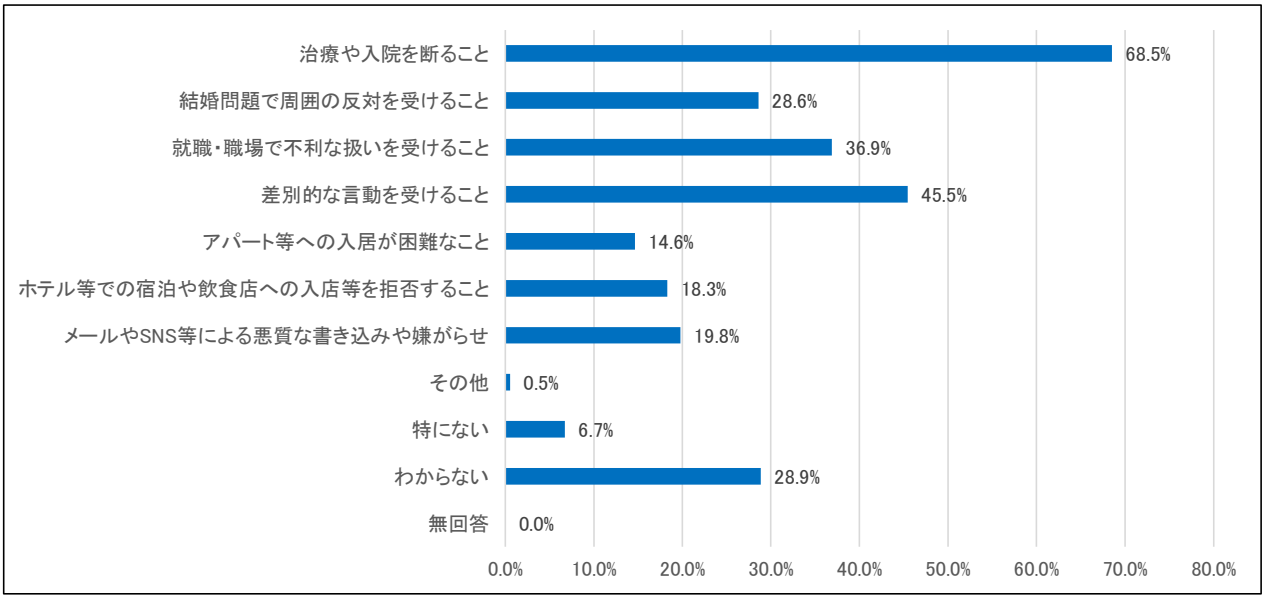
	単位	全体	性別			年齢別							職業別											地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
	回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
①	地域や施設内において、いじめや虐待にあうこと	人	543	208	324	11	46	66	61	81	128	154	7	38	31	57	83	35	90	8	58	90	38	15	199	152	117	62	13
		%	71.5	66.7	74.8	78.6	52.3	53.2	61.6	71.7	81.5	91.7	70.0	76.0	79.5	64.8	61.9	51.5	70.3	44.4	90.6	89.1	76.0	78.9	73.2	66.4	69.6	82.7	86.7
②	就職・職場で不利な扱いを受けること	人	321	127	191	3	35	58	41	59	62	64	2	16	20	46	55	27	61	11	24	32	20	9	124	102	61	28	6
		%	42.3	40.7	44.1	21.4	39.8	46.8	41.4	52.2	39.5	38.1	20.0	32.0	51.3	52.3	41.0	39.7	47.7	61.1	37.5	31.7	40.0	47.4	45.6	44.5	36.3	37.3	40.0
③	差別的な言動を受けること	人	360	142	214	4	48	62	53	57	75	63	2	20	18	51	66	33	63	10	30	37	25	7	134	122	70	28	6
		%	47.4	45.5	49.4	28.6	54.5	50.0	53.5	50.4	47.8	37.5	20.0	40.0	46.2	58.0	49.3	48.5	49.2	55.6	46.9	36.6	50.0	36.8	49.3	53.3	41.7	37.3	40.0
④	詐欺や悪質商法などの犯罪が多いこと	人	115	41	72	2	6	22	18	30	14	24	1	10	11	16	21	12	17	2	9	7	7	3	40	31	28	10	6
		%	15.2	13.1	16.6	14.3	6.8	17.7	18.2	26.5	8.9	14.3	10.0	20.0	28.2	18.2	15.7	17.6	13.3	11.1	14.1	6.9	14.0	15.8	14.7	13.5	16.7	13.3	40.0
⑤	アパートなどへの入居が障がいがあるというだけで制限されること	人	133	49	79	5	13	21	16	27	22	30	4	5	14	19	26	10	23	2	10	10	8	6	49	43	24	11	6
		%	17.5	15.7	18.2	35.7	14.8	16.9	16.2	23.9	14.0	17.9	40.0	10.0	35.9	21.6	19.4	14.7	18.0	11.1	15.6	9.9	16.0	31.6	18.0	18.8	14.3	14.7	40.0
⑥	福祉施設等の受入れ態勢が十分でないこと	人	229	83	141	5	18	44	25	40	55	44	3	17	14	38	33	19	43	4	16	25	13	7	84	70	44	24	7
		%	30.2	26.6	32.6	35.7	20.5	35.5	25.3	35.4	35.0	26.2	30.0	34.0	35.9	43.2	24.6	27.9	33.6	22.2	25.0	24.8	26.0	36.8	30.9	30.6	26.2	32.0	46.7
⑦	スポーツ・文化活動、地域活動に気軽に参加できないこと	人	89	37	51	1	9	15	9	19	17	19	1	3	5	16	21	6	13	2	8	8	5	2	34	27	16	8	4
		%	11.7	11.9	11.8	7.1	10.2	12.1	9.1	16.8	10.8	11.3	10.0	6.0	12.8	18.2	15.7	8.8	10.2	11.1	12.5	7.9	10.0	10.5	12.5	11.8	9.5	10.7	26.7
⑧	障がいのある人や障がいについて、人々の理解が不足していること	人	359	120	230	9	32	55	48	57	81	80	6	23	19	49	57	27	64	9	35	44	23	9	132	100	80	38	9
		%	47.3	38.5	53.1	64.3	36.4	44.4	48.5	50.4	51.6	47.6	60.0	46.0	48.7	55.7	42.5	39.7	50.0	50.0	54.7	43.6	46.0	47.4	48.5	43.7	47.6	50.7	60.0
⑨	働ける場所や機会が少ないこと	人	344	131	206	7	30	57	39	61	78	74	5	21	25	45	60	25	66	6	23	46	19	8	124	98	74	40	8
		%	45.3	42.0	47.6	50.0	34.1	46.0	39.4	54.0	49.7	44.0	50.0	42.0	64.1	51.1	44.8	36.8	51.6	33.3	35.9	45.5	38.0	42.1	45.6	42.8	44.0	53.3	53.3
⑩	メールやインターネット(SNS等)による悪質な嫌がらせ	人	93	35	56	2	8	19	9	17	18	20	2	4	7	10	22	11	13	0	12	7	2	5	32	30	18	8	5
		%	12.3	11.2	12.9	14.3	9.1	15.3	9.1	15.0	11.5	11.9	20.0	8.0	17.9	11.4	16.4	16.2	10.2	0.0	18.8	6.9	4.0	26.3	11.8	13.1	10.7	10.7	33.3
⑪	じろじろ見られたり、避けられたりすること	人	190	57	129	4	25	29	28	29	36	38	5	11	9	28	29	13	36	4	20	22	12	6	70	56	40	17	7
		%	25.0	18.3	29.8	28.6	28.4	23.4	28.3	25.7	22.9	22.6	50.0	22.0	23.1	31.8	21.6	19.1	28.1	22.2	31.3	21.8	24.0	31.6	25.7	24.5	23.8	22.7	46.7
⑫	その他	人	11	4	7	0	0	3	1	2	4	1	0	1	1	2	3	2	2	0	0	0	0	0	3	5	2	1	0
		%	1.4	1.3	1.6	0.0	0.0	2.4	1.0	1.8	2.5	0.6	0.0	2.0	2.6	2.3	6.0	2.9	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	2.2	1.2	1.3	0.0
⑬	特にない	人	45	23	22	0	8	7	5	3	4	18	0	3	3	1	6	6	5	0	4	10	5	2	22	10	11	2	0
		%	5.9	7.4	5.1	0.0	9.1	5.6	6.0	2.7	2.5	10.7	0.0	6.0	7.7	1.1	4.5	8.8	0.0	0.0	6.3	9.9	10.0	10.5	8.1	4.4	6.5	2.7	0.0
⑭	わからない	人	63	28	34	1	9	11	5	10	10	17	1	4	3	6	12	5	9	3	7	9	4	1	23	21	12	5	2
		%	8.3	9.0	7.9	7.1	10.2	8.9	5.1	8.8	6.4	10.1	10.0	8.0	7.7	6.8	9.0	7.4	7.0	16.7	10.9	8.9	8.0	5.3	8.5	9.2	7.1	6.7	13.3
	無回答	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

7　ＨＩＶ感染者・ハンセン病患者・難病患者等の人権について

問 18　ＨＩＶ(エイズウイルス)感染者・ハンセン病患者(元患者)・難病患者等に関することがらで、あなたが特に問題があると思われるのはどのようなことですか。(回答はいくつでも可)

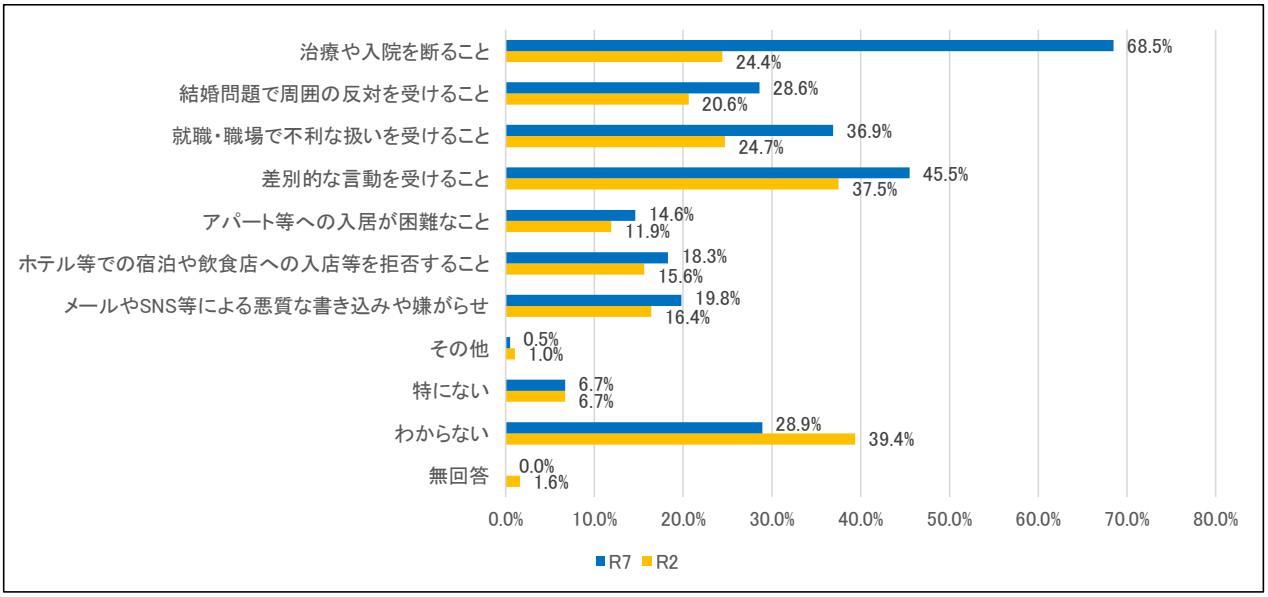
○今回調査の結果

「治療や入院を断ること」(68.5%)と回答した人の割合が最も高くなっています。次いで、「差別的な言動を受けること」(45.5%)、「就職・職場で不利な扱いを受けること」(36.9%)の順となっています。



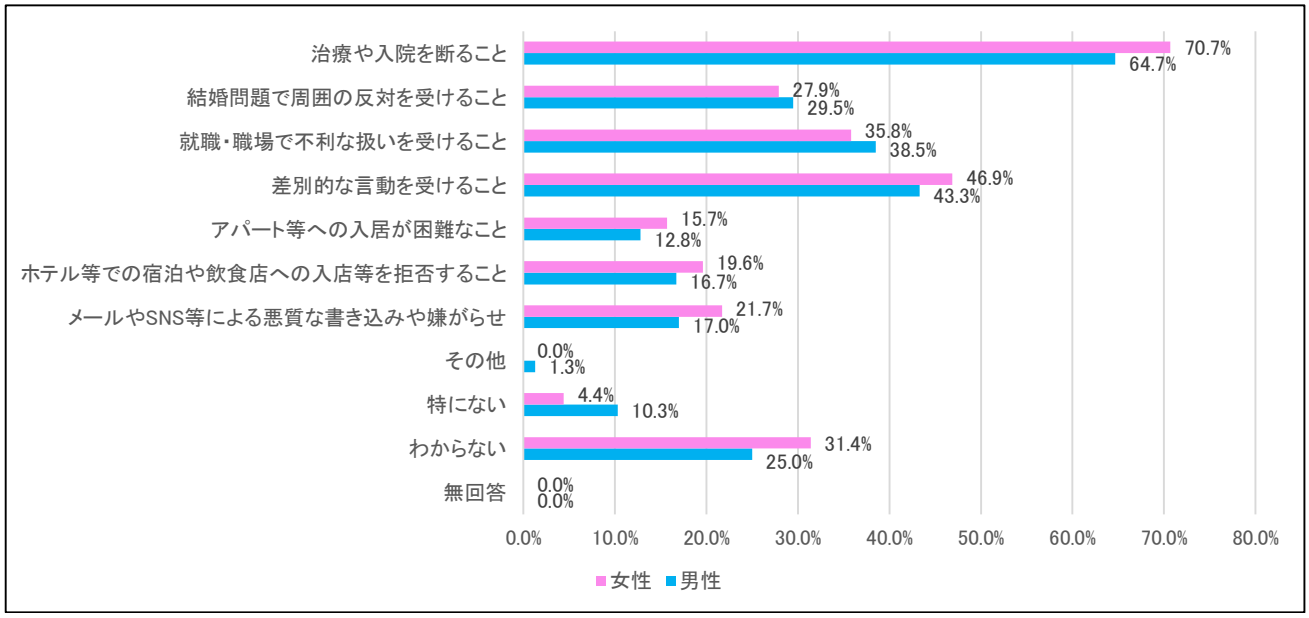
○前回調査との比較

前回調査と比較すると、「治療や入院を断ること」と回答した人の割合が 44.1%増加しています。また、「わからない」と回答した人の割合は 10.5%減少しています。



○性別での比較

性別では、大きな差異はみられません。



○性別、年齢別、職業別、地区別の結果

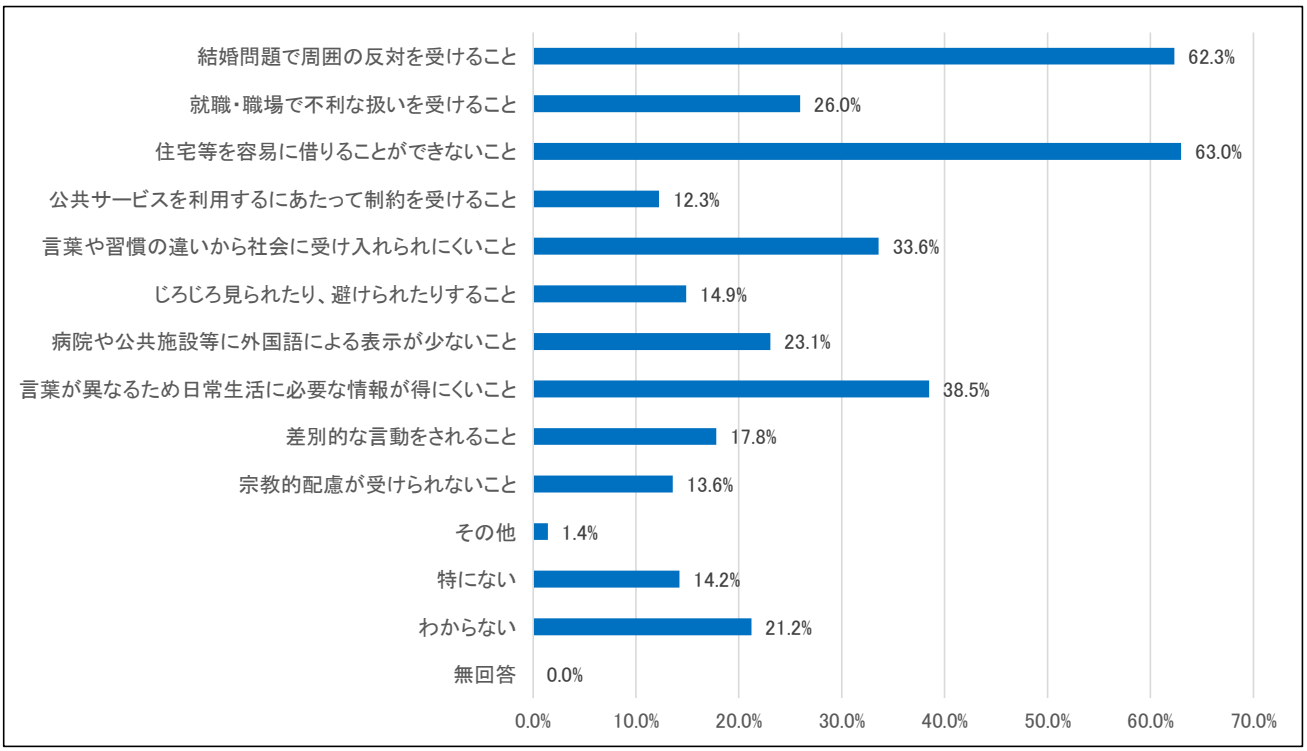
	単位	全体	性別			年齢別							職業別											地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
①治療や入院を断ること	人	520	202	306	12	36	59	52	76	133	156	8	39	30	51	87	26	89	6	54	93	31	14	186	147	113	61	13
	%	68.5	64.7	70.7	85.7	40.9	47.6	52.5	67.3	84.7	92.9	80.0	78.0	76.9	58.0	64.9	38.2	69.5	33.3	84.4	92.1	62.0	73.7	68.4	64.2	67.3	81.3	86.7
②結婚問題で周囲の反対を受けること	人	217	92	121	4	18	40	34	38	44	40	3	11	17	26	41	27	41	4	11	19	13	7	75	67	45	23	7
	%	28.6	29.5	27.9	28.6	20.5	32.3	34.3	33.6	28.0	23.8	30.0	22.0	43.6	29.5	30.6	39.7	32.0	22.2	17.2	18.8	26.0	36.8	27.6	29.3	26.8	30.7	46.7
③就職・職場で不利な扱いを受けること	人	280	120	155	5	28	40	42	53	53	61	3	17	21	33	53	25	54	5	22	24	18	8	107	77	63	25	8
	%	36.9	38.5	35.8	35.7	31.8	32.3	42.4	46.9	33.8	36.3	30.0	34.0	53.8	37.5	39.6	36.8	42.2	27.8	34.4	23.8	36.0	42.1	39.3	33.6	37.5	33.3	53.3
④差別的な言動を受けること	人	345	135	203	7	39	60	52	62	61	67	4	14	27	41	59	34	64	9	28	37	22	10	129	109	70	30	7
	%	45.5	43.3	46.9	50.0	44.3	48.4	52.5	54.9	38.9	39.9	40.0	28.0	69.2	46.6	44.0	50.0	50.0	50.0	43.8	36.6	44.0	52.6	47.4	47.6	41.7	40.0	46.7
⑤アパートなどへの入居が困難なこと	人	111	40	68	3	10	18	15	26	14	26	2	5	11	11	20	10	22	2	7	11	8	4	43	35	19	9	5
	%	14.6	12.8	15.7	21.4	11.4	14.5	15.2	23.0	8.9	15.5	20.0	10.0	28.2	12.5	14.9	14.7	17.2	11.1	10.9	10.9	16.0	21.1	15.8	15.3	11.3	12.0	33.3
⑥ホテル等での宿泊や飲食店への入店などを拒否すること	人	139	52	85	2	9	25	18	34	23	29	1	12	10	17	23	13	23	1	9	18	9	4	55	45	22	13	4
	%	18.3	16.7	19.6	14.3	10.2	20.2	18.2	30.1	14.6	17.3	10.0	24.0	25.6	19.3	17.2	19.1	18.0	5.6	14.1	17.8	18.0	21.1	20.2	19.7	13.1	17.3	26.7
⑦メールやインターネット(SNS等)による悪質な書き込みや嫌がらせ	人	150	53	94	3	17	26	16	36	23	29	3	5	14	17	32	16	25	0	18	9	8	6	61	49	22	13	5
	%	19.8	17.0	21.7	21.4	19.3	21.0	16.2	31.9	14.6	17.3	30.0	10.0	35.9	19.3	23.9	23.5	19.5	0.0	28.1	8.9	16.0	31.6	22.4	21.4	13.1	17.3	33.3
⑧その他	人	4	4	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0
	%	0.5	1.3	0.0	0.0	0.0	0.8	1.0	0.0	0.6	0.6	0.0	0.0	2.6	0.0	1.5	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	1.3	0.0	0.0	0.0
⑨特にない	人	51	32	19	0	8	4	7	6	8	17	1	6	2	4	7	5	3	1	3	13	4	3	17	14	14	5	1
	%	6.7	10.3	4.4	0.0	9.1	3.2	7.1	5.3	5.1	10.1	10.0	12.0	5.1	4.5	5.2	7.4	2.3	5.6	4.7	12.9	8.0	15.8	6.3	6.1	8.3	6.7	6.7
⑩わからない	人	219	78	136	5	30	47	18	24	43	54	3	16	7	23	34	15	37	8	23	34	17	5	78	67	49	21	4
	%	28.9	25.0	31.4	35.7	34.1	37.9	18.2	21.2	27.4	32.1	30.0	32.0	17.9	26.1	25.4	22.1	28.9	44.4	35.9	33.7	34.0	26.3	28.7	29.3	29.2	28.0	26.7
無回答	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

8　外国人の人権について

問 19　日本に居住している外国人に関することがらで、あなたが特に問題があると思われるのはどのようなことですか。（回答はいくつでも可）

○今回調査の結果

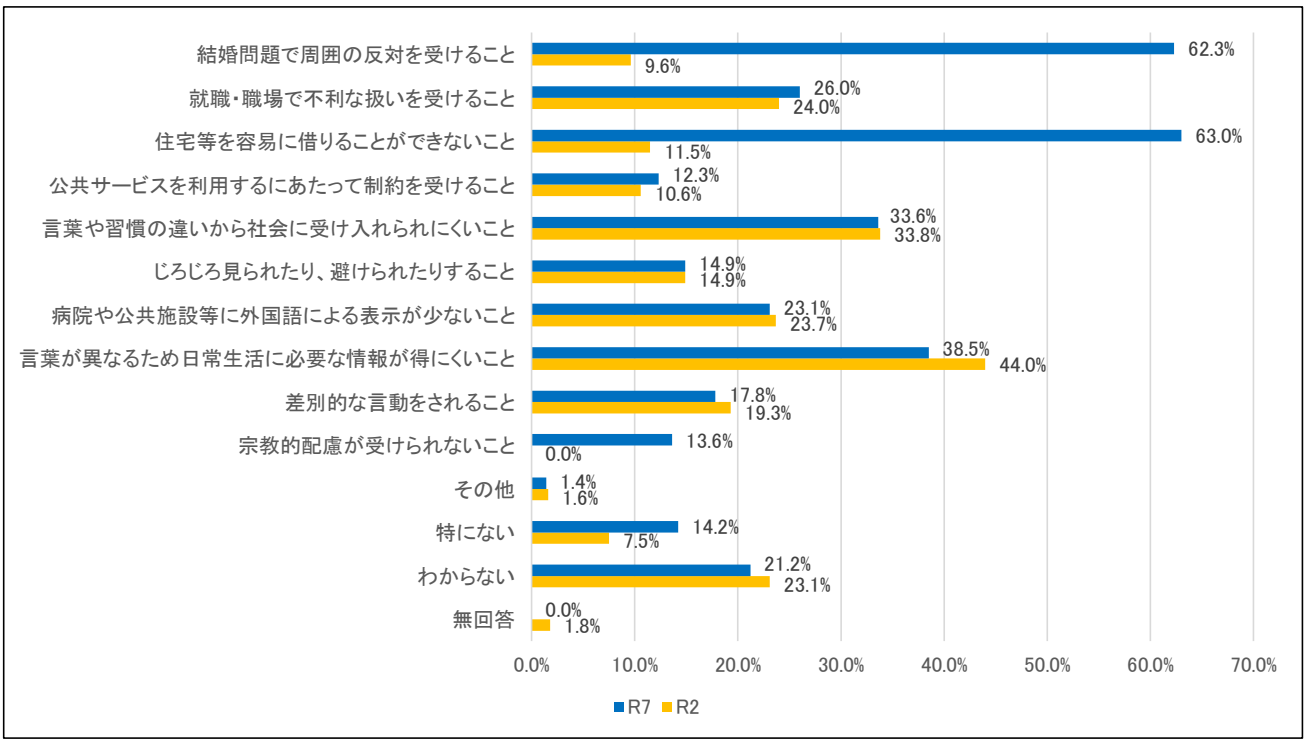
「住宅等を容易に借りることができないこと」（63.0%）、「結婚問題で周囲の反対を受けること」（62.3%）と回答した人の割合が高く 6 割を超えています。近年の外国人の増加に比例して、問題と感じている人が増えていることが分かります。



※今回調査から、選択肢「宗教的配慮が受けられないこと」を追加しています。

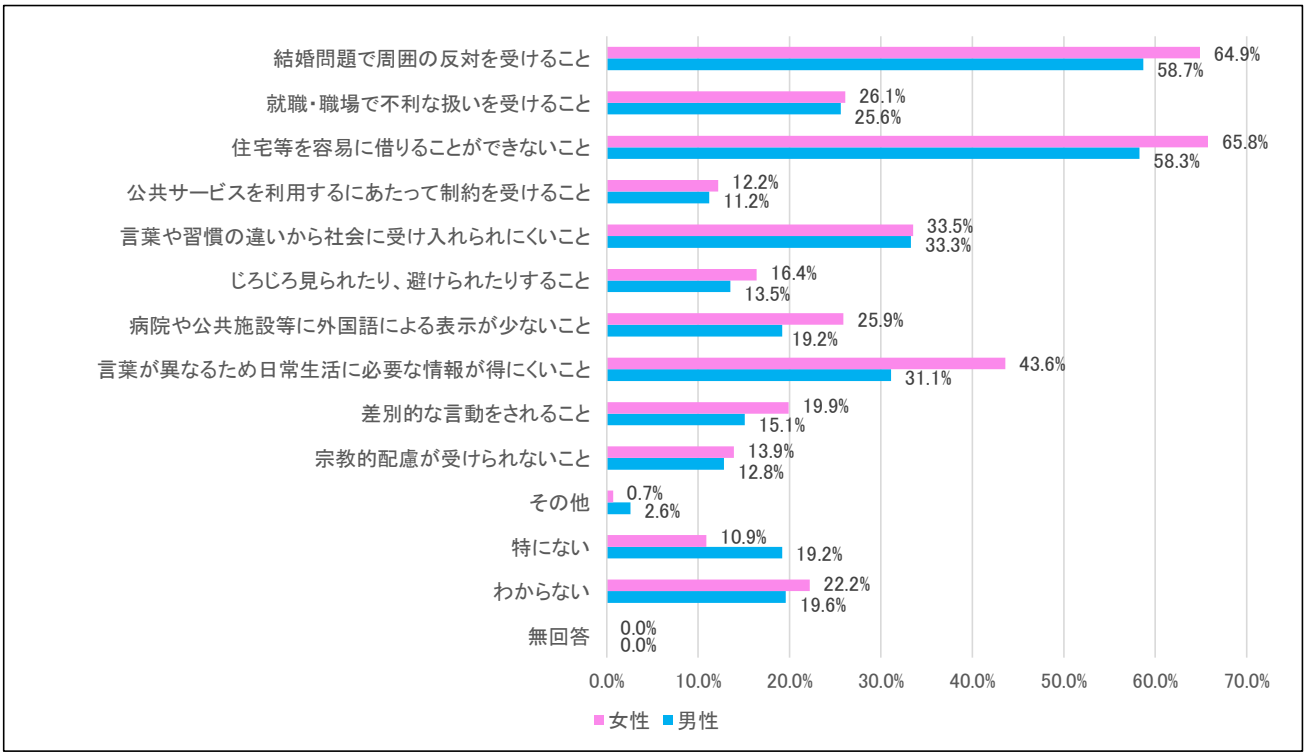
○前回調査との比較

前回調査と比較すると、「結婚問題で周囲の反対を受けること」と回答した人の割合が 52.7%、「住宅等を容易に借りることができないこと」と回答した人の割合が 51.5%、それぞれ増加しています。



○性別での比較

全体的に女性の回答割合が高くなっており、男性より女性の方が問題と感じる人が多いことが読み取れます。



○性別、年齢別、職業別、地区別の結果

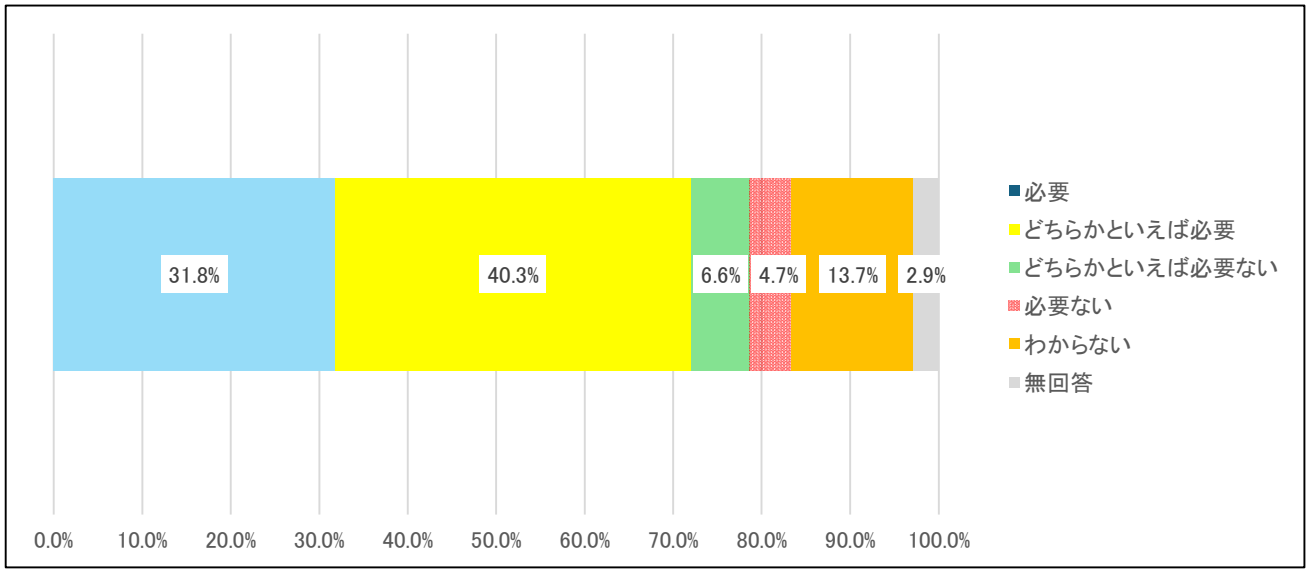
	単位	全体	性別			年齢別							職業別											地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
①結婚問題で周囲の反対を受けること	人	473	183	281	9	34	50	44	70	121	149	5	37	25	48	75	21	78	7	54	89	29	10	175	132	95	59	12
	%	62.3	58.7	64.9	64.3	38.6	40.3	44.4	61.9	77.1	88.7	50.0	74.0	64.1	54.5	56.0	30.9	60.9	38.9	84.4	88.1	58.0	52.6	64.3	57.6	56.5	78.7	80.0
②就職・職場で不利な扱いを受けること	人	197	80	113	4	22	36	23	40	36	37	3	12	10	29	40	21	34	6	13	15	9	8	75	71	30	15	6
	%	26.0	25.6	26.1	28.6	25.0	29.0	23.2	35.4	22.9	22.0	30.0	24.0	25.6	33.0	29.9	30.9	26.6	33.3	20.3	14.9	18.0	42.1	27.6	31.0	17.9	20.0	40.0
③住宅などを容易に借りることができないこと	人	478	182	285	11	34	46	48	70	119	154	7	34	26	44	77	25	80	6	54	90	30	12	177	128	98	62	13
	%	63.0	58.3	65.8	78.6	38.6	37.1	48.5	61.9	75.8	91.7	70.0	68.0	66.7	50.0	57.5	36.8	62.5	33.3	84.4	89.1	60.0	63.2	65.1	55.9	58.3	82.7	86.7
④公共サービスを利用するにあたって制約を受けること	人	93	35	53	5	10	18	9	16	23	14	3	1	13	14	19	12	12	3	5	6	4	4	45	23	12	8	5
	%	12.3	11.2	12.2	35.7	11.4	14.5	9.1	14.2	14.6	8.3	30.0	2.0	33.3	15.9	14.2	17.6	9.4	16.7	7.8	5.9	8.0	21.1	16.5	10.0	7.1	10.7	33.3
⑤言葉や習慣の違いから社会に受け入れられにくいこと	人	255	104	145	6	25	44	31	41	57	53	4	16	13	40	41	26	43	2	20	31	15	8	86	86	48	27	8
	%	33.6	33.3	33.5	42.9	28.4	35.5	31.3	36.3	36.3	31.5	40.0	32.0	33.3	45.5	30.6	38.2	33.6	11.1	31.3	30.7	30.0	42.1	31.6	37.6	28.6	36.0	53.3
⑥じろじろ見られたり、避けられたりすること	人	113	42	71	0	13	27	10	22	19	22	0	7	6	19	25	10	17	3	11	8	5	2	45	40	17	8	3
	%	14.9	13.5	16.4	0.0	14.8	21.8	10.1	19.5	12.1	13.1	0.0	14.0	15.4	21.6	18.7	14.7	13.3	16.7	17.2	7.9	10.0	10.5	16.5	17.5	10.1	10.7	20.0
⑦病院や公共施設等に外国語による表示が少ないこと	人	175	60	112	3	16	26	18	38	37	37	3	9	10	21	29	22	36	2	15	15	11	5	56	54	38	21	6
	%	23.1	19.2	25.9	21.4	18.2	21.0	18.2	33.6	23.6	22.0	30.0	18.0	25.6	23.9	21.6	32.4	28.1	11.1	23.4	14.9	22.0	26.3	20.6	23.6	22.6	28.0	40.0
⑧言葉が異なるため、日常生活に必要な情報が得にくいこと	人	292	97	189	6	26	42	30	56	62	70	6	14	17	46	49	21	56	5	26	37	16	5	106	95	53	31	7
	%	38.5	31.1	43.6	42.9	29.5	33.9	30.3	49.6	39.5	41.7	60.0	28.0	43.6	52.3	36.6	30.9	43.8	27.8	40.6	36.6	32.0	7.0	39.0	41.5	31.5	41.3	46.7
⑨差別的な言動をされること	人	135	47	86	2	19	26	19	29	26	15	1	5	11	24	28	14	20	3	9	9	7	5	45	52	24	11	3
	%	17.8	15.1	19.9	14.3	21.6	21.0	19.2	25.7	16.6	8.9	10.0	10.0	28.2	27.3	20.9	20.6	15.6	16.7	14.1	8.9	14.0	8.0	16.5	22.7	14.3	14.7	20.0
⑩宗教的配慮が受けられないこと	人	103	40	60	3	8	24	13	19	22	15	2	6	3	13	22	12	15	2	6	9	8	7	42	27	20	8	6
	%	13.6	12.8	13.9	21.4	9.1	19.4	13.1	16.8	14.0	8.9	20.0	12.0	7.7	14.8	16.4	17.6	11.7	11.1	9.4	8.9	16.0	36.8	15.4	11.8	11.9	10.7	40.0
⑪その他	人	11	8	3	0	0	1	4	2	2	2	0	2	2	0	2	3	0	0	0	2	0	0	4	3	2	1	1
	%	1.4	2.6	0.7	0.0	0.0	0.8	4.0	1.8	1.3	1.2	0.0	4.0	2.0	0.0	1.5	4.4	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	1.5	1.3	1.2	1.3	6.7
⑫特にない	人	108	60	47	1	17	18	23	11	11	28	0	8	4	8	16	12	18	2	10	18	9	3	40	25	32	10	1
	%	14.2	19.2	10.9	7.1	19.3	14.5	23.2	9.7	7.0	16.7	0.0	16.0	10.3	9.1	6.0	17.6	5.0	11.1	15.6	17.8	18.0	15.8	14.7	10.9	19.0	13.3	6.7
⑬わからない	人	161	61	96	4	16	27	8	21	39	48	2	12	10	11	25	7	27	4	14	33	13	5	67	43	39	9	3
	%	21.2	19.6	22.2	28.6	18.2	21.8	6.0	18.6	24.8	28.6	20.0	24.0	25.6	12.5	18.7	10.3	0.0	22.2	21.9	32.7	26.0	26.3	24.6	18.8	23.2	12.0	20.0
無回答	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 20　近年、企業の受入れなど地域で生活する外国人が増えてきていますが、あなたは国際的・地域的に異なる文化を理解することは地域で必要だと思いますか。自分の考えに一番近いものを選んでください。（回答は１つだけ）※今回調査から追加しています。

○今回調査の結果

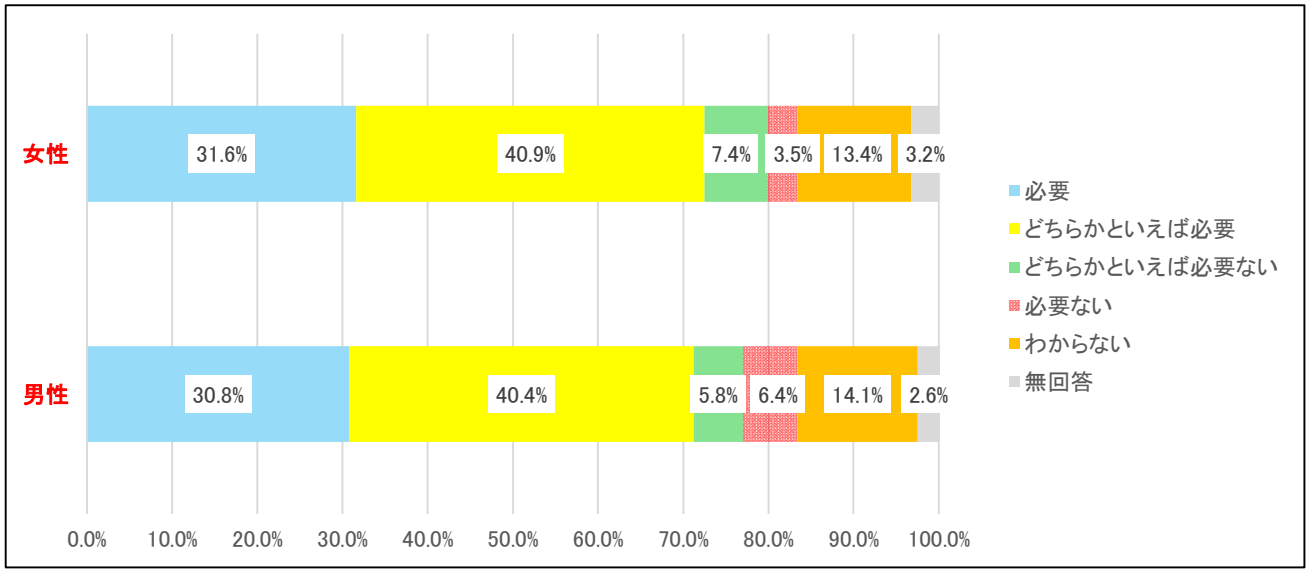
近年の外国人の増加に伴い、多文化共生への考え方や意識をみるために新たに追加した質問です。「必要」（31.8%）、「どちらかといえば必要」（40.3%）と回答した人の割合は 7 割を超えています。一方で、「どちらかといえば必要ない」（6.6%）、「必要ない」（4.7%）と回答した人の割合は 1 割程度となっています。

年齢別でみると、「必要」と回答した人の割合は 60 歳代（35.7%）と 50 歳代（35.4%）で高く、「必要ない」と回答した人の割合は 30 歳代（11.3%）と 40 歳代（9.1%）で高くなっています。



○性別での比較

性別では、大きな差異はみられません。



○性別、年齢別、職業別、地区別の結果

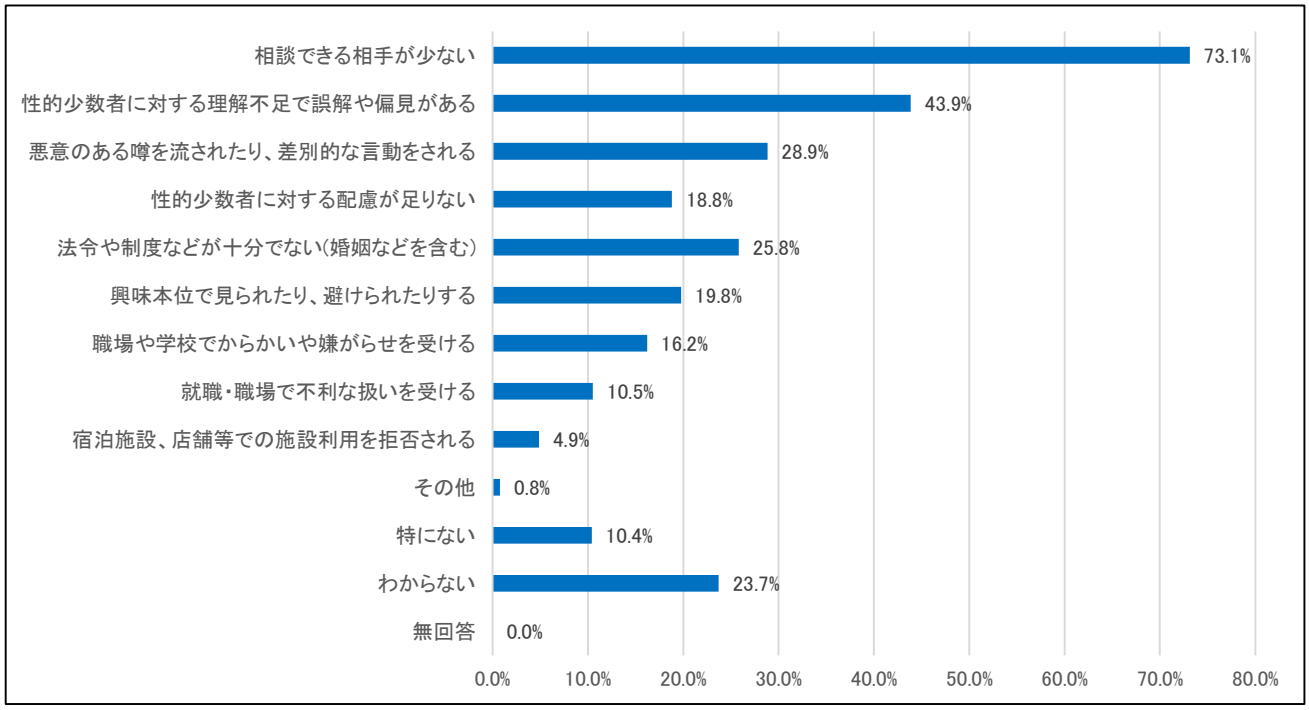
	単位	全体	性別			年齢別							職業別											地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
①必要	人	241	96	137	8	24	35	26	40	56	55	5	10	14	32	41	27	47	5	10	35	13	7	92	73	51	19	6
	%	31.8	30.8	31.6	57.1	27.3	28.2	26.3	35.4	35.7	32.7	50.0	20.0	35.9	36.4	30.6	39.7	36.7	27.8	15.6	34.7	26.0	36.8	33.8	31.9	30.4	25.3	40.0
②どちらかといえば必要	人	306	126	177	3	34	47	39	47	68	68	3	26	14	41	56	27	44	7	33	38	16	4	104	97	66	36	3
	%	40.3	40.4	40.9	21.4	38.6	37.9	39.4	41.6	43.3	40.5	30.0	52.0	35.9	46.6	41.8	39.7	34.4	38.9	51.6	37.6	32.0	21.1	38.2	42.4	39.3	48.0	20.0
③どちらかといえば必要ない	人	50	18	32	0	6	8	11	5	7	13	0	4	4	5	10	3	9	1	9	1	4	0	12	16	15	6	1
	%	6.6	5.8	7.4	0.0	6.8	6.5	11.1	4.4	4.5	7.7	0.0	8.0	10.3	5.7	7.5	4.4	7.0	5.6	14.1	1.0	8.0	0.0	4.4	7.0	8.9	8.0	6.7
④必要ない	人	36	20	15	1	4	14	9	3	3	2	1	2	0	4	6	5	6	2	3	5	2	1	17	7	10	1	1
	%	4.7	6.4	3.5	7.1	4.5	11.3	9.1	2.7	1.9	1.2	10.0	4.0	0.0	4.5	4.5	7.4	4.7	11.1	4.7	5.0	4.0	5.3	6.3	3.1	6.0	1.3	6.7
⑤わからない	人	104	44	58	2	18	18	13	15	15	24	1	7	7	6	18	5	19	2	6	17	11	6	38	30	24	9	3
	%	13.7	14.1	13.4	14.3	20.5	14.5	13.1	13.3	9.6	14.3	10.0	14.0	17.9	6.8	13.4	7.4	14.8	11.1	9.4	16.8	22.0	31.6	14.0	13.1	14.3	12.0	20.0
無回答	人	22	8	14	0	2	2	1	3	8	6	0	1	0	0	3	1	3	1	3	5	4	1	9	6	2	4	1
	%	2.9	2.6	3.2	0.0	2.3	1.6	1.0	2.7	5.1	3.6	0.0	2.0	0.0	0.0	2.2	1.5	2.3	5.6	4.7	5.0	8.0	5.3	3.3	2.6	1.2	5.3	6.7

９　性的指向・性自認に関する人権について

問 21　あなたは今、性的指向（異性愛・同性愛・両性愛）・性自認（自分がどの性別であるかと感じるかという「心の性」のあり方）など性の多様性で、どのような人権問題が起きていると思いますか。（回答はいくつでも可） **※今回調査から追加しています。**

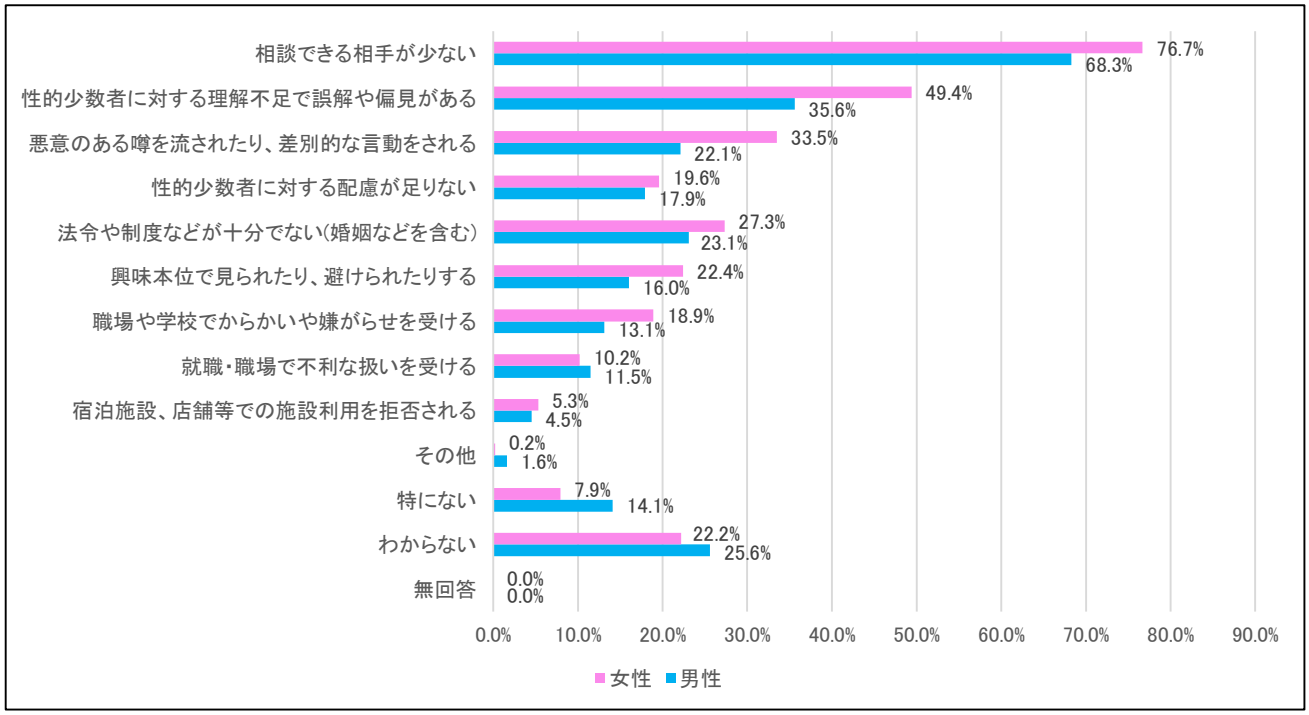
○今回調査の結果

性的指向・性自認に関する人権問題への意識をみるために新たに追加した質問です。「相談できる相手が少ない」（73.1%）、「性的少数者に対する理解不足で誤解や偏見がある」（43.9%）と回答した人の割合が高くなっています。



○性別での比較

女性、男性ともに「相談できる相手が少ない」、「性的少数者に対する理解不足で誤解や偏見がある」と感じている人が多いことが読み取れます。



○性別、年齢別、職業別、地区別の結果

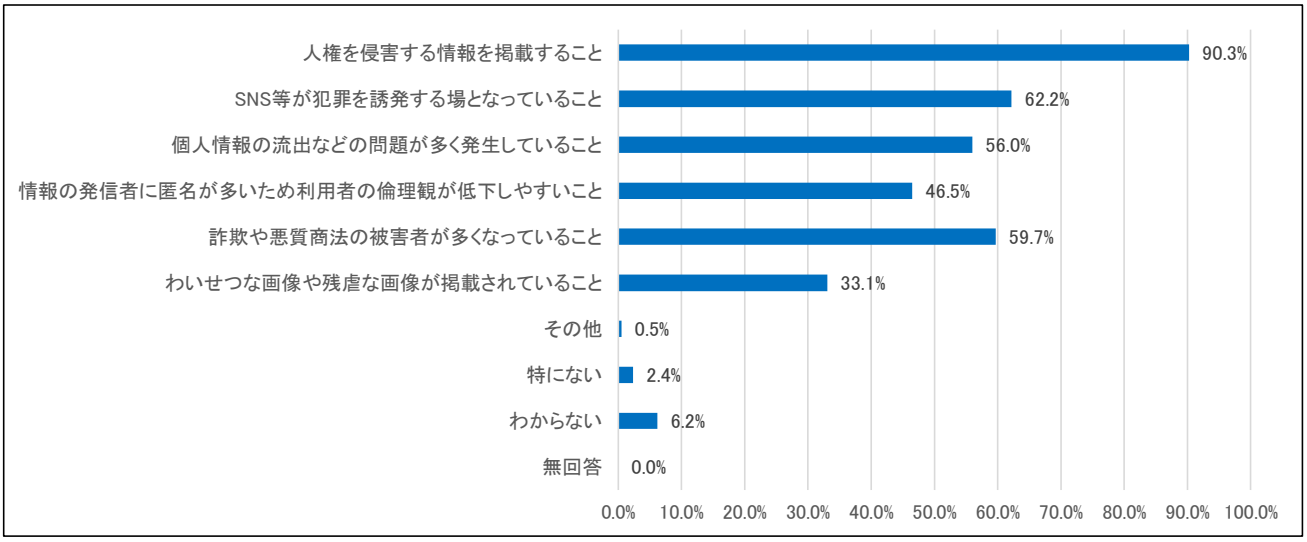
	単位	全体	性別			年齢別							職業別										地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
①相談できる相手が少ない	人	555	213	332	10	48	80	60	77	129	155	6	38	25	60	96	33	97	10	55	92	37	12	201	164	117	60	13
	%	73.1	68.3	76.7	71.4	54.5	64.5	60.6	68.1	82.2	92.3	60.0	76.0	64.1	68.2	71.6	48.5	75.8	55.6	85.9	91.1	74.0	63.2	73.9	71.6	69.6	80.0	86.7
②性的少数者（同性愛・両性愛・からだと心の性が一致しない等）に対する理解不足で誤解や偏見がある	人	333	111	214	8	39	64	50	55	64	55	6	9	20	49	58	34	66	9	29	30	18	11	120	101	75	30	7
	%	43.9	35.6	49.4	57.1	44.3	51.6	50.5	48.7	40.8	32.7	60.0	18.0	51.3	55.7	43.3	50.0	51.6	50.0	45.3	29.7	36.0	57.9	44.1	44.1	44.6	40.0	46.7
③悪意のある噂を流されたり差別的な言動をされる	人	219	69	145	5	32	52	33	36	32	31	3	11	9	35	41	30	38	7	14	16	11	7	80	71	46	16	6
	%	28.9	22.1	33.5	35.7	36.4	41.9	33.3	31.9	20.4	18.5	30.0	22.0	23.1	39.8	30.6	44.1	29.7	38.9	21.9	15.8	22.0	36.8	29.4	31.0	27.4	21.3	40.0
④性的少数者に対する配慮が足りない	人	143	56	85	2	16	29	21	29	20	26	2	4	11	25	24	17	24	3	12	9	10	4	52	53	27	8	3
	%	18.8	17.9	19.6	14.3	18.2	23.4	21.2	25.7	12.7	15.5	20.0	8.0	28.2	28.4	17.9	25.0	18.8	16.7	18.8	8.9	20.0	21.1	19.1	23.1	16.1	10.7	20.0
⑤法令や制度などの制度が十分でない（婚姻などを含む）	人	196	72	118	6	17	42	30	41	30	33	3	6	13	31	34	22	37	4	18	16	9	6	68	67	43	14	4
	%	25.8	23.1	27.3	42.9	19.3	33.9	30.3	36.3	19.1	19.6	30.0	12.0	33.3	35.2	25.4	32.4	28.9	22.2	28.1	15.8	18.0	31.6	25.0	29.3	25.6	18.7	26.7
⑥興味本位で見られたり避けられたりする	人	150	50	97	3	14	28	14	30	28	34	2	9	9	18	26	16	25	1	13	17	9	7	58	47	26	12	7
	%	19.8	16.0	22.4	21.4	15.9	22.6	14.1	26.5	17.8	20.2	20.0	18.0	23.1	20.5	19.4	23.5	19.5	5.6	20.3	16.8	18.0	36.8	21.3	20.5	15.5	16.0	46.7
⑦職場や学校でからかいや嫌がらせを受ける	人	123	41	82	0	16	33	14	20	21	19	0	4	7	18	25	13	20	4	13	9	7	3	43	44	24	9	3
	%	16.2	13.1	18.9	0.0	18.2	26.6	14.1	17.7	13.4	11.3	0.0	8.0	17.9	20.5	18.7	19.1	15.6	22.2	20.3	8.9	14.0	15.8	15.8	19.2	14.3	12.0	20.0
⑧就職・職場で不利な扱いを受ける	人	80	36	44	0	11	14	11	17	15	12	0	6	6	9	19	6	10	2	5	7	8	2	26	32	16	4	2
	%	10.5	11.5	10.2	0.0	12.5	11.3	11.1	15.0	9.6	7.1	0.0	12.0	15.4	10.2	14.2	8.8	7.8	11.1	7.8	6.9	16.0	7.0	9.6	14.0	9.5	5.3	13.3
⑨宿泊施設、店舗等での施設利用を拒否される	人	37	14	23	0	6	9	4	10	5	3	0	1	4	6	11	1	4	1	3	2	3	1	14	15	5	2	1
	%	4.9	4.5	5.3	0.0	6.8	7.3	4.0	8.8	3.2	1.8	0.0	2.0	10.3	6.8	8.2	1.5	3.1	5.6	4.7	2.0	6.0	8.0	5.1	6.6	3.0	2.7	6.7
⑩その他	人	6	5	1	0	0	1	1	1	1	2	0	1	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	3	1	1	0
	%	0.8	1.6	0.2	0.0	0.0	0.8	1.0	0.9	0.6	1.2	0.0	2.0	7.7	0.0	0.7	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	1.3	0.6	1.3	0.0
⑪特にない	人	79	44	34	1	8	12	8	12	10	28	1	8	3	3	15	7	10	2	8	17	4	2	30	17	21	10	1
	%	10.4	14.1	7.9	7.1	9.1	9.7	8.1	10.6	6.4	16.7	10.0	16.0	2.0	3.4	11.2	10.3	7.8	11.1	12.5	16.8	8.0	10.5	11.0	7.4	12.5	13.3	6.7
⑫わからない	人	180	80	96	4	16	23	20	23	40	56	2	17	8	16	32	7	30	3	14	37	13	3	65	57	36	18	4
	%	23.7	25.6	22.2	28.6	18.2	18.5	20.2	20.4	25.5	33.3	20.0	34.0	20.5	18.2	6.0	10.3	5.0	16.7	21.9	36.6	26.0	15.8	23.9	24.9	21.4	24.0	26.7
無回答	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

10　インターネット・ＳＮＳ等を悪用した人権侵害について

問 22　インターネット・ＳＮＳ等に関することがらで、あなたが特に問題があると思われるのはどのようなことですか。（回答はいくつでも可）

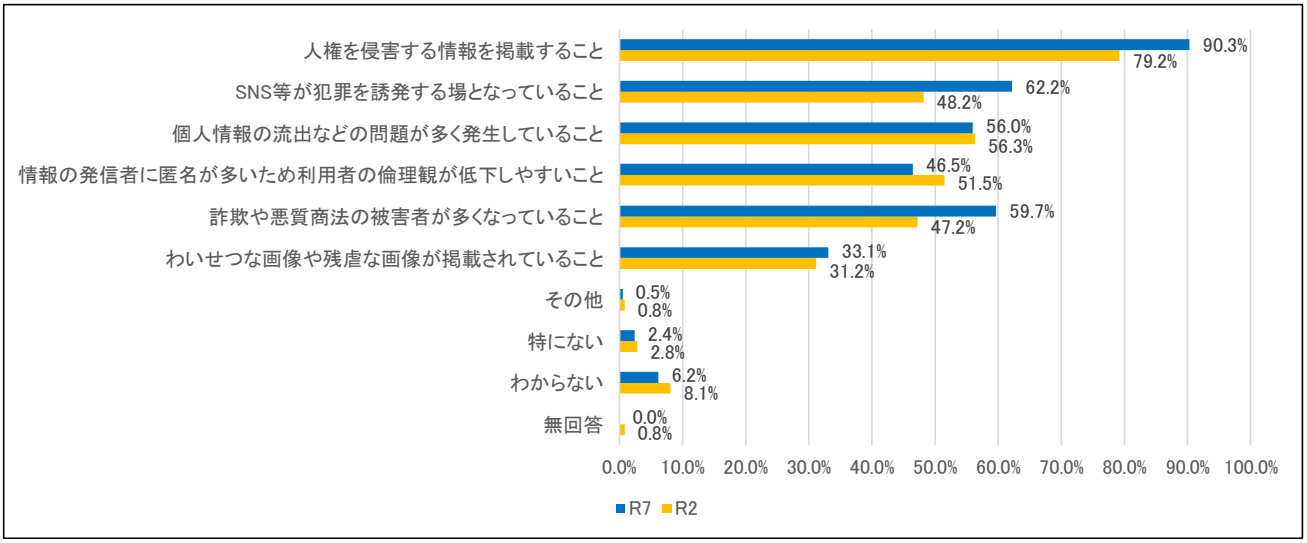
○今回調査の結果

「人権を侵害する情報を掲載すること」（90.3%）と回答した人が 9 割と非常に高くなっています。すべての回答項目ともに高い割合となっており、多くの人が問題と考えていることが分かります。



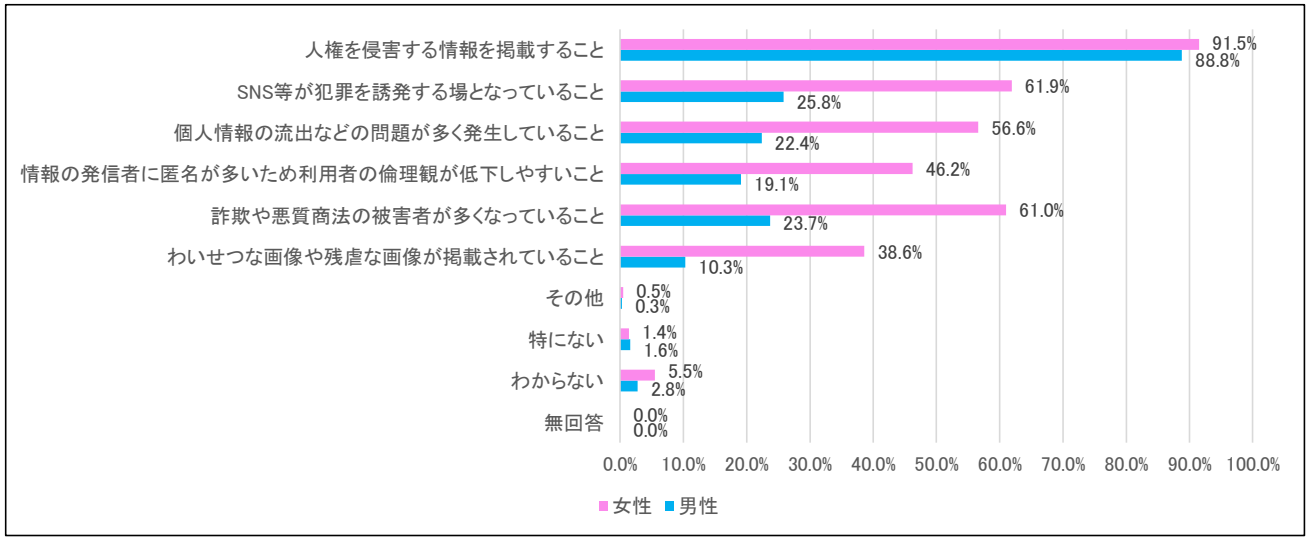
○前回調査との比較

前回調査と比較すると、「人権を侵害する情報を掲載すること」、「SNS 等が犯罪を誘発する場となっていること」、「詐欺や悪質商法の被害者が多くなっていること」と回答した人の割合が 10%以上増加しています。



○性別での比較

性別では、「人権を侵害する情報を掲載すること」と回答した人の割合に差異はみられませんが、それ以外の回答項目の割合では女性が男性を大きく上回っており、女性の方が問題と感じる人が多いことが読み取れます。



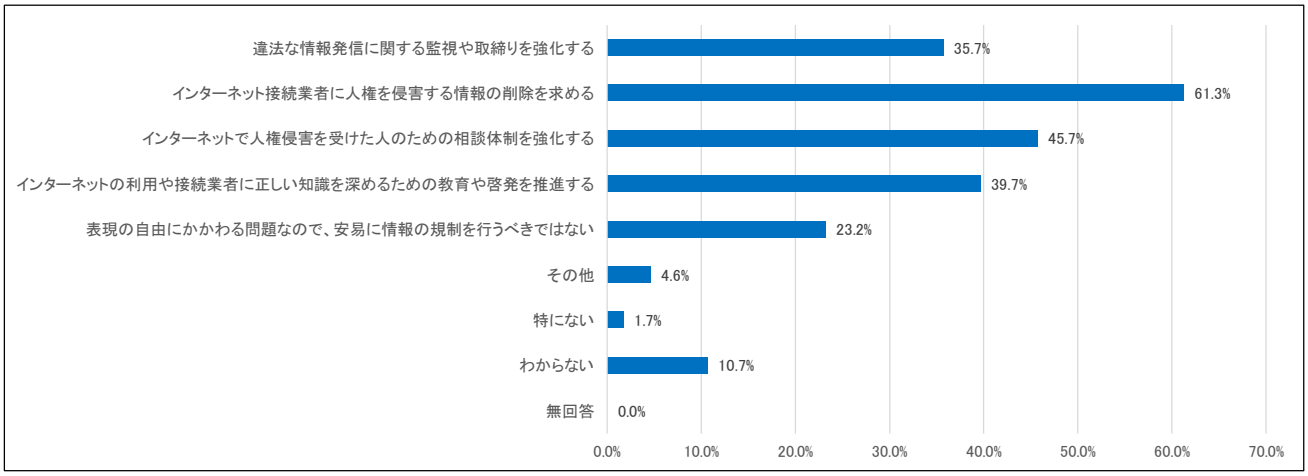
○性別、年齢別、職業別、地区別の結果

	単位	全体	性別			年齢別							職業別										地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
①他人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現など、人権を侵害する情報を掲載すること	人	685	277	396	12	67	106	77	105	155	167	8	48	36	77	113	55	119	14	62	100	45	16	249	206	148	71	11
	%	90.3	88.8	91.5	85.7	76.1	85.5	77.8	92.9	98.7	99.4	80.0	96.0	92.3	87.5	84.3	80.9	93.0	77.8	96.9	99.0	90.0	84.2	91.5	90.0	88.1	94.7	73.3
②SNSなどが犯罪を誘発する場となっていること	人	472	196	268	8	48	88	67	77	84	101	7	27	24	58	101	43	76	9	39	52	29	14	165	147	103	44	13
	%	62.2	62.8	61.9	57.1	54.5	71.0	67.7	68.1	53.5	60.1	70.0	54.0	61.5	65.9	75.4	63.2	59.4	50.0	60.9	51.5	58.0	73.7	60.7	64.2	61.3	58.7	86.7
③個人情報の流出などの問題が多く発生していること	人	425	170	245	10	47	78	66	77	82	68	7	26	24	59	79	42	80	11	34	34	24	12	152	133	93	38	9
	%	56.0	54.5	56.6	71.4	53.4	62.9	66.7	68.1	52.2	40.5	70.0	52.0	61.5	67.0	59.0	61.8	62.5	61.1	53.1	33.7	48.0	63.2	55.9	58.1	55.4	50.7	60.0
④情報の発信者に匿名が多いため、利用者の倫理観が低下しやすいこと	人	353	145	200	8	38	78	50	49	67	65	6	16	17	47	66	37	63	9	28	35	25	10	137	110	72	25	9
	%	46.5	46.5	46.2	57.1	43.2	62.9	50.5	43.4	42.7	38.7	60.0	32.0	43.6	53.4	49.3	54.4	49.2	50.0	43.8	34.7	50.0	52.6	50.4	48.0	42.9	33.3	60.0
⑤詐欺や悪徳商法の被害者が多くなっていること	人	453	180	264	9	39	68	57	72	96	115	6	32	25	60	81	27	79	11	38	61	29	10	168	137	99	41	8
	%	59.7	57.7	61.0	64.3	44.3	54.8	57.6	63.7	61.1	68.5	60.0	64.0	64.1	68.2	60.4	39.7	61.7	61.1	59.4	60.4	58.0	52.6	61.8	59.8	58.9	54.7	53.3
⑥わいせつな画像や残虐な画像が掲載されていること	人	251	78	167	6	27	49	39	44	45	43	4	11	12	32	42	30	47	6	25	21	17	8	95	73	62	21	0
	%	33.1	25.0	38.6	42.9	30.7	39.5	39.4	38.9	28.7	25.6	40.0	22.0	30.8	36.4	31.3	44.1	36.7	33.3	39.1	20.8	34.0	42.1	34.9	31.9	36.9	28.0	0.0
⑦その他	人	4	2	2	0	0	0	2	0	1	1	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0
	%	0.5	0.6	0.5	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.6	0.6	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	2.9	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	1.2	0.0	0.0
⑧特にない	人	18	12	6	0	4	2	3	1	3	5	0	1	1	1	2	2	1	0	1	4	3	2	6	3	5	3	1
	%	2.4	3.8	1.4	0.0	4.5	1.6	3.0	0.9	1.9	3.0	0.0	2.0	2.6	1.1	1.5	2.9	0.8	0.0	1.6	4.0	6.0	7.0	2.2	1.3	3.0	4.0	6.7
⑨わからない	人	47	21	24	2	7	3	3	5	12	16	1	1	1	2	8	2	9	1	4	16	2	1	19	9	9	3	7
	%	6.2	6.7	5.5	14.3	8.0	2.4	3.0	4.4	7.6	9.5	10.0	2.0	2.6	2.3	6.0	2.9	7.0	5.6	6.3	15.8	4.0	8.0	7.0	3.9	5.4	4.0	46.7
無回答	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 23　インターネット上での人権侵害を防ぐために、あなたが特に取組む必要があるとのようなことですか。（回答はいくつでも可）※今回調査から追加しています。

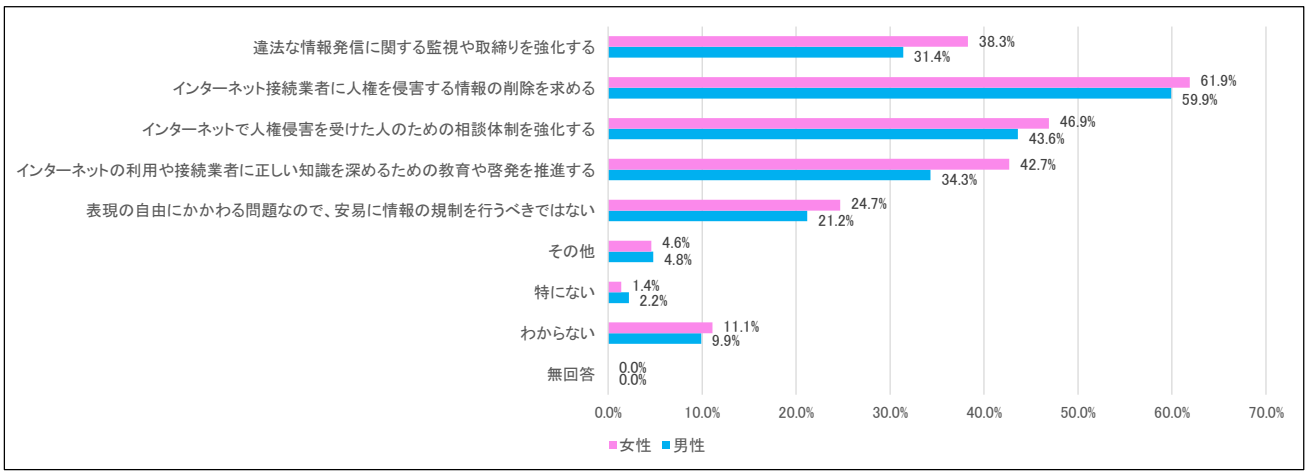
○今回調査の結果

近年、インターネット上の人権侵害が社会問題となっていることを踏まえ、その対策の必要性をみるために新たに追加した質問です。「インターネット接続業者に人権を侵害する情報の削除を求める」（61.3%）と回答した人の割合が最も高く、次いで「インターネットで人権侵害を受けた人のための相談体制を強化する」（45.7%）の順となっています。



○性別での比較

性別では、大きな差異はみられませんが、全体的に女性の回答割合が高くなっており、男性よりも女性の方が対策に取組む必要があると感じる人が多いことが読み取れます。



○性別、年齢別、職業別、地区別の結果

	単位	全体	性別			年齢別							職業別											地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
①違法な情報発信に対する監視や取締りを強化する	人	271	98	166	7	12	19	24	41	80	92	3	23	13	25	41	8	44	4	41	51	16	5	91	81	57	34	8
	%	35.7	31.4	38.3	50.0	13.6	15.3	24.2	36.3	51.0	54.8	30.0	46.0	33.3	28.4	30.6	11.8	34.4	22.2	64.1	50.5	32.0	26.3	33.5	35.4	33.9	45.3	53.3
②プロバイダ(インターネット接続業者)などに人権を侵害する情報の削除を求める	人	465	187	268	10	48	81	66	75	97	90	8	30	23	69	81	43	84	11	35	48	28	13	168	150	102	35	10
	%	61.3	59.9	61.9	71.4	54.5	65.3	66.7	66.4	61.8	53.6	80.0	60.0	59.0	78.4	60.4	63.2	65.6	61.1	54.7	47.5	56.0	68.4	61.8	65.5	60.7	46.7	66.7
③インターネットで人権侵害を受けた人のための相談体制を整備する	人	347	136	203	8	34	55	50	64	67	71	6	19	22	47	61	38	63	5	29	31	22	10	127	113	72	26	9
	%	45.7	43.6	46.9	57.1	38.6	44.4	50.5	56.6	42.7	42.3	60.0	38.0	56.4	53.4	45.5	55.9	49.2	4.0	45.3	30.7	44.0	52.6	46.7	49.3	42.9	34.7	60.0
④インターネットの利用者やプロバイダにプライバシーや名誉に関する正しい知識を深めるための教育や啓発を推進する	人	301	107	185	9	31	51	38	53	56	65	7	15	19	40	50	27	64	4	21	29	22	10	112	84	70	25	10
	%	39.7	34.3	42.7	64.3	35.2	41.1	38.4	46.9	35.7	38.7	70.0	30.0	48.7	45.5	37.3	39.7	50.0	22.2	32.8	28.7	44.0	52.6	41.2	36.7	41.7	33.3	66.7
⑤表現の自由に関わる問題なので、安易に情報の規制は行うべきではない	人	176	66	107	3	23	52	26	33	21	17	4	6	14	33	33	28	29	4	10	8	6	5	60	64	42	8	2
	%	23.2	21.2	24.7	21.4	26.1	41.9	26.3	29.2	13.4	10.1	40.0	12.0	35.9	37.5	24.6	41.2	22.7	22.2	15.6	7.9	12.0	26.3	22.1	27.9	25.0	10.7	13.3
⑥その他	人	35	15	20	0	8	10	6	5	2	4	0	1	1	8	7	3	7	0	1	2	3	2	11	12	9	2	1
	%	4.6	4.8	4.6	0.0	9.1	8.1	6.1	4.4	1.3	2.4	0.0	2.0	2.6	9.1	5.2	4.4	5.5	0.0	1.6	2.0	6.0	10.5	4.0	5.2	5.4	2.7	6.7
⑦特にない	人	13	7	6	0	1	1	2	0	1	8	0	0	1	0	3	0	2	0	0	6	0	1	7	4	2	0	0
	%	1.7	2.2	1.4	0.0	1.1	0.8	2.0	0.0	0.6	4.8	0.0	0.0	2.6	0.0	2.2	0.0	1.6	0.0	0.0	5.9	0.0	5.3	2.6	1.7	1.2	0.0	0.0
⑧わからない	人	81	31	48	2	8	10	5	9	18	30	1	3	4	3	11	2	14	1	9	23	7	4	38	13	17	12	1
	%	10.7	9.9	11.1	14.3	9.1	8.1	5.1	8.0	11.5	17.9	10.0	6.0	10.3	3.4	8.2	2.9	10.9	5.6	14.1	22.8	14.0	7.0	14.0	5.7	10.1	16.0	6.7
無回答	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

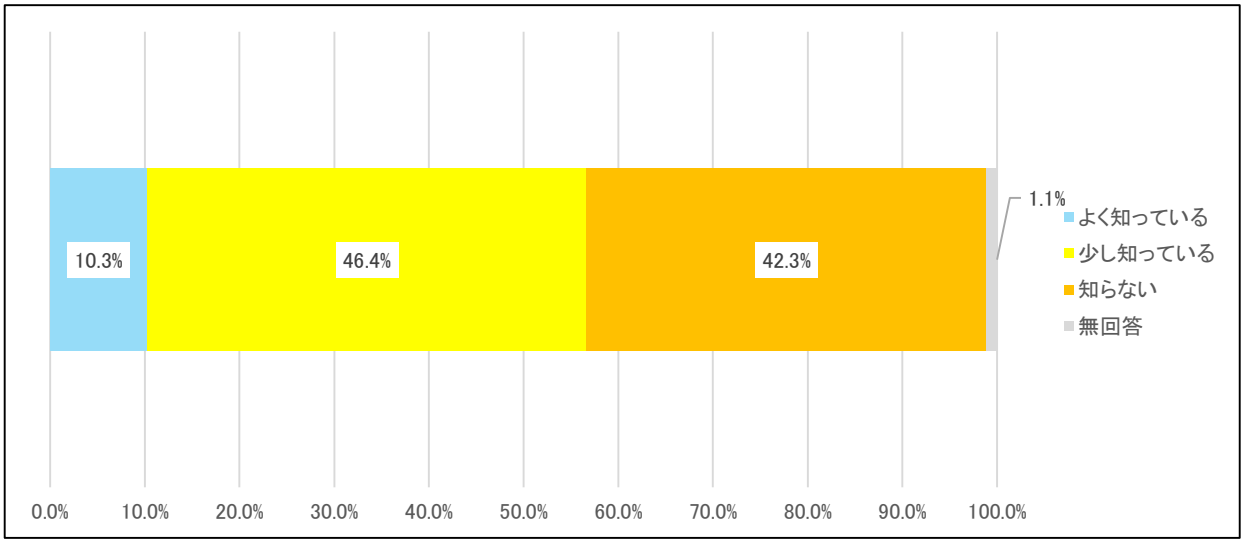
11　部落差別(同和問題)について

問 24　あなたは、同和地区(被差別部落)に生まれ、そこに住む人たちや出身の人たちが、今でも就職や結婚などで差別を受けていること(部落差別(同和問題))を知っていますか。
(回答は１つだけ)

○今回調査の結果

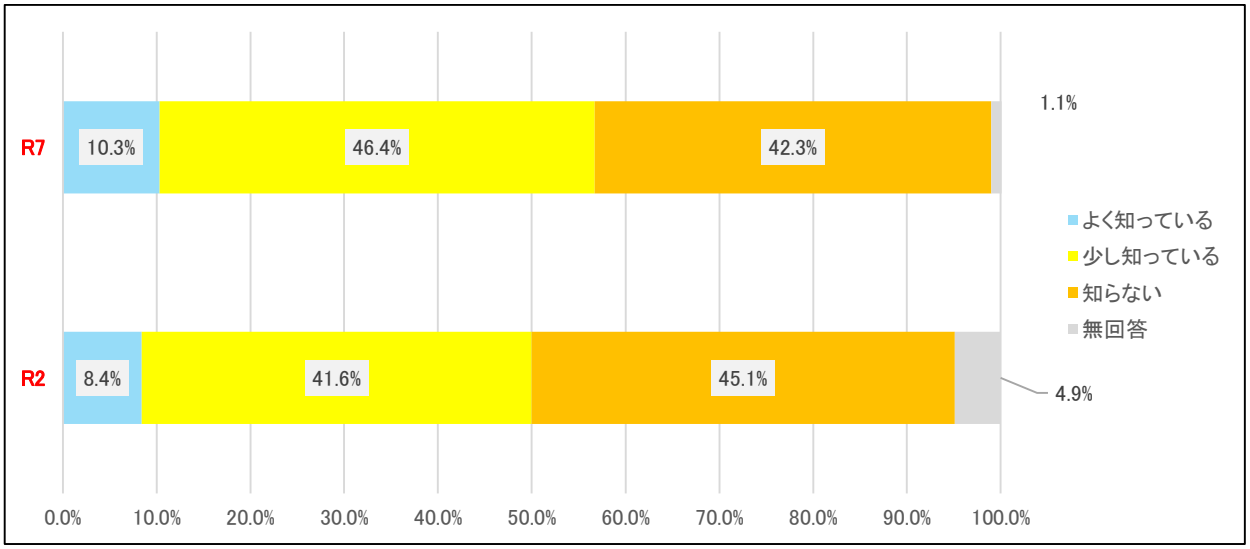
「よく知っている」(10.3%)、「少し知っている」(46.4%)と回答した人の割合が 5 割を超えており、半数以上が部落差別(同和問題)のことを知っていることが分かります。

年齢別でみると、「よく知っている」、「少し知っている」と回答した人の割合は 40 歳代が最も高くなっていた一方で、70 歳代以上の 50%が「知らない」と回答しています。



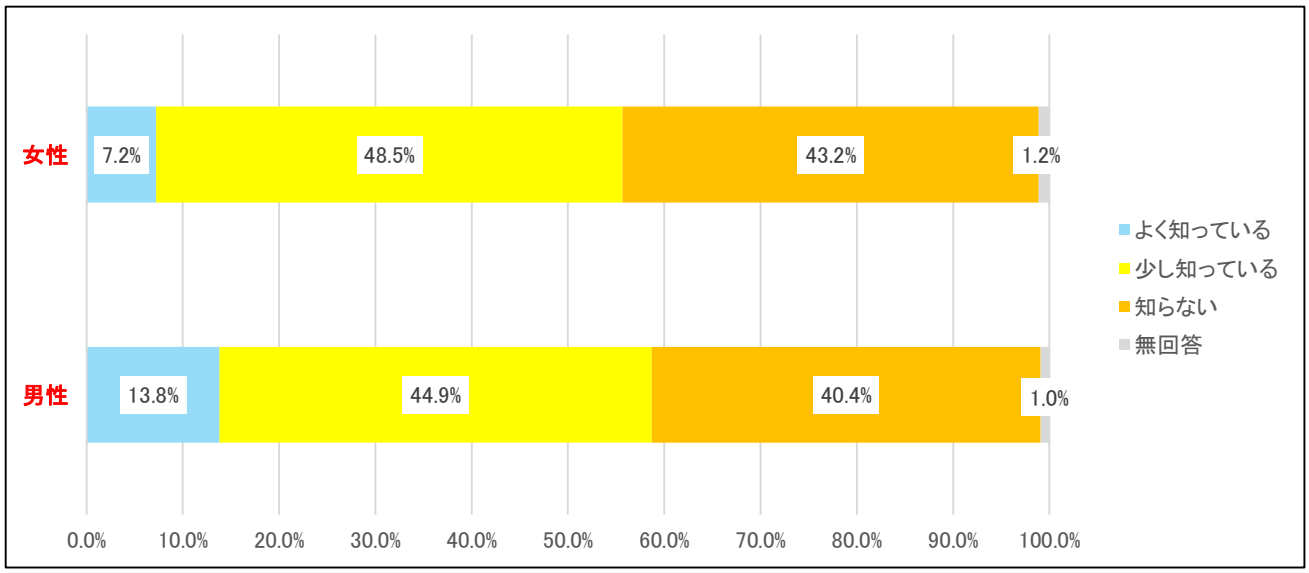
○前回調査との比較

前回調査と比較すると、「よく知っている」と回答した人の割合が 1.9%、「少しだけ知っている」と回答した人の割合が 4.8%増加しています。一方で「知らない」と回答した人の割合が 2.8%減少しています。



○性別での比較

「よく知っている」と回答した人の割合は、男性が女性より 6.6%高くなっています。



○性別、年齢別、職業別、地区別の結果

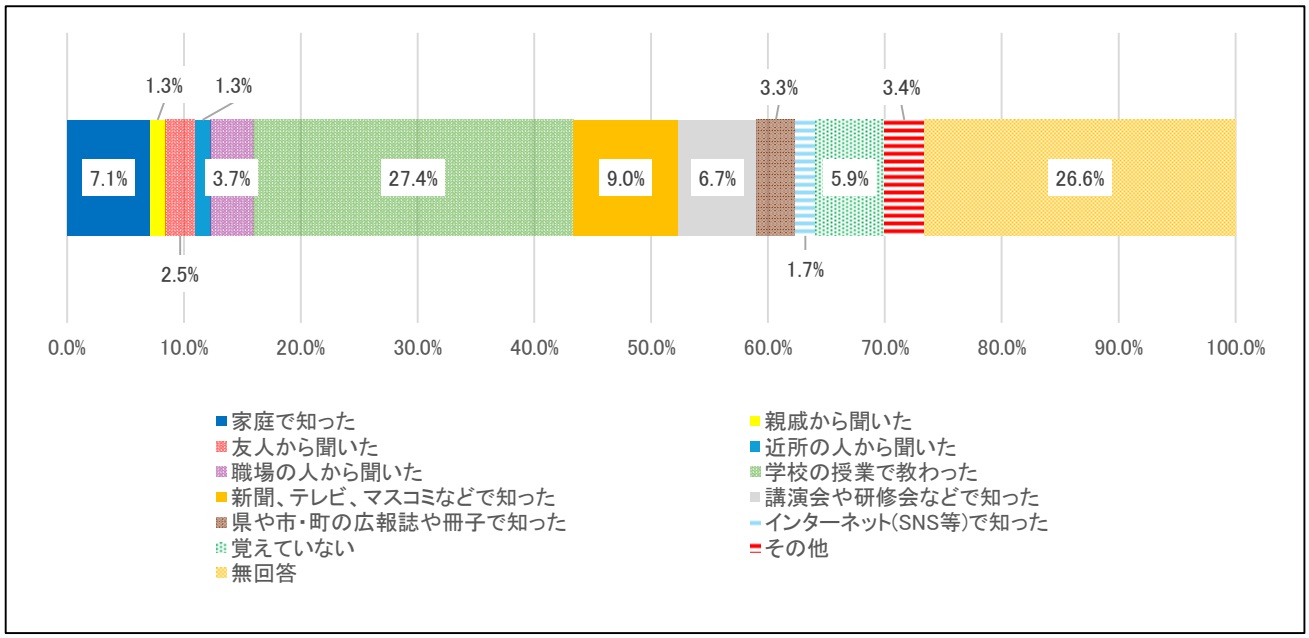
	単位	全体	性別			年齢別							職業別											地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
①よく知っている	人	78	43	31	4	5	12	11	16	17	14	3	6	4	7	8	21	10	0	5	11	3	3	27	27	13	9	2
	%	10.3	13.8	7.2	28.6	5.7	9.7	11.1	14.2	10.8	8.3	30.0	12.0	10.3	8.0	6.0	30.9	7.8	0.0	7.8	10.9	6.0	15.8	9.9	11.8	7.7	12.0	13.3
②少し知っている	人	352	140	210	2	40	57	54	48	83	68	2	25	17	47	64	32	57	10	37	36	20	7	126	108	76	36	6
	%	46.4	44.9	48.5	14.3	45.5	46.0	54.5	42.5	52.9	40.5	20.0	50.0	43.6	53.4	47.8	47.1	44.5	55.6	57.8	35.6	40.0	36.8	46.3	47.2	45.2	48.0	40.0
③知らない	人	321	126	187	8	43	55	34	47	53	84	5	19	17	34	60	14	60	8	22	52	26	9	116	92	78	29	6
	%	42.3	40.4	43.2	57.1	48.9	44.4	34.3	41.6	33.8	50.0	50.0	38.0	43.6	38.6	44.8	20.6	46.9	44.4	34.4	51.5	52.0	47.4	42.6	40.2	46.4	38.7	40.0
無回答	人	8	3	5	0	0	0	0	2	4	2	0	0	1	0	2	1	1	0	0	2	1	0	3	2	1	1	1
	%	1.1	1.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	2.5	1.2	0.0	0.0	2.6	0.0	1.5	1.5	0.8	0.0	0.0	2.0	2.0	0.0	1.1	0.9	0.6	1.3	6.7

問 25　あなたが、部落差別（同和問題）をはじめて知ったのは、どのようなきっかけからですか。
（回答は１つだけ）

○今回調査の結果

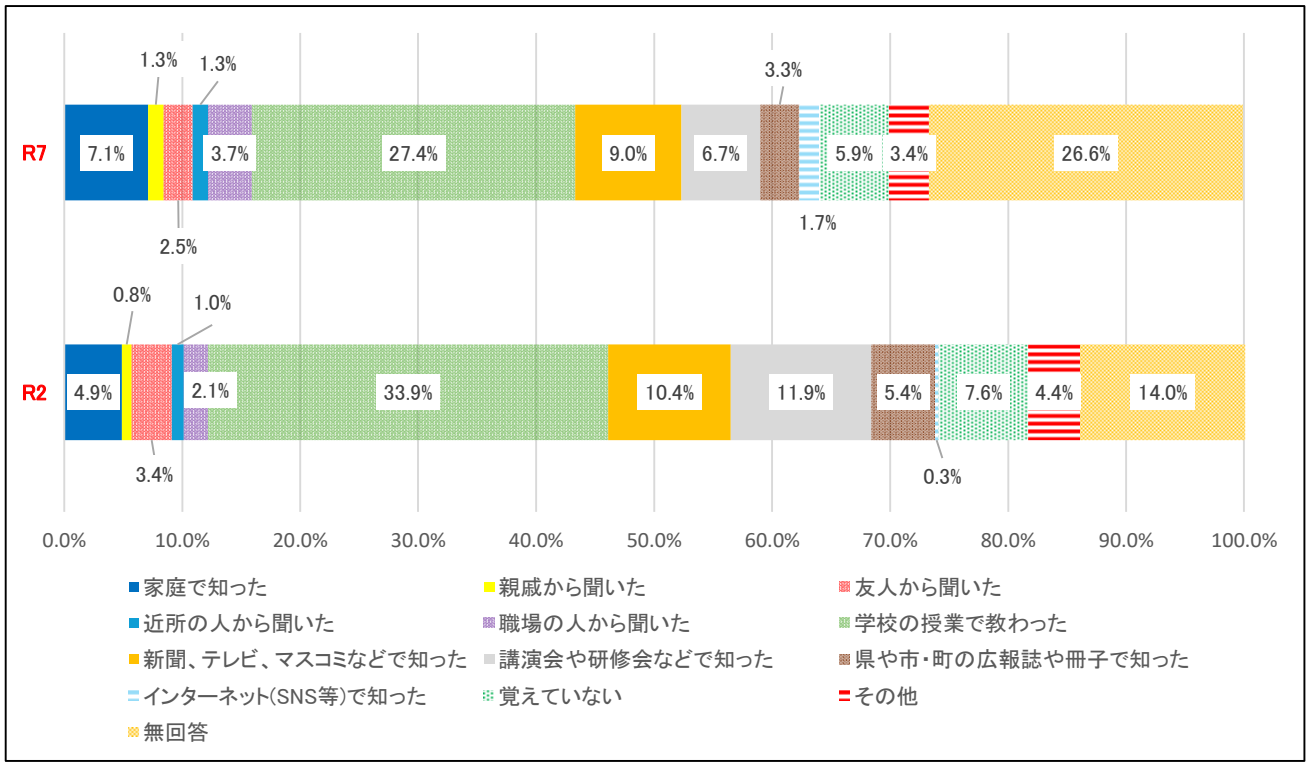
「学校の授業で教わった」（27.4%）と回答した人の割合が最も高くなっており、小・中学校での人権・同和教育の成果が読み取れます。

年齢別でみると、70 歳代以上だけは、「新聞、テレビ、マスコミなどで知った」（14.3%）と回答した人の割合が最も高く、40 歳代の 12.1%が「家庭で知った」と回答しています。



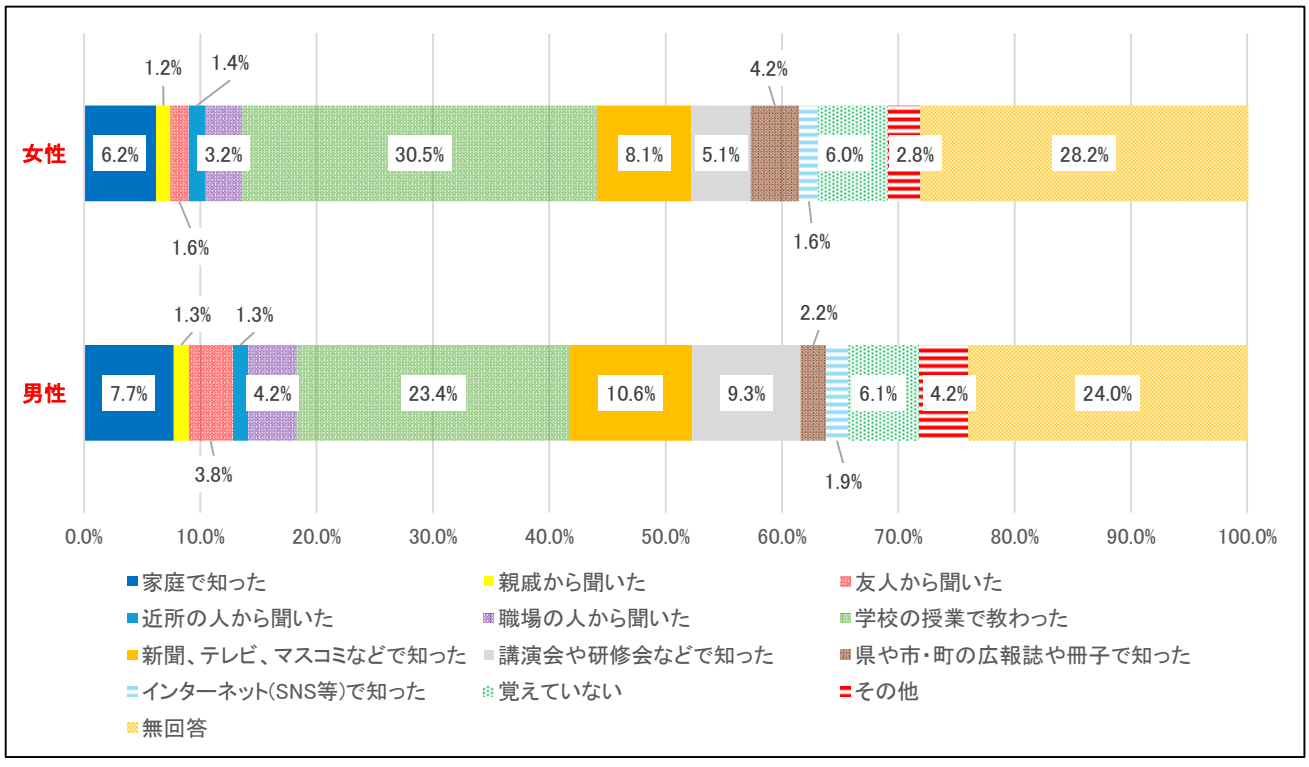
○前回調査との比較

前回調査と比較すると、「学校の授業で教わった」と回答した人の割合が 6.5%減少した一方で、「無回答」のほか、「家庭で知った」、「職場の人から聞いた」と回答した人の割合が増加しています。



○性別での比較

「学校の授業で教わった」と回答した人の割合は、男性より女性の方が高くなっています。また、「新聞、テレビ、マスコミなどで知った」と回答した人の割合は、女性より男性の方が高くなっています。



○性別、年齢別、職業別、地区別の結果

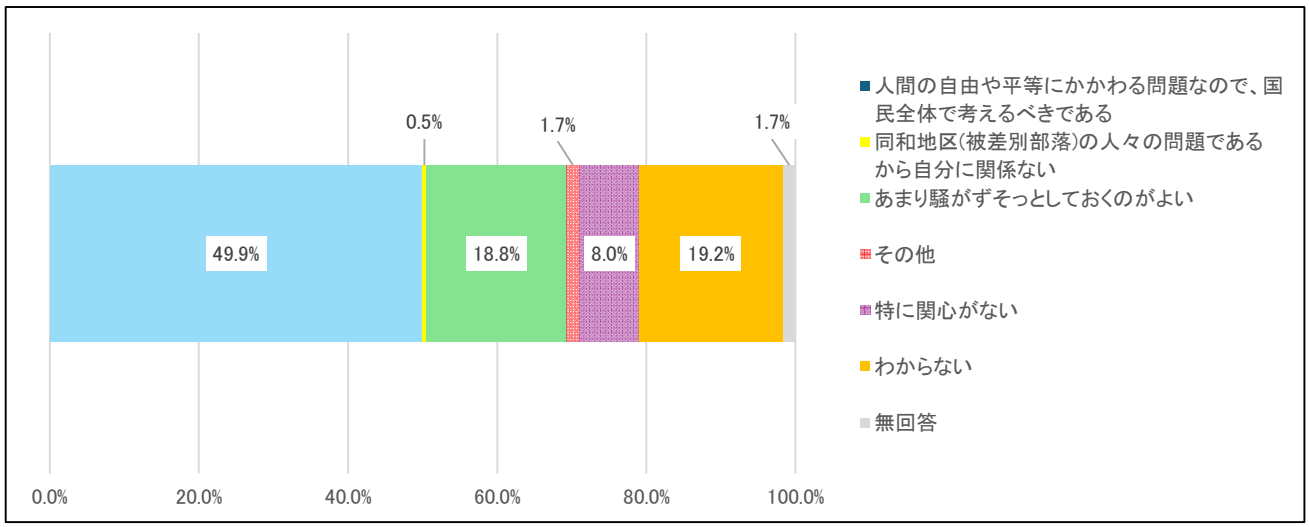
	単位	全体	性別			年齢別							職業別											地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
①家庭で知った	人	54	24	27	3	3	8	12	7	14	8	2	3	1	1	16	4	11	0	6	5	5	2	20	21	9	2	2
	%	7.1	7.7	6.2	21.4	3.4	6.5	12.1	6.2	8.9	4.8	20.0	6.0	2.6	1.1	11.9	5.9	8.6	0.0	9.4	5.0	10.0	10.5	7.4	9.2	5.4	2.7	13.3
②親戚から聞いた	人	10	4	5	1	1	2	2	1	2	2	0	1	0	4	1	0	2	0	0	1	1	0	5	2	3	0	0
	%	1.3	1.3	1.2	7.1	1.1	1.6	2.0	0.9	1.3	1.2	0.0	2.0	0.0	4.5	0.7	0.0	1.6	0.0	0.0	1.0	2.0	0.0	1.8	0.9	1.8	0.0	0.0
③友人から聞いた	人	19	12	7	0	3	2	0	3	6	5	0	4	1	3	2	0	3	0	2	2	1	1	4	4	7	4	0
	%	2.5	3.8	1.6	0.0	3.4	1.6	0.0	2.7	3.8	3.0	0.0	8.0	2.6	3.4	1.5	0.0	2.3	0.0	3.1	2.0	2.0	5.3	1.5	1.7	4.2	5.3	0.0
④近所の人から聞いた	人	10	4	6	0	0	0	0	1	5	4	0	2	0	2	2	0	0	0	1	3	0	0	3	3	4	0	0
	%	1.3	1.3	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	3.2	2.4	0.0	4.0	0.0	2.3	1.5	0.0	0.0	0.0	1.6	3.0	0.0	0.0	1.1	1.3	2.4	0.0	0.0
⑤職場の人から聞いた	人	28	13	14	1	3	4	9	4	3	4	1	2	0	3	3	5	6	0	2	4	2	1	13	9	4	0	2
	%	3.7	4.2	3.2	7.1	3.4	3.2	9.1	3.5	1.9	2.4	10.0	4.0	0.0	3.4	2.2	7.4	4.7	0.0	3.1	4.0	4.0	5.3	4.8	3.9	2.4	0.0	13.3
⑥学校の授業で教わった	人	208	73	132	3	32	51	37	46	27	11	4	5	9	38	44	31	33	10	18	6	10	4	77	69	45	15	2
	%	27.4	23.4	30.5	21.4	36.4	41.1	37.4	40.7	17.2	6.5	40.0	10.0	23.1	43.2	32.8	45.6	25.8	55.6	28.1	5.9	20.0	21.1	28.3	30.1	26.8	20.0	13.3
⑦新聞、テレビ、マスコミなどで知った	人	68	33	35	0	5	8	3	7	21	24	0	6	4	8	13	1	10	0	8	15	3	0	18	26	14	10	0
	%	9.0	10.6	8.1	0.0	5.7	6.5	3.0	6.2	13.4	14.3	0.0	12.0	10.3	9.1	9.7	1.5	7.8	0.0	12.5	14.9	6.0	0.0	6.6	11.4	8.3	13.3	0.0
⑧講演会や研修会などで知った	人	51	29	22	0	7	6	7	4	12	15	0	7	2	2	4	16	7	1	0	10	2	0	19	13	8	10	1
	%	6.7	9.3	5.1	0.0	8.0	4.8	7.1	3.5	7.6	8.9	0.0	14.0	5.1	2.3	3.0	23.5	5.5	5.6	0.0	9.9	4.0	7.0	7.0	5.7	4.8	13.3	6.7
⑨県や市・町の広報誌や冊子で知った	人	25	7	18	0	0	2	2	4	7	10	0	3	3	1	2	1	7	0	5	1	2	0	10	7	5	3	0
	%	3.3	2.2	4.2	0.0	0.0	1.6	2.0	3.5	4.5	6.0	0.0	6.0	7.7	1.1	1.5	1.5	5.5	0.0	7.8	1.0	4.0	8.0	3.7	3.1	3.0	4.0	0.0
⑩インターネット（SNS等）で知った	人	13	6	7	0	2	7	1	1	2	0	0	0	2	2	3	0	2	0	0	0	2	2	5	5	3	0	0
	%	1.7	1.9	1.6	0.0	2.3	5.6	1.0	0.9	1.3	0.0	0.0	0.0	5.1	2.3	2.2	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	4.0	10.5	1.8	2.2	1.8	0.0	0.0
⑪覚えていない	人	45	19	26	0	13	10	5	6	7	4	0	6	4	7	9	3	7	2	1	0	5	1	16	15	9	5	0
	%	5.9	6.1	6.0	0.0	14.8	8.1	5.1	5.3	4.5	2.4	0.0	12.0	2.0	8.0	6.7	4.4	5.5	11.1	1.6	0.0	10.0	5.3	5.9	6.6	5.4	6.7	0.0
⑫その他	人	26	13	12	1	7	4	4	2	4	4	1	0	3	4	3	2	3	2	1	3	3	2	8	7	9	1	1
	%	3.4	4.2	2.8	7.1	8.0	3.2	4.0	1.8	2.5	2.4	10.0	0.0	7.7	4.5	6.0	2.9	5.0	11.1	1.6	3.0	6.0	10.5	2.9	3.1	5.4	1.3	6.7
無回答	人	202	75	122	5	12	20	17	27	47	77	2	11	10	13	32	5	37	3	20	51	14	6	74	48	48	25	7
	%	26.6	24.0	28.2	35.7	13.6	16.1	6.0	23.9	29.9	45.8	20.0	22.0	25.6	14.8	23.9	7.4	28.9	16.7	31.3	50.5	28.0	31.6	27.2	21.0	28.6	33.3	46.7

問 26　部落差別(同和問題)について、あなたはどう考えますか。(回答は１つだけ)

○今回調査の結果

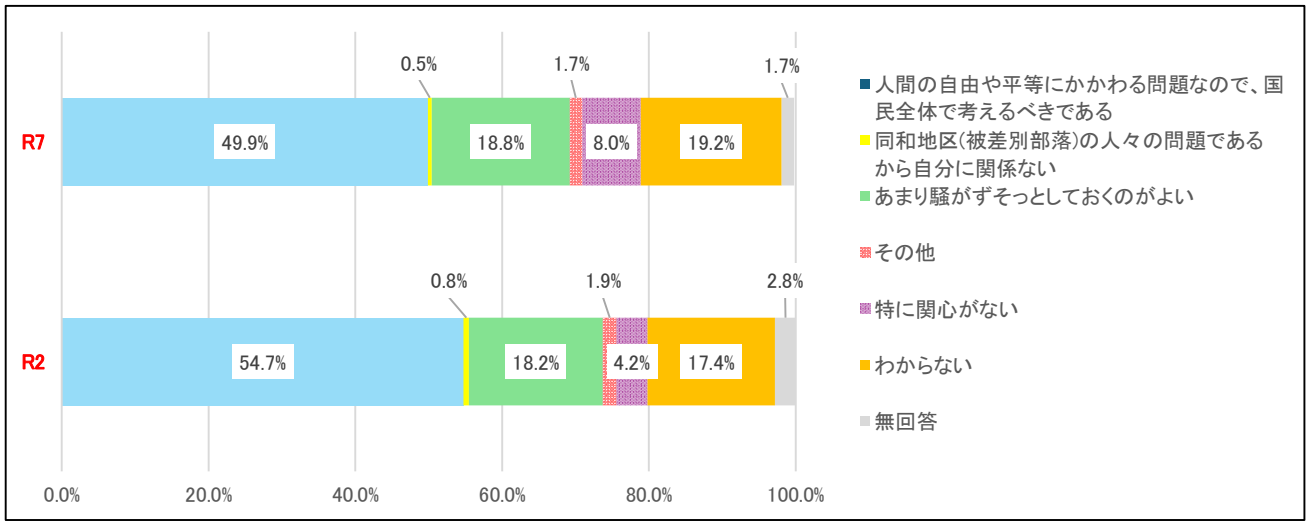
「人間の自由や平等にかかわる問題なので、国民全体で考えるべきである」(49.9%)と回答した人の割合が 5 割程度となっています。また、「あまり騒がずそっとしておくのがよい」(18.8%)と回答した人の割合は 2 割弱となっており、「寝た子を起こすな論」を考えていることが分かります。

年齢別でみると、「あまり騒がずそっとしておくのがよい」と回答した人の割合は、若い世代の方が低く、年代が上がるにつれて高くなっています。



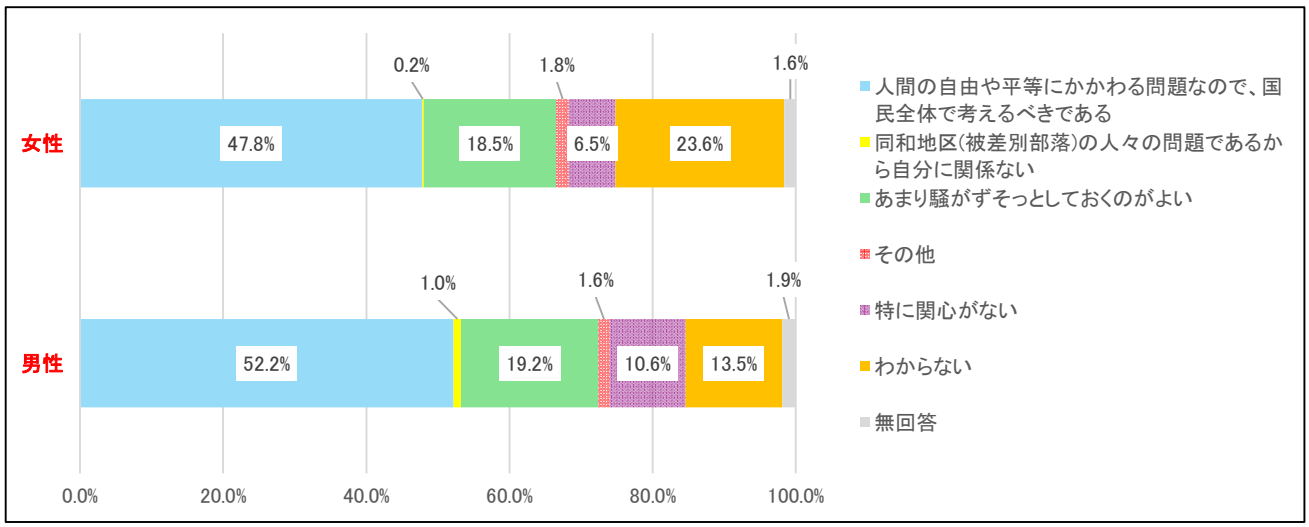
○前回調査との比較

前回調査と比較すると、「人間の自由や平等にかかわる問題なので、国民全体で考えるべきである」回答した人の割合が 4.8%減少しています。一方で、「特に関心がない」と回答した人の割合が 3.8%、「わからない」と回答した人の割合が 1.8%増加しています。



○性別での比較

女性の 2 割強が「わからない」と回答しています。



○性別、年齢別、職業別、地区別の結果

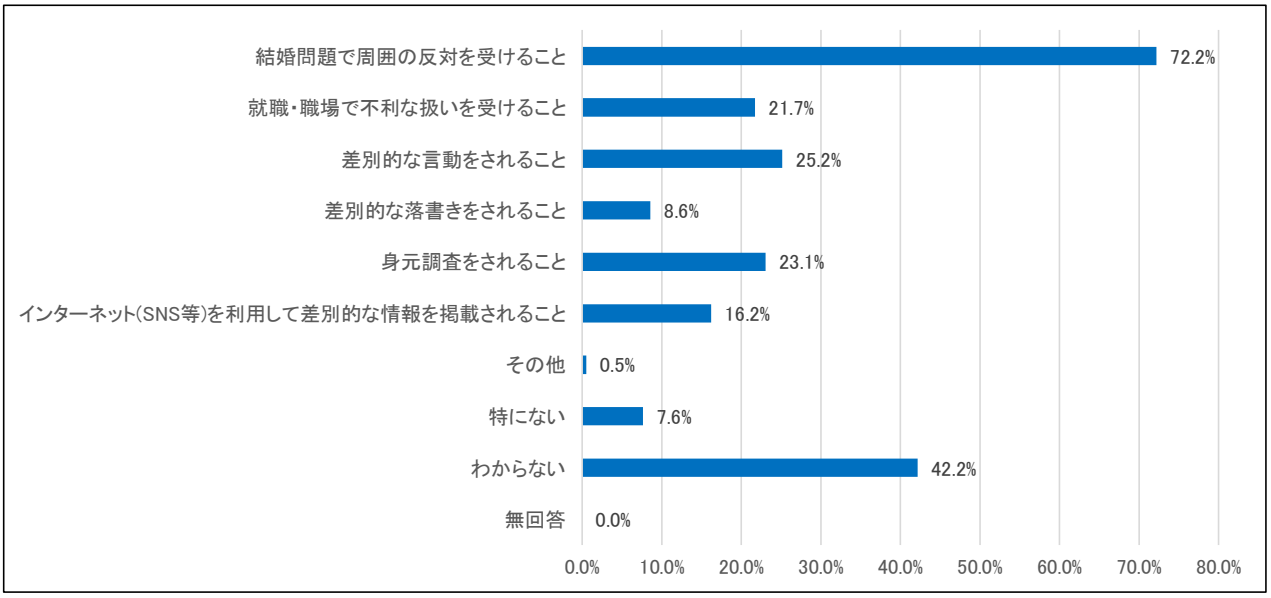
	単位	全体	性別			年齢別							職業別											地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
①人間の自由や平等にかかわる問題なので、国民全体で考えるべきである	人	379	163	207	9	39	70	54	59	81	70	6	13	21	55	67	41	55	11	37	45	25	9	132	128	78	35	6
	%	49.9	52.2	47.8	64.3	44.3	56.5	54.5	52.2	51.6	41.7	60.0	26.0	53.8	62.5	50.0	60.3	43.0	61.1	57.8	44.6	50.0	47.4	48.5	55.9	46.4	46.7	40.0
②同和地区（被差別部落）の人々の問題であるから自分には関係ない	人	4	3	1	0	0	3	1	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0
	%	0.5	1.0	0.2	0.0	0.0	2.4	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	1.1	0.7	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.4	0.6	0.0	0.0
③あまり騒がずそっとしておくのがよい	人	143	60	80	3	10	14	18	21	34	44	2	20	9	8	28	9	24	1	13	18	8	5	54	37	34	14	4
	%	18.8	19.2	18.5	21.4	11.4	11.3	18.2	18.6	21.7	26.2	20.0	40.0	23.1	9.1	20.9	13.2	18.8	5.6	20.3	17.8	16.0	26.3	19.9	16.2	20.2	18.7	26.7
④その他	人	13	5	8	0	1	1	2	5	3	1	0	0	0	1	4	2	3	0	0	1	1	1	5	4	2	2	0
	%	1.7	1.6	1.8	0.0	1.1	0.8	2.0	4.4	1.9	0.6	0.0	0.0	0.0	1.1	3.0	2.9	2.3	0.0	0.0	1.0	2.0	5.3	1.8	1.7	1.2	2.7	0.0
⑤特に関心がない	人	61	33	28	0	15	8	6	8	10	14	0	5	0	4	14	6	12	2	1	11	5	1	25	14	13	8	1
	%	8.0	10.6	6.5	0.0	17.0	6.5	6.1	7.1	6.4	8.3	0.0	10.0	0.0	4.5	10.4	8.8	9.4	11.1	1.6	10.9	10.0	5.3	9.2	6.1	7.7	10.7	6.7
⑥わからない	人	146	42	102	2	23	26	17	19	27	32	2	10	9	18	17	9	31	4	11	24	10	3	50	42	37	14	3
	%	19.2	13.5	23.6	14.3	26.1	21.0	17.2	16.8	17.2	19.0	20.0	20.0	23.1	20.5	12.7	13.2	24.2	22.2	17.2	23.8	20.0	15.8	18.4	18.3	22.0	18.7	20.0
無回答	人	13	6	7	0	0	2	1	1	2	7	0	1	0	1	3	1	2	0	2	2	1	0	4	3	3	2	1
	%	1.7	1.9	1.6	0.0	0.0	1.6	1.0	0.9	1.3	4.2	0.0	2.0	0.0	1.1	2.2	1.5	1.6	0.0	3.1	2.0	2.0	0.0	1.5	1.3	1.8	2.7	6.7

問 27　あなたは現在、部落差別(同和問題)に関し、どのような問題が起きていると思いますか。
（回答はいくつでも可）

○今回調査の結果

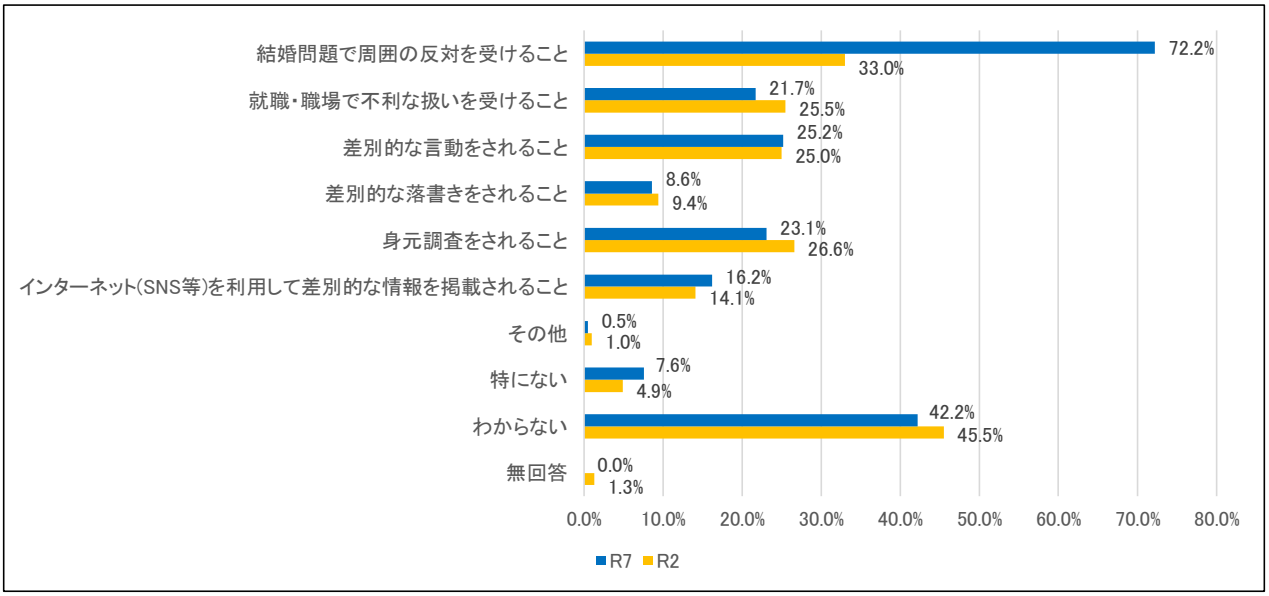
「結婚問題で周囲の反対を受けること」(72.2%)と回答した人の割合が 7 割を超えており、年代が上がるにつれて高い割合になっています。

年齢別でみると、「差別的な言動をされること」と回答した人の割合は 30 歳代(40.3%)で高くなっています。



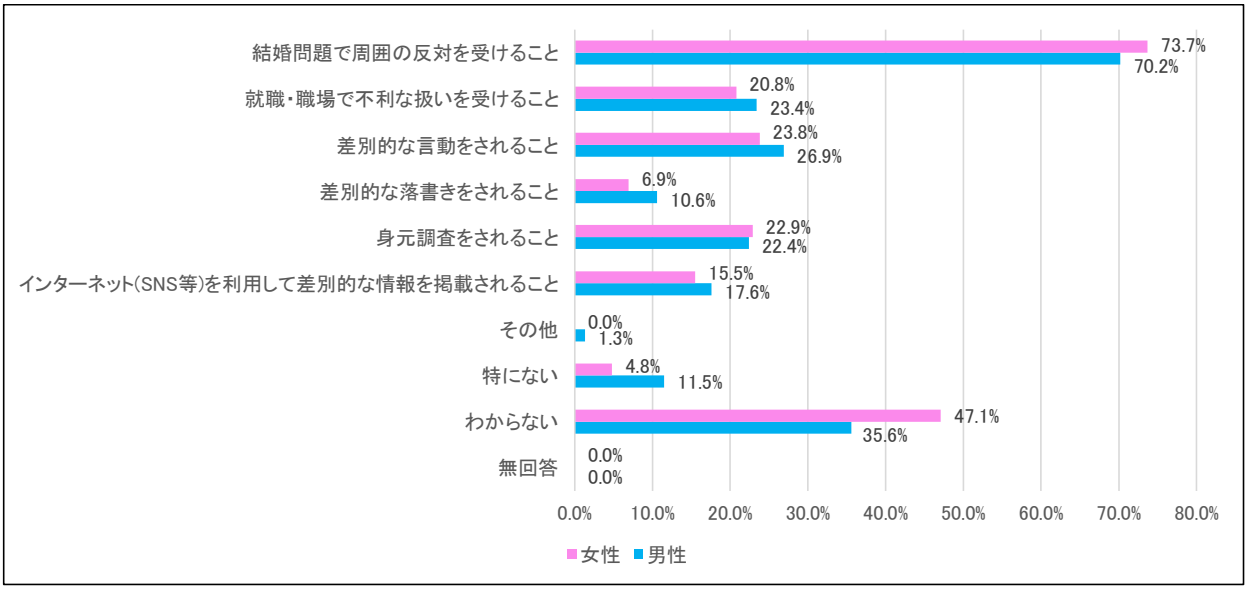
○前回調査との比較

前回調査と比較すると、「結婚問題で周囲の反対を受けること」と回答した人の割合が 39.2%増加しています。一方で、「就職・職場で不利な扱いを受けること」と回答した人の割合が 3.8%、「わからない」と回答した人の割合が 3.3%減少しています。



○性別での比較

性別では、大きな差異はみられません。



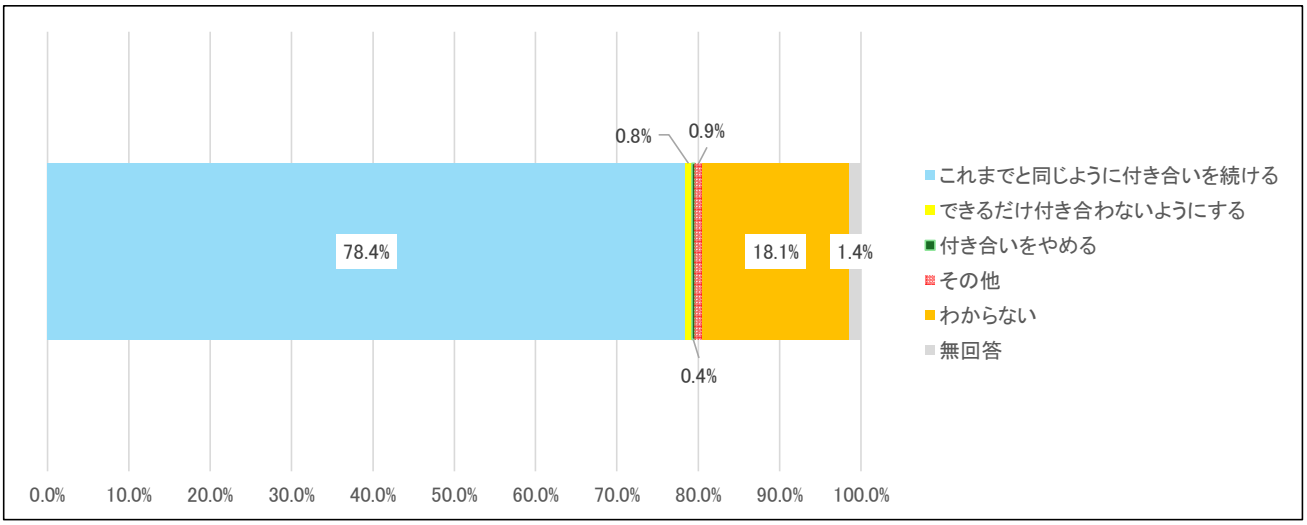
○性別、年齢別、職業別、地区別の結果

	単位	全体	性別			年齢別							職業別											地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
① 結婚問題で周囲の反対を受けること	人	548	219	319	10	41	68	60	83	134	156	6	39	25	60	85	41	92	7	57	95	33	14	199	150	121	66	12
	%	72.2	70.2	73.7	71.4	46.6	54.8	60.6	73.5	85.4	92.9	60.0	78.0	64.1	68.2	63.4	60.3	71.9	38.9	89.1	94.1	66.0	73.7	73.2	65.5	72.0	88.0	80.0
② 就職・職場で不利な扱いを受けること	人	165	73	90	2	16	34	26	28	33	27	1	7	9	28	30	21	26	4	11	20	4	5	60	52	39	12	2
	%	21.7	23.4	20.8	14.3	18.2	27.4	26.3	24.8	21.0	16.1	10.0	14.0	23.1	31.8	22.4	30.9	20.3	22.2	17.2	19.8	8.0	26.3	22.1	22.7	23.2	16.0	13.3
③ 差別的な言動をされること	人	191	84	103	4	26	50	28	32	28	24	3	9	7	33	36	22	25	8	10	21	12	8	64	65	39	17	6
	%	25.2	26.9	23.8	28.6	29.5	40.3	28.3	28.3	17.8	14.3	30.0	18.0	17.9	37.5	26.9	32.4	19.5	44.4	15.6	20.8	24.0	42.1	23.5	28.4	23.2	22.7	40.0
④ 差別的な落書きをされること	人	65	33	30	2	8	18	12	14	3	8	2	2	1	7	19	14	5	1	4	6	1	5	23	27	10	3	2
	%	8.6	10.6	6.9	14.3	9.1	14.5	12.1	12.4	1.9	4.8	20.0	4.0	2.6	8.0	14.2	20.6	3.9	5.6	6.3	5.9	2.0	26.3	8.5	11.8	6.0	4.0	13.3
⑤ 身元調査をされること	人	175	70	99	6	13	34	26	26	36	37	3	9	12	22	31	22	28	1	15	19	8	8	62	51	45	13	4
	%	23.1	22.4	22.9	42.9	14.8	27.4	26.3	23.0	22.9	22.0	30.0	18.0	30.8	25.0	23.1	32.4	21.9	5.6	23.4	18.8	16.0	42.1	22.8	22.3	26.8	17.3	26.7
⑥ インターネット(SNS等)を利用して差別的な情報を掲載されること	人	123	55	67	1	18	23	22	20	17	23	0	5	6	14	24	22	17	3	7	13	7	5	43	46	24	8	2
	%	16.2	17.6	15.5	7.1	20.5	18.5	22.2	17.7	10.8	13.7	0.0	10.0	15.4	15.9	17.9	32.4	13.3	16.7	10.9	12.9	14.0	26.3	15.8	20.1	14.3	10.7	13.3
⑦ その他	人	4	4	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0	3	1	0	0	0
	%	0.5	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	1.5	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	1.1	0.4	0.0	0.0	0.0
⑧ 特になし	人	58	36	21	1	8	7	7	8	11	17	0	11	2	1	12	4	10	0	3	11	2	2	24	15	9	9	1
	%	7.6	11.5	4.8	7.1	9.1	5.6	7.1	7.1	7.0	10.1	0.0	22.0	5.1	1.1	9.0	5.9	7.8	0.0	4.7	10.9	4.0	7.0	8.8	6.6	5.4	12.0	6.7
⑨ わからない	人	320	111	204	5	42	46	37	47	70	72	6	19	17	34	53	16	67	9	30	42	27	6	123	90	74	27	6
	%	42.2	35.6	47.1	35.7	47.7	37.1	37.4	41.6	44.6	42.9	60.0	38.0	43.6	38.6	39.6	23.5	52.3	50.0	46.9	41.6	54.0	8.0	45.2	39.3	44.0	36.0	40.0
無回答	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 28　あなたが親しく付き合っている職場の人や、近所の人が同和地区（被差別部落）出身であることが分かったとき、あなたはどうすると思いますか。（回答は１つだけ）

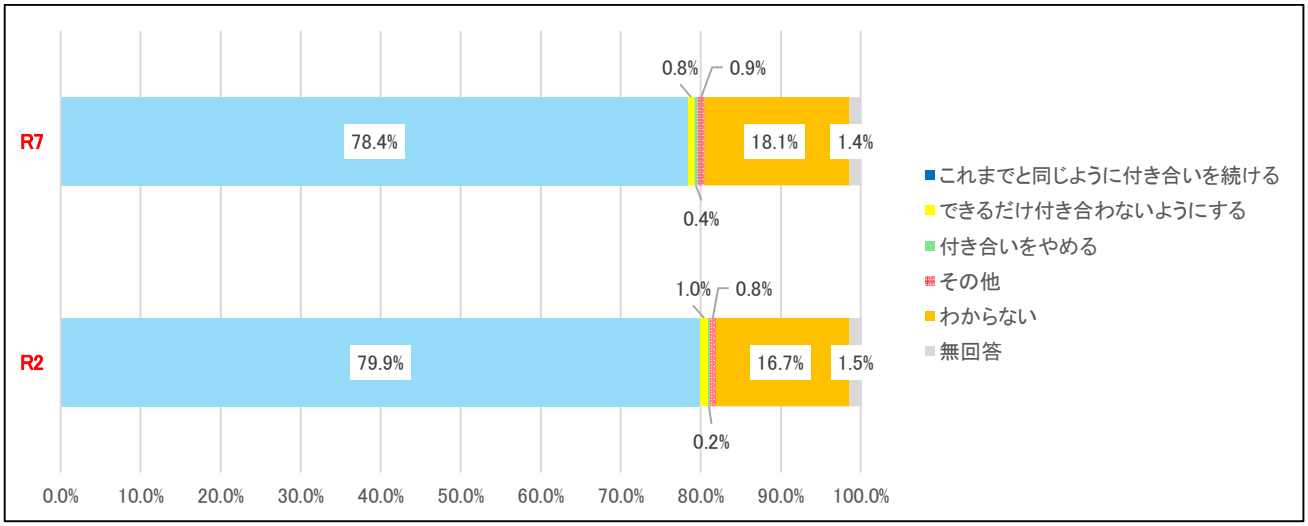
○今回調査の結果

「これまでと同じように付き合いを続ける」（78.4%）と回答した人の割合が最も高くなっています。年齢別でみると、30 歳代（83.9%）、40 歳代（81.8%）、50 歳代（81.4%）では 8 割を超えています。



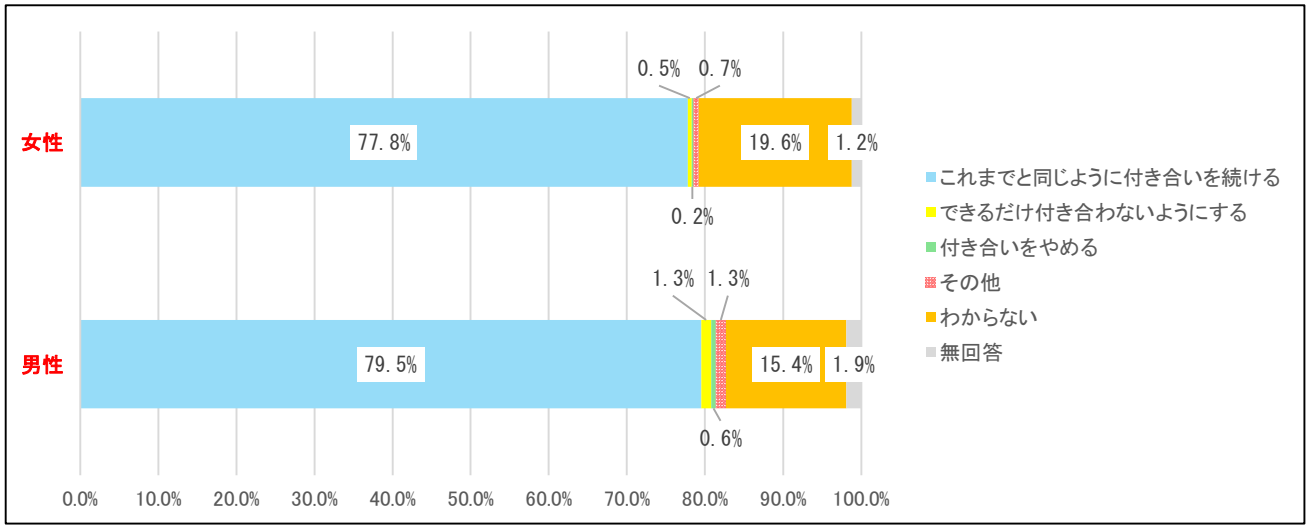
○前回調査との比較

前回調査と比較すると、「これまでと同じように付き合いを続ける」と回答した人の割合が 1.5%減少しています。また、「わからない」と回答した人の割合が 1.4%増加しています。



○性別での比較

性別では、大きな差異はみられません。



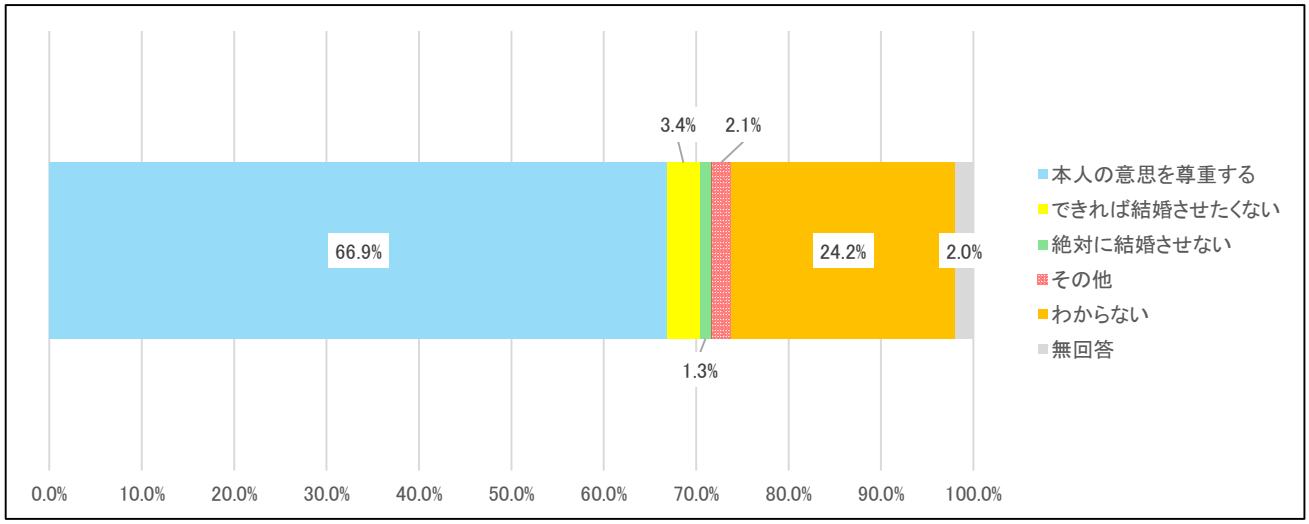
○性別、年齢別、職業別、地区別の結果

	単位	全体	性別			年齢別							職業別										地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
①これまでと同じように付き合いを続ける	人	595	248	337	10	69	104	81	92	115	128	6	38	32	72	103	60	100	16	49	72	36	17	215	190	123	55	12
	%	78.4	79.5	77.8	71.4	78.4	83.9	81.8	81.4	73.2	76.2	60.0	76.0	82.1	81.8	76.9	88.2	78.1	88.9	76.6	71.3	72.0	89.5	79.0	83.0	73.2	73.3	80.0
②できるだけ付き合わないようにする	人	6	4	2	0	0	0	1	0	1	4	0	1	0	0	1	0	2	0	0	2	0	0	1	1	3	1	0
	%	0.8	1.3	0.5	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.6	2.4	0.0	2.0	0.0	0.0	0.7	0.0	1.6	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.4	0.4	1.8	1.3	0.0
③付き合いをやめる	人	3	2	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0
	%	0.4	0.6	0.2	0.0	0.0	0.8	1.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.4	0.9	0.0	0.0	0.0
④その他	人	7	4	3	0	1	0	2	1	2	1	0	1	1	1	1	0	0	1	0	1	1	0	3	2	1	1	0
	%	0.9	1.3	0.7	0.0	1.1	0.0	2.0	0.9	1.3	0.6	0.0	2.0	2.6	1.1	0.7	0.0	0.0	5.6	0.0	1.0	2.0	0.0	1.1	0.9	0.6	1.3	0.0
⑤わからない	人	137	48	85	4	18	19	13	19	33	31	4	8	6	15	26	7	24	2	13	22	12	2	48	35	38	14	2
	%	18.1	15.4	19.6	28.6	20.5	15.3	13.1	16.8	21.0	18.5	40.0	16.0	15.4	17.0	19.4	10.3	18.8	11.1	20.3	21.8	24.0	10.5	17.6	15.3	22.6	18.7	13.3
無回答	人	11	6	5	0	0	0	1	1	6	3	0	2	0	0	1	1	1	0	2	3	1	0	5	0	1	4	1
	%	1.4	1.9	1.2	0.0	0.0	0.0	1.0	0.9	3.8	1.8	0.0	4.0	0.0	0.0	0.7	1.5	0.8	0.0	3.1	3.0	2.0	0.0	1.8	0.0	0.6	5.3	6.7

問 29　お子さんが結婚しようとしている相手が同和地区（被差別部落）出身であることが分かったとき、あなたはどうすると思いますか。（回答は１つだけ）

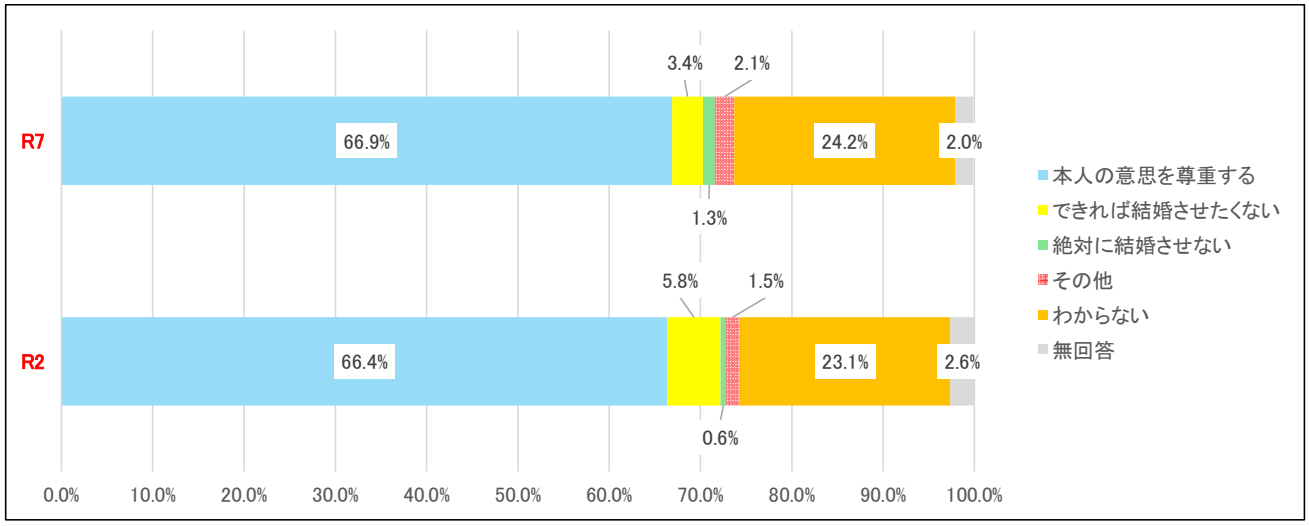
○今回調査の結果

「本人の意思を尊重する」（66.9%）と回答した人の割合が最も高くなっています。また、全体の 1/4 程度が「わからない」（24.2%）と回答しています。年齢別でみると、「本人の意思を尊重する」と回答した人の割合は、30 歳代（73.4%）と 18～29 歳代（70.5%）で 7 割を超えています。



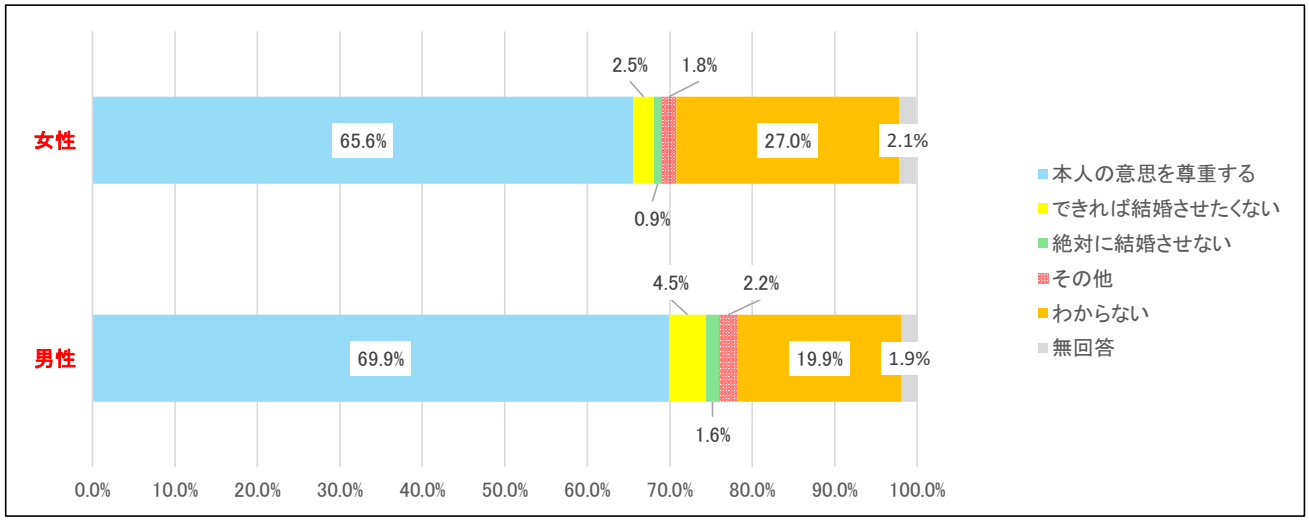
○前回調査との比較

前回調査と比較すると、「できれば結婚させたくない」と回答した人の割合が 2.4%減少しています。



○性別での比較

「わからない」と回答した人の割合は、男性より女性の方が高くなっています。



○性別、年齢別、職業別、地区別の結果

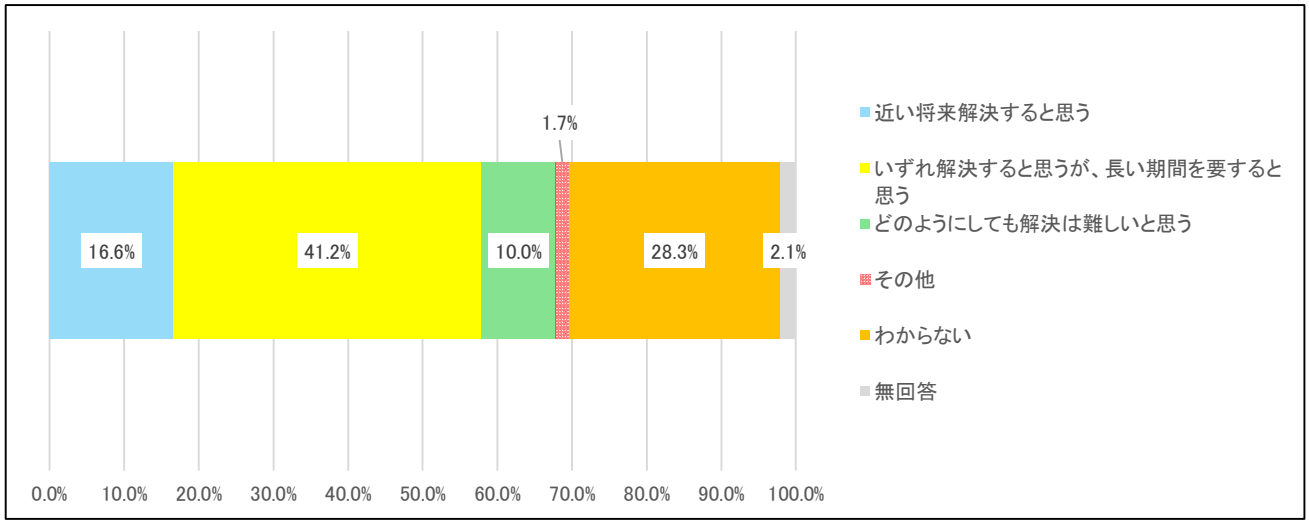
	単位	全体	性別			年齢別							職業別										地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
①本人の意思を尊重する	人	508	218	284	6	62	91	69	78	101	103	4	30	28	59	88	54	84	14	42	61	35	13	194	154	110	41	9
	%	66.9	69.9	65.6	42.9	70.5	73.4	69.7	69.0	64.3	61.3	40.0	60.0	71.8	67.0	65.7	79.4	65.6	77.8	65.6	60.4	70.0	68.4	71.3	67.2	65.5	54.7	60.0
②自分はかまわないが、親類や世間体があるから、できれば結婚させたくない	人	26	14	11	1	1	1	5	4	5	10	0	4	0	6	5	0	3	0	2	5	1	0	7	8	6	5	0
	%	3.4	4.5	2.5	7.1	1.1	0.8	5.1	3.5	3.2	6.0	0.0	8.0	0.0	6.8	3.7	0.0	2.3	0.0	3.1	5.0	2.0	0.0	2.6	3.5	3.6	6.7	0.0
③絶対に結婚させない	人	10	5	4	1	1	1	1	0	2	4	1	1	0	1	3	0	3	0	0	1	0	1	2	3	3	1	1
	%	1.3	1.6	0.9	7.1	1.1	0.8	1.0	0.0	1.3	2.4	10.0	2.0	0.0	1.1	2.2	0.0	2.3	0.0	0.0	1.0	0.0	5.3	0.7	1.3	1.8	1.3	6.7
④その他	人	16	7	8	1	2	3	2	1	3	4	1	0	0	2	1	1	3	1	1	5	0	2	4	5	4	2	1
	%	2.1	2.2	1.8	7.1	2.3	2.4	2.0	0.9	1.9	2.4	10.0	0.0	0.0	2.3	0.7	1.5	2.3	5.6	1.6	5.0	0.0	10.5	1.5	2.2	2.4	2.7	6.7
⑤わからない	人	184	62	117	5	22	26	22	29	41	40	4	12	10	19	34	13	33	3	19	24	14	3	60	55	42	23	4
	%	24.2	19.9	27.0	35.7	25.0	21.0	22.2	25.7	26.1	23.8	40.0	24.0	25.6	21.6	25.4	19.1	25.8	16.7	29.7	23.8	28.0	15.8	22.1	24.0	25.0	30.7	26.7
無回答	人	15	6	9	0	0	2	0	1	5	7	0	3	1	1	3	0	2	0	0	5	0	0	5	4	3	3	0
	%	2.0	1.9	2.1	0.0	0.0	1.6	0.0	0.9	3.2	4.2	0.0	6.0	2.6	1.1	2.2	0.0	1.6	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	1.8	1.7	1.8	4.0	0.0

12　部落差別(同和問題)の解決に向けて

問 30　あなたは、部落差別(同和問題)は解決すると思いますか。(回答は１つだけ)

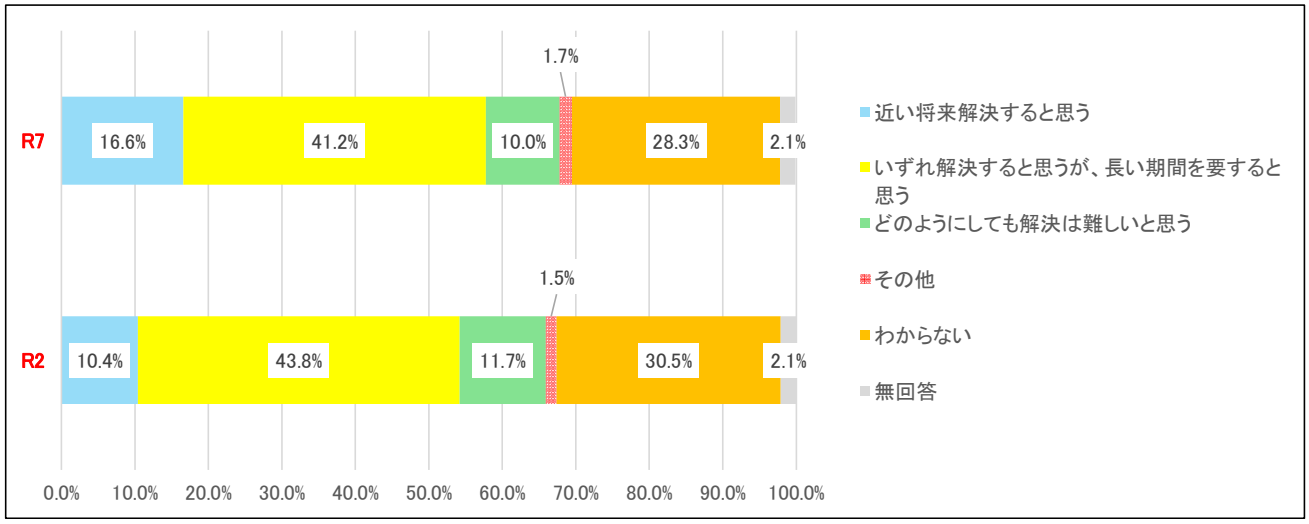
○今回調査の結果

「いずれ解決すると思うが、長い期間を要する」(41.2%)と回答した人の割合が最も高くなっています。また、「どのようにしても解決は難しいと思う」(10.0%)と全体の１割が回答しています。



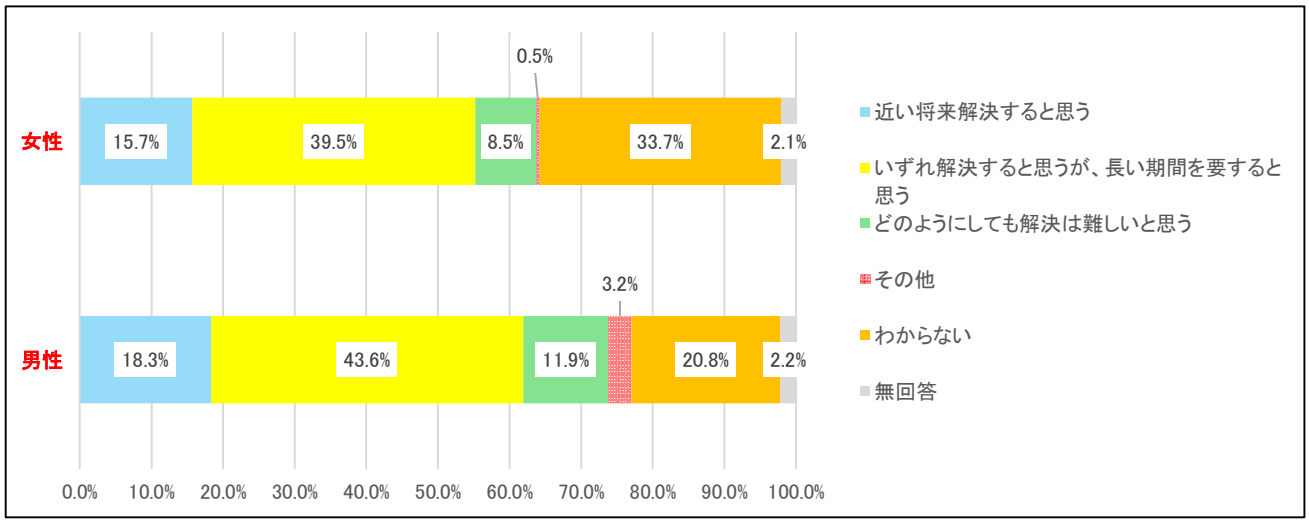
○前回調査との比較

前回調査と比較すると、「近い将来解決すると思う」と回答した人の割合が 6.2%増加しています。



○性別での比較

「どのようにしても解決は難しい」と回答した人の割合は、女性より男性の方が高くなっています。また、「わからない」と回答した人の割合は、男性より女性の方が高くなっています。



○性別、年齢別、職業別、地区別の結果

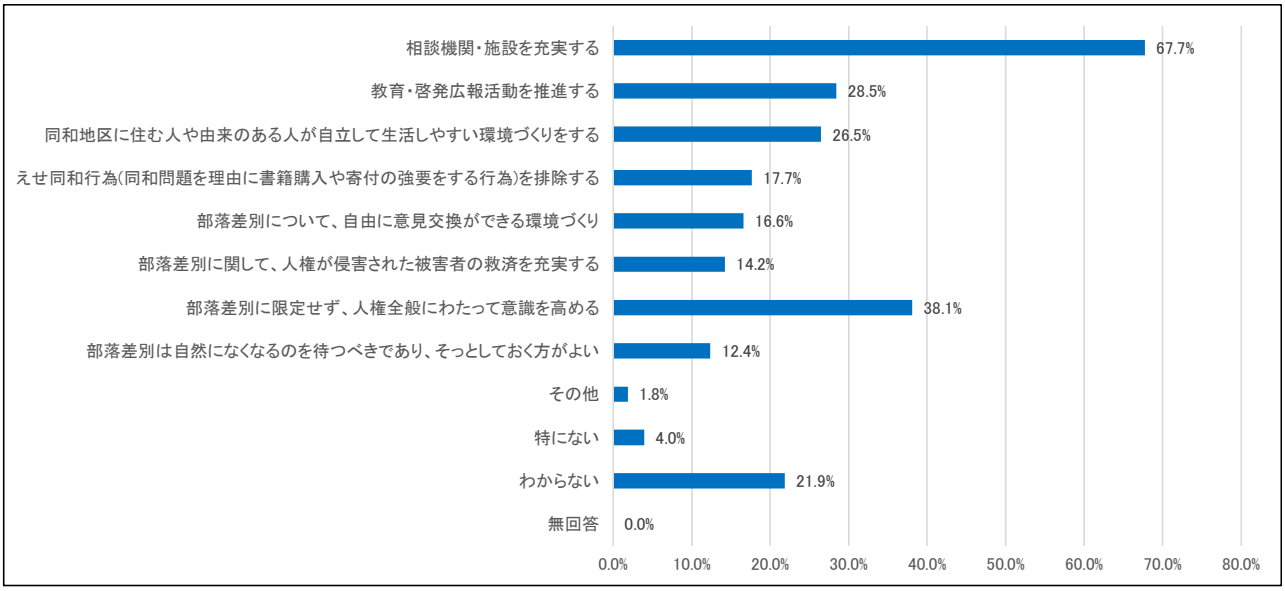
	単位	全体	性別			年齢別							職業別											地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
①近い将来解決すると思う	人	126	57	68	1	15	20	15	27	29	19	1	11	12	12	20	17	20	5	7	18	4	0	44	46	21	11	4
	%	16.6	18.3	15.7	7.1	17.0	16.1	15.2	23.9	18.5	11.3	10.0	22.0	30.8	13.6	14.9	25.0	15.6	27.8	10.9	17.8	8.0	0.0	16.2	20.1	12.5	14.7	26.7
②いずれ解決すると思うが、長い期間を要すると思う	人	313	136	171	6	31	47	45	43	64	78	5	21	16	48	54	29	41	6	31	39	16	12	116	95	70	27	5
	%	41.2	43.6	39.5	42.9	35.2	37.9	45.5	38.1	40.8	46.4	50.0	42.0	41.0	54.5	40.3	42.6	32.0	33.3	48.4	38.6	32.0	63.2	42.6	41.5	41.7	36.0	33.3
③どのようにしても解決は難しいと思う	人	76	37	37	2	11	13	13	9	14	15	1	4	3	7	16	8	14	1	6	7	9	1	25	19	22	7	3
	%	10.0	11.9	8.5	14.3	12.5	10.5	13.1	8.0	8.9	8.9	10.0	8.0	7.7	8.0	11.9	11.8	10.9	5.6	9.4	6.9	18.0	5.3	9.2	8.3	13.1	9.3	20.0
④その他	人	13	10	2	1	1	2	1	1	3	4	1	2	0	0	3	1	3	0	0	2	1	1	5	3	5	0	0
	%	1.7	3.2	0.5	7.1	1.1	1.6	1.0	0.9	1.9	2.4	10.0	4.0	0.0	0.0	2.2	1.5	2.3	0.0	0.0	2.0	2.0	5.3	1.8	1.3	3.0	0.0	0.0
⑤わからない	人	215	65	146	4	29	42	25	33	40	44	2	9	7	21	37	12	49	6	19	30	20	5	77	63	48	24	3
	%	28.3	20.8	33.7	28.6	33.0	33.9	25.3	29.2	25.5	26.2	20.0	18.0	17.9	23.9	27.6	17.6	38.3	33.3	29.7	29.7	40.0	26.3	28.3	27.5	28.6	32.0	20.0
無回答	人	16	7	9	0	1	0	0	0	7	8	0	3	1	0	4	1	1	0	1	5	0	0	5	3	2	6	0
	%	2.1	2.2	2.1	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	4.5	4.8	0.0	6.0	2.6	0.0	3.0	1.5	0.8	0.0	1.6	5.0	0.0	0.0	1.8	1.3	1.2	8.0	0.0

問 31　あなたは、部落差別（同和問題）の解決に今後どのようなことが必要だと思いますか。
（回答はいくつでも可）

○今回調査の結果

「相談機関・施設を充実する」（67.7%）と回答した人の割合が最も高く、次いで、「部落差別に限定せず、人権全般にわたって意識を高める」（38.1%）、「教育・啓発広報活動を推進する」（28.5%）の順となっています。

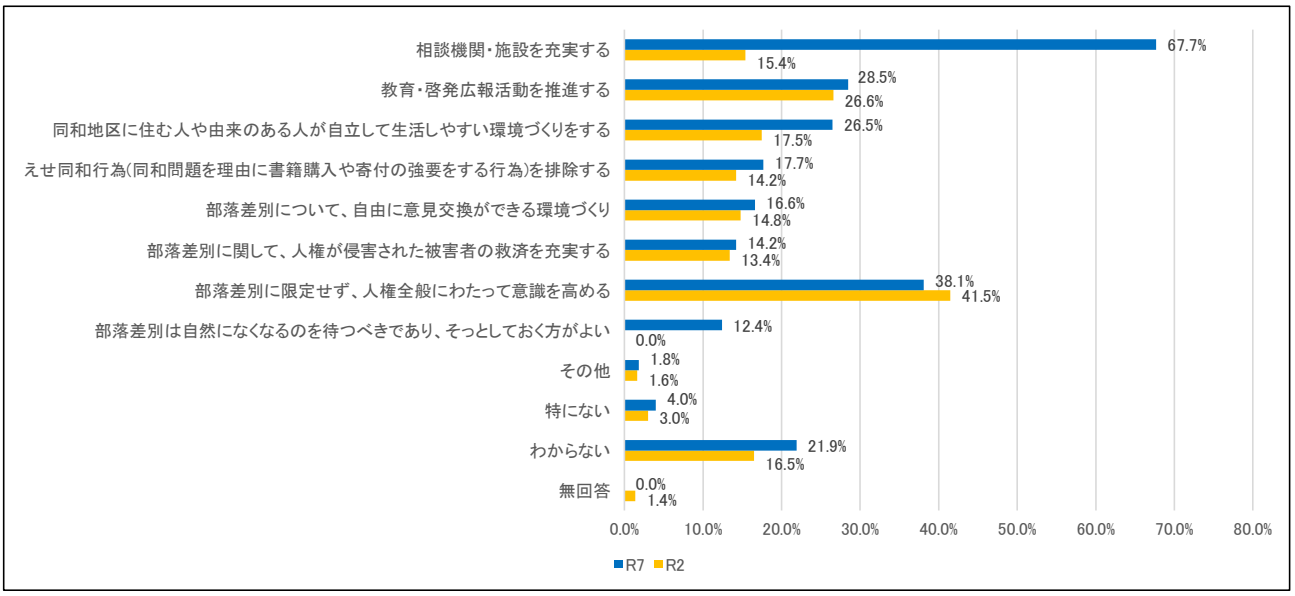
年齢別でみると、「相談体制・施設を充実する」と回答した人の割合は、年代が上がるにつれて高い割合になっています。



※今回調査から、選択肢「部落差別は自然になくなるのを待つべきであり、そっとしておく方がよい」を追加しています。

○前回調査との比較

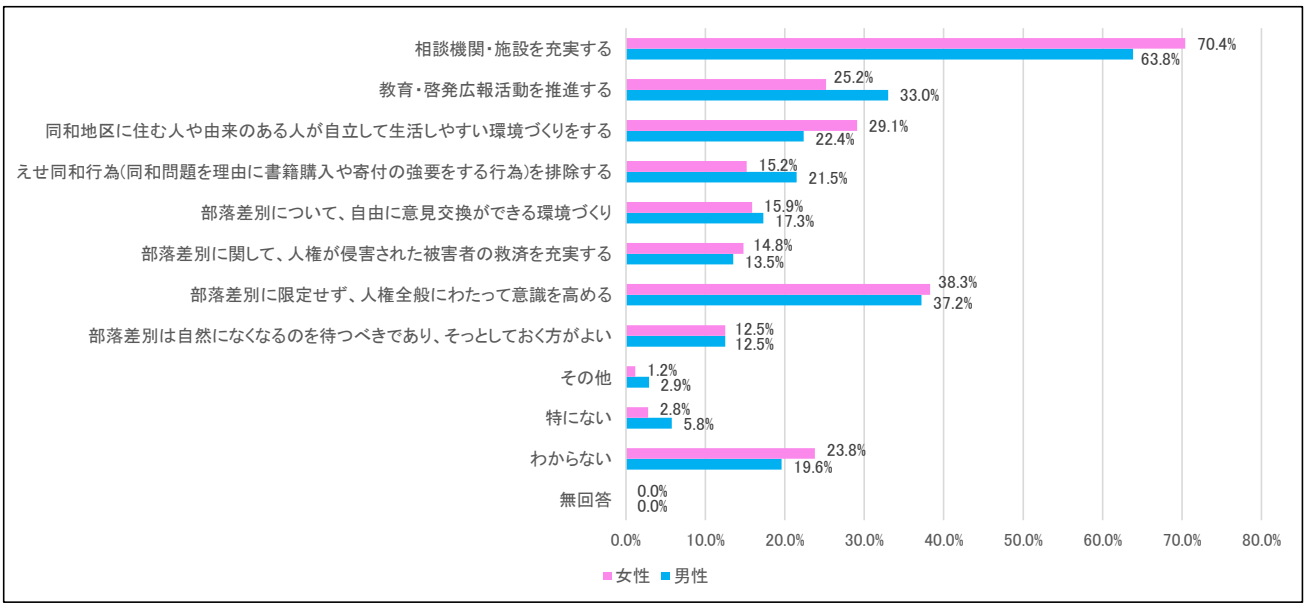
前回調査と比較すると、「相談機関・施設を充実する」と回答した人の割合が 52.3%増加しています。選択肢「部落差別は自然になくなるのを待つべきであり、そっとしておく方がよい」は今回調査から選択肢に追加していますが 12.4%の割合となっています。



○性別での比較

女性では、「同和地区に住む人や由来のある人が自立して生活しやすい環境づくりをする」と回答した人の割合が、「教育・啓発広報活動を推進する」と回答した人の割合より高くなっています。

一方、男性では、「教育・啓発広報活動を推進する」と回答した人の割合が、「同和地区に住む人や由来のある人が自立して生活しやすい環境づくりをする」と回答した人の割合より高くなっています。



○性別、年齢別、職業別、地区別の結果

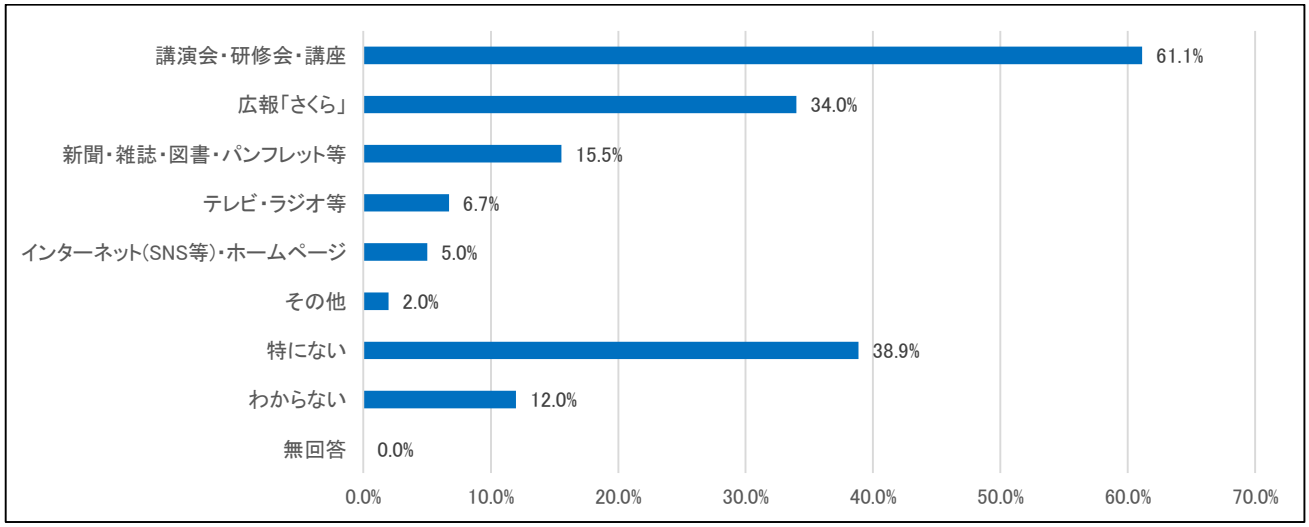
	単位	全体	性別			年齢別							職業別											地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
①部落差別（同和問題）に関する相談機関・施設を充実する	人	514	199	305	10	37	63	52	77	127	152	6	38	28	56	79	27	83	7	56	94	35	11	184	148	109	61	12
	%	67.7	63.8	70.4	71.4	42.0	50.8	52.5	68.1	80.9	90.5	60.0	76.0	71.8	63.6	59.0	39.7	64.8	38.9	87.5	93.1	70.0	57.9	67.6	64.6	64.9	81.3	80.0
②部落差別（同和問題）を解決するための教育・啓発広報活動を推進する	人	216	103	109	4	22	44	32	34	37	44	3	8	12	26	39	28	40	6	13	26	13	5	75	68	51	17	5
	%	28.5	33.0	25.2	28.6	25.0	35.5	32.3	30.1	23.6	26.2	30.0	16.0	30.8	29.5	29.1	41.2	31.3	33.3	20.3	25.7	26.0	26.3	27.6	29.7	30.4	22.7	33.3
③同和地区（被差別部落）に住む人や由来を持つ人が自立して生活しやすい環境づくりをする	人	201	70	126	5	20	41	30	34	37	34	5	11	12	39	34	20	33	4	17	17	10	4	64	68	45	16	8
	%	26.5	22.4	29.1	35.7	22.7	33.1	30.3	30.1	23.6	20.2	50.0	22.0	30.8	44.3	25.4	29.4	25.8	22.2	26.6	16.8	20.0	21.1	23.5	29.7	26.8	21.3	53.3
④えせ同和行為(同和問題を理由に書籍購入や寄付の強要をする行為)を排除する	人	134	67	66	1	16	17	21	24	26	29	1	9	7	14	23	18	20	3	12	16	9	3	48	42	28	10	6
	%	17.7	21.5	15.2	7.1	18.2	13.7	21.2	21.2	16.6	17.3	10.0	18.0	17.9	15.9	17.2	26.5	15.6	16.7	18.8	15.8	18.0	15.8	17.6	18.3	16.7	13.3	40.0
⑤部落差別（同和問題）について、自由な意見交換ができる環境づくり	人	126	54	69	3	9	26	16	19	28	25	3	5	10	23	21	10	21	2	12	12	6	4	43	39	26	14	4
	%	16.6	17.3	15.9	21.4	10.2	21.0	16.2	16.8	17.8	14.9	30.0	10.0	25.6	26.1	15.7	14.7	16.4	11.1	18.8	11.9	12.0	21.1	15.8	17.0	15.5	18.7	26.7
⑥部落差別（同和問題）に関して、人権が侵害された被害者の救済を充実する	人	108	42	64	2	13	24	16	19	16	18	2	1	8	21	22	7	16	4	8	11	8	2	45	38	14	6	5
	%	14.2	13.5	14.8	14.3	14.8	19.4	16.2	16.8	10.2	10.7	20.0	2.0	20.5	23.9	16.4	10.3	12.5	22.2	12.5	10.9	16.0	10.5	16.5	16.6	8.3	8.0	33.3
⑦部落差別（同和問題）に限定せず、人権全般にわたって意識を高める	人	289	116	166	7	21	47	25	47	67	77	5	16	11	30	46	29	42	4	35	50	17	9	114	78	59	30	8
	%	38.1	37.2	38.3	50.0	23.9	37.9	25.3	41.6	42.7	45.8	50.0	32.0	28.2	34.1	34.3	42.6	32.8	22.2	54.7	49.5	34.0	47.4	41.9	34.1	35.1	40.0	53.3
⑧部落差別（同和問題）は自然になくなるのを待つべきであり、そっとしておく方がよい	人	94	39	54	1	7	12	14	10	21	29	1	14	7	8	18	6	13	1	13	7	4	3	41	24	17	9	3
	%	12.4	12.5	12.5	7.1	8.0	9.7	14.1	8.8	13.4	17.3	10.0	28.0	17.9	9.1	13.4	8.8	10.2	5.6	20.3	6.9	8.0	7.0	15.1	10.5	10.1	12.0	20.0
⑨その他	人	14	9	5	0	0	1	2	5	1	2	3	0	3	1	1	3	4	0	0	0	2	0	8	3	1	1	1
	%	1.8	2.9	1.2	0.0	0.0	0.8	2.0	4.4	0.6	1.2	30.0	0.0	7.7	1.1	0.7	4.4	3.1	0.0	0.0	0.0	4.0	8.0	2.9	1.3	0.6	1.3	6.7
⑩特にない	人	30	18	12	0	8	2	4	4	5	7	0	3	2	1	6	1	6	0	0	5	5	1	9	10	7	4	0
	%	4.0	5.8	2.8	0.0	9.1	1.6	4.0	3.5	3.2	4.2	0.0	6.0	5.1	1.1	4.5	1.5	4.7	0.0	0.0	5.0	10.0	5.3	3.3	4.4	4.2	5.3	0.0
⑪わからない	人	166	61	103	2	25	33	17	25	30	35	1	7	10	20	31	9	35	5	9	25	10	5	58	54	37	15	2
	%	21.9	19.6	23.8	14.3	28.4	26.6	17.2	22.1	19.1	20.8	10.0	14.0	2.0	22.7	23.1	13.2	27.3	27.8	14.1	24.8	20.0	26.3	21.3	23.6	22.0	20.0	13.3
無回答	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

13　啓発活動について

問 32　小城市では、人権・同和問題を正しく理解してもらうために各種の教育・啓発活動を行っていますが、あなたは、見たり、読んだり、参加したことがありますか。（回答はいくつでも可）

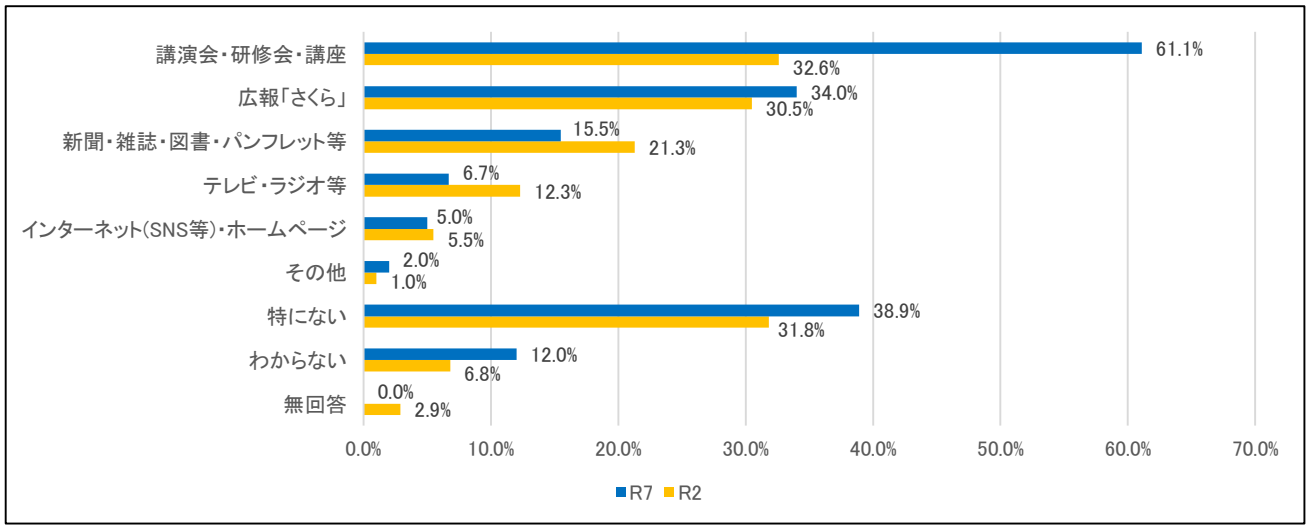
○今回調査の結果

「講演会、研修会、講座」（61.1%）と回答した人の割合が最も高い一方で、「特にない」（38.9%）と回答した人が 4 割弱となっています。人権・同和問題の教育・啓発活動が十分に知られていないことが読み取れます。



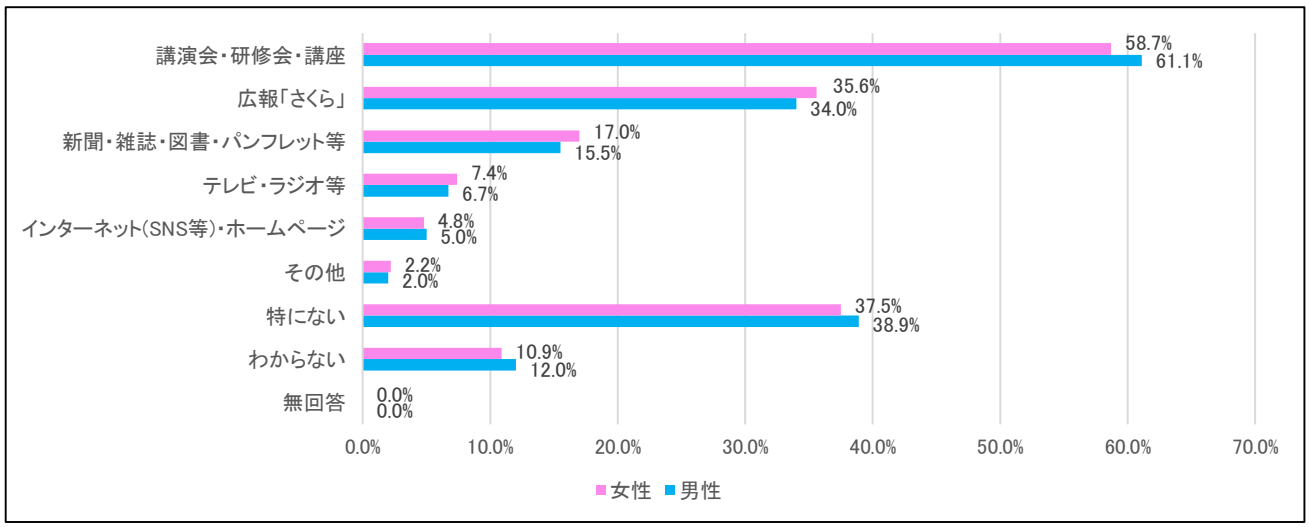
○前回調査との比較

前回調査と比較すると、「講演会・研修会・講座」と回答した人の割合が 28.5%増加しています。また、「広報「さくら」」と回答した人の割合も 3.5%増加しています。一方で、「特にない」と回答した人の割合も 7.1%増加しています。



○性別での比較

性別では、大きな差異はみられません。



○性別、年齢別、職業別、地区別の結果

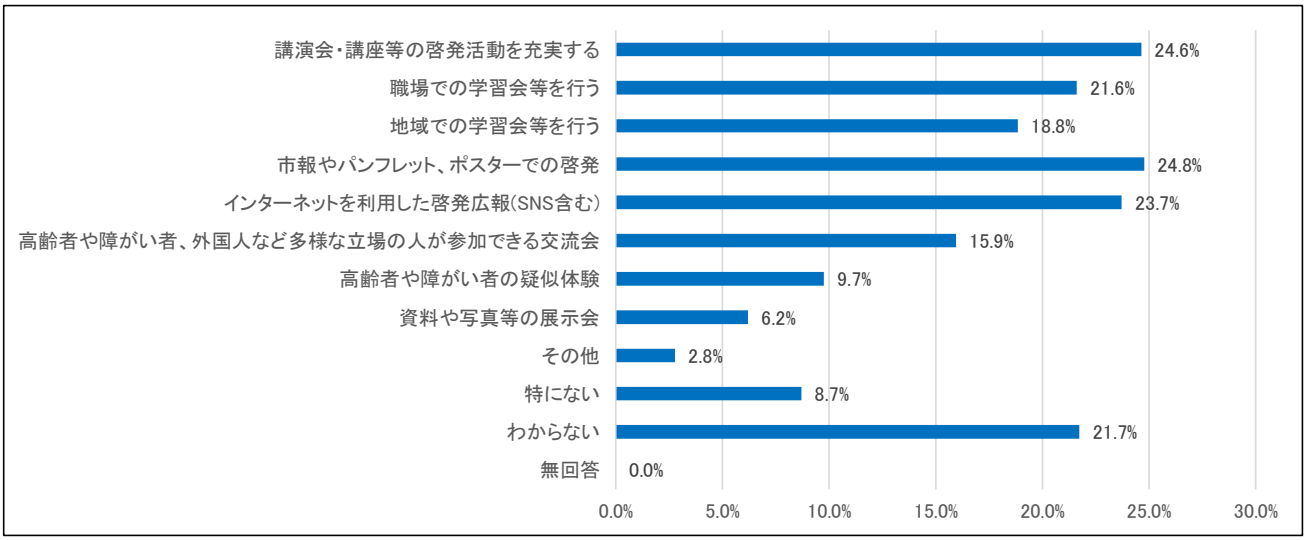
	単位	全体	性別			年齢別							職業別											地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
①講演会・研修会・講座	人	464	183	271	10	28	38	42	63	129	158	6	38	24	33	66	30	78	6	55	94	29	11	173	122	99	58	12
	%	61.1	58.7	62.6	71.4	31.8	30.6	42.4	55.8	82.2	94.0	60.0	76.0	61.5	37.5	49.3	44.1	60.9	33.3	85.9	93.1	58.0	57.9	63.6	53.3	58.9	77.3	80.0
②広報「さくら」	人	258	111	139	8	16	36	36	46	59	61	4	10	16	35	48	25	47	4	24	31	16	2	99	76	59	20	4
	%	34.0	35.6	32.1	57.1	18.2	29.0	36.4	40.7	37.6	36.3	40.0	20.0	41.0	39.8	35.8	36.8	36.7	22.2	37.5	30.7	32.0	10.5	36.4	33.2	35.1	26.7	26.7
③新聞・雑誌・図書・パンフレット等	人	118	53	61	4	9	8	13	17	27	40	4	10	7	10	19	6	19	2	17	14	10	4	40	29	31	16	2
	%	15.5	17.0	14.1	28.6	10.2	6.5	13.1	15.0	17.2	23.8	40.0	20.0	17.9	11.4	14.2	8.8	14.8	11.1	26.6	13.9	20.0	21.1	14.7	12.7	18.5	21.3	13.3
④テレビ・ラジオ等	人	51	23	27	1	4	1	6	13	9	17	1	3	3	5	5	5	9	1	7	9	4	0	15	15	13	7	1
	%	6.7	7.4	6.2	7.1	4.5	0.8	6.1	11.5	5.7	10.1	10.0	6.0	7.7	5.7	3.7	7.4	7.0	5.6	10.9	8.9	8.0	0.0	5.5	6.6	7.7	9.3	6.7
⑤インターネット(SNS等)・ホームページ	人	38	15	22	1	6	4	10	10	5	3	0	1	0	5	9	6	6	3	1	3	2	2	12	11	9	3	3
	%	5.0	4.8	5.1	7.1	6.8	3.2	10.1	8.8	3.2	1.8	0.0	2.0	0.0	5.7	6.7	8.8	4.7	16.7	1.6	3.0	4.0	10.5	4.4	4.8	5.4	4.0	20.0
⑥その他	人	15	7	7	1	2	1	1	3	3	4	1	1	1	1	1	2	1	0	1	3	3	1	6	5	3	0	1
	%	2.0	2.2	1.6	7.1	2.3	0.8	1.0	2.7	1.9	2.4	10.0	2.0	2.6	1.1	0.7	2.9	0.8	0.0	1.6	3.0	6.0	5.3	2.2	2.2	1.8	0.0	6.7
⑦特にない	人	295	117	177	1	45	64	36	38	54	58	0	22	13	34	54	25	51	7	23	45	15	6	98	93	68	33	3
	%	38.9	37.5	40.9	7.1	51.1	51.6	36.4	33.6	34.4	34.5	0.0	44.0	33.3	38.6	40.3	36.8	39.8	38.9	35.9	44.6	30.0	31.6	36.0	40.6	40.5	44.0	20.0
⑧わからない	人	91	34	55	2	15	18	14	14	16	12	2	7	4	11	14	4	19	5	7	8	8	4	32	29	20	6	4
	%	12.0	10.9	12.7	14.3	17.0	14.5	14.1	12.4	10.2	7.1	20.0	14.0	10.3	12.5	10.4	5.9	14.8	27.8	10.9	7.9	16.0	21.1	11.8	12.7	11.9	8.0	26.7
無回答	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 33　人権・同和問題について理解を深めるために、あなたがもっとも効果的であると思われるのはどのようなことですか。（回答はいくつでも可）

○今回調査の結果

「市報やパンフレット、ポスターでの啓発」（24.8%）と回答した人の割合が最も高く、次いで、「講演会・講座等の啓発活動を充実する」（24.6%）、「インターネットを利用した啓発広報（SNS 含む）」（23.7%）と回答した人の割合が高くなっています。

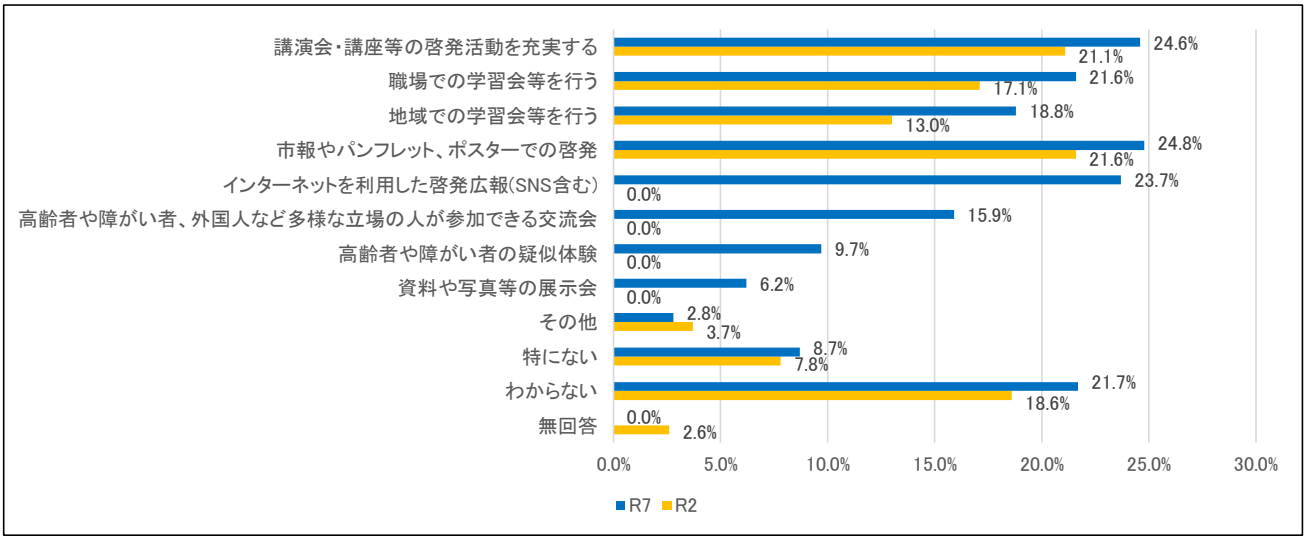
年齢別でみると、「インターネットを利用した啓発広報（SNS 含む）」と回答した人の割合は、30 歳代（41.1%）、18～29 歳（36.4%）、40 歳代（35.4%）で高くなっています。



※今回調査から、選択肢「インターネットを利用した啓発広報（SNS 含む）」、「高齢者や障がい者、外国人など多様な立場の人が参加できる交流会」、「高齢者や障がい者の疑似体験」、「資料や写真等の展示会」を追加しています。

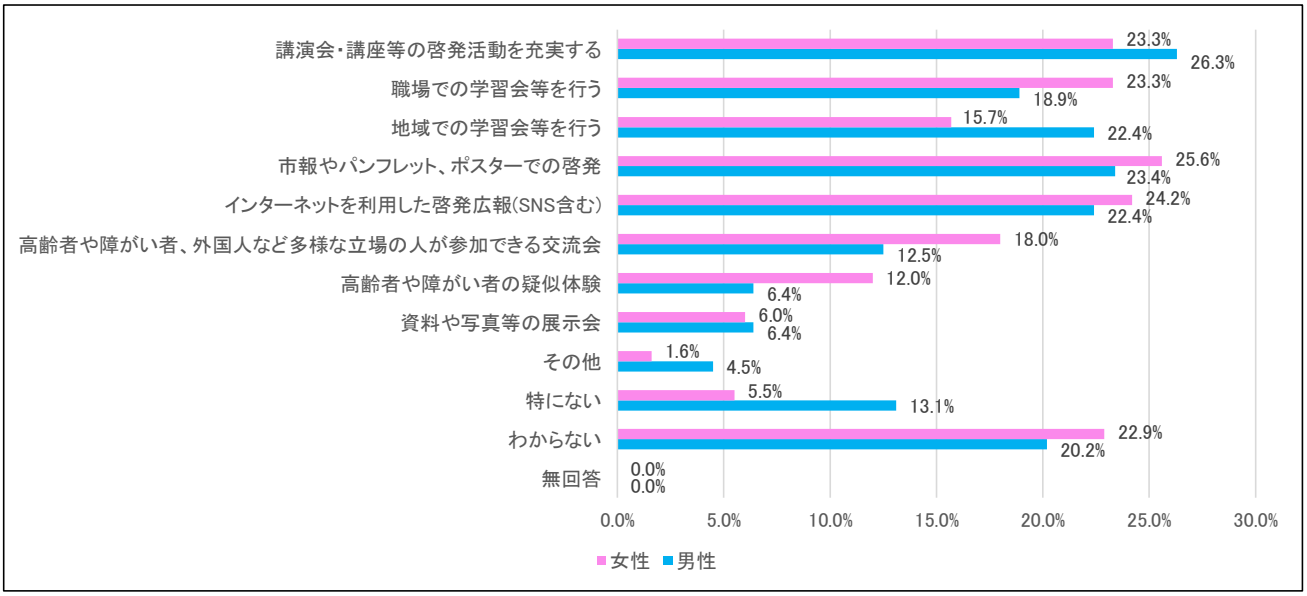
〇前回調査との比較

今回調査から追加した選択肢「インターネットを利用した啓発広報(SNS 含む)」は 23.7%、「高齢者や障がい者、外国人など多様な立場の人が参加できる交流会」は 15.9%、「高齢者や障がい者の疑似体験」は 9.7%、「資料や写真等の展示会」は 6.2%の割合となっています。



〇性別での比較

男性では、「講演会・講座等の啓発活動を充実する」と回答した人の割合が高くなっていますが、女性では、「市報やパンフレット、ポスターでの啓発」と回答した人の割合が高くなっています。



○性別、年齢別、職業別、地区別の結果

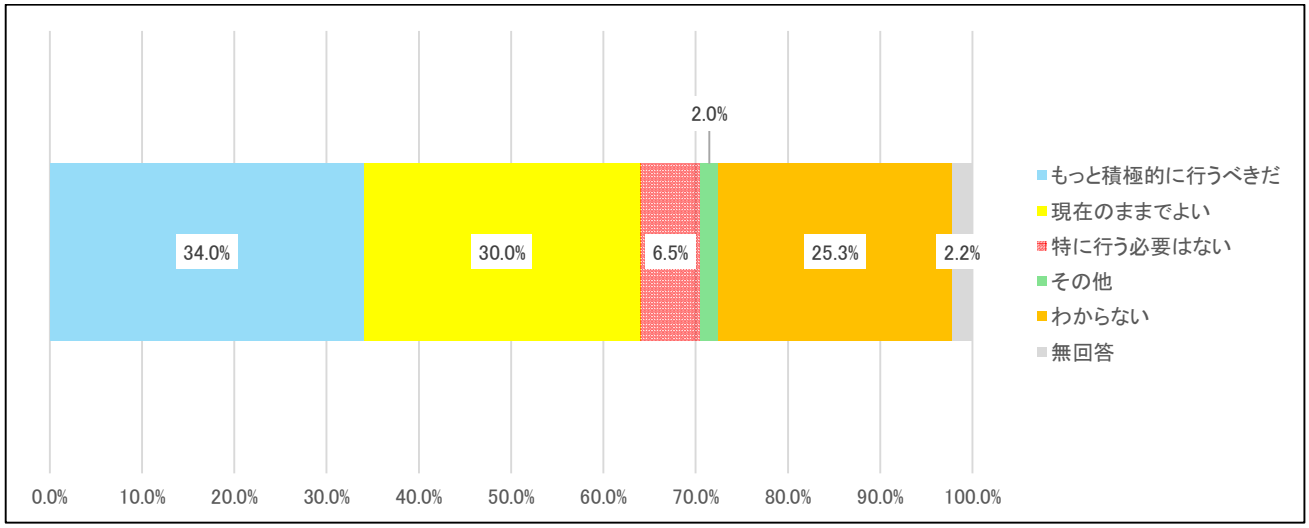
	単位	全体	性別			年齢別							職業別											地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
①講演会・講座等の啓発活動を充実する	人	187	82	101	4	18	26	19	24	45	51	4	5	9	18	32	20	29	6	24	31	7	6	72	58	41	13	3
	%	24.6	26.3	23.3	28.6	20.5	21.0	19.2	21.2	28.7	30.4	40.0	10.0	23.1	20.5	23.9	29.4	22.7	33.3	37.5	30.7	14.0	31.6	26.5	25.3	24.4	17.3	20.0
②職場での学習会等を行う	人	164	59	101	4	24	34	30	30	20	22	4	5	5	22	22	30	33	7	11	14	9	6	61	58	29	11	5
	%	21.6	18.9	23.3	28.6	27.3	27.4	30.3	26.5	12.7	13.1	40.0	10.0	12.8	25.0	16.4	44.1	25.8	38.9	17.2	13.9	18.0	31.6	22.4	25.3	17.3	14.7	33.3
③地域での学習会等を行う	人	143	70	68	5	3	26	19	26	33	31	5	7	10	15	20	15	23	2	14	23	8	6	55	44	27	13	4
	%	18.8	22.4	15.7	35.7	3.4	21.0	19.2	23.0	21.0	18.5	50.0	14.0	25.6	17.0	14.9	22.1	18.0	11.1	21.9	22.8	16.0	31.6	20.2	19.2	16.1	17.3	26.7
④市報やパンフレット、ポスターでの啓発	人	188	73	111	4	14	34	29	29	32	46	4	10	14	21	33	13	31	4	21	25	8	8	58	69	39	19	3
	%	24.8	23.4	25.6	28.6	15.9	27.4	29.3	25.7	20.4	27.4	40.0	20.0	35.9	23.9	24.6	19.1	24.2	22.2	32.8	24.8	16.0	42.1	21.3	30.1	23.2	25.3	20.0
⑤インターネットを利用した啓発広報(SNS含む)	人	180	70	105	5	32	51	35	28	20	11	3	1	10	42	40	18	30	5	7	8	10	9	59	69	37	11	4
	%	23.7	22.4	24.2	35.7	36.4	41.1	35.4	24.8	12.7	6.5	30.0	2.0	25.6	47.7	29.9	26.5	23.4	27.8	10.9	7.9	20.0	47.4	21.7	30.1	22.0	14.7	26.7
⑥高齢者や障がい者、外国人など多様な立場の人が参加できる交流会	人	121	39	78	4	7	16	19	19	24	34	2	5	9	22	14	10	22	3	12	14	6	4	49	31	25	12	4
	%	15.9	12.5	18.0	28.6	8.0	12.9	19.2	16.8	15.3	20.2	20.0	10.0	23.1	25.0	10.4	14.7	17.2	16.7	18.8	13.9	12.0	21.1	18.0	13.5	14.9	16.0	26.7
⑦高齢者や障がい者の疑似体験	人	74	20	52	2	7	18	18	12	8	10	1	0	6	16	16	7	15	3	7	1	0	3	22	22	16	9	5
	%	9.7	6.4	12.0	14.3	8.0	14.5	18.2	10.6	5.1	6.0	10.0	0.0	15.4	18.2	11.9	10.3	11.7	16.7	10.9	1.0	0.0	15.8	8.1	9.6	9.5	12.0	33.3
⑧資料や写真等の展示会	人	47	20	26	1	4	11	6	10	9	6	1	3	6	5	10	5	9	1	2	4	0	2	20	16	6	3	2
	%	6.2	6.4	6.0	7.1	4.5	8.9	6.1	8.8	5.7	3.6	10.0	6.0	15.4	5.7	7.5	7.4	7.0	5.6	3.1	4.0	0.0	10.5	7.4	7.0	3.6	4.0	13.3
⑨その他	人	21	14	7	0	3	2	5	3	3	5	0	0	3	1	6	3	1	1	1	2	2	1	7	6	6	1	1
	%	2.8	4.5	1.6	0.0	3.4	1.6	5.1	2.7	1.9	3.0	0.0	0.0	7.7	1.1	4.5	4.4	0.8	5.6	1.6	2.0	4.0	8.0	2.6	2.6	3.6	1.3	6.7
⑩特にない	人	66	41	24	1	11	8	7	9	10	20	1	11	4	4	13	5	5	1	6	10	5	2	21	16	20	7	2
	%	8.7	13.1	5.5	7.1	12.5	6.5	7.1	8.0	6.4	11.9	10.0	22.0	10.3	4.5	9.7	7.4	3.9	5.6	9.4	9.9	10.0	10.5	7.7	7.0	11.9	9.3	13.3
⑪わからない		165	63	99	3	18	25	13	15	46	47	1	15	8	10	30	9	26	3	13	33	16	2	68	42	36	16	3
	%	21.7	20.2	22.9	21.4	20.5	20.2	13.1	13.3	29.3	28.0	10.0	30.0	2.0	11.4	22.4	13.2	20.3	16.7	20.3	32.7	32.0	10.5	25.0	18.3	21.4	21.3	20.0
無回答	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 34　小城市内では、学校をはじめ、地域社会の中で人権・同和教育を進めています。あなたは啓発活動（講演会・研修会・広報等）について、今後どうすればいいと思いますか。
（回答は１つだけ）

○今回調査の結果

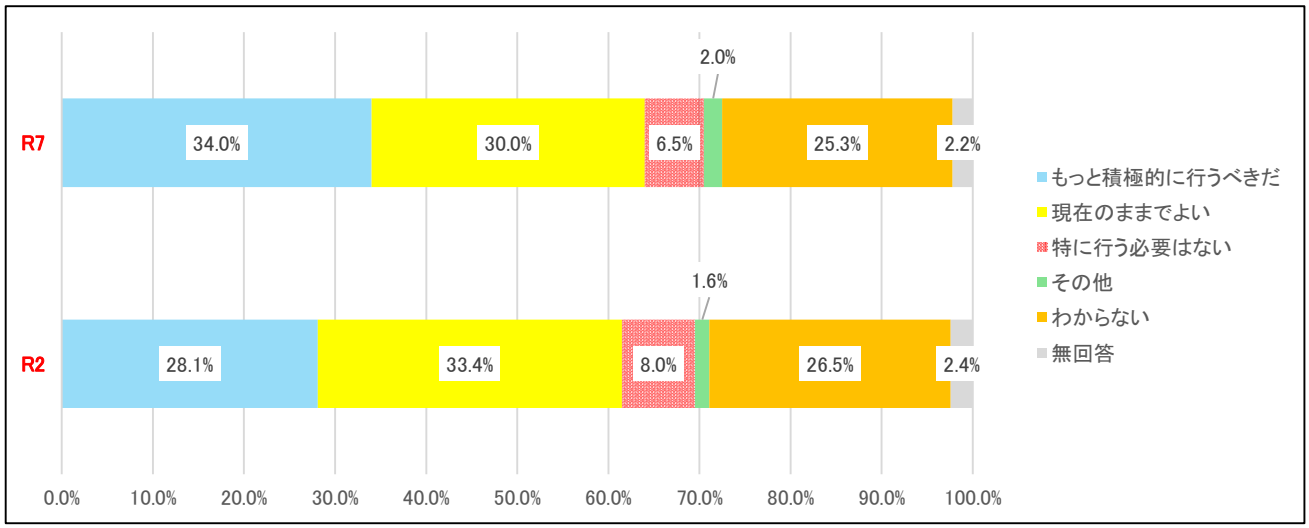
「もっと積極的に行うべきだ」（34.0%）と回答した人の割合が最も高くなっており、次いで「現在のままでよい」（30.0%）の順となっています。

年齢別でみると、「もっと積極的に行うべきだ」より「現在のままでよい」と回答した人の割合が 60 歳代と 70 歳以上で高くなっています。



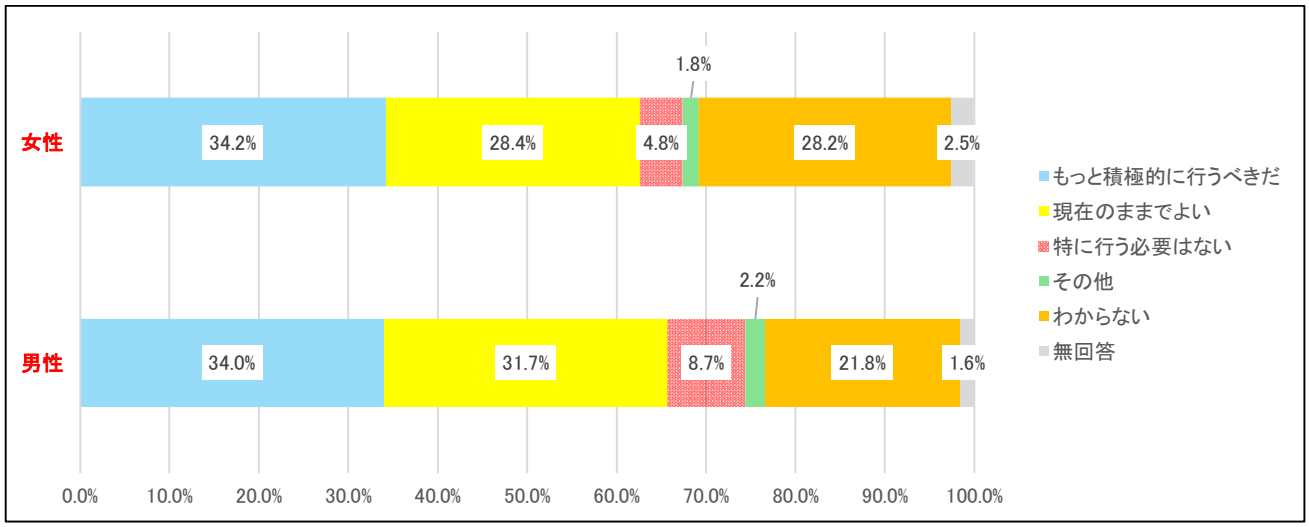
○前回調査との比較

前回調査と比較すると、「もっと積極的に行うべきだ」と回答した人の割合が、「現在のままでよい」と回答した人の割合を上回っています。また、「特に行う必要はない」と回答した人の割合が 1.5%減少しています。



○性別での比較

「特に行う必要はない」と回答した人の割合は、女性より男性の方が高くなっています。また、「わからない」と回答した人の割合は、男性より女性の方が高くなっています。



○性別、年齢別、職業別、地区別の結果

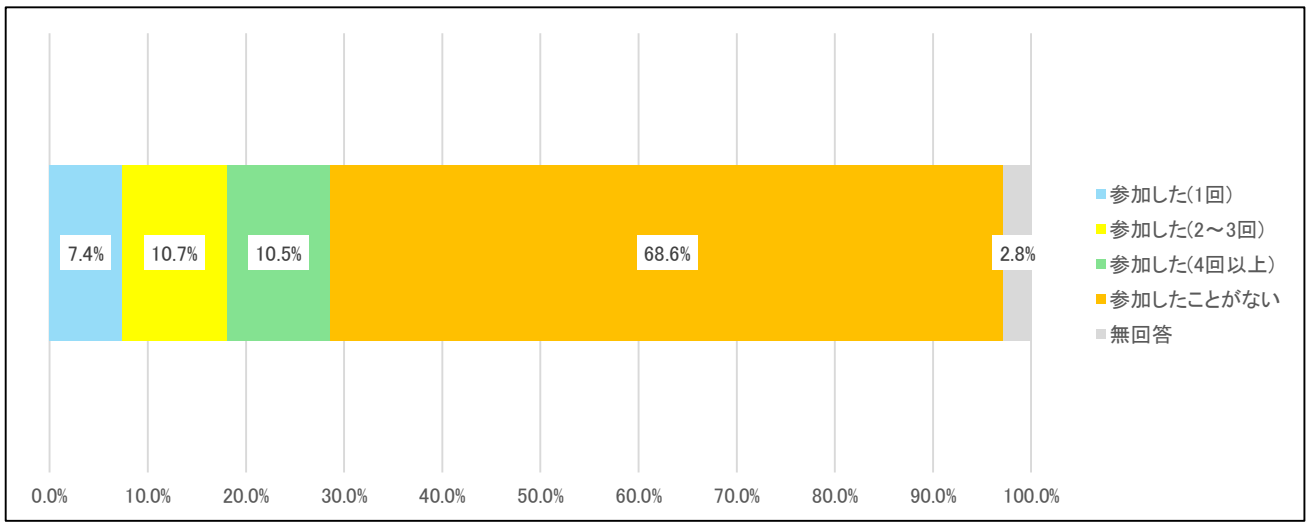
	単位	全体	性別			年齢別							職業別										地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
①もっと積極的に行うべきだ	人	258	106	148	4	40	49	44	40	43	39	3	9	14	43	46	23	46	8	19	25	19	6	85	88	65	16	4
	%	34.0	34.0	34.2	28.6	45.5	39.5	44.4	35.4	27.4	23.2	30.0	18.0	35.9	48.9	34.3	33.8	35.9	44.4	29.7	24.8	38.0	31.6	31.3	38.4	38.7	21.3	26.7
②現在のままでよい	人	228	99	123	6	18	37	28	37	53	50	5	14	11	23	44	26	35	4	23	34	7	7	94	63	38	28	5
	%	30.0	31.7	28.4	42.9	20.5	29.8	28.3	32.7	33.8	29.8	50.0	28.0	28.2	26.1	32.8	38.2	27.3	22.2	35.9	33.7	14.0	36.8	34.6	27.5	22.6	37.3	33.3
③特に行う必要はない	人	49	27	21	1	2	4	7	7	12	16	1	10	5	3	9	4	5	0	5	4	3	1	17	14	13	3	2
	%	6.5	8.7	4.8	7.1	2.3	3.2	7.1	6.2	7.6	9.5	10.0	20.0	12.8	3.4	6.7	5.9	3.9	0.0	7.8	4.0	6.0	5.3	6.3	6.1	7.7	4.0	13.3
④その他	人	15	7	8	0	1	2	3	2	2	5	0	1	2	0	3	3	0	0	1	3	1	1	5	5	4	0	1
	%	2.0	2.2	1.8	0.0	1.1	1.6	3.0	1.8	1.3	3.0	0.0	2.0	5.1	0.0	2.2	4.4	0.0	0.0	1.6	3.0	2.0	5.3	1.8	2.2	2.4	0.0	6.7
⑤わからない	人	192	68	122	2	26	31	16	27	39	52	1	14	4	19	29	11	41	5	16	30	19	4	64	56	46	23	3
	%	25.3	21.8	28.2	14.3	29.5	25.0	16.2	23.9	24.8	31.0	10.0	28.0	10.3	21.6	21.6	16.2	32.0	27.8	25.0	29.7	38.0	21.1	23.5	24.5	27.4	30.7	20.0
無回答	人	17	5	11	1	1	1	1	0	8	6	0	2	3	0	3	1	1	1	0	5	1	0	7	3	2	5	0
	%	2.2	1.6	2.5	7.1	1.1	0.8	1.0	0.0	5.1	3.6	0.0	4.0	7.7	0.0	2.2	1.5	0.8	5.6	0.0	5.0	2.0	0.0	2.6	1.3	1.2	6.7	0.0

問 35　あなたは、これまでに人権・同和問題に関する研修会・講演会等に参加したことがありますか。（回答は１つだけ）

○今回調査の結果

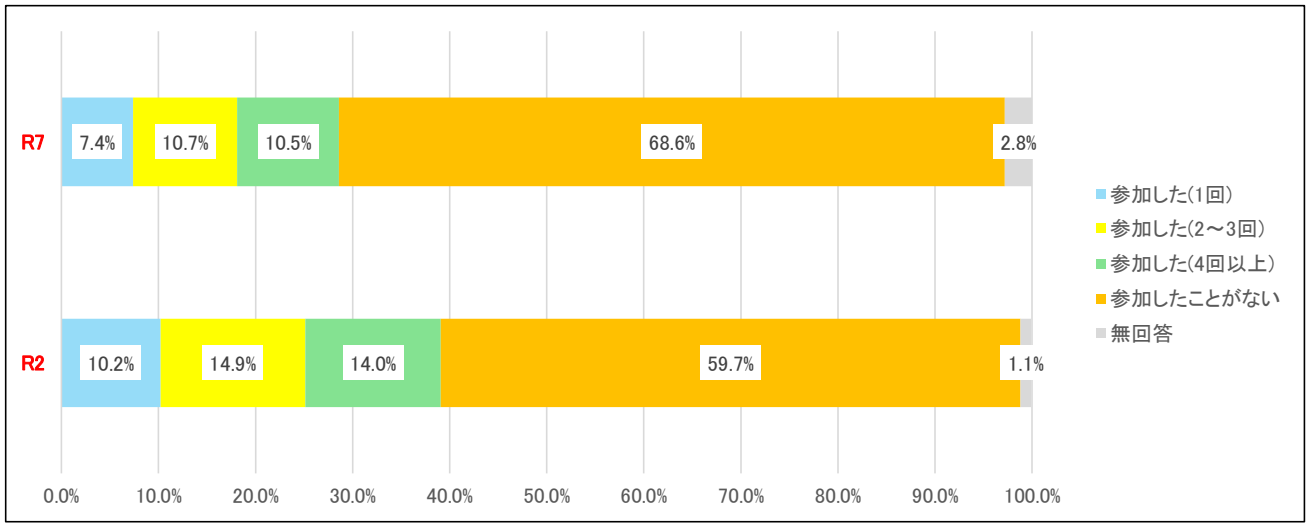
「参加したことがない」（68.6%）と回答した人の割合が 7 割近くとなっています。一方で、回数にかかわらず「参加した」と回答した人の割合は 3 割弱となっています。

年齢別でみると、「参加したことがない」と回答した人の割合は、40 歳代までの若い世代で 7 割を超えています。



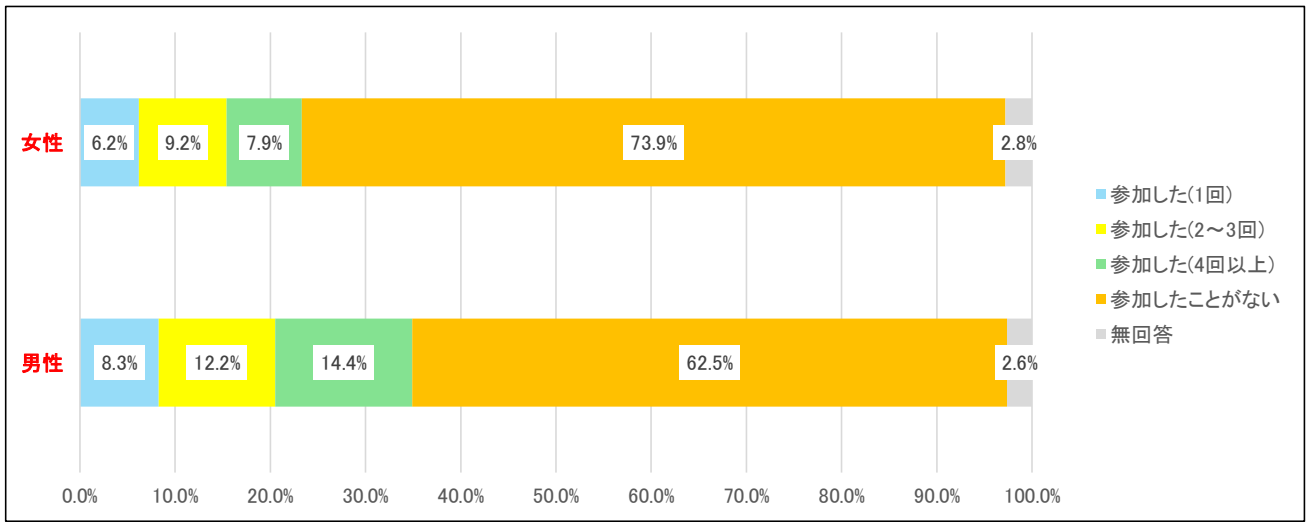
○前回調査との比較

前回調査と比較すると、「参加したことがない」と回答した人の割合が 8.9%増加しています。また、回数にかかわらず「参加した」と回答した人の割合が 10.5%減少しています。



○性別での比較

「参加したことがない」と回答した人の割合は、男性より女性の方が高くなっています。また、回数にかかわらず「参加した」と回答した人の割合は、女性より男性の方が高くなっています。



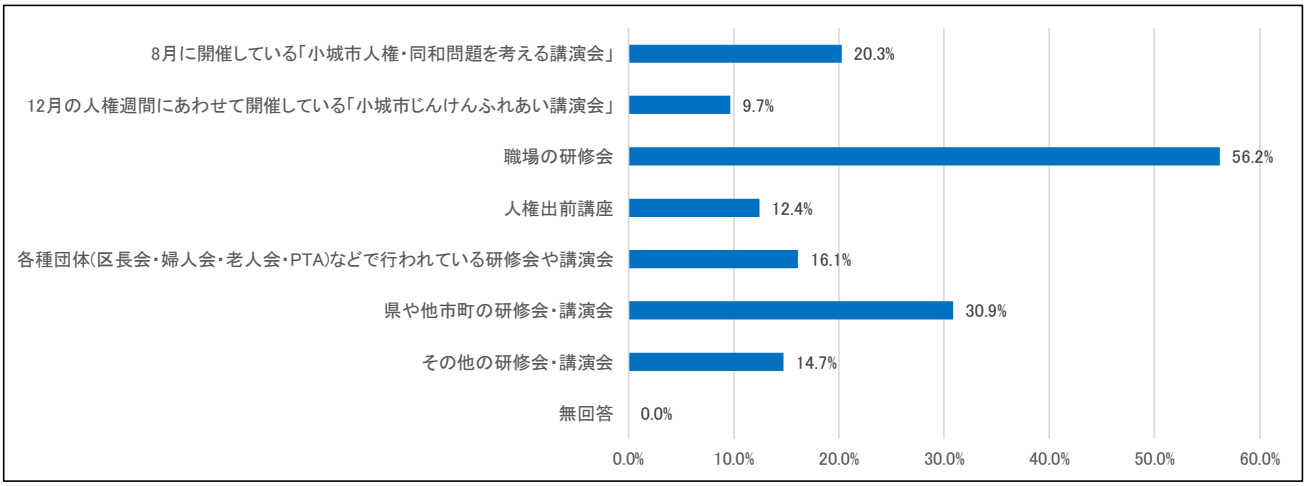
○性別、年齢別、職業別、地区別の結果

	単位	全体	性別			年齢別							職業別											地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
①参加した（1回）	人	56	26	27	3	8	6	3	10	11	16	2	4	3	6	6	6	8	2	7	9	3	2	15	23	13	4	1
	%	7.4	8.3	6.2	21.4	9.1	4.8	3.0	8.8	7.0	9.5	20.0	8.0	7.7	6.8	4.5	8.8	6.3	11.1	10.9	8.9	6.0	10.5	5.5	10.0	7.7	5.3	6.7
②参加した（2~3回）	人	81	38	40	3	9	10	9	10	17	25	1	6	6	6	8	13	15	2	9	9	4	3	31	24	14	10	2
	%	10.7	12.2	9.2	21.4	10.2	8.1	9.1	8.8	10.8	14.9	10.0	12.0	15.4	6.8	6.0	19.1	11.7	11.1	14.1	8.9	8.0	15.8	11.4	10.5	8.3	13.3	13.3
③参加した（4回以上）	人	80	45	34	1	6	10	12	14	16	21	1	5	3	2	6	32	9	0	4	14	4	1	39	19	13	7	2
	%	10.5	14.4	7.9	7.1	6.8	8.1	12.1	12.4	10.2	12.5	10.0	10.0	7.7	2.3	4.5	47.1	7.0	0.0	6.3	13.9	8.0	5.3	14.3	8.3	7.7	9.3	13.3
④参加したことがない	人	521	195	320	6	65	97	74	78	105	96	6	34	26	73	109	16	95	14	41	64	36	13	180	159	121	51	10
	%	68.6	62.5	73.9	42.9	73.9	78.2	74.7	69.0	66.9	57.1	60.0	68.0	66.7	83.0	81.3	23.5	74.2	77.8	64.1	63.4	72.0	68.4	66.2	69.4	72.0	68.0	66.7
無回答	人	21	8	12	1	0	1	1	1	8	10	0	1	1	1	5	1	1	0	3	5	3	0	7	4	7	3	0
	%	2.8	2.6	2.8	7.1	0.0	0.8	1.0	0.9	5.1	6.0	0.0	2.0	2.6	1.1	3.7	1.5	0.8	0.0	4.7	5.0	6.0	0.0	2.6	1.7	4.2	4.0	0.0

問 36　「問 35 で参加したと回答された方のみ」
参加したことがある人は、どのような研修会ですか。（回答はいくつでも可）

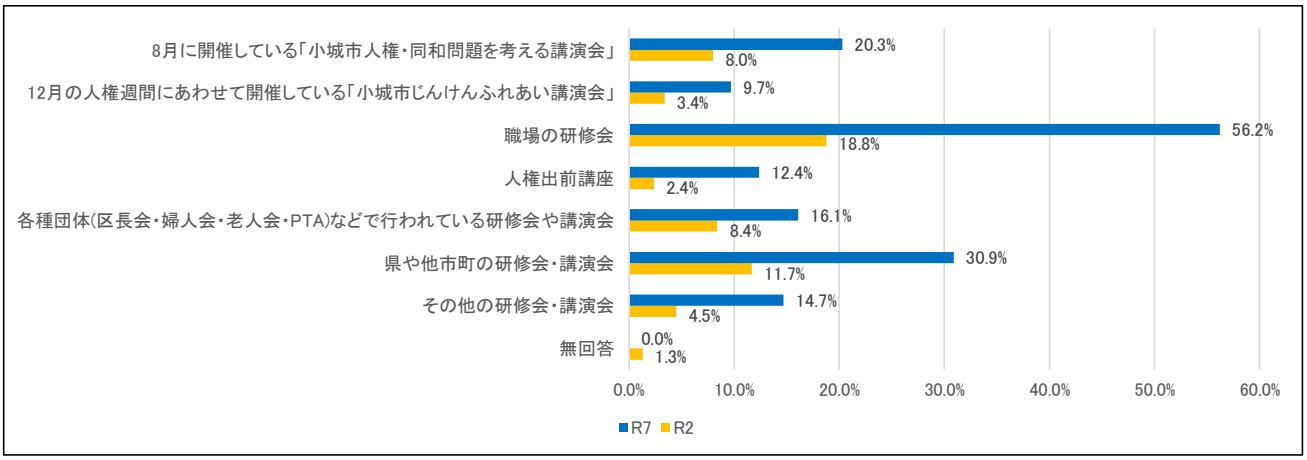
○今回調査の結果

「参加したことがある」と回答した人が、どのような研修会に参加しているのかを知るため、新たに追加した質問です。「職場の研修会」（56.2%）と回答した人の割合が最も高く、多くの職場で研修会が行われていることが読み取れます。「その他の研修会・講演会」（14.7%）については、小・中学校や高校等の教育機関での研修会・講演会等が考えられます。



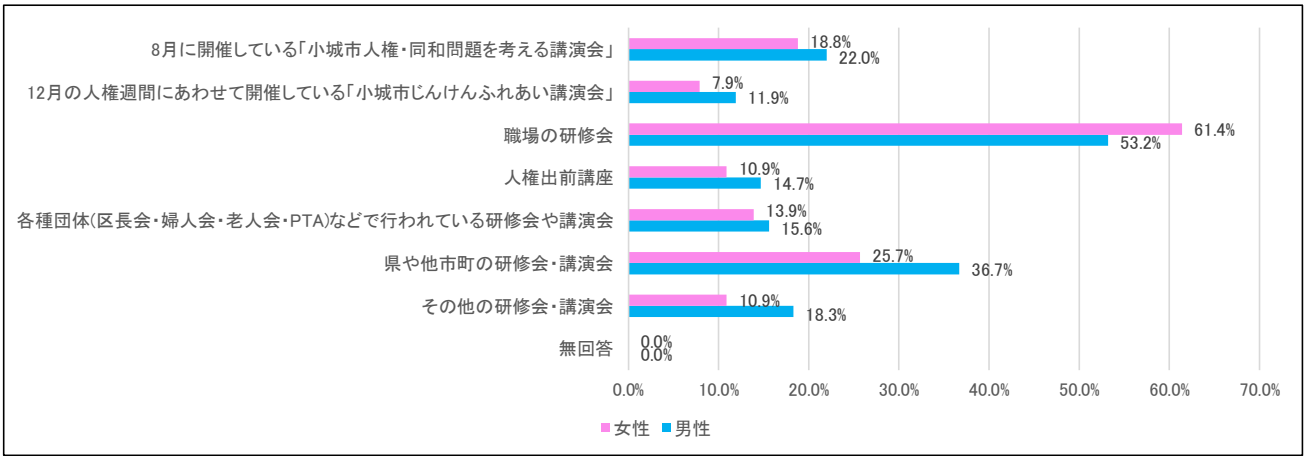
○前回調査との比較

前回調査と比較すると、全体的に回答割合が高くなっています。特に「職場の研修会」では 37.4%、「県や他市町の研修会・講演会」では 19.2%増加しています。



○性別での比較

「職場での研修会」に参加したと回答した人の割合は男性より女性の方が高く、それ以外は女性より男性が高くなっています。



○性別、年齢別、職業別、地区別の結果

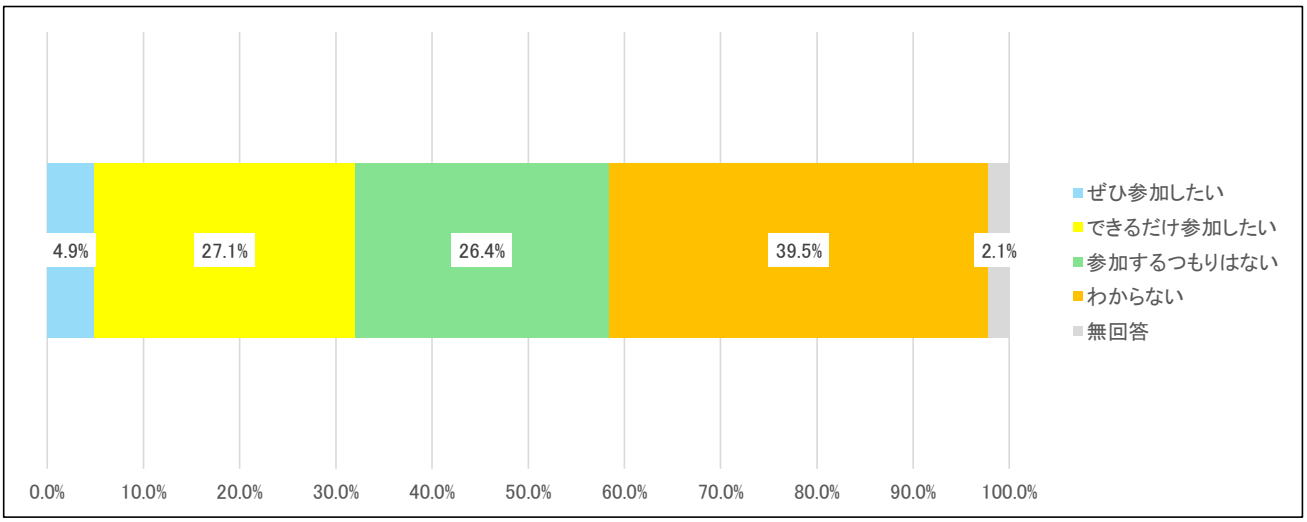
	単位	全体	性別			年齢別							職業別											地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数((35)で「参加した」と回答した人数)	人	217	109	101	7	23	26	24	34	44	62	4	15	12	14	20	51	32	4	20	32	11	6	85	66	40	21	5
①8月に開催している「小城市人権・同和問題を考える講演会」	人	44	24	19	1	1	2	6	7	11	17	0	2	2	1	5	11	10	0	4	6	3	0	20	10	9	5	0
	%	20.3	22.0	18.8	14.3	4.3	7.7	25.0	20.6	25.0	27.4	0.0	13.3	16.7	7.1	25.0	21.6	31.3	0.0	20.0	18.8	27.3	0.0	23.5	15.2	22.5	23.8	0.0
②12月の人権週間にあわせて開催している「小城市じんけんふれあい講演会」	人	21	13	8	0	1	1	3	4	5	7	0	1	0	3	1	6	3	0	3	4	0	0	8	6	3	4	0
	%	9.7	11.9	7.9	0.0	4.3	3.8	12.5	11.8	11.4	11.3	0.0	6.7	0.0	21.4	5.0	11.8	9.4	0.0	15.0	12.5	0.0	0.0	9.4	9.1	7.5	19.0	0.0
③職場の研修会	人	122	58	62	2	14	20	22	20	21	23	2	7	5	4	12	44	15	1	9	16	5	4	47	43	18	11	3
	%	56.2	53.2	61.4	28.6	60.9	76.9	91.7	58.8	47.7	37.1	50.0	46.7	41.7	28.6	60.0	86.3	46.9	25.0	45.0	50.0	45.5	66.7	55.3	65.2	45.0	52.4	60.0
④人権出前講座	人	27	16	11	0	2	3	3	1	6	12	0	2	1	0	3	3	4	1	4	7	2	0	12	8	3	4	0
	%	12.4	14.7	10.9	0.0	8.7	11.5	12.5	2.9	13.6	19.4	0.0	13.3	8.3	0.0	15.0	5.9	12.5	25.0	20.0	21.9	18.2	0.0	14.1	12.1	7.5	19.0	0.0
⑤各種団体(区長会・婦人会・老人会・PTA)などで行われている研修会や出前講座	人	35	17	14	4	0	0	2	4	12	16	1	6	4	2	2	2	5	0	6	5	2	1	13	9	10	3	0
	%	16.1	15.6	13.9	57.1	0.0	0.0	8.3	11.8	27.3	25.8	25.0	40.0	33.3	14.3	10.0	3.9	15.6	0.0	30.0	15.6	18.2	16.7	15.3	13.6	25.0	14.3	0.0
⑥県や他市町の研修会・講演会	人	67	40	26	1	5	8	8	13	18	14	1	4	4	4	9	21	4	3	4	9	3	2	25	22	12	7	1
	%	30.9	36.7	25.7	14.3	21.7	30.8	33.3	38.2	40.9	22.6	25.0	26.7	33.3	28.6	45.0	41.2	12.5	75.0	20.0	28.1	27.3	33.3	29.4	33.3	30.0	33.3	20.0
⑦その他	人	32	20	11	1	7	6	4	4	6	5	0	2	4	5	2	5	7	2	0	3	1	1	11	10	5	4	2
	%	14.7	18.3	10.9	14.3	30.4	23.1	16.7	11.8	13.6	8.1	0.0	13.3	33.3	35.7	10.0	9.8	21.9	50.0	0.0	9.4	9.1	16.7	12.9	15.2	12.5	19.0	40.0
無回答	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 37　あなたは、今後、人権・同和問題に関する研修会・講演会等に参加したいと思いますか。
（回答は１つだけ）

○今回調査の結果

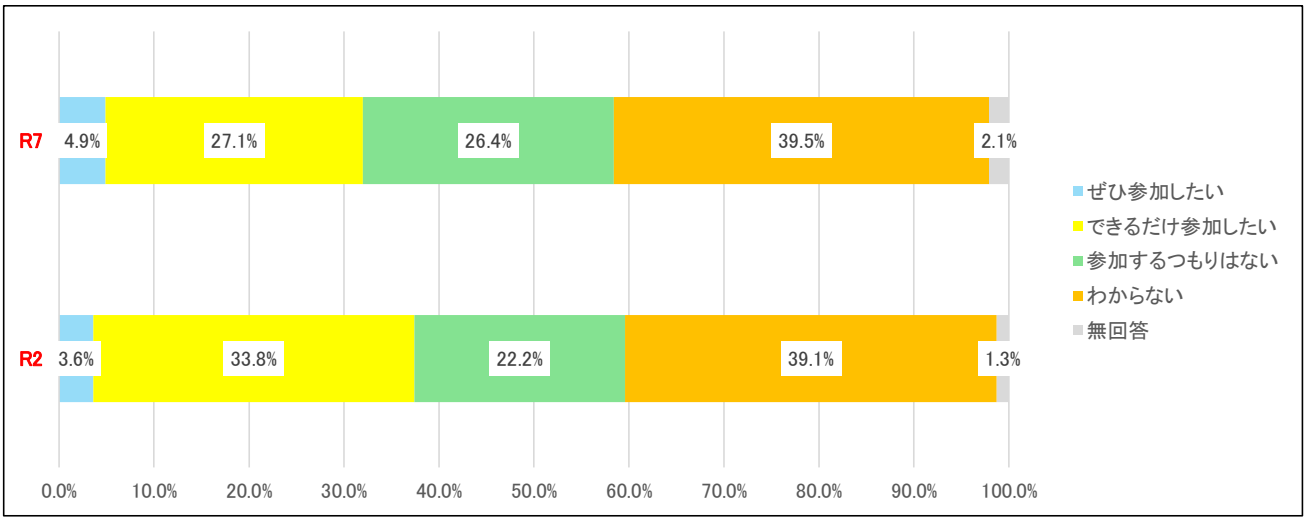
「ぜひ参加したい」（4.9%）、「できるだけ参加したい」（27.1%）と回答した人の割合は 3 割程度に留まっており、「参加するつもりはない」（26.4%）、「わからない」（39.5%）と回答した人の割合の方が高くなっています。

年齢別にみると、「参加するつもりはない」と回答した人の割合は、18～29 歳（36.4%）で高くなっています。



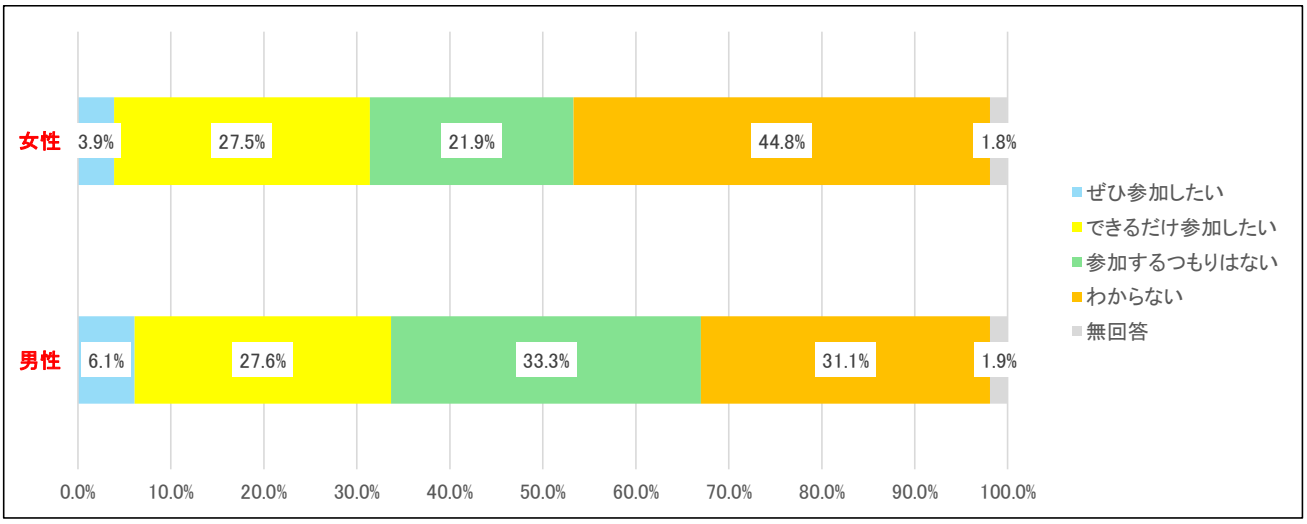
○前回調査との比較

前回調査と比較すると、「できるだけ参加したい」と回答した人の割合が 6.7%減少し、「参加するつもりはない」と回答した人の割合が 4.2%増加しています。



○性別での比較

「参加するつもりはない」と回答した人の割合は、女性より男性の方が高くなっています。また、「わからない」と回答した人の割合は、男性より女性の方が高くなっています。



○性別、年齢別、職業別、地区別の結果

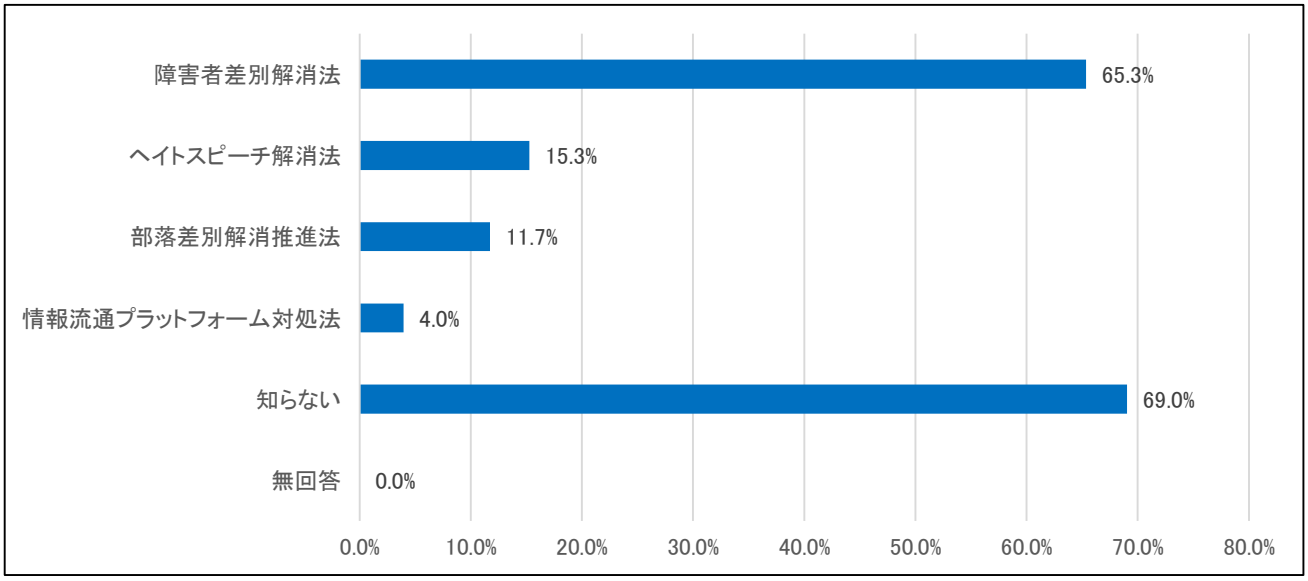
	単位	全体	性別			年齢別							職業別											地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
①ぜひ参加したい	人	37	19	17	1	4	8	4	7	8	6	0	1	2	5	3	10	5	1	1	5	3	1	15	12	9	1	0
	%	4.9	6.1	3.9	7.1	4.5	6.5	4.0	6.2	5.1	3.6	0.0	2.0	5.1	5.7	2.2	14.7	3.9	5.6	1.6	5.0	6.0	5.3	5.5	5.2	5.4	1.3	0.0
②できるだけ参加したい	人	206	86	119	1	20	29	30	40	38	47	2	13	8	26	31	36	28	4	18	27	11	4	72	64	44	21	5
	%	27.1	27.6	27.5	7.1	22.7	23.4	30.3	35.4	24.2	28.0	20.0	26.0	20.5	29.5	23.1	52.9	21.9	22.2	28.1	26.7	22.0	21.1	26.5	27.9	26.2	28.0	33.3
③参加するつもりはない	人	200	104	95	1	32	34	27	23	37	46	1	18	9	21	46	11	32	7	15	22	15	4	62	69	46	20	3
	%	26.4	33.3	21.9	7.1	36.4	27.4	27.3	20.4	23.6	27.4	10.0	36.0	23.1	23.9	34.3	16.2	25.0	38.9	23.4	21.8	30.0	21.1	22.8	30.1	27.4	26.7	20.0
④わからない	人	300	97	194	9	32	51	37	43	66	65	6	16	20	34	53	10	59	6	29	43	20	10	115	84	65	29	7
	%	39.5	31.1	44.8	64.3	36.4	41.1	37.4	38.1	42.0	38.7	60.0	32.0	51.3	38.6	39.6	14.7	46.1	33.3	45.3	42.6	40.0	52.6	42.3	36.7	38.7	38.7	46.7
無回答	人	16	6	8	2	0	2	1	0	8	4	1	2	0	2	1	1	4	0	1	4	1	0	8	0	4	4	0
	%	2.1	1.9	1.8	14.3	0.0	1.6	1.0	0.0	5.1	2.4	10.0	4.0	0.0	2.3	0.7	1.5	3.1	0.0	1.6	4.0	2.0	0.0	2.9	0.0	2.4	5.3	0.0

問 38　平成 28 年以降に「差別解消のための法律」が以下のとおり施行されていますが、あなたが知っている法律はありますか。（回答はいくつでも可）

○今回調査の結果

「障害者差別解消法」（65.3%）と回答した人の割合が高く、それ以外の「ヘイトスピーチ解消法」（15.3%）、「部落差別解消推進法」（11.7%）、「情報流通プラットフォーム対処法」（4.0%）と回答した人の割合は低くなっています。

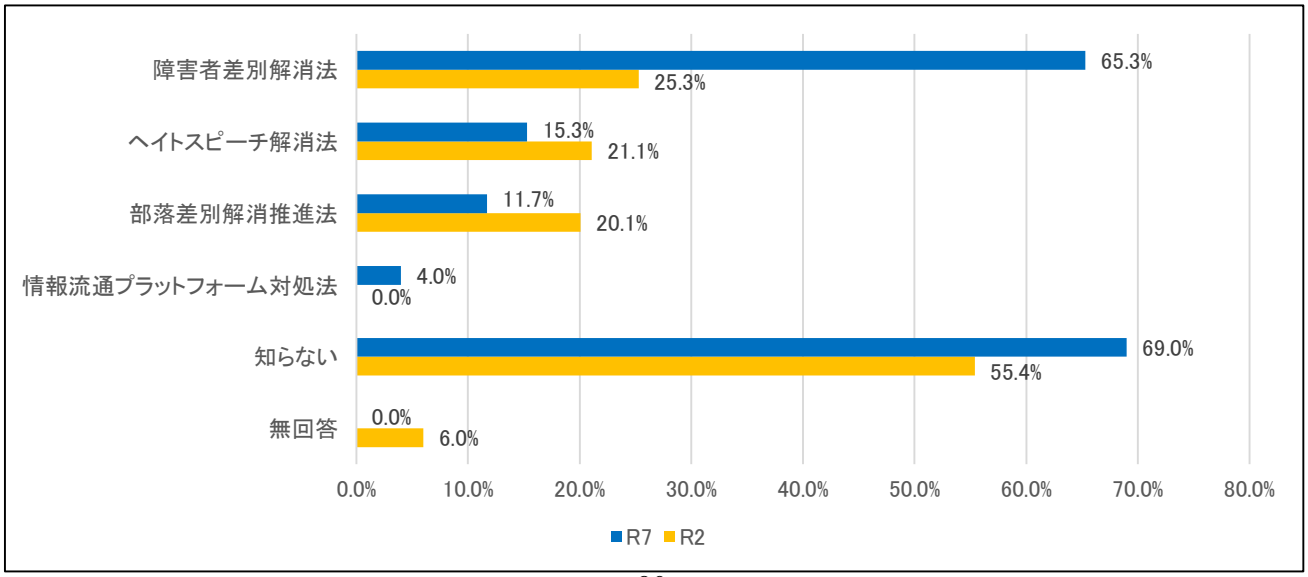
また、「知らない」（69.0%）と回答した人が 7 割程度となっており、年齢別でみると、60 歳代（72.6%）、30 歳代（71.8%）、70 歳以上（71.4%）で高い割合となっています。



※今回調査から、選択肢「情報通信プラットフォーム対処法」を追加しています。

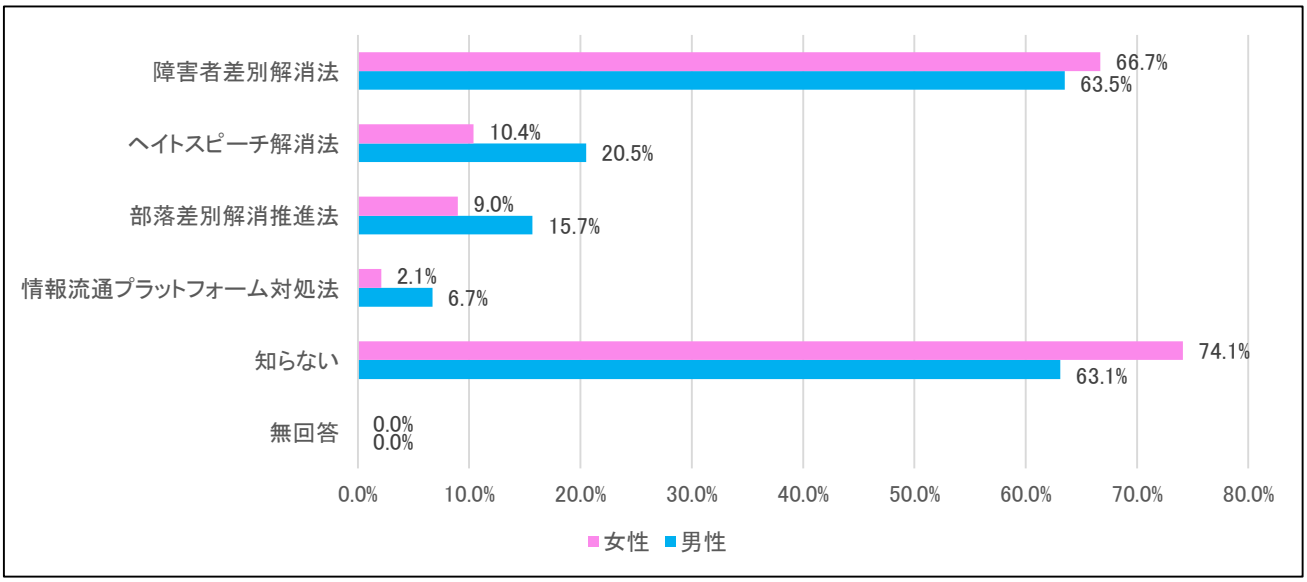
○前回調査との比較

前回調査と比較すると、「障害者差別解消法」と回答した人の割合が 40%増加しています。今回調査から追加した選択肢「情報流通プラットフォーム対処法」は 4%となっています。また、「知らない」と回答した人の割合が 13.6%増加しています。



○性別での比較

「ヘイトスピーチ解消法」、「部落差別解消推進法」、「情報流通プラットフォーム対処法」と回答した人の割合は、女性より男性の方が高くなっています。



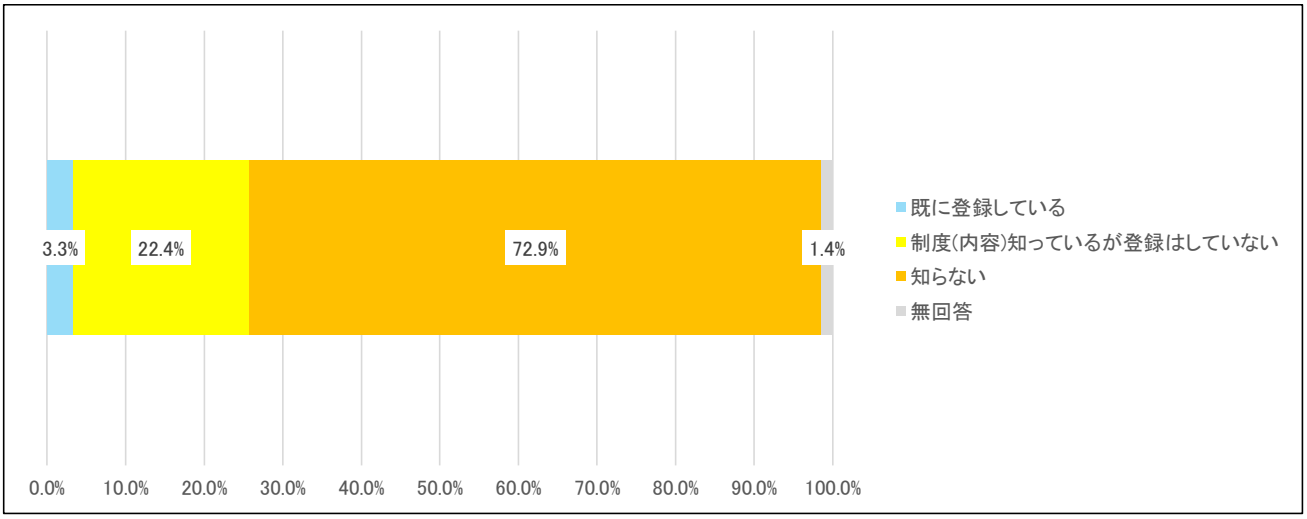
○性別、年齢別、職業別、地区別の結果

	単位	全体	性別			年齢別							職業別											地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
①障害者差別解消法(平成28年4月1日 施行)	人	496	198	289	9	39	52	50	70	124	156	5	39	24	41	66	45	83	10	55	92	29	12	182	139	103	61	11
	%	65.3	63.5	66.7	64.3	44.3	41.9	50.5	61.9	79.0	92.9	50.0	78.0	61.5	46.6	49.3	66.2	64.8	55.6	85.9	91.1	58.0	63.2	66.9	60.7	61.3	81.3	73.3
②ヘイトスピーチ解消法(平成28年6月3日 施行)	人	116	64	45	7	12	19	18	20	16	27	4	8	4	11	19	24	17	2	7	12	6	6	53	33	17	10	3
	%	15.3	20.5	10.4	50.0	13.6	15.3	18.2	17.7	10.2	16.1	40.0	16.0	10.3	12.5	14.2	35.3	13.3	11.1	10.9	11.9	12.0	31.6	19.5	14.4	10.1	13.3	20.0
③部落差別解消推進法(平成28年12月16日施行)	人	89	49	39	1	11	12	10	17	19	19	1	6	3	4	5	34	11	1	6	13	3	3	36	25	16	11	1
	%	11.7	15.7	9.0	7.1	12.5	9.7	10.1	15.0	12.1	11.3	10.0	12.0	7.7	4.5	3.7	50.0	8.6	5.6	9.4	12.9	6.0	15.8	13.2	10.9	9.5	14.7	6.7
④情報流通プラットフォーム対処法(令和7年4月1日 施行)	人	30	21	9	0	9	7	1	6	5	2	0	2	2	1	7	4	4	3	0	1	5	1	13	8	6	2	1
	%	4.0	6.7	2.1	0.0	10.2	5.6	1.0	5.3	3.2	1.2	0.0	4.0	5.1	1.1	5.2	5.9	3.1	16.7	0.0	1.0	10.0	5.3	4.8	3.5	3.6	2.7	6.7
⑤知らない	人	524	197	321	6	59	89	65	73	114	120	4	34	32	63	100	21	92	9	50	76	36	11	181	164	120	51	8
	%	69.0	63.1	74.1	42.9	67.0	71.8	65.7	64.6	72.6	71.4	40.0	68.0	82.1	71.6	74.6	30.9	71.9	50.0	78.1	75.2	72.0	57.9	66.5	71.6	71.4	68.0	53.3
無回答	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 39　あなたは、本人通知制度（住民票の写しや戸籍などを本人以外の第三者に交付した場合に通知する制度）を知っていますか。（回答は１つだけ）。（回答はいくつでも可）

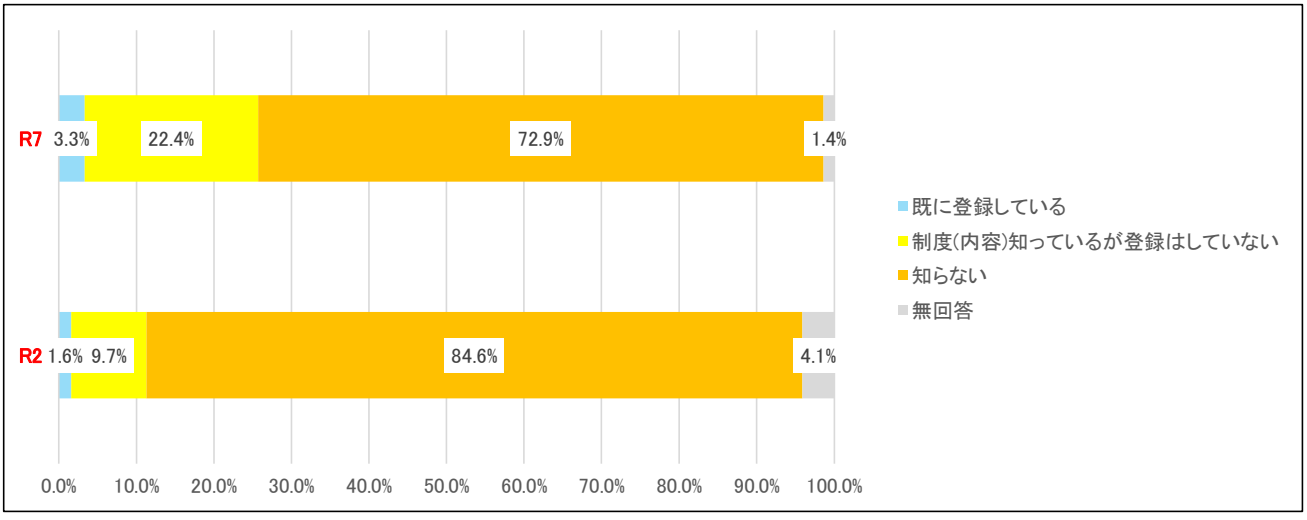
○今回調査の結果

「知らない」（72.9%）と回答した人の割合が最も高く 7 割を超えています。年齢別にみると、18～29 歳（80.7%）で高い割合となっており、本人通知制度が知られていないことが分かります。



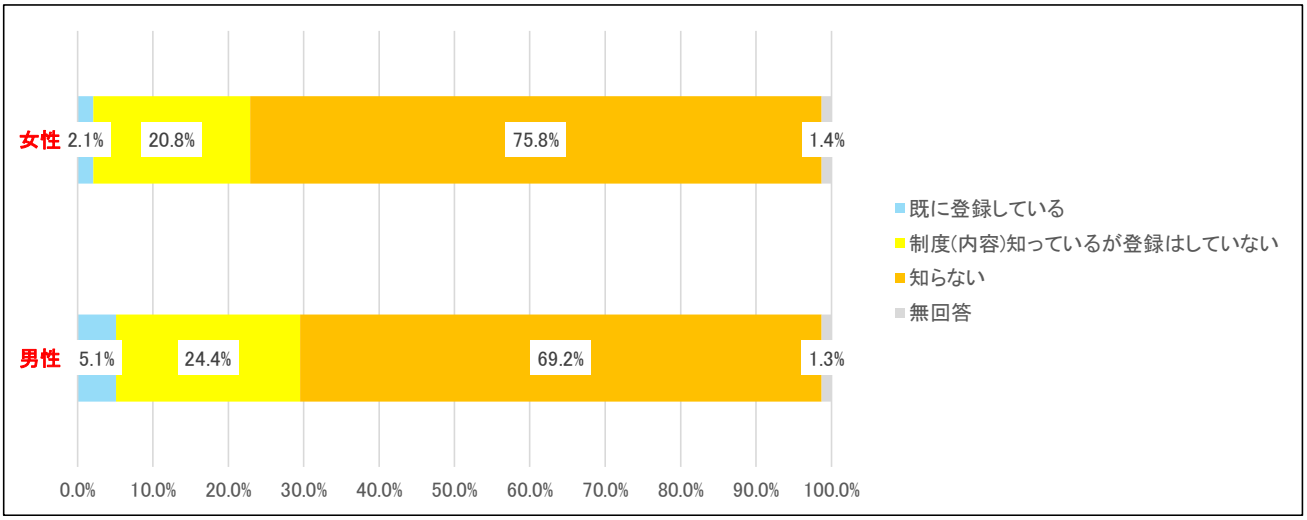
○前回調査との比較

前回調査と比較すると、「既に登録している」、「制度（内容）知っているが登録はしていない」と回答した人の割合は増加しています。また、「知らない」と回答した人の割合が 11.7%減少しています。



○性別での比較

「既に登録している」、「制度(内容)知っているが登録はしていない」と回答した人の割合は、女性より男性の方が高くなっています。また、「知らない」と回答した人の割合は、男性より女性の方が高くなっています。



○性別、年齢別、職業別、地区別の結果

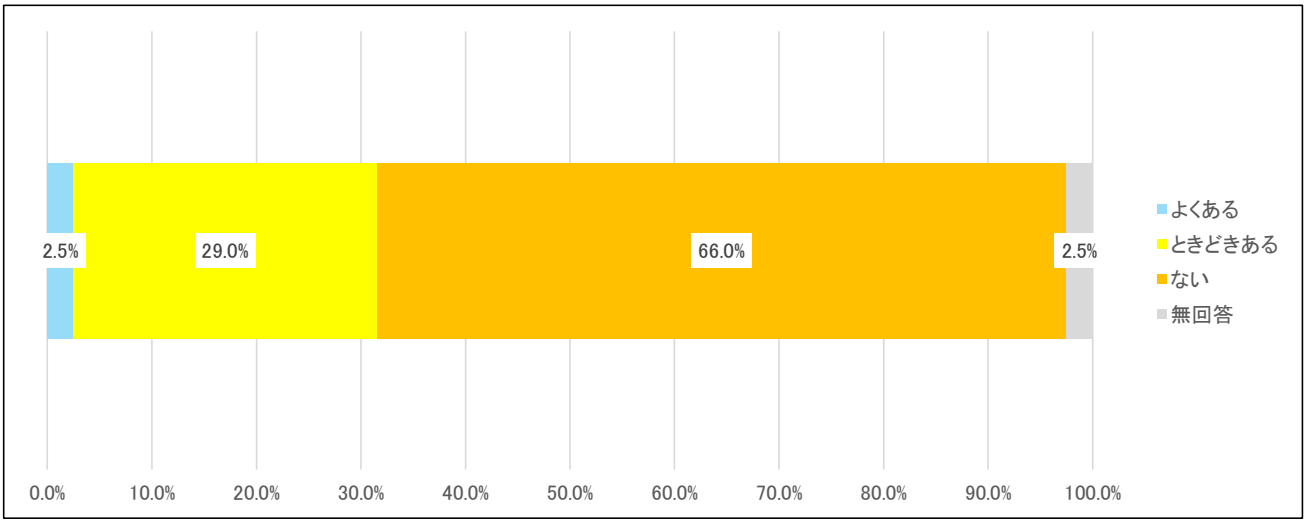
	単位	全体	性別			年齢別							職業別										地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
①既に登録している	人	25	16	9	0	5	5	4	5	3	3	0	1	0	4	6	3	4	0	2	2	1	2	7	9	8	1	0
	%	3.3	5.1	2.1	0.0	5.7	4.0	4.0	4.4	1.9	1.8	0.0	2.0	0.0	4.5	4.5	4.4	3.1	0.0	3.1	2.0	2.0	10.5	2.6	3.9	4.8	1.3	0.0
②制度（内容）知っているが、登録はしていない	人	170	76	90	4	11	30	21	26	36	42	4	9	9	16	21	28	27	2	16	26	11	5	60	53	36	17	4
	%	22.4	24.4	20.8	28.6	12.5	24.2	21.2	23.0	22.9	25.0	40.0	18.0	23.1	18.2	15.7	41.2	21.1	11.1	25.0	25.7	22.0	26.3	22.1	23.1	21.4	22.7	26.7
③知らない	人	553	216	328	9	71	87	73	82	113	122	5	38	30	66	106	36	95	15	46	72	37	12	198	167	121	56	11
	%	72.9	69.2	75.8	64.3	80.7	70.2	73.7	72.6	72.0	72.6	50.0	76.0	76.9	75.0	79.1	52.9	74.2	83.3	71.9	71.3	74.0	63.2	72.8	72.9	72.0	74.7	73.3
無回答	人	11	4	6	1	1	2	1	0	5	1	1	2	0	2	1	1	2	1	0	1	1	0	7	0	3	1	0
	%	1.4	1.3	1.4	7.1	1.1	1.6	1.0	0.0	3.2	0.6	10.0	4.0	0.0	2.3	0.7	1.5	1.6	5.6	0.0	1.0	2.0	0.0	2.6	0.0	1.8	1.3	0.0

問 40　あなたは、家庭で人権問題について話したりすることはありますか。（回答は１つだけ）
※今回調査から追加しています。

○今回調査の結果

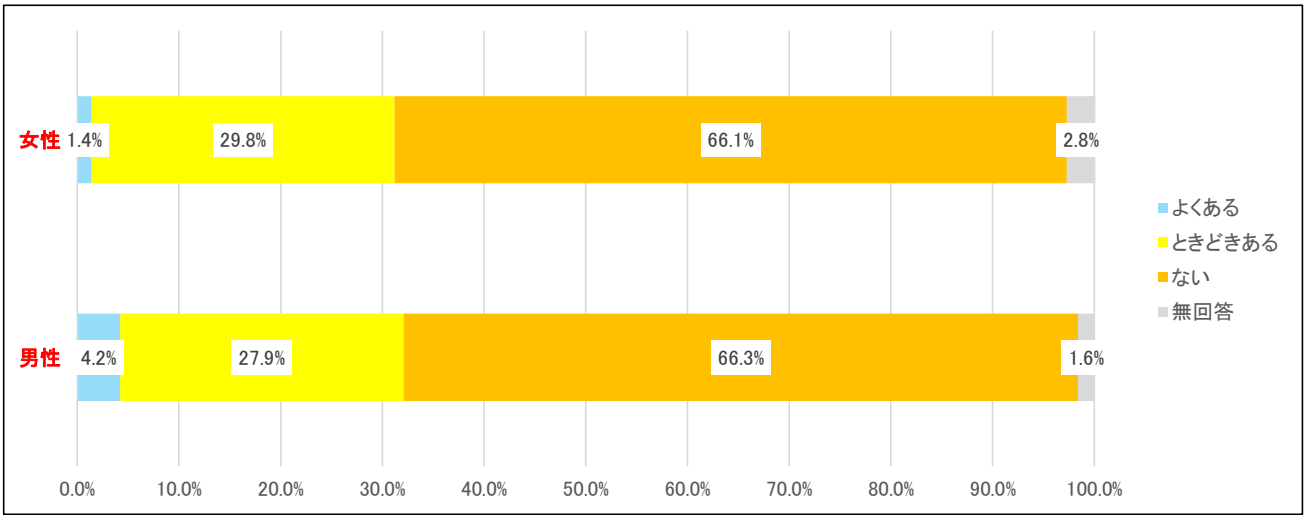
家庭の中で日常的に人権問題について話をすることがあるかをみるために新たに追加した質問です。「ない」（66%）と回答した割合が最も高くなっており、全体の 2/3 を占めています。

一方で、「よくある」（2.5%）、「ときどきある」（29.0%）と回答した人の割合は、1/3 程度となっています。



○性別での比較

性別では、大きな差異はみられません。



○性別、年齢別、職業別、地区別の結果

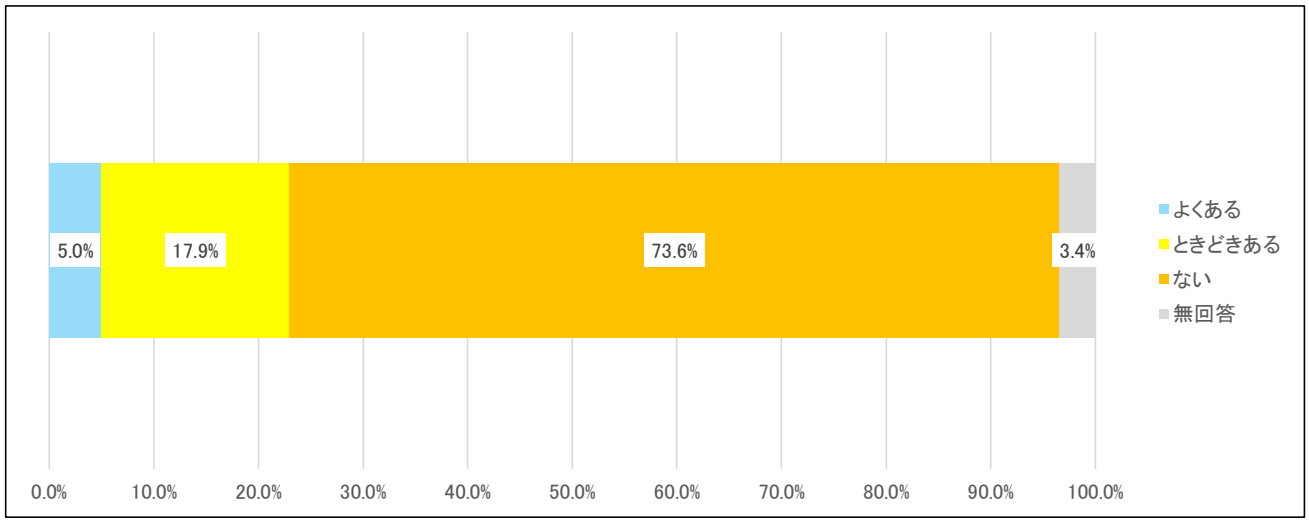
	単位	全体	性別			年齢別							職業別											地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
①よくある	人	19	13	6	0	3	4	1	4	5	2	0	1	2	2	2	4	3	0	1	2	2	0	8	6	5	0	0
	%	2.5	4.2	1.4	0.0	3.4	3.2	1.0	3.5	3.2	1.2	0.0	2.0	5.1	2.3	1.5	5.9	2.3	0.0	1.6	2.0	4.0	0.0	2.9	2.6	3.0	0.0	0.0
②ときどきある	人	220	87	129	4	21	36	31	43	33	53	3	7	12	31	31	24	35	4	21	34	14	7	75	64	51	24	6
	%	29.0	27.9	29.8	28.6	23.9	29.0	31.3	38.1	21.0	31.5	30.0	14.0	30.8	35.2	23.1	35.3	27.3	22.2	32.8	33.7	28.0	36.8	27.6	27.9	30.4	32.0	40.0
③ない	人	501	207	286	8	62	82	67	66	111	107	6	39	25	53	98	39	87	13	40	61	34	12	179	157	108	48	9
	%	66.0	66.3	66.1	57.1	70.5	66.1	67.7	58.4	70.7	63.7	60.0	78.0	64.1	60.2	73.1	57.4	68.0	72.2	62.5	60.4	68.0	63.2	65.8	68.6	64.3	64.0	60.0
無回答	人	19	5	12	2	2	2	0	0	8	6	1	3	0	2	3	1	3	1	2	4	0	0	10	2	4	3	0
	%	2.5	1.6	2.8	14.3	2.3	1.6	0.0	0.0	5.1	3.6	10.0	6.0	0.0	2.3	2.2	1.5	2.3	5.6	3.1	4.0	0.0	0.0	3.7	0.9	2.4	4.0	0.0

問 41　あなたは、地域や職場で人権問題について話したりすることはありますか。
（回答は１つだけ）※今回調査から追加しています。

○今回調査の結果

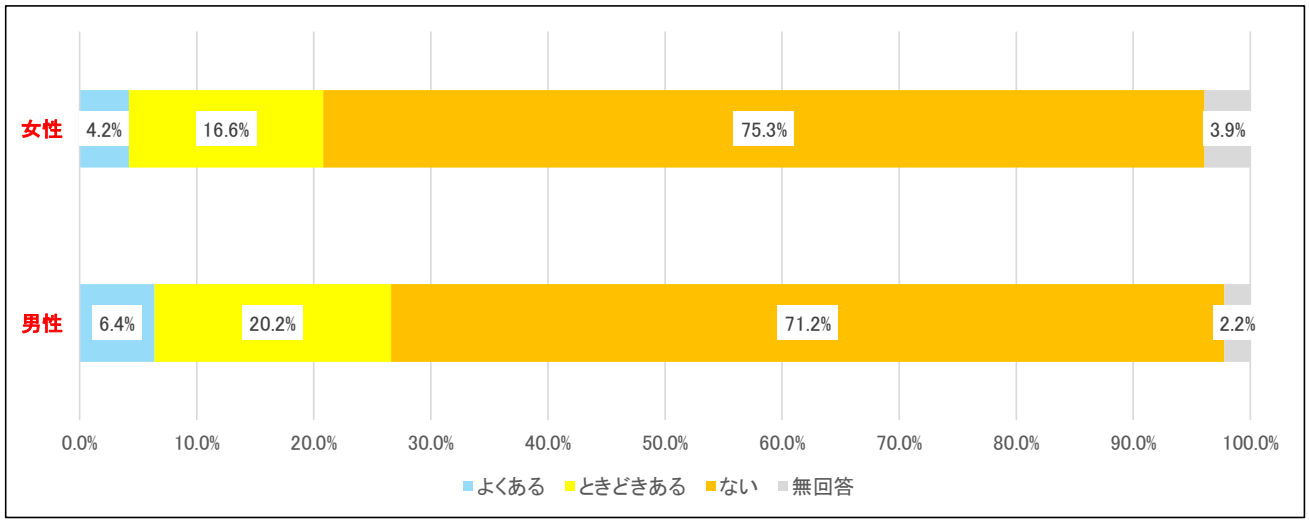
地域や職場の中で日常的に人権問題について話をすることがあるかをみるために新たに追加した質問です。「ない」（73.6%）と回答した割合が最も高くなっており、全体の７割以上を占めています。

一方で、「よくある」（5.0%）、「ときどきある」（17.9%）と回答した割合は、２割程度となっています。



○性別での比較

「よくある」、「ときどきある」と回答した人の割合は、女性より男性の方が高くなっています。また、「ない」と回答した人の割合は、男性より女性の方が高くなっています。



○性別、年齢別、職業別、地区別の結果

	単位	全体	性別			年齢別							職業別											地区別				
			男性	女性	その他	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない	農林水産業	商工業・サービス業	専門的・技術的職業	民間企業・団体	公務員・教員	臨時・パート	学生	家事	無職	その他	答えたくない	小城町	三日月町	牛津町	芦刈町	答えたくない
回答者数	人	759	312	433	14	88	124	99	113	157	168	10	50	39	88	134	68	128	18	64	101	50	19	272	229	168	75	15
①よくある	人	38	20	18	0	5	10	8	6	5	4	0	0	4	6	2	15	3	2	1	3	1	1	15	15	4	2	2
	%	5.0	6.4	4.2	0.0	5.7	8.1	8.1	5.3	3.2	2.4	0.0	0.0	10.3	6.8	1.5	22.1	2.3	11.1	1.6	3.0	2.0	5.3	5.5	6.6	2.4	2.7	13.3
②ときどきある	人	136	63	72	1	16	22	21	32	19	26	0	7	7	18	21	25	20	6	7	16	7	2	47	38	31	18	2
	%	17.9	20.2	16.6	7.1	18.2	17.7	21.2	28.3	12.1	15.5	0.0	14.0	17.9	20.5	15.7	36.8	15.6	33.3	10.9	15.8	14.0	10.5	17.3	16.6	18.5	24.0	13.3
③ない	人	559	222	326	11	66	88	69	74	123	130	9	41	27	61	107	27	99	10	53	78	40	16	198	173	125	52	11
	%	73.6	71.2	75.3	78.6	75.0	71.0	69.7	65.5	78.3	77.4	90.0	82.0	69.2	69.3	79.9	39.7	77.3	55.6	82.8	77.2	80.0	84.2	72.8	75.5	74.4	69.3	73.3
無回答	人	26	7	17	2	1	4	1	1	10	8	1	2	1	3	4	1	6	0	3	4	2	0	12	3	8	3	0
	%	3.4	2.2	3.9	14.3	1.1	3.2	1.0	0.9	6.4	4.8	10.0	4.0	2.6	3.4	3.0	1.5	4.7	0.0	4.7	4.0	4.0	0.0	4.4	1.3	4.8	4.0	0.0

14　自由意見

今回調査の自由意見は、人権・同和問題に関して多数の幅広い意見が寄せられました。これらの意見は、社会の中での人権のあり方や同和問題の解消に向けて、それぞれの視点から述べられおり、考え方は様々ですが、多くの意見からは、みんなの人権が守られる社会にしたいという共通の思いが込められています。

今回調査でいただきました意見を市の人権・同和問題施策や人権教育・啓発基本方針等へ反映させていくこととします。貴重なご意見ありがとうございました。

※一部を抜粋

年齢別	性別	意　見
18～20 歳代	女性	・なぜ男性の人権は調査なさらないのですか？部落差別における「近い将来」という記載は抽象的だと感じました。
40 歳代	男性	・「寝た子を起こすな」という考え方も分からなくはないが、教育現場での教育活動や職場での研修が重要な意味を持つ。誤った教育を受けたことにより人権問題は起こっている。教育の誤りは教育で正す。それしか方法はないと考える。
40 歳代	女性	・人権問題は大人から子どもまで、きちんと話し合ったり講演をするべきだと思うが、部落差別については小学校で習わなければ知らなかったこと。今も部落差別があるということはあえて子どもたちに話す必要はないのではないか。学習することで違う意味での興味を持ち部落差別がなくならないという悪循環が生まれているのではないかと思う。
60 歳代	男性	・昔むかしにあった話を無意味に口にしないことが大切だと思います。今は今の時代を素直な気持ちで生きていけばよいと思います。同和といわれる地区に生まれた人だけの問題ではない気がします。
50 歳代	男性	・学校や職場（特に公共や教職）は講演会や研修会に参加する機会があり、人権問題について考える機会があるが、積極的に参加しないと一般の人はそのような機会がないので、特に人権教育を受けてきていない世代へのアプローチが重要に思われる。
70 歳代以上	女性	・コロナの時の影響で子どもたちも小さい時からゲーム、スマホに夢中になり、暴力的な言動が増え、人間は死んでもまたすぐに生き返るといった認識を持っている。これはゲームのせいだと思うし、本当のことを知る機会がない。また、親自身も短時間でもスマホをいじっているし、社会生活で必要な事柄を誰が教えるんだと心配になる。私は縁のあった方が亡くなった時はまだ小学生の孫を火葬場に連れて行くようにしている。人間は死んだらこうなるんだよと教えたいし、生きているうちは精一杯生きてほしいから。学校でも家庭内でも暴力的、差別的な発言や行動はしてほしくないから。
50 歳代	女性	・小さい頃からの教育の大切さを思います。小学校や幼稚園等でしっかりと道徳を教えてもらいたいです。お互いに大切にすること、人を傷つけないこと、相手を思いやることは、人間として生きていくうえで最も大切だと思います。

年齢別	性別	意　見
60 歳代	女性	・日本の環境、島国、同じ人種が住み続けて、他の人種との往来がなかった閉鎖的な環境の中でも起こる問題。他国と他人種、他宗教が混じる国では、戦争になっている。ジェノサイドがある。それよりもましと考えるのも変だし、基本的に他人への寛容が足りない。相手をわかろうとする努力がないと思いやる気持ちがなければ平和にならない。人間、どれだけ相手と語り合って一緒に生活しても、絶対相手を知り尽くすことはできない。やはり、思いやる心、相手を理解する気持ちが必要最低条件。そのためにどうすればよいでしょうか。分かりませんけど、そう思っています。
18～20 歳代	男性	・私自身のことではないですが、周囲の環境の中に自分の見た目上の性別と自分の心の中の性別が違うであろうと考えられるかたが、いらっしゃいます。その方は、自身の心の中にある性別に忠実に向き合い自分自身の容姿をそれに近づけようと努力していらっしゃる様に感じられました。私は、学校という環境のなかで自分自身の心に引っかかるような経験をしました。それは、自分の同級生が、「あの人ってオカマでしょ？」と発言した点です。その方に対して言った訳ではなく、ある会話の一部にその内容が含まれているものでした。その方にとってその言葉は、自尊心を傷つけてしまう気もしました。その方にとって自分の容姿を好きなようにすることは、その方にとっての自尊心の向上であるということも考えられます。ですから、その方にとってオカマというものは非常に嘆かわしいものであるとも感じました。近年では、女性の方が、ボーイッシュのような髪型にしても意外と受け入れられるようなイメージがあります。しかし、男性がロングにするのには、あまり受け入れられていないようにも感じ取れます。このように、一つの言葉一つの意識がまだまだ根強く残っていること、これは非常に問題であると感じる出来事でした。
30 歳代	男性	・教員の人権が守られず、保護者や地域の方から誹謗中傷ともとれる言葉を多くかけられ、それでも誰も守ってくれないことから教員には人権がないのだと思っているし、これについては国も地域も解決する気はないのだなと思っています。なので正直人権問題については諦めていますし、あまり興味がありません。
30 歳代	女性	・子どもたちと接する機会が多くあります。普段、私たち大人がどういう姿をみせるのか、日頃の言動がこれからの未来を担う子どもたちの人権・同和意識を作り上げていくと思います。だからこそ、まず大人が正しい知識を持つとともに、子どもたちの手本となれるようにという意識を持ち続けたいと考えています。私は県外出身ですが、学校で同和地区について学んだ際、私には全く身近に感じられないことだったので、家に帰って母に話すと「〇〇地区はそうだったみたいだね。」と母が教えてくれました。母はその地区の人に対しても全く差別することなく接していたので、それを聞いた私はとても驚きました。それと同時に母の姿が誇らしかったことを今でもよく覚えています。最初に正しい知識を得るというのはとても大切なことだと思います。ぜひ、市内のこども園でも人権啓発講座などで、まず正しい知識を得る機会を増やしていただけたらとありがたいと思います。お忙しいかと思いますがご検討いただけたらありがたいです。

年齢別	性別	意　見
70 歳代以上	男性	・人権や同和問題について指導教育監督するのも１つの方法だとは思う。しかしながら、差別を安易に受け止めできない様なバリア教育が必要と言える。差別は違いを認識できない事により始まり、人類愛や地域愛等の愛情の欠如に因って発するものであり、先ずは、情操教育の根幹である事に社会認識とするべきである。もうその時期に到達していると私は考える。

Ⅲ　調査結果の分析

１　調査票回収率

今回調査での調査票回収率は 37.95%であり、前回調査の調査票回収率 30.80%と比較すると 7.15%増加しました。

今回の調査では、回収率向上を図る目的でインターネットによる回答方式を取り入れたことで、若い世代の回答率が上昇しました。

しかしながら、依然として 6 割以上の回答が得られない原因として考えられることとして、まずは、人権問題そのものへの関心の低さが挙げられます。対象となった方へ調査票が届いた際に、回答するか否かを分ける大きな要素の一つが、興味や関心の有無であると考えられます。幅広い世代の市民への啓発活動を繰返し行っていくことにより人権・同和問題への興味や関心を高めていくことが必要です。その結果として回収率の向上につながっていくのではないかと考えます。

また、もう一つの要因としては、回答する側の負担の大きさが考えられます。幅広い人権・同和問題を網羅しようとするためには、どうしても質問数が増えてしまいます。ある程度の興味や関心があっても、時間や労力の負担感から回答を得られないことも考えられますので、次回の調査では、できる限り短時間で回答できるよう質問項目を絞り込むことも必要ではないかと考えます。

２　調査結果

(1) 人権問題への関心

人権問題への関心については、問 6 で質問をしました。その結果、「関心がある」、「少し関心がある」と回答した人を合わせると 72.2%となりましたが、令和 2 年の前回調査から 4.3%低下しています。

前回調査時からの間に、新型コロナウイルスの感染拡大により、令和 2 年度から約 2～3 年間、啓発に係る事業が中止や縮小になるなどした結果、市民に対する啓発の機会は減少しました。また、令和 5 年に新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが 5 類に移行されてからは、ほぼコロナ禍以前に戻る形で事業を実施していますが、コロナ禍以前のように人が集まらない状況がみられます。このような状況は、今回の結果に少なからず影響しているものと考えます。

次に、問 10 では、近年のインターネット等による人権侵害についての質問を追加しましたが、「多くなってきている」と感じる人が「あまり変わらない」と感じる人を僅かに上回っています。近年の社会状況に着目しますと、生成ＡＩの普及が進む中で、インターネット上の人権侵害への注目度が高まっています。インターネットに関する人権問題は、人々が日々の生活の中で直面する機会が多く、自分事として捉えやすい面が結果として表れてきているものと思われます。

また、問 12 では、様々な人権問題の中で関心があるものを質問しましたが、「女性」の人権の回答が 73%まで上昇しました。このことは、男女共同参画の教育や啓発の成果が表れてきているものと考えます。この他の傾向としては、子育て世代では「子どもの人権」、高齢世代なら「高齢者の人権」への関心が高いなど、自分自身が直面する問題への関心は高いという結果が出ています。

しかし、先述の問 6 における「人権問題への関心の低下」という今回の結果をみると、そうした個々の人権問題への関心が、必ずしも人権問題そのものへの関心につながっていないと言えるのかもしれません。

人権問題への関心を喚起していくためには、社会の中で起こっている様々な出来事を自分事として人権問題に結びつけていくような教育・啓発を推進していくことが必要ではないかと考えます。

(2) 人権侵害と対応

問 8 では、この 1 年間に自分自身が人権侵害を受けたと感じたことを質問しましたが、「職場や学校、家庭等で不当な扱いを受けた」、「パワハラ行為を受けた」など、少数ではありますが、感じた人がいることがわかりました。

問 9 では、他人の人権を傷つけたことを感じたことがあるかの質問を設けました。これによって、傷つけたことがあるかもしれないと回答した人まで含めると、「人権侵害をしたと感じた経験のある人が全体の半数以上いること」、また、問 11 で人権侵害を受けたときには、「身近な家族や親戚、友人等に相談する人が多いこと」がわかりましたが、その一方で、人権侵害を受けたと感じても、「何もしないで我慢する」と考えている人もいることが明らかになりました。

内容にもよりますが、人権侵害を受けた場合、受けた人の心の傷は決して軽いものではなく、自分の中だけで消化することは容易ではありません。

家族や親戚、友人に相談できる状況にあればそれが一番ですが、身近に相談できない状況にある場合、特に何もしないという選択ではなく、少しでも各種の相談窓口を利用してもらうことが大切だと思います。それによって必ずしも問題が解決するわけではありませんが、より深刻な事態を避けることができたり、心の傷から回復するきっかけになることも考えられます。

人権問題は命の問題です。相談につながることの重要性をあらためて認識し、関係機関と連携しながら、市民に広くいきわたる相談窓口の周知方法を考えていく必要があります。

(3) 個別の人権問題について

個別の人権問題では、問 13 から 23 まで、女性、子ども、高齢者、障がい者、ＨＩＶ・ハンセン病患者・難病患者等、外国人、性的指向・性自認、インターネット・ＳＮＳ等の質問をしました。

回答の結果ですが、個別の人権問題ごとの考察は、それぞれの集計結果のページに記載していますので、ここでは全体的な傾向等について述べます。

全体的な傾向の中で、各質問に共通して設けている「わからない」という選択肢に着目したいと思います。「わからない」と回答した人の割合が 10%未満であったのが、女性、子ども、高齢者、障がい者、インターネット・SNS 等、10%以上であったのが、ＨＩＶ・ハンセン病患者・難病患者等、外国人、性的指向・性自認でした。知識や情報がなければ、どういう問題が考えられるのかという想像が難しく、回答ができなかったと考えられます。

個別の人権問題のすべてを同じように啓発することはできませんが、この差を認識したうえで、様々な啓発事業を組み立てていくことが重要です。

(4) 部落差別（同和問題）について

部落差別(同和問題)では、以前からの経年変化を確認するため、問 24 から 31 まで質問を設けました。このうち問 24 で「部落差別（同和問題）のことを知っている」と回答した人の割合が増えていること、問 25 で「はじめて知ったきっかけは学校の授業」と回答した人の割合が高いことをみると、これまでの教育・啓発の成果があったものと考えます。

一方で、問 26 から問 31 では、「わからない」と回答した人の割合が高い状況がみられます。特に問 26 の部落差別(同和問題)をどう考えるか、問 28 の親しく付き合っている職場や近所の人が同和地区出身とわかったときどうするか、問 31 の部落差別(同和問題)の解決に必要と思うことといった質問の結果では、前回調査に比べ「わからない」と回答した人の割合が増えています。

このことは、部落差別(同和問題)について学ぶ機会がなく、判断することができないという人も多いのではないかと思われます。部落差別(同和問題)の学習機会の有無が結果に表れているものと考えます。

(5) 啓発活動について

問 32 から問 37 では、啓発活動に関する質問をしました。問 32 では市が実施している啓発の認知度、問 33 では人権・同和問題の理解を深めるために必要と思うこと、問 34 では今後の小城市の啓発活動について、問 35 では人権・同和問題の研修会等への参加状況、問 36 では参加した研修会の内容、問 37 では今後の研修会等への参加意欲について尋ねています。

問 32 の市が実施している講演会・研修会・講座等の認知度は前回調査から 28.5%増えて 6 割という結果でした。これまでの啓発の成果と考えますが、問 36 の参加した研修会の中で、「人権・同和問題を考える講演会」や「じんけんふれあい講演会」に参加したことがあると回答した人の割合をみると、決して高いとは言えません。

研修会等があっていることを「知ってはいるものの参加には至っていない」状況がみられることを考えると、参加のきっかけづくりを考える必要があります

また、問 37 の今後の研修会等への参加意欲については、前回調査より減少しているという厳しい結果でした。

社会環境が変化していることを考えると、従来の手法を見直すことが必要です。啓発を届けることは簡単ではありませんが、インターネットや SNS の活用などの新しい手法と集合型研修や啓発資料・啓発グッズの配布といったこれまでの手法、それぞれバランスを取りながら、幅広い世代に届く啓発を検討していく必要があります。

また、市民が関心を持ちやすい人権課題の情報収取や参加しやすいイベント構築など、啓発のあり方についてもアップデートを行うことが重要だと考えます。

Ⅳ　参考資料

○小城市人権擁護審議会委員名簿

小城市「人権・同和問題に関する市民意識調査」の原案の審議から本調査報告書の作成まで、小城市人権擁護審議会の皆様に御協力いただきました。

・第１回小城市人権擁護審議会　令和７年８月７日（火）開催
　内容：市民意識調査の審議
・第２回小城市人権擁護審議会　令和８年１月28日（水）開催
　内容：市民意識調査報告書の審議

小城市人権擁護審議会委員名簿　（順不同）

No	氏　　名	所　　属
1	木　下　　隆　和	小城市区長連絡協議会会長
2	山　田　　隆　三	小城市民生委員･児童委員連絡協議会
3	谷　口　　定　宏	部落解放同盟佐賀県連合会小城支部長
4	福　地　　敦　子	小城市地域婦人会
5	本　村　　直　幹	小城市人権擁護委員連絡協議会
6	熊　谷　　郁　子	小城市副市長 ※令和7年10月14日から
7	大 野　　敬 一 郎	小城市教育委員会教育長
8	野　田　　経　代	小城市校長会

任期：令和７年４月１日から令和９年３月３１日まで（２年間）

〇使用した調査票

小城市「人権・同和問題に関する市民意識調査」ご協力のお願い

小城市では、「小城市あらゆる差別の撤廃と人権擁護に関する条例」に基づき、部落差別（同和問題）をはじめ、さまざまな人権問題の解決を図るための取組を推進しています。

この調査は、市民の人権・同和問題に関する意識状況や、本市の人権・同和問題に関する教育・啓発活動の問題点と効果を明らかにし、今後の教育・啓発事業を効果的に推進していくための基礎資料とするため、5年に1回実施しているものです。

お答えいただいた内容は統計的に処理し、個人が特定されることはありません。また、統計以外の目的には使用いたしません。

お忙しいところ恐縮ですが、差別のない明るいまちづくりを皆様とともに考え、市政に反映させていきますので、調査の目的、趣旨を御理解のうえ、率直な御意見をお聞かせくださいますようお願いいたします。

令和7年10月

小城市長　　南里　隆

《ご記入にあたって》

◇対象者

この調査は、封筒の宛名の方が対象者です。対象者ご本人での回答をお願いします。ただし、対象者ご本人による回答が難しい場合は、お手伝いいただける方が対象者ご本人の意向を聞きながら回答してください。

◇回答方法

①インターネットによる回答

右の二次元コードを読み取り、アクセスしてください。

回答の一時保存もできるうえ、短時間で回答できます。

②郵送による回答

選択式の回答は、該当番号(箇所)のマークを塗りつぶして回答してください。

※裏写りしないペンや鉛筆などで濃く塗りつぶしてください。

ご記入の調査票**（マークシートのみ）**を、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて投函してください。

◇回答期限

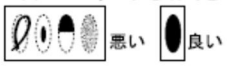
令和7年10月31日(金)まで

◇お問合せ

小城市役所　市民部　人権・同和対策室　(市役所西館1F)

☎0952-37-6136　〒845-8511 佐賀県小城市三日月町長神田2312番地2

★マークのしかた



・選択式の回答は、該当箇所のマーク○を塗りつぶしてご回答ください。
○: 空白マーク　●: 正しいぬりつぶし　⊘: 不十分なぬりつぶし
・記述式の回答は、回答欄からはみ出さないように記入してください。
・この用紙は機械で処理します。回答欄以外に書き込みをしたり、用紙を汚したりしないように注意してください。

あなた自身のことについて、お答えください。

(1) 性別

○ ①男性　○ ②女性　○ ③答えたくない

(2) 年齢（令和7年4月1日現在）

○ ①18～20歳代　○ ②30歳代　○ ③40歳代　○ ④50歳代
○ ⑤60歳代　○ ⑥70歳以上　○ ⑦答えたくない

(3) 職業

○ ①農林漁業の事業主及びその家族従業者
○ ②.商工業・サービス業の自営業者及びその家族従業者
○ ③専門的・技術的職業従業者（医療関係者、福祉関係職員、大学教授など）
○ ④民間企業・団体勤務
○ ⑤公務員、教員
○ ⑥臨時雇い、パートタイマーなど
○ ⑦学生
○ ⑧家事専業
○ ⑨無職
○ ⑩その他
○ ⑪答えたくない

(4) お住まい

○ ①小城町　○ ②三日月町　○ ③牛津町　○ ④芦刈町
○ ⑤答えたくない

人権についての考え方

(5) 我が国にはいろいろな風習がありますが、その一つとして結婚式は「大安」の日が 一番よい、「友引」の日に葬式を避けるという風習を、あなたはどう思いますか。(回答は1つだけ)

○ ①あたりまえだと思う
○ ②おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方ないと思う
○ ③間違っていると思う
○ ④関心がない、気にしない
○ ⑤わからない

(6) 人権とは、人が生まれながらに持っている権利です。あなたは、人権や差別問題に関心を持っていますか。（回答は１つだけ）

○ ①関心がある　○ ②少し関心がある　○ ③あまり関心がない
○ ④関心がない　○ ⑤わからない

★マークのしかた



(7) あなたは現在、人権が守られていると思いますか。（回答は１つだけ）

- ①よく守られていると思う
- ②だいたい守られていると思う
- ③あまり守られていないと思う
- ④わからない

(8) あなたは、この1年間に自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。（回答はいくつでも可）

- ①人権が侵害されたと思ったことはない
- ②あらぬうわさや悪口、落書き、インターネット（SNS等）などで名誉や信用を傷つけられたり、侮辱されたりした
- ③人種・国籍・信条・性別・社会的身分等を理由に差別された
- ④地域や職場などにおいて仲間はずれやいじめなど不当な扱いを受けた
- ⑤学校において体罰やいじめなど不当な扱いを受けた
- ⑥家庭などで虐待やＤＶなど不当な扱いを受けた
- ⑦医療機関、福祉施設などで不当な扱いを受けた
- ⑧プライバシーを侵害された
- ⑨セクシャルハラスメント（性的いやがらせ）やストーカー（つきまとい）行為を受けた
- ⑩パワーハラスメント（権力や地位を利用した嫌がらせ）行為を受けた
- ⑪その他（上記のほか、人権侵害と思われる扱いを受けた）
- ⑫わからない

(9) あなたは、他人の人権を傷つけたことがあると思いますか。（回答は１つだけ）

- ①他人の人権を傷つけたことがある
- ②自分では気づかないが、他人の人権を傷つけたことがあるかもしれない
- ③他人の人権を傷つけたことはない
- ④わからない

(10)新聞、テレビ、インターネットなどで「人権が侵害された」と報道されることがありますが、あなたはここ数年の間に、日本で人権が侵害されるようなことについてどのように変わったと思いますか。（回答は1つだけ）

- ①少なくなってきた
- ②あまり変わらない
- ③多くなってきた
- ④わからない

★マークのしかた



(11)もし、あなたが人権侵害を受け、自分ひとりでは解決できないと判断した場合、どのように対処しますか。（回答は３つまで）

- ①家族や親戚に相談する
- ②友人・知人に相談する
- ③法務局や人権擁護委員に相談する
- ④行政に相談する
- ⑤警察に相談する
- ⑥弁護士に相談する
- ⑦学校や職場に相談する
- ⑧何もしないで我慢する
- ⑨その他
- ⑩特にない
- ⑪わからない

(12)日本社会には、人権に関わるいろいろな問題がありますが、あなたが関心のあるもので重要と思われるものを選んでください。（回答はいくつでも可）

- ①女性
- ②子ども
- ③高齢者
- ④障がいのある人
- ⑤ 部落差別（同和問題）
- ⑥アイヌの人々
- ⑦外国人
- ⑧ HIV感染者・ハンセン病疾患者・難病患者等
- ⑨刑を終えて出所した人やその家族等
- ⑩犯罪被害者やその家族等
- ⑪ インターネット(SNS等)による人権侵害
- ⑫ホームレス
- ⑬性的指向（異性愛，同性愛，両性愛）
- ⑭性自認
- ⑮北朝鮮当局によって拉致された被害者等
- ⑯人身取引（性的搾取、強制労働等を目的とした人身取引）
- ⑰災害に起因する人権問題
- ⑱感染症に起因する人権問題
- ⑲ゲノム情報（遺伝情報）
- ⑳その他
- ㉑特にない
- ㉒わからない

女性の人権について

(13)女性に関することがらで、あなたが特に問題があると思われるのはどのようなことですか。（回答はいくつでも可）

- ①男女の固定的な役割分担意識 （家事・育児など）
- ②夫婦や親しい間柄の男性から女性に対する暴力（ドメスティック・バイオレンス）
- ③ 職場や学校におけるセクシャル・ハラスメント（性的いやがらせ等）
- ④売春・買春（「援助交際」を含む）
- ⑤ 内容に関係なく女性の水着姿、裸体等を使用した広告・雑誌や写真
- ⑥「婦人」「未亡人」のように女性だけに用いられる言葉
- ⑦ 職場における採用時や昇進・昇格などの差別待遇
- ⑧ 政策や方針を決定する会議などで女性が意見を述べる機会が少ないこと
- ⑨ メールやインターネット(SNS等)による悪質な嫌がらせやストーカー行為
- ⑩その他
- ⑪特にない
- ⑫ わからない

★マークのしかた



(14)あなたは、家庭生活において「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」だと思いますか。自分の考えに一番近いものを選んでください。（回答は1つだけ）

- ①賛成（そうだと思う）
- ②どちらかといえば賛成
- ③どちらかといえば反対
- ④反対（おかしいと思う）
- ⑤わからない

子どもの人権について

(15)子どもに関することがらで、あなたが特に問題があると思われるのはどのようなことですか。（回答はいくつでも可）

- ①子どもの間でいじめが行われていること
- ② 大人（保護者）が暴力による身体的虐待・心理的虐待を行うこと
- ③学校や地域における指導的な立場にある人による体罰や性加害
- ④子どもの意見を受けとめないで大人（保護者）の考えを押しつけること
- ⑤児童買春･児童ポルノなどの対象となること
- ⑥メールやインターネット(SNS等)による悪質な嫌がらせ
- ⑦食事や健康管理などに取り組まない大人（保護者）がいること
- ⑧その他
- ⑨特にない
- ⑩わからない

※別紙に「こども基本法」についての説明があります。

高齢者の人権について

(16)高齢者に関することがらで、あなたが特に問題があると思われるのはどのようなことですか。（回答はいくつでも可）

- ①経済的に自立が困難なこと
- ②働ける能力を発揮する機会が少ないこと
- ③詐欺や悪質商法などの犯罪が増加していること
- ④看護や介護において嫌がらせや虐待があること
- ⑤高齢者を邪魔者扱いし、意見や行動を無視すること
- ⑥アパートなどへの入居が困難なこと
- ⑦その他
- ⑧特にない
- ⑨わからない

※別紙に「認知症基本法」についての説明があります。

★マークのしかた



障がい者の人権について

(17)障がい者に関することがらで、あなたが特に問題があると思われるのはどのような ことですか。(回答はいくつでも可)

- ①地域や施設内において、いじめや虐待にあうこと
- ②就職・職場で不利な扱いを受けること
- ③差別的な言動を受けること
- ④詐欺や悪質商法などの犯罪が多いこと
- ⑤アパートなどへの入居が障がいがあるというだけで制限されること
- ⑥福祉施設等の受入れ態勢が十分でないこと
- ⑦スポーツ・文化活動、地域活動に気軽に参加できないこと
- ⑧障がいのある人や障がいについて、人々の理解が不足していること
- ⑨働ける場所や機会が少ないこと
- ⑩メールやインターネット(SNS等)による悪質な嫌がらせ
- ⑪じろじろ見られたり、避けられたりすること
- ⑫その他
- ⑬特にない
- ⑭わからない

HIV感染者・ハンセン病患者・難病患者等の人権について

(18)ＨＩＶ（ｴｲｽﾞｳｲﾙｽ）感染者・ハンセン病患者（元患者）・難病患者等に関することがらで、あなたが特に問題があると思われるのはどのようなことですか。（回答はいくつでも可）

- ①治療や入院を断ること
- ②結婚問題で周囲の反対を受けること
- ③就職・職場で不利な扱いを受けること
- ④差別的な言動を受けること
- ⑤アパートなどへの入居が困難なこと
- ⑥ホテル等での宿泊や飲食店への入店などを拒否すること
- ⑦メールやインターネット(SNS等)による悪質な書き込みや嫌がらせ
- ⑧その他
- ⑨特にない
- ⑩わからない

★マークのしかた



外国人の人権について

(19)日本に居住している外国人に関することがらで、あなたが特に問題があると思われるのはどのようなことですか。（回答はいくつでも可）

- ①結婚問題で周囲の反対を受けること
- ②就職・職場で不利な扱いを受けること
- ③住宅などを容易に借りることができないこと
- ④公共サービスを利用するにあたって制約を受けること
- ⑤言葉や習慣の違いから社会に受け入れられにくいこと
- ⑥じろじろ見られたり、避けられたりすること
- ⑦病院や公共施設等に外国語による表示が少ないこと
- ⑧言葉が異なるため、日常生活に必要な情報が得にくいこと
- ⑨差別的な言動をされること
- ⑩宗教的配慮が受けられないこと
- ⑪その他
- ⑫特にない
- ⑬わからない

(20)近年、企業の受け入れなどで地域で生活する外国人が増えてきていますが、あなたは、国際的・地域的に異なる文化を理解することは地域で必要だと思いますか。自分の考えに一番近いものを選んでください。（回答は1つだけ）

- ①必要
- ②どちらかといえば必要
- ③どちらかといえば必要ない
- ④必要ない
- ⑤わからない

性的指向・性自認に関する人権について

(21)あなたは今、性的指向(異性愛・同性愛・両性愛)・性自認(自分がどの性別であると感じるかという「心の性」のあり方)などの性の多様性で、どのような人権問題が起きていると思いますか。(回答はいくつでも可)

- ①相談できる相手が少ない
- ②性的少数者（同性愛・両性愛・からだと心の性が一致しない等）に対する理解不足で 誤解や偏見がある
- ③悪意のある噂を流されたり差別的な言動をされる
- ④性的少数者に対する配慮が足りない
- ⑤法令や制度が十分でない(婚姻などを含む)
- ⑥興味本位で見られたり避けられたりする
- ⑦職場や学校でからかいや嫌がらせを受ける
- ⑧就職・職場で不利な扱いを受ける
- ⑨宿泊施設、店舗等での施設利用を拒否される
- ⑩その他
- ⑪特にない
- ⑫わからない

★マークのしかた



インターネット・SNS等を悪用した人権侵害について

(22)インターネット・SNS等に関することがらで、あなたが特に問題があると思われるのはどのようなことですか。（回答はいくつでも可）

- ①他人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現など、人権を侵害する情報を掲載すること
- ②SNSなどが犯罪を誘発する場となっていること
- ③個人情報の流出などの問題が多く発生していること
- ④情報の発信者に匿名が多いため、利用者の倫理観が低下しやすいこと
- ⑤詐欺や悪徳商法の被害者が多くなっていること
- ⑥わいせつな画像や残虐な画像が掲載されていること
- ⑦その他
- ⑧特にない
- ⑨わからない

(23)インターネット上での人権侵害を防ぐために、あなたが特に取り組む必要があると思われるのはどのようなことですか。（回答はいくつでも可）

- ①違法な情報発信に対する監視や取締りを強化する
- ②プロバイダ（インターネット接続業者）などに人権を侵害する情報の削除を求める
- ③インターネットで人権侵害を受けた人のための相談体制を整備する
- ④インターネットの利用者やプロバイダにプライバシーや名誉に関する正しい知識を 深めるための教育や啓発を推進する
- ⑤表現の自由に関わる問題なので、安易に情報の規制は行うべきではない
- ⑥その他
- ⑦特にない
- ⑧わからない

★マークのしかた



部落差別（同和問題）について

※部落差別（同和問題）とは、日本社会の歴史的発展の過程の中で形づくられた身分階層構造に基づく差別により、日本国民の一部の人々が長い間、経済的、社会的、文化的に低位の状態を強いられ日常生活の上でさまざまな差別を受けるなどの我が国固有の人権問題です。

(24)あなたは、同和地区（被差別部落）に生まれ、そこに住む人たちや出身の人たちが、今でも就職や結婚などで差別を受けていること（部落差別（同和問題））を知っていますか。（回答は１つだけ）

- ①よく知っている
- ②少し知っている
- ③知らない

(25)【(23)で「よく知っている」「少し知っている」と回答された方のみ】あなたが、部落差別（同和問題）をはじめて知ったのは、どのようなきっかけからですか。（回答は１つだけ）

- ①家庭で知った
- ②親戚から聞いた
- ③友人から聞いた
- ④近所の人から聞いた
- ⑤職場の人から聞いた
- ⑥学校の授業で教わった
- ⑦新聞、テレビ、マスコミなどで知った
- ⑧講演会や研修会などで知った
- ⑨県や市・町の広報誌や冊子で知った
- ⑩インターネット(SNS等)で知った
- ⑪覚えていない
- ⑫その他

(26)部落差別（同和問題）について、あなたはどう考えますか。　（回答は１つだけ）

- ①人間の自由や平等に関わる問題なので、国民全体で考えるべきである
- ②同和地区（被差別部落）の人々の問題であるから自分には関係ない
- ③あまりさわがずに、そっとしておくのがよい
- ④その他
- ⑤特に関心がない
- ⑥わからない

(27)あなたは現在、部落差別（同和問題）に関し、どのような問題が起きていると思いますか。（回答はいくつでも可）

- ①結婚問題で周囲の反対を受けること
- ②就職・職場で不利な扱いを受けること
- ③差別的な言動をされること
- ④差別的な落書きをされること
- ⑤身元調査をされること
- ⑥インターネット(SNS等)を利用して差別的な情報を掲載されること
- ⑦その他
- ⑧特にない
- ⑩わからない

(28)あなたが親しくつき合っている職場の人や、近所の人が同和地区（被差別部落）出身であることがわかったとき、あなたはどうすると思いますか。（回答は1つだけ）

- ①これまでと同じように付き合いを続ける
- ②できるだけ付き合わないようにする
- ③付き合いをやめる
- ④その他
- ⑤わからない

★マークのしかた


(29)お子さんが結婚しようとしている相手が、同和地区（被差別部落）出身であることが分かったとき、あなたはどうすると思いますか。(回答は１つだけ)

- ①本人の意思を尊重する
- ②自分はかまわないが、親類や世間体があるから、できれば結婚させたくない
- ③絶対に結婚させない
- ④その他
- ⑤わからない

部落差別（同和問題）の解決に向けて

(30)あなたは、部落差別（同和問題）は解決すると思いますか。（回答は1つだけ）

- ①近い将来解決すると思う
- ②いずれ解決すると思うが、長い期間を要すると思う
- ③どのようにしても解決は難しいと思う
- ④その他
- ⑤わからない

(31)あなたは、部落差別（同和問題）の解決に今後どのようなことが必要だと思いますか。（回答はいくつでも可）

- ①部落差別（同和問題）に関する相談機関・施設を充実する
- ②部落差別（同和問題）を解決するための教育・啓発広報活動を推進する
- ③同和地区（被差別部落）に住む人や由来を持つ人が自立して生活しやすい環境づくりをする
- ④えせ同和行為（同和問題を理由に書籍購入や寄付の強要をする行為）を排除する
- ⑤部落差別（同和問題）について、自由な意見交換ができる環境づくり
- ⑥部落差別（同和問題）に関して人権が侵害された被害者の救済を充実する
- ⑦部落差別（同和問題）に限定せず、人権全般にわたって意識を高める
- ⑧部落差別（同和問題）は、自然になくなるのを待つべきであり、そっとしておくほうがよい
- ⑨その他
- ⑩特にない
- ⑪わからない

★マークのしかた



啓発活動について

(32)小城市では、人権・同和問題を正しく理解してもらうために各種の教育・啓発活動を行っていますが、あなたは、見たり、読んだり、参加したりしたことがありますか。(回答はいくつでも可)

- ①講演会・研修会・講座
- ②広報「さくら」
- ③新聞・雑誌・図書・パンフレット等
- ④テレビ・ラジオ等
- ⑤インターネット(SNS等)・ホームページ
- ⑥その他
- ⑦特にない
- ⑧わからない

(33)人権・同和問題について理解を深めるために、あなたがもっとも効果的であると思 われるものはどのようなことですか。(回答はいくつでも可)

- ①講演会・講座等の啓発活動を充実する
- ②職場での学習会等を行う
- ③地域での学習会等を行う
- ④市報やパンフレット、ポスターでの啓発
- ⑤インターネットを利用した啓発広報(SNS含む)
- ⑥高齢者や障がい者、外国人など多様な立場の人が参加できる交流会
- ⑦高齢者や障がい者の疑似体験
- ⑧資料や写真等の展示会
- ⑨その他
- ⑩特にない
- ⑪わからない

(34)小城市内では、学校をはじめ、地域社会の中で人権・同和教育を進めています。あなたは、啓発活動（講演会・研修会・広報等）について、今後、どうすればよいと思いますか。（回答は1つだけ）

- ①もっと積極的に行うべきだ
- ②現在のままでよい
- ③特に行う必要はない
- ④その他
- ⑤わからない

(35)あなたは、これまでに人権・同和問題に関する研修会・講演会等に参加したことがありますか。（回答は1つだけ）

- ①参加した（1回）
- ②参加した（2～3回）
- ③参加した（4回以上）
- ④参加したことがない

(36)【(34)で「参加した」と回答された方のみ】 参加したことがある人は、どのような研修会ですか。（回答はいくつでも可）

- ①8月に開催している「小城市人権・同和問題を考える講演会」
- ②人権週間（12月4日から12月10日）にあわせて開催している「小城市じんけんふれあい講演会」
- ③職場の研修会
- ④人権出前講座
- ⑤各種団体（区長会・婦人会・老人会・PTA）などで行われている研修会
- ⑥県や他市町の研修会・講演会
- ⑦その他

★マークのしかた


(37)あなたは今後、人権・同和問題に関する研修会・講演会等に参加したいと思いますか。
（回答は1つだけ）

- ①ぜひ参加したい
- ②できるだけ参加したい
- ③参加するつもりはない
- ④わからない

(38)平成28年以降に「差別解消のための法律」が以下のとおり施行されていますが、あなたが知っている法律はありますか。（回答はいくつでも可）

- ①障害者差別解消法（平成28年4月1日施行）
- ②ヘイトスピーチ解消法（平成28年6月3日施行）
- ③部落差別解消推進法（平成28年12月16日施行）
- ④情報流通プラットフォーム対処法（令和7年4月1日施行）
- ⑤知らない

(39)あなたは、本人通知制度(住民票の写しや戸籍などを本人以外の第三者に交付した 場合に、事前に登録した本人に交付の事実を通知する制度)を知っていますか。 (回答は1つだけ)

- ①既に登録している
- ②制度（内容）は知っているが、登録はしていない
- ③知らない

(40)あなたは、家庭で人権問題について話したりすることはありますか。（回答は1つだけ）

- ①よくある
- ②ときどきある
- ③ない

(41)あなたは、地域や職場で人権問題について話したりすることはありますか。（回答は1つだけ）

- ①よくある
- ②ときどきある
- ③ない

★マークのしかた



(42)【自由意見】人権・同和問題についてご意見などがありましたら、ご記入ください。

ご多忙のところ、アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

同封している返信用封筒の中に入れて、令和7年10月31日（金）までに
郵便ポストへご投函していただきますようお願いします。